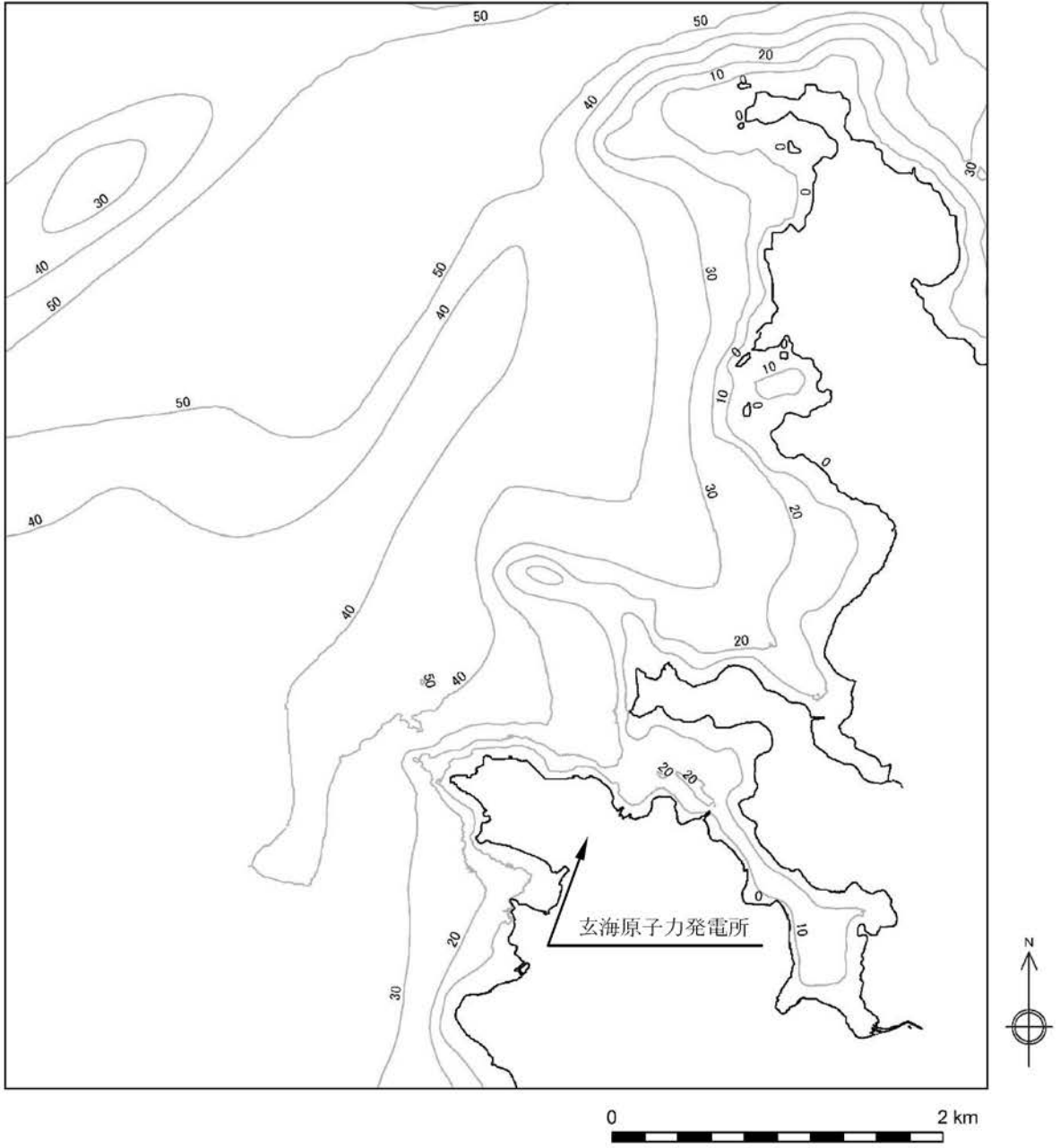
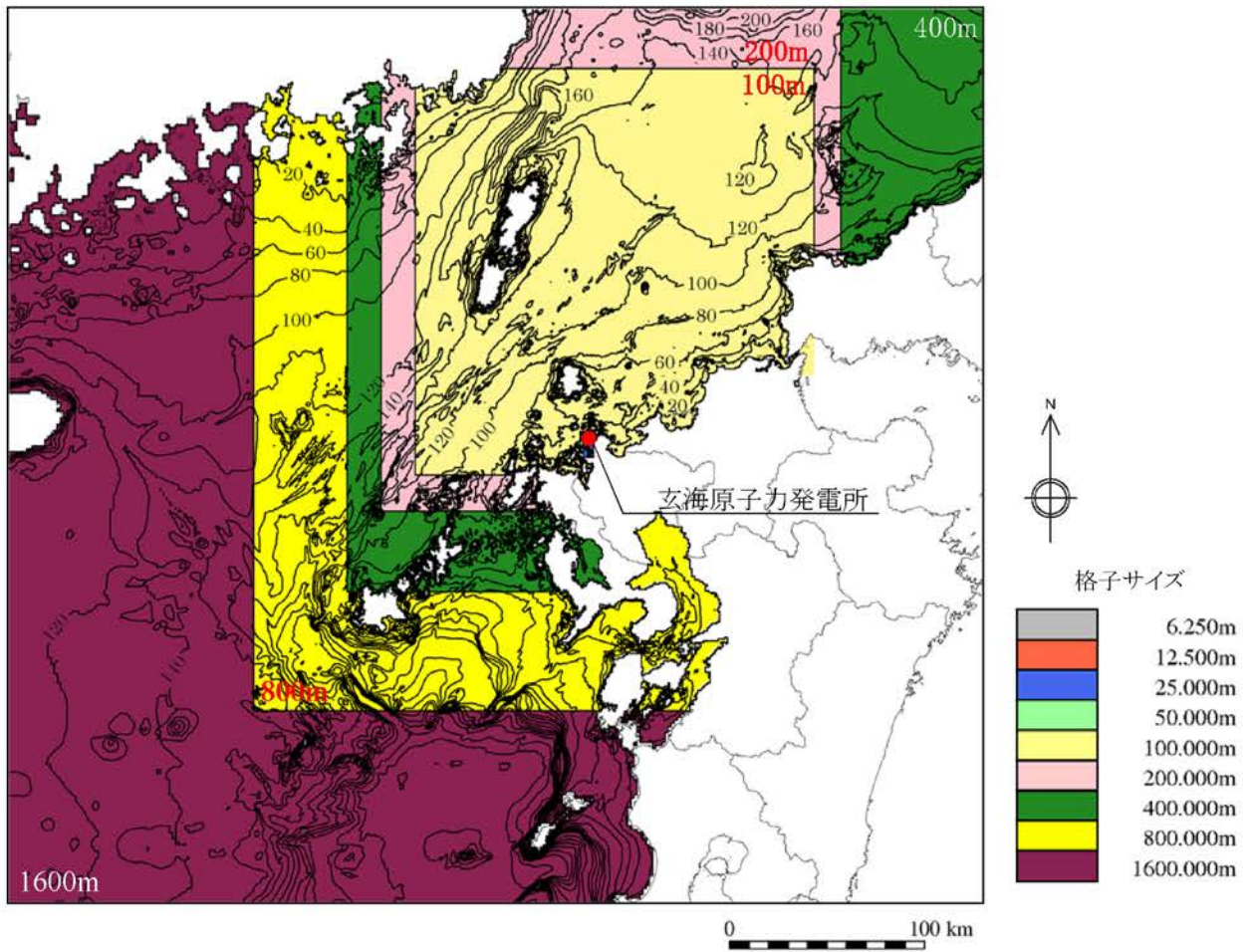




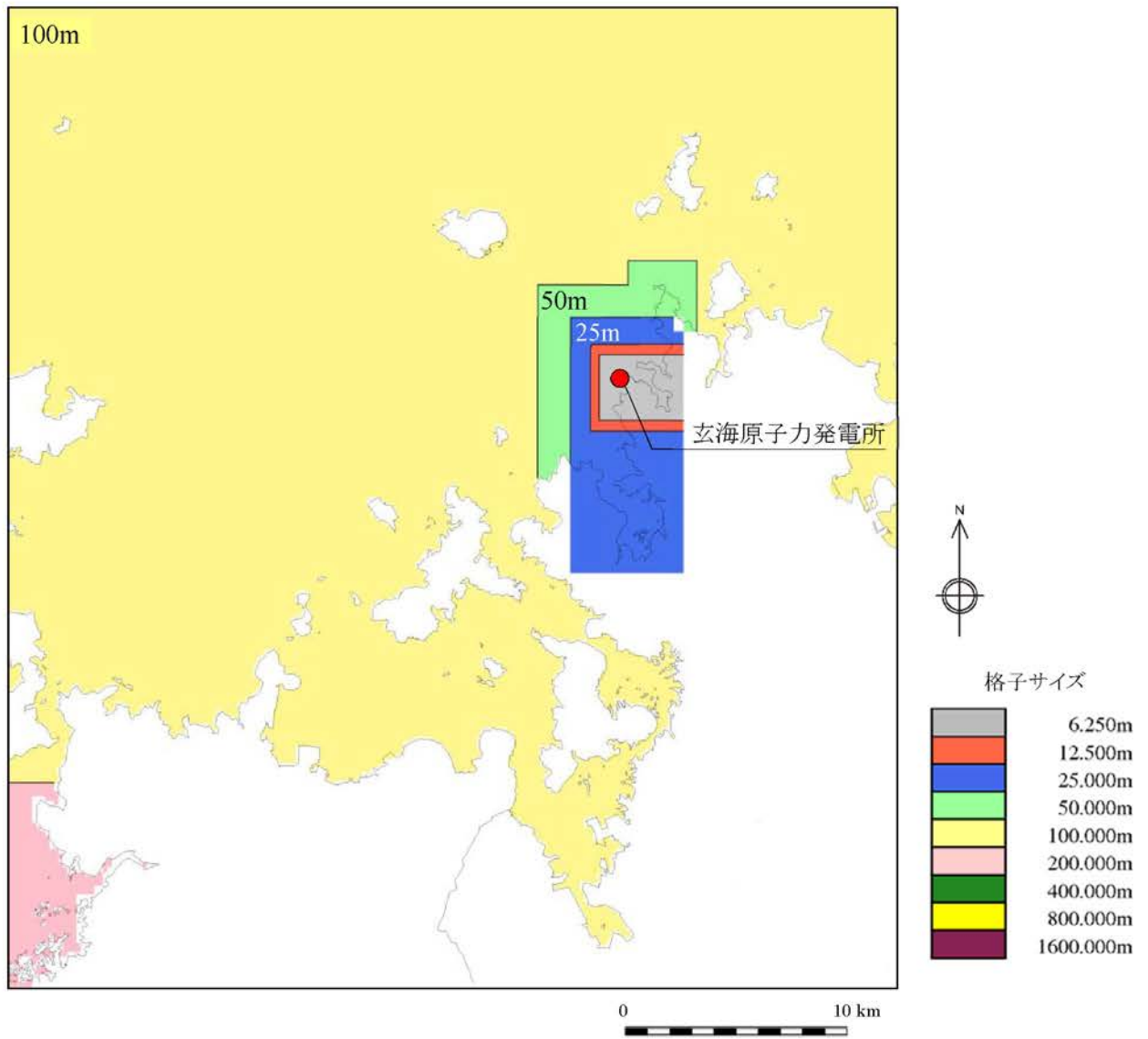
第1.2-5図(1) 海底地形(計算領域全体)



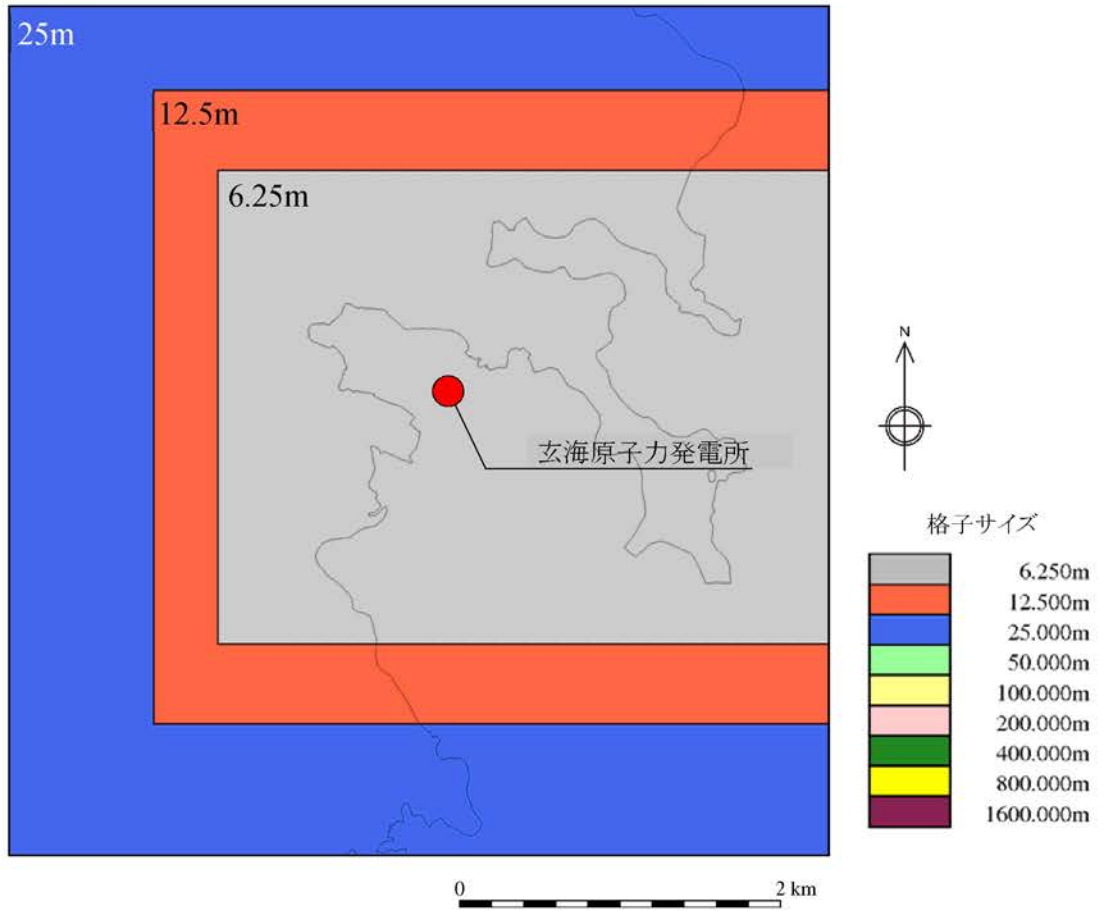
第1.2-5図(2) 海底地形(敷地近傍海域)



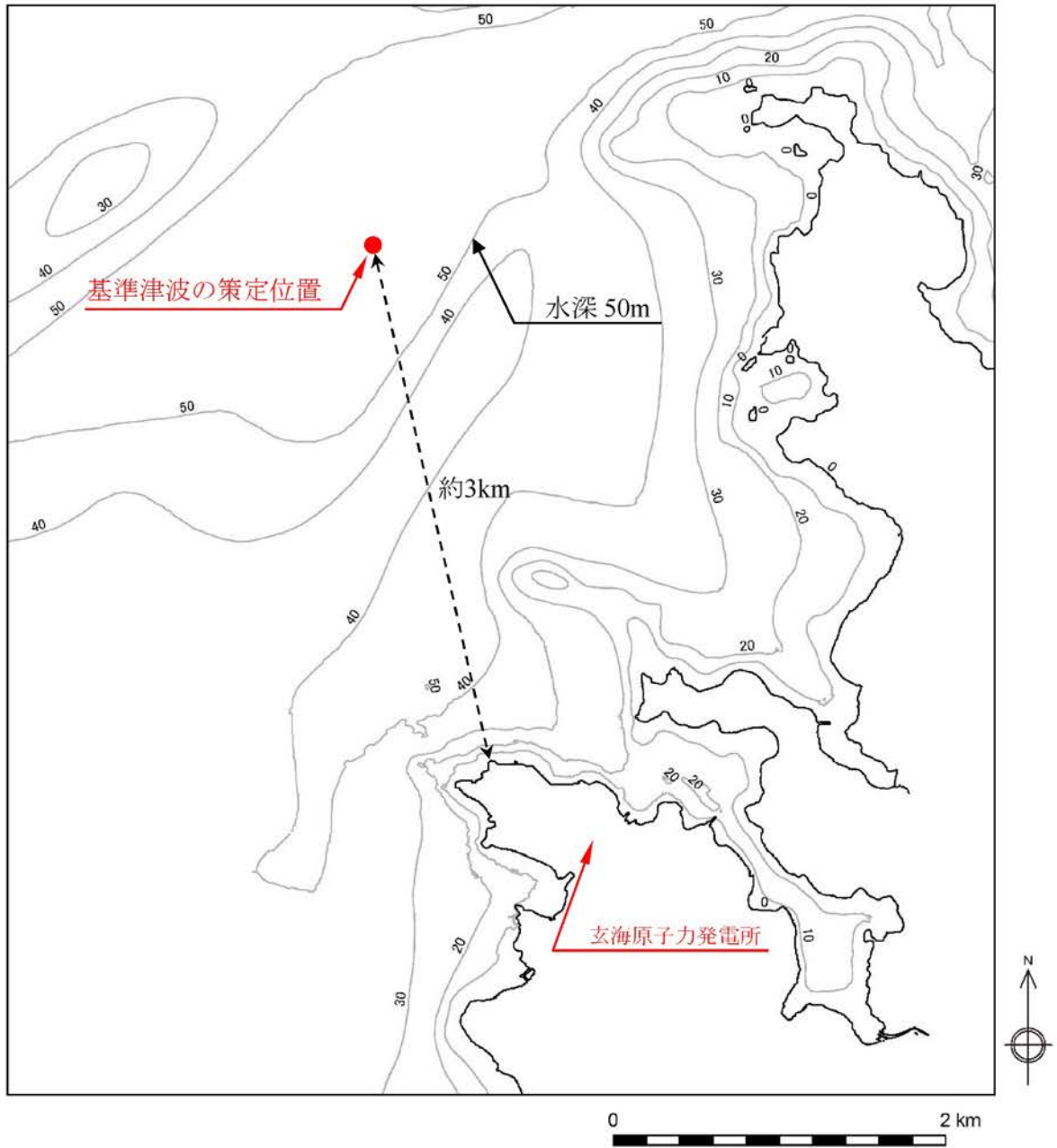
第1.2-6図(1) 計算格子分割(計算領域全体)



第1.2-6図(2) 計算格子分割(敷地前面海域)



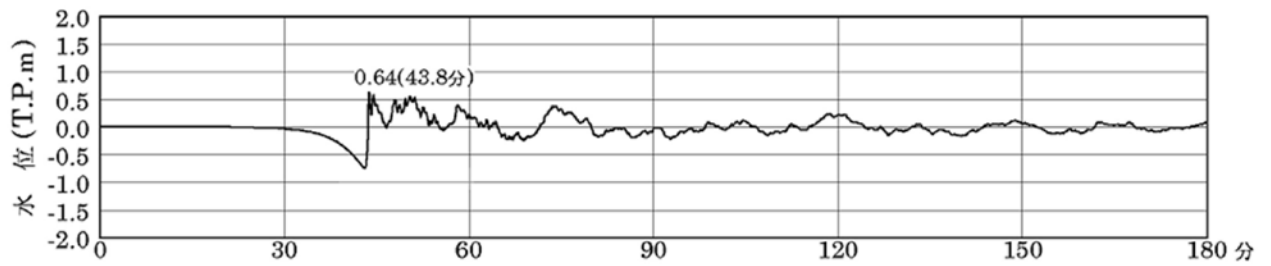
第1.2-6図(3) 計算格子分割(敷地近傍海域)



第1.2-7図 基準津波の策定位置

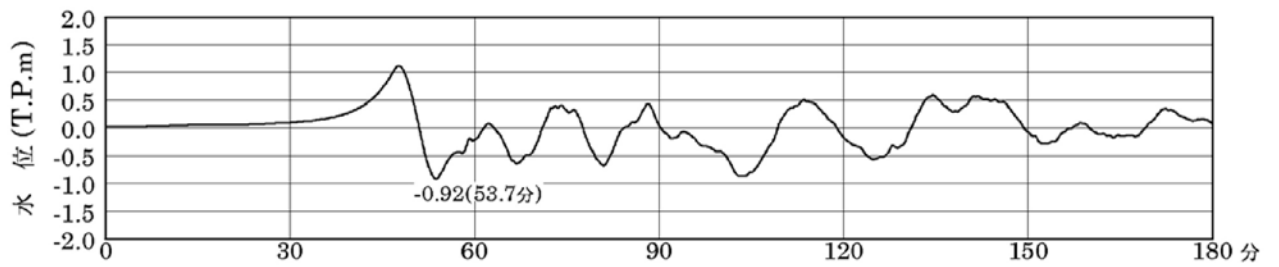
【水位上昇側】

対馬南西沖断層群と宇久島北西沖断層群の連動

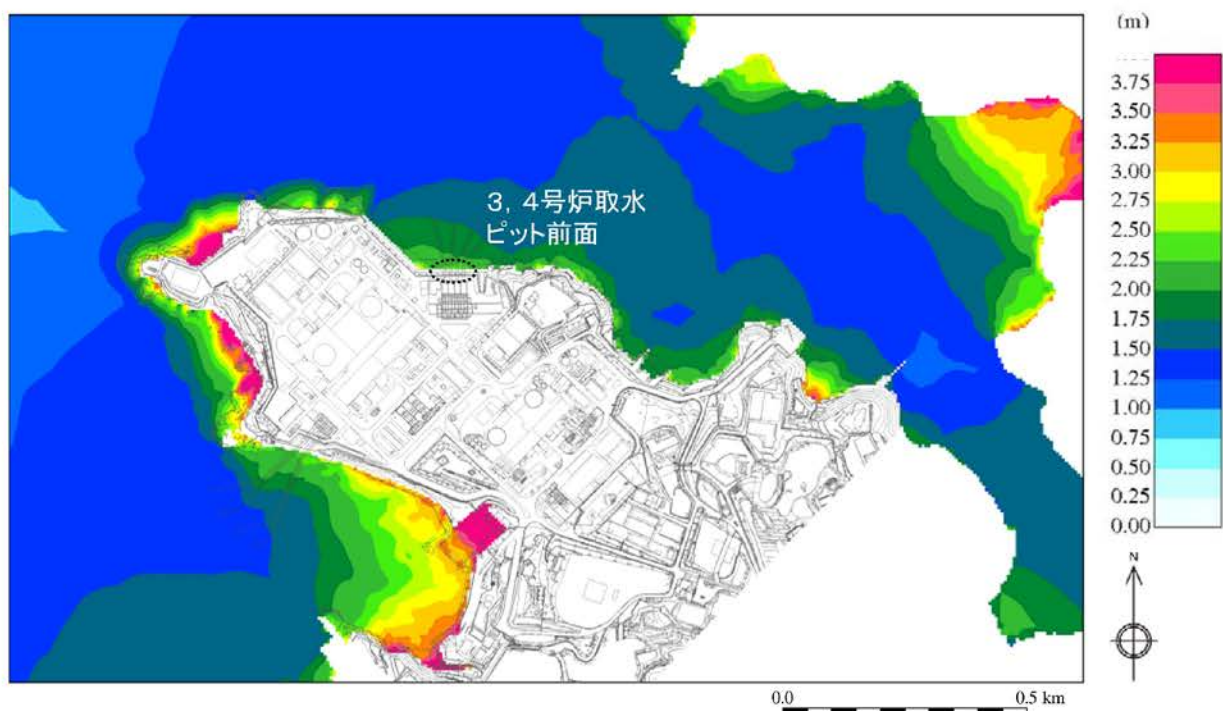


【水位下降側】

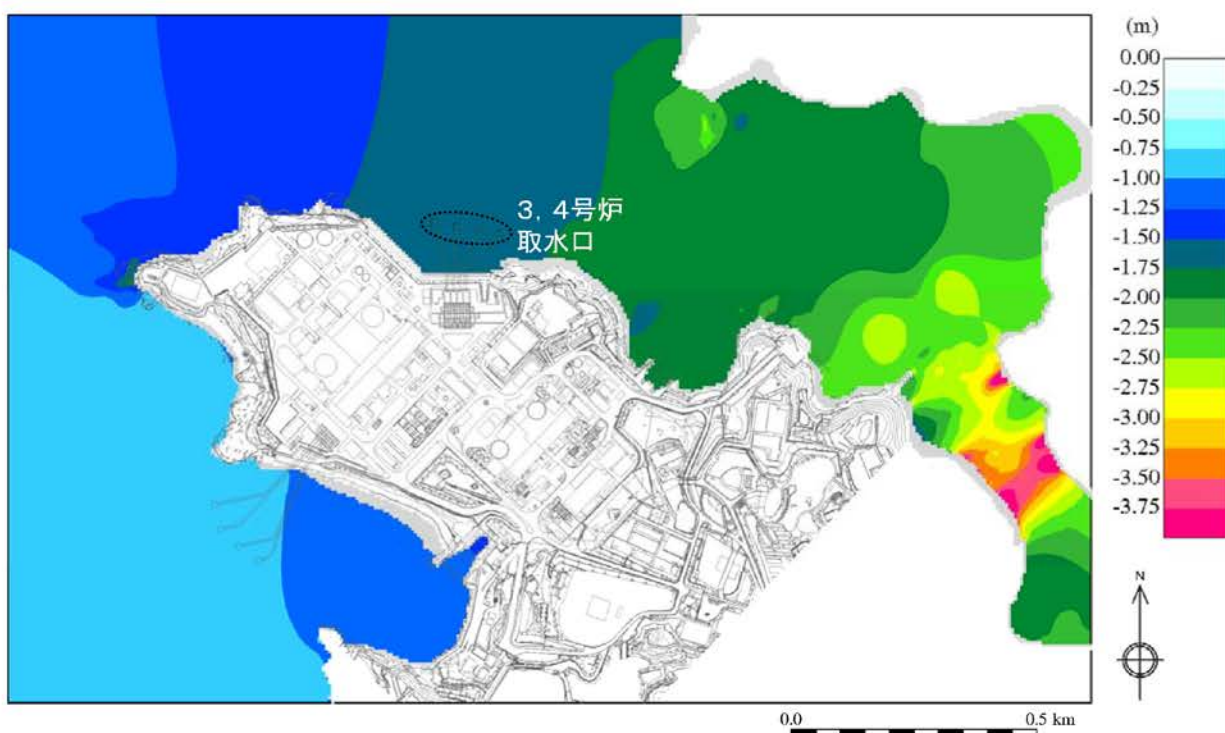
西山断層帯



第1.2-8図 基準津波の策定位置での時刻歴波形
(初期潮位 : T.P.±0.00m)



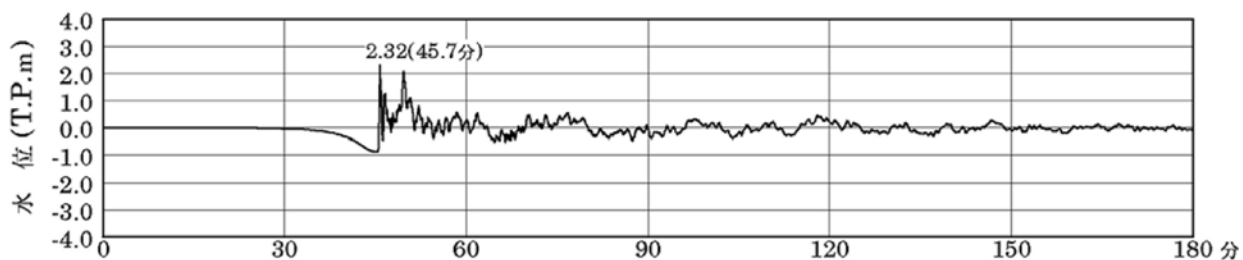
第1.2-9図(1) 基準津波の最大水位上昇量分布
(初期潮位:T.P.±0.00m)



第1.2-9図(2) 基準津波の最大水位下降量分布
(初期潮位:T.P.±0.00m)

【水位上昇側】

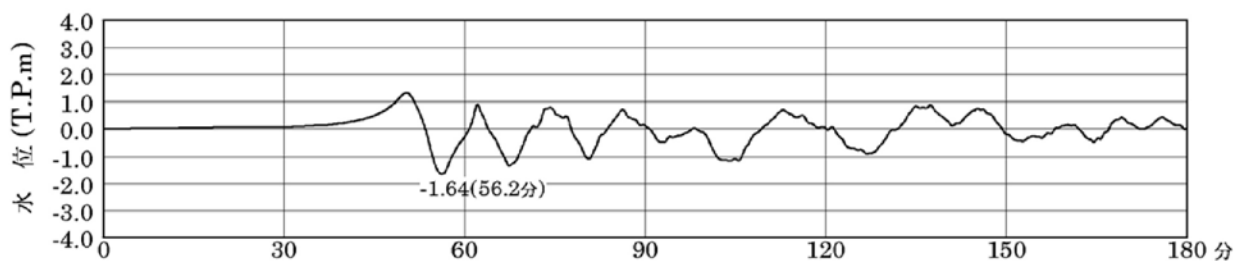
対馬南西沖断層群と宇久島北西沖断層群の連動



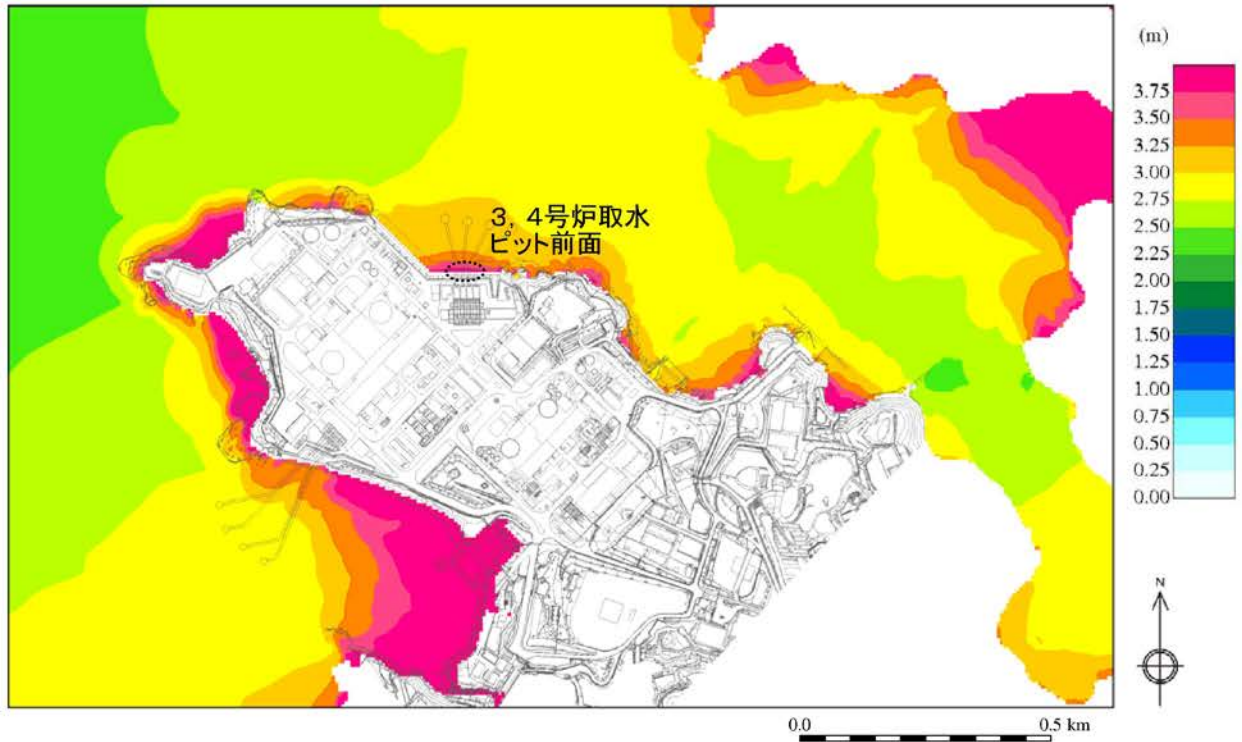
第1.2-9図(3) 基準津波の取水ピット前面位置での時刻歴波形
(初期潮位 : T.P. ± 0.00m)

【水位下降側】

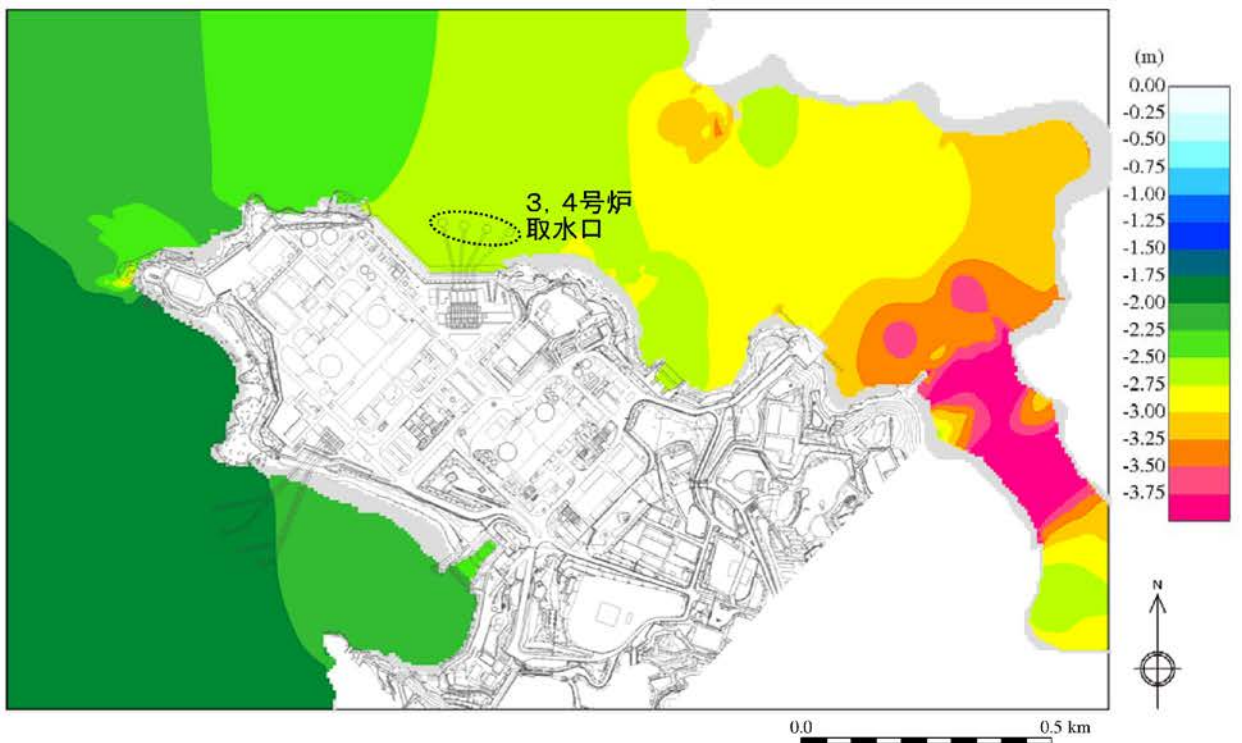
西山断層帯



第1.2-9図(4) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(初期潮位 : T.P. ± 0.00m)



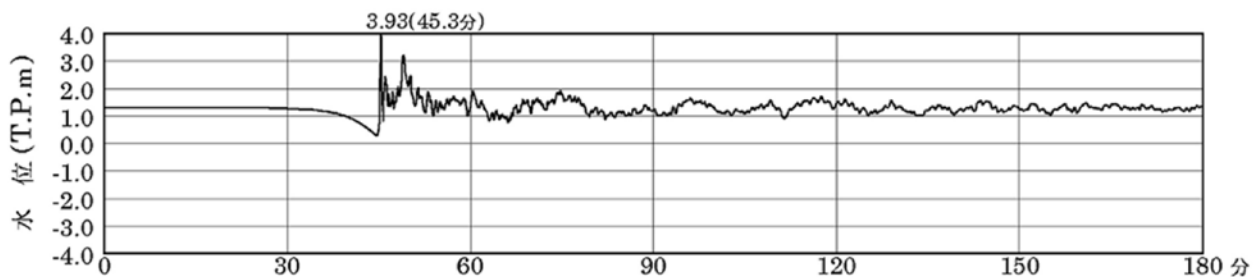
第1.2-10図(1) 基準津波の最高水位分布(朔望平均満潮位を考慮)



第1.2-10図(2) 基準津波の最低水位分布(朔望平均干潮位を考慮)

【水位上昇側】

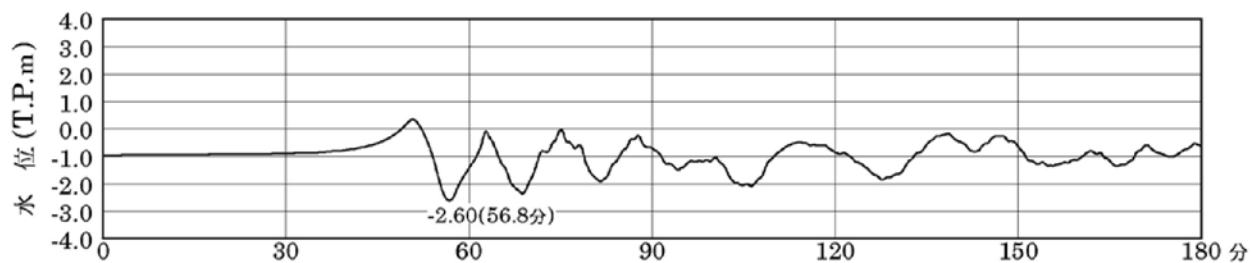
対馬南西沖断層群と宇久島北西沖断層群の連動



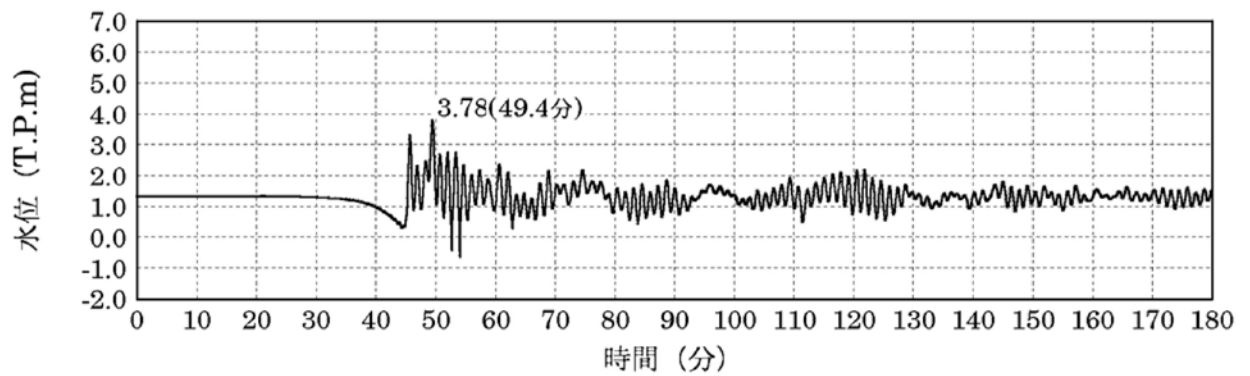
第1.2-10図(3) 基準津波の取水ピット前面位置での時刻歴波形
(朔望平均満潮位を考慮)

【水位下降側】

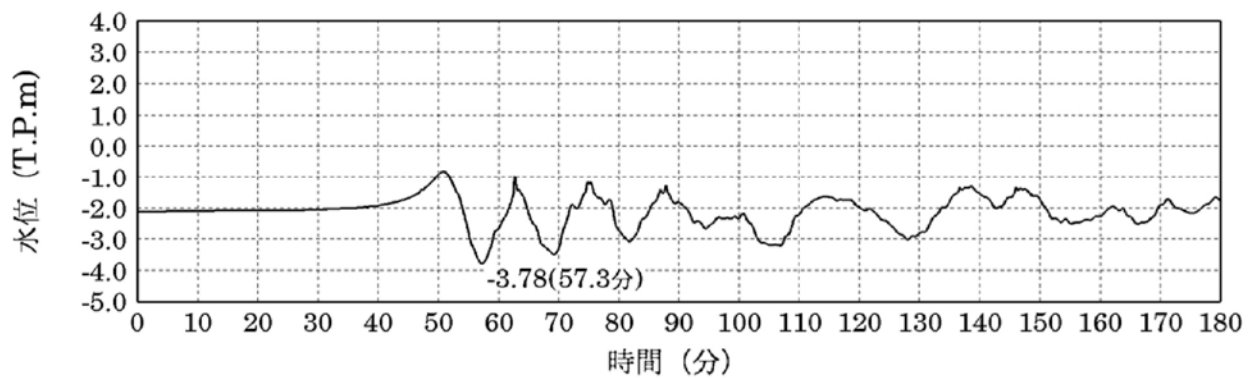
西山断層帯



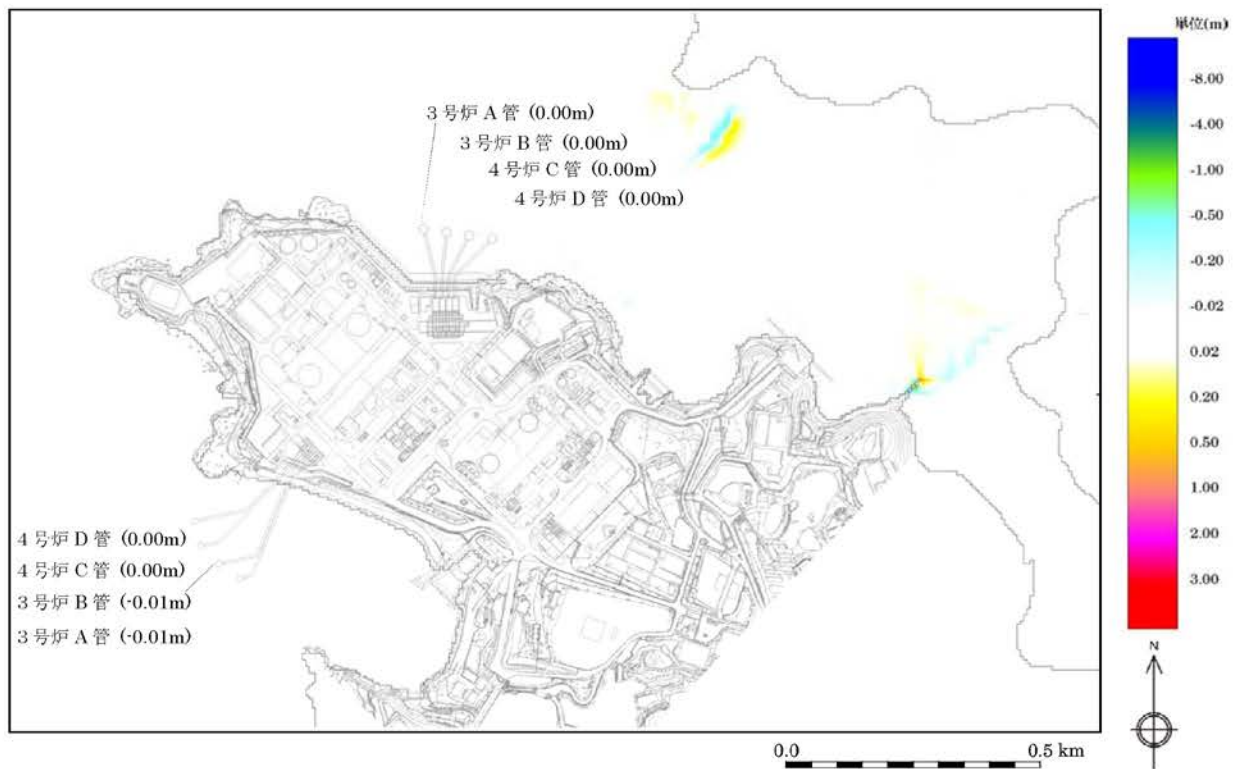
第1.2-10図(4) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(朔望平均干潮位を考慮)



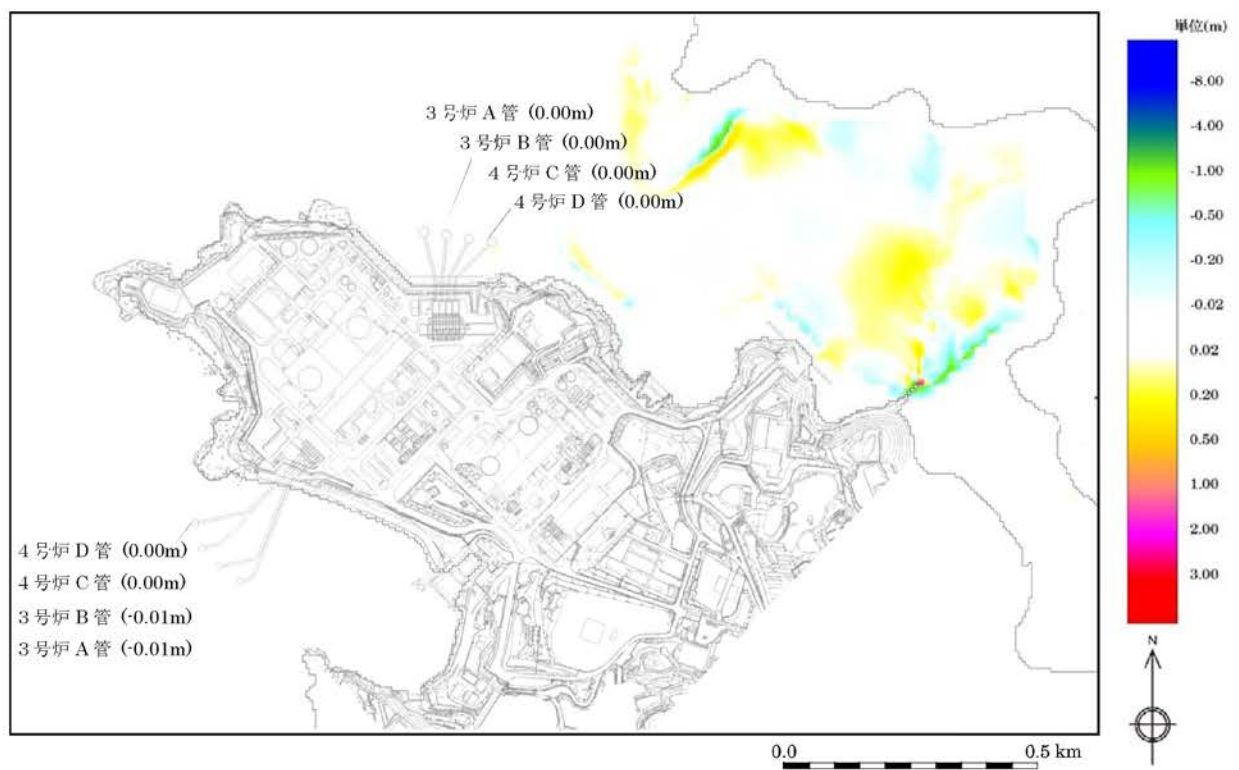
第1.2-12図(1) 取水ピットでの時刻歴波形
(水位上昇側、朔望平均満潮位を考慮)



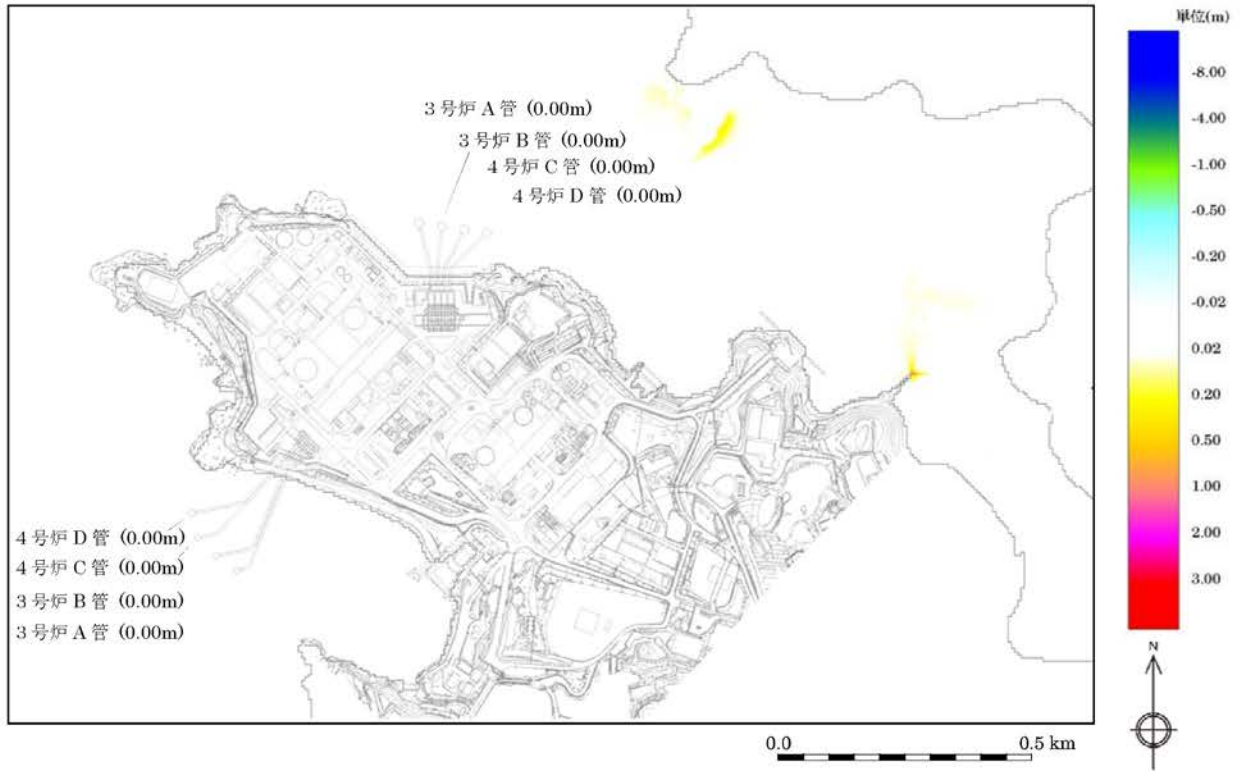
第1.2-12図(2) 取水ピットでの時刻歴波形
(水位下降側、朔望平均干潮位を考慮)



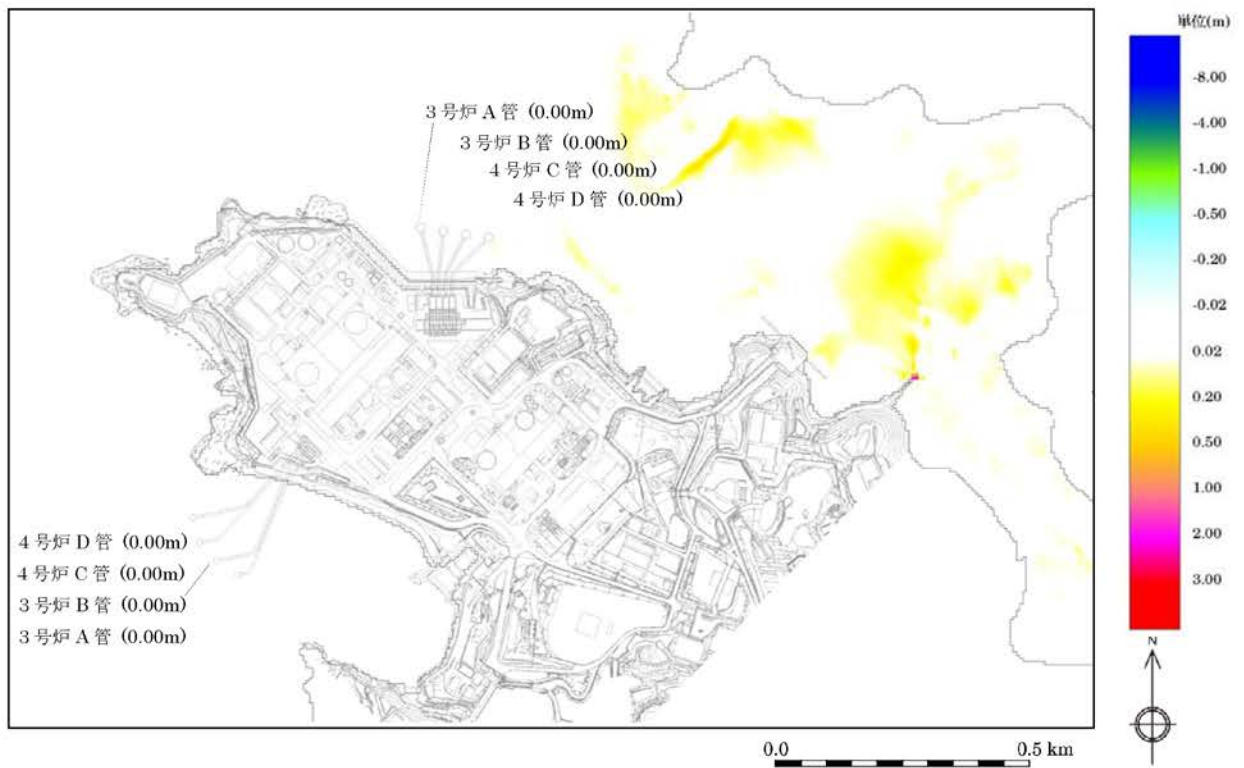
第1.2-13図(1) 砂移動による最終地形変化量（水位上昇側）



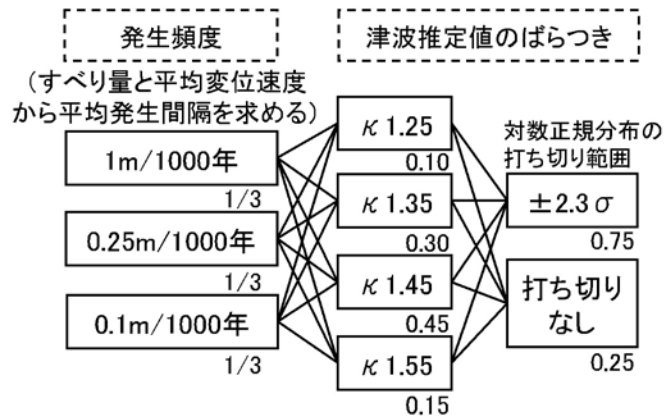
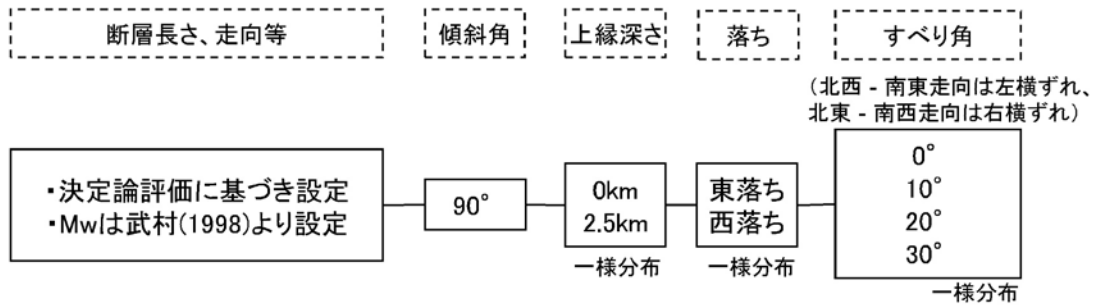
第1.2-13図(2) 砂移動による最終地形変化量（水位下降側）



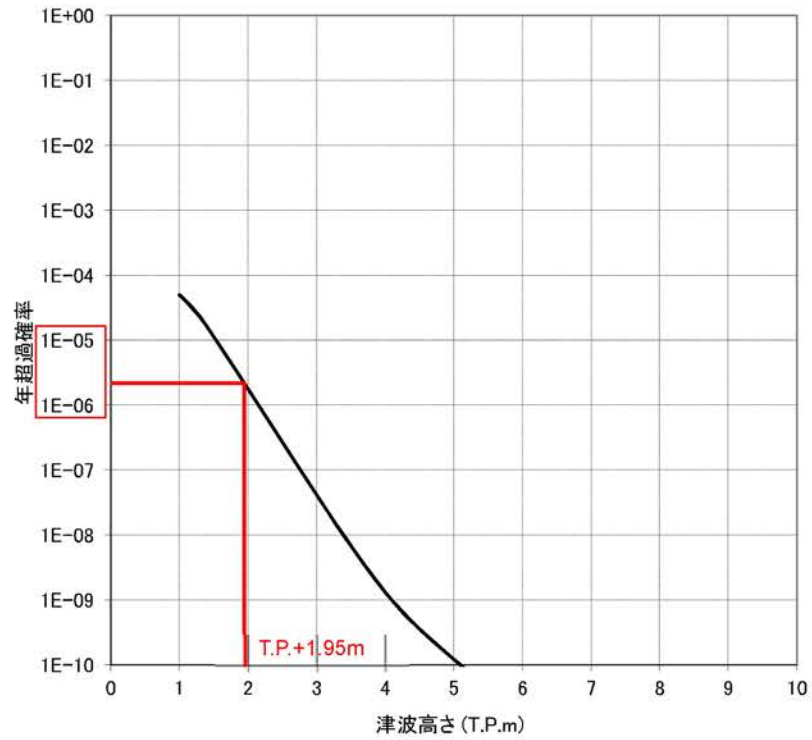
第1.2-13図(3) 砂移動による最大堆積厚（水位上昇側）



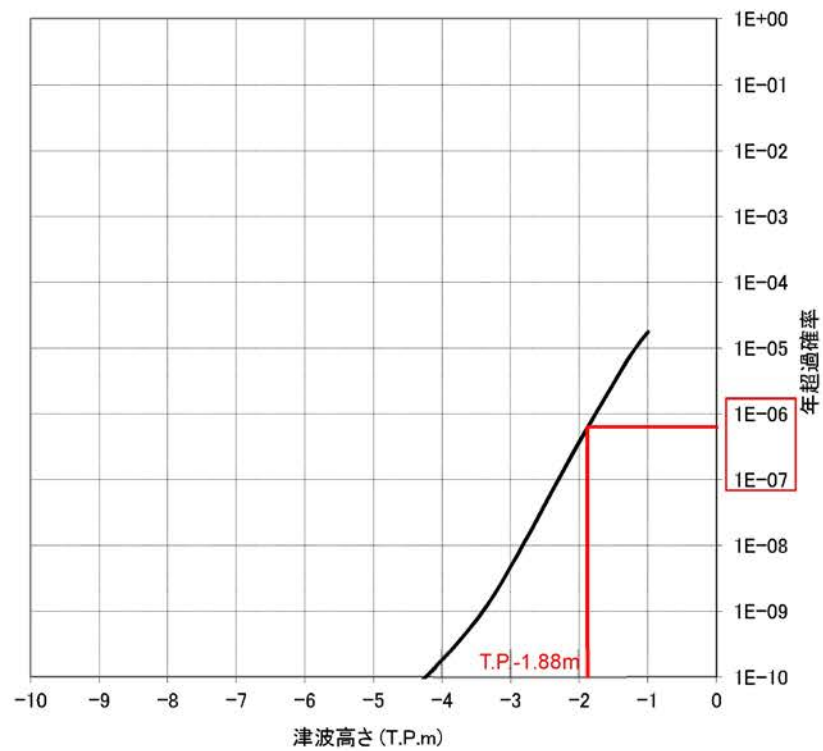
第1.2-13図(4) 砂移動による最大堆積厚（水位下降側）



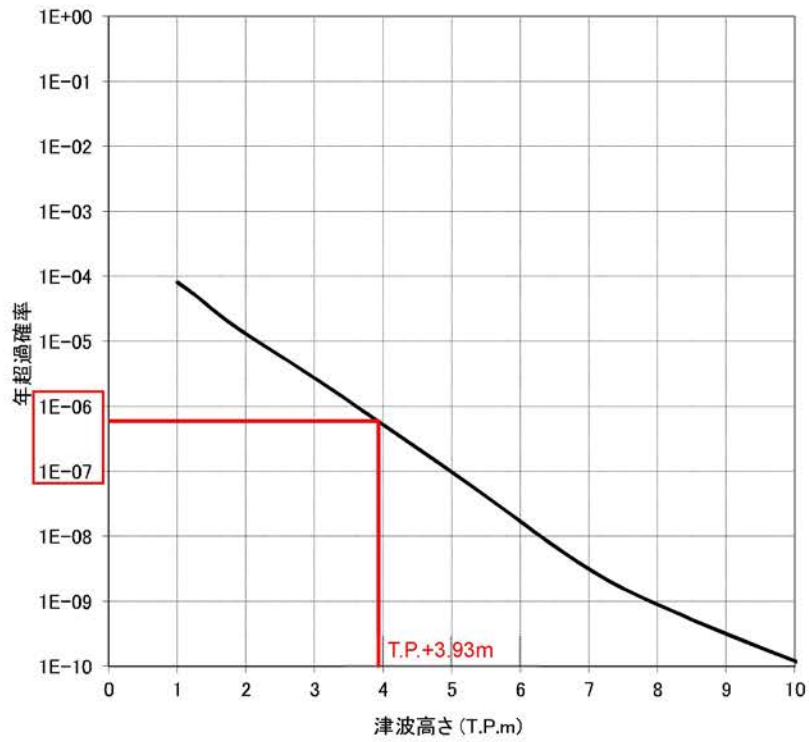
第1.2-14図 ロジックツリー(海域活断層による地殻内地震)



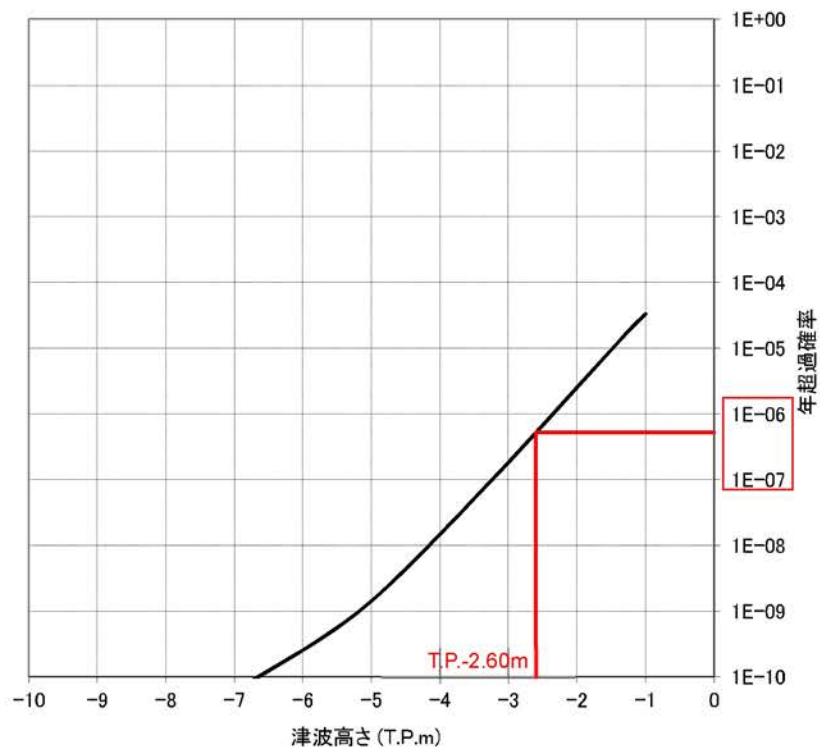
第1.2-15図(1) 基準津波の策定位置における水位と年超過確率の関係(水位上昇側)



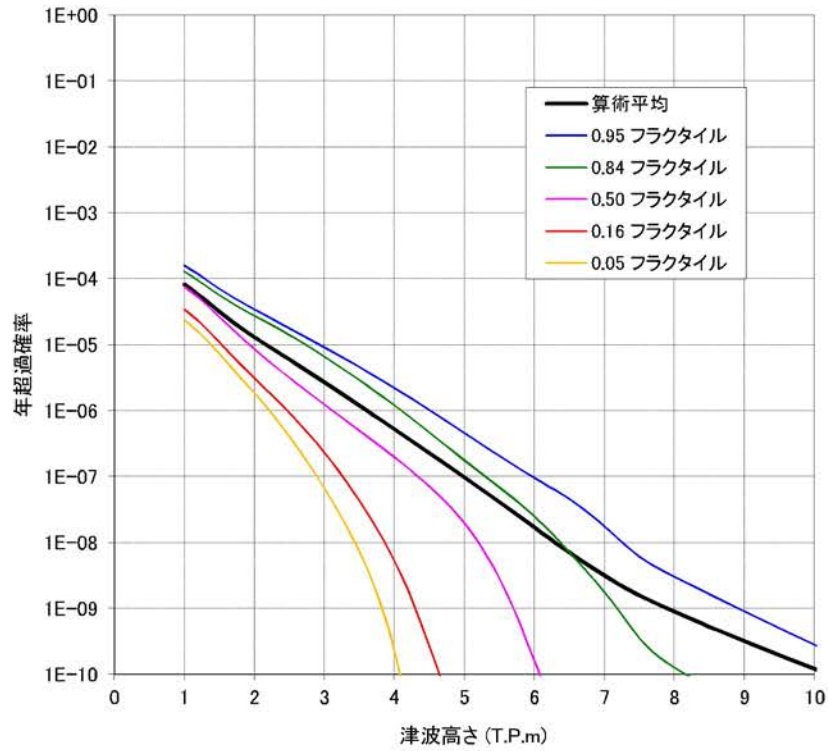
第1.2-15図(2) 基準津波の策定位置における水位と年超過確率の関係(水位下降側)



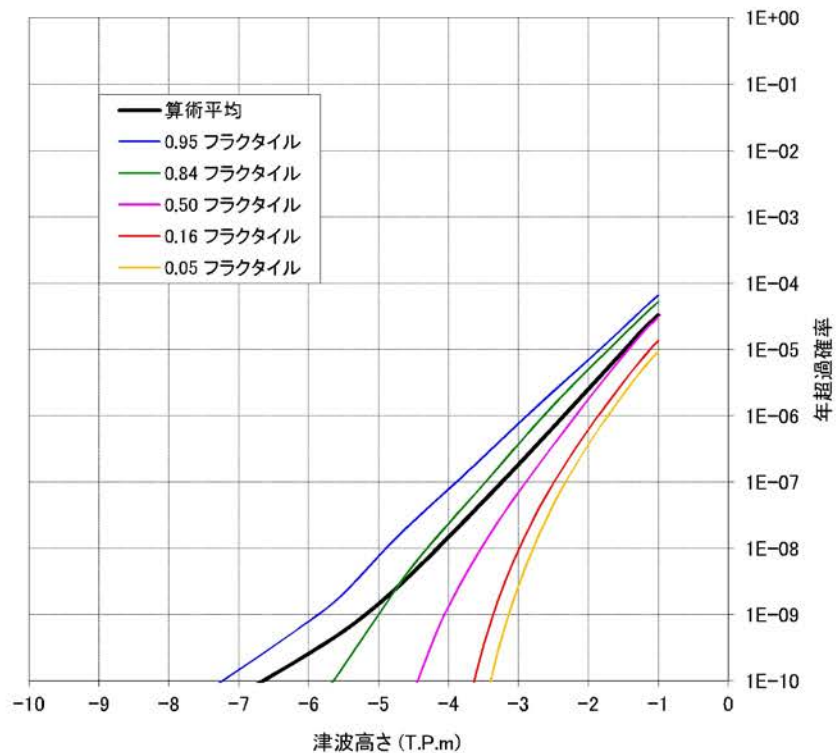
第1.2-15図(3) 取水ピット前面位置における
水位と年超過確率の関係(水位上昇側)



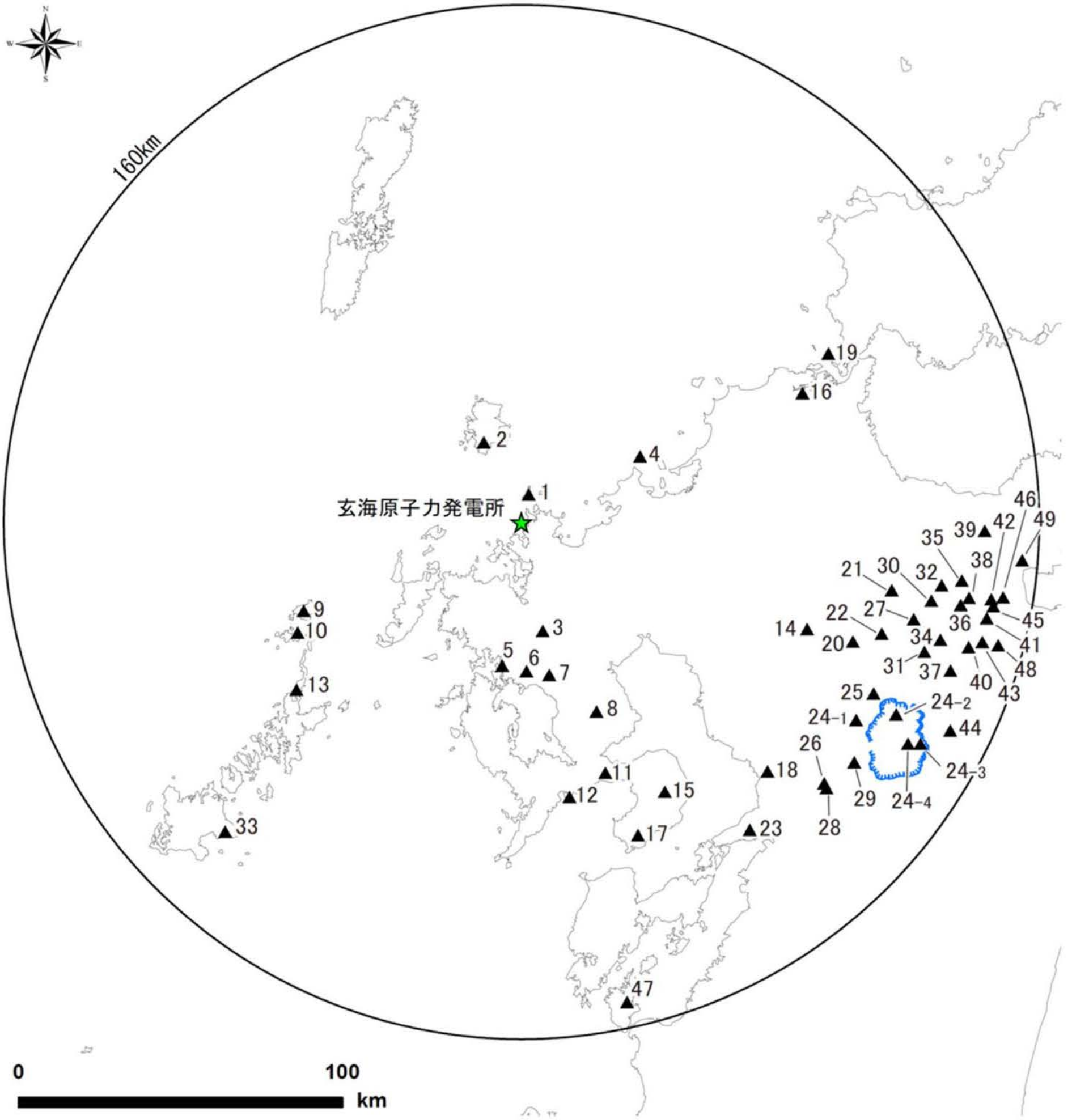
第1.2-15図(4) 取水口位置における
水位と年超過確率の関係(水位下降側)



第1.2-16図(1) 取水ピット前面位置における水位と年超過確率の関係(フラクタイル曲線)(水位上昇側)

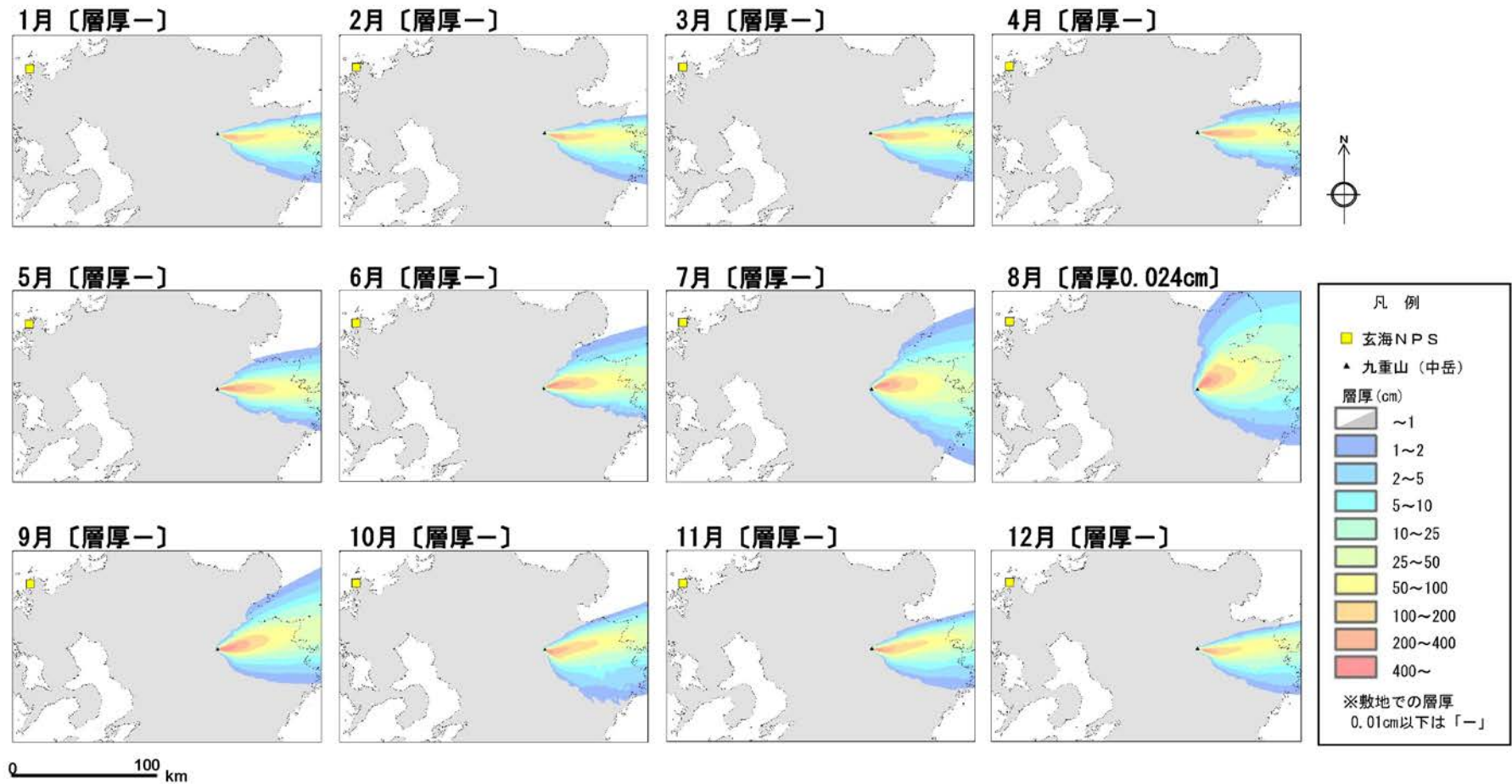


第1.2-16図(2) 取水口位置における水位と年超過確率の関係(フラクタイル曲線)(水位下降側)



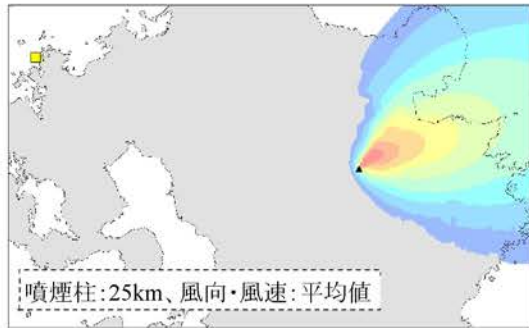
凡例	
▲	検討対象火山 (番号は第1.2-14表に対応)
⬭	カルデラ

第1.2-17図 地理的領域の検討対象火山の位置

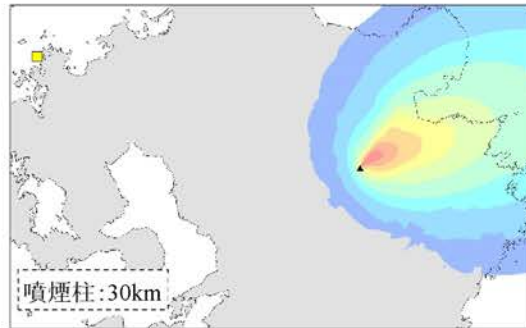


第1.2-18図(1) 九重第1噴火の数値シミュレーション結果

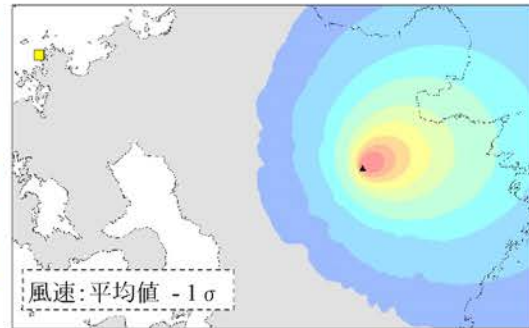
基本ケース [層厚0.024cm]



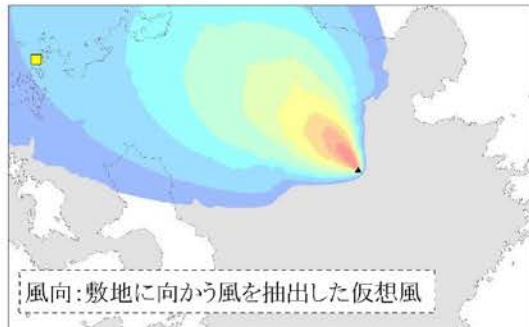
噴煙柱高さの不確かさ① [層厚0.081cm]



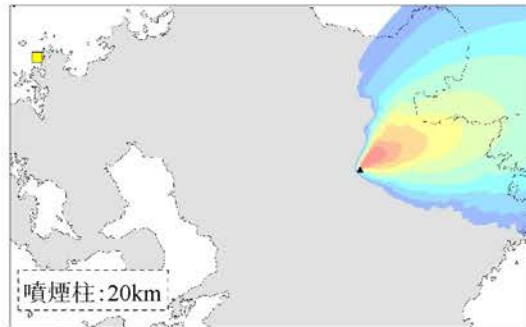
風速の不確かさ① [層厚0.15cm]



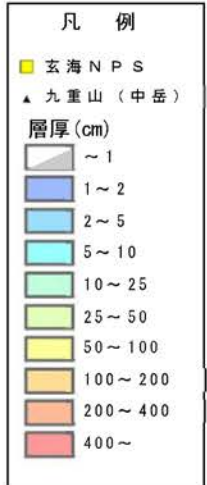
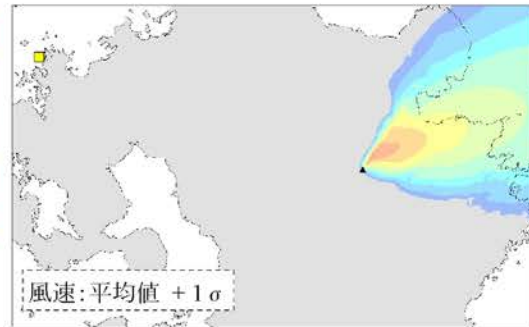
風向の不確かさ [層厚2.2cm]



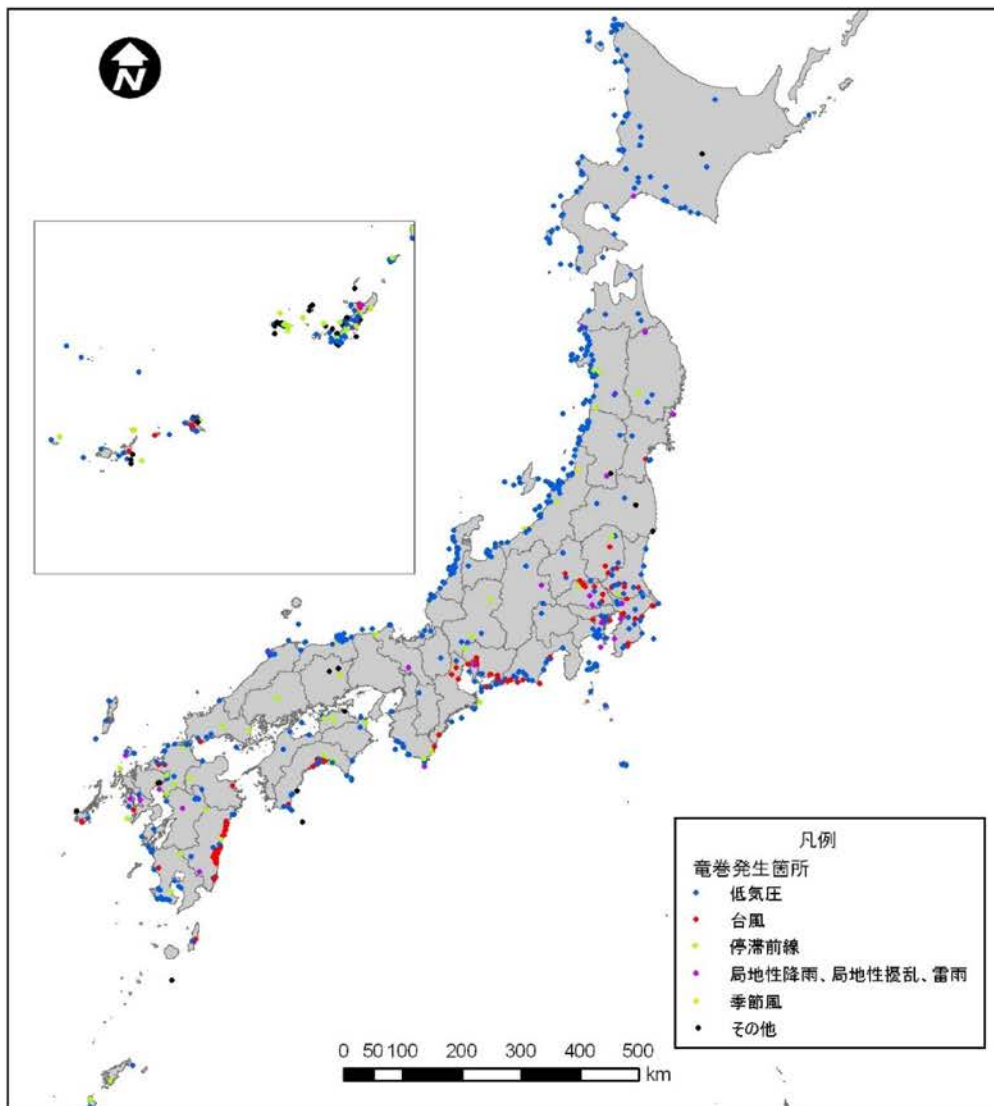
噴煙柱高さの不確かさ② [層厚0.024cm]



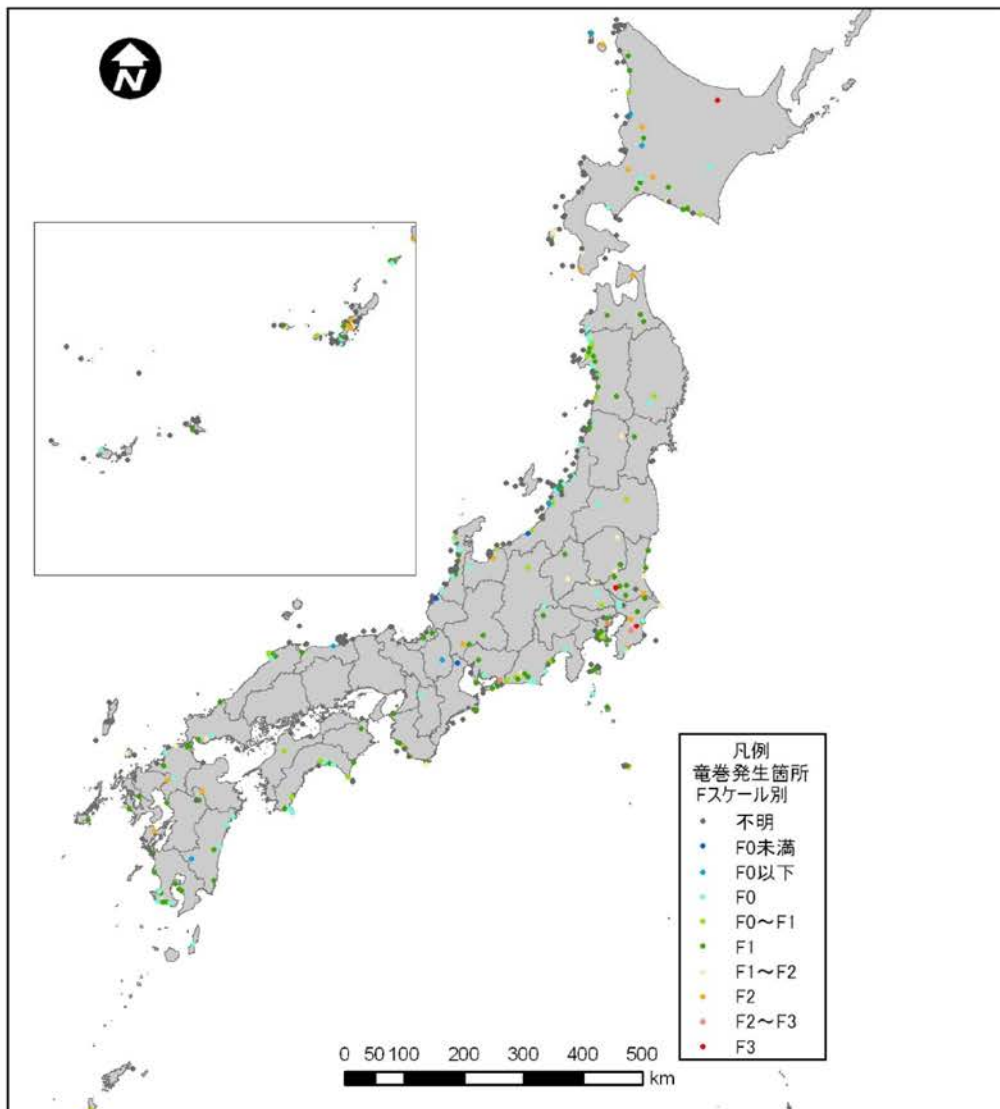
風速の不確かさ② [層厚0.0044cm]



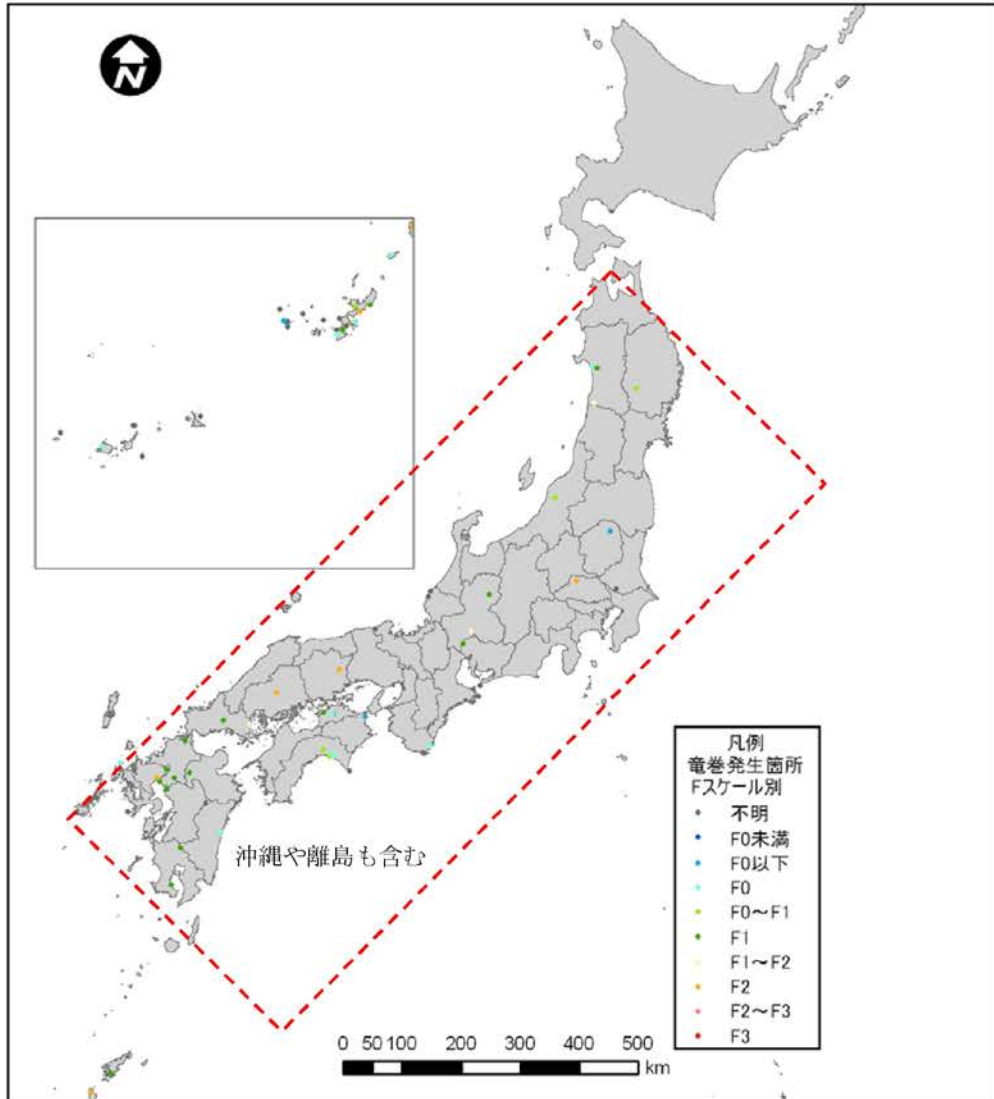
第1.2-18図(2) 数値シミュレーション結果(不確かさの考慮)



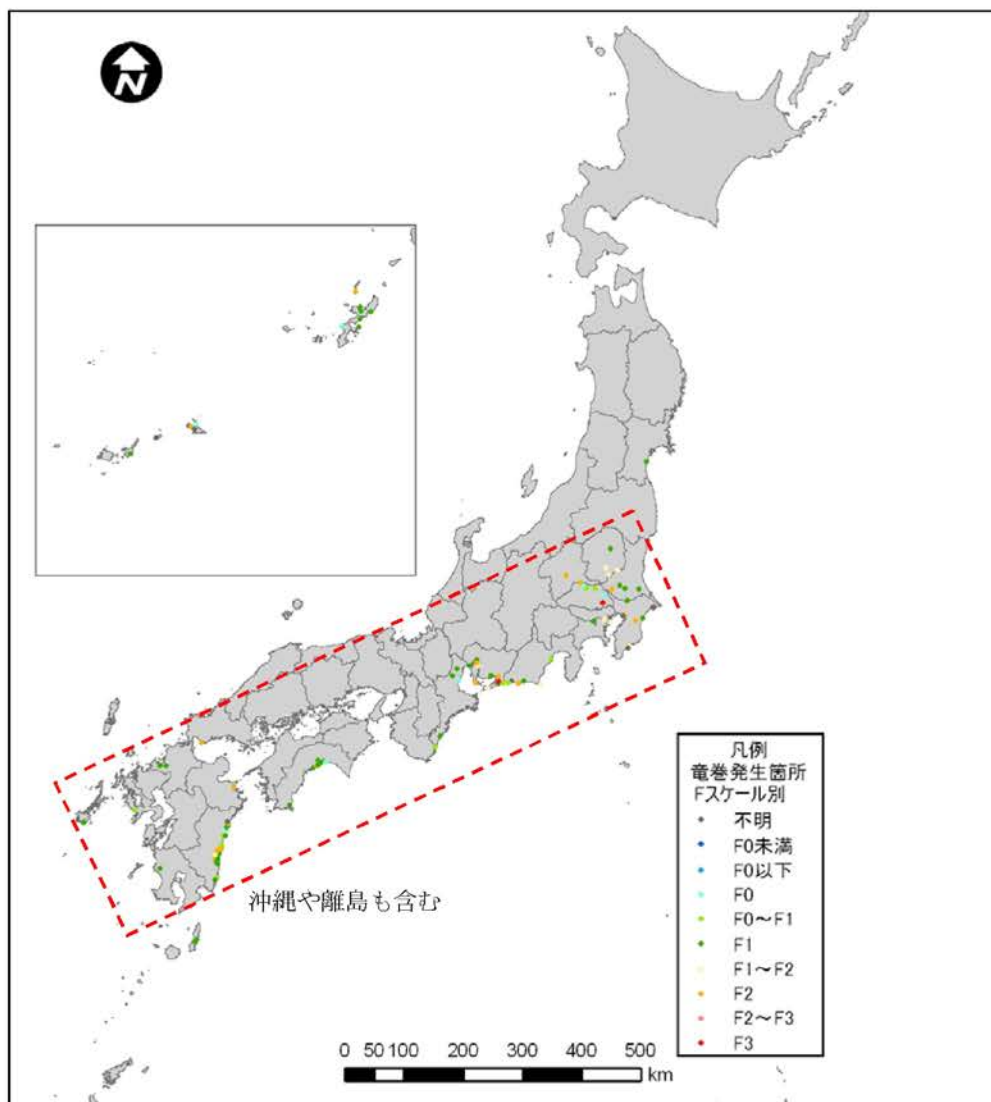
第1.2-19図 気象要因別の竜巻発生位置



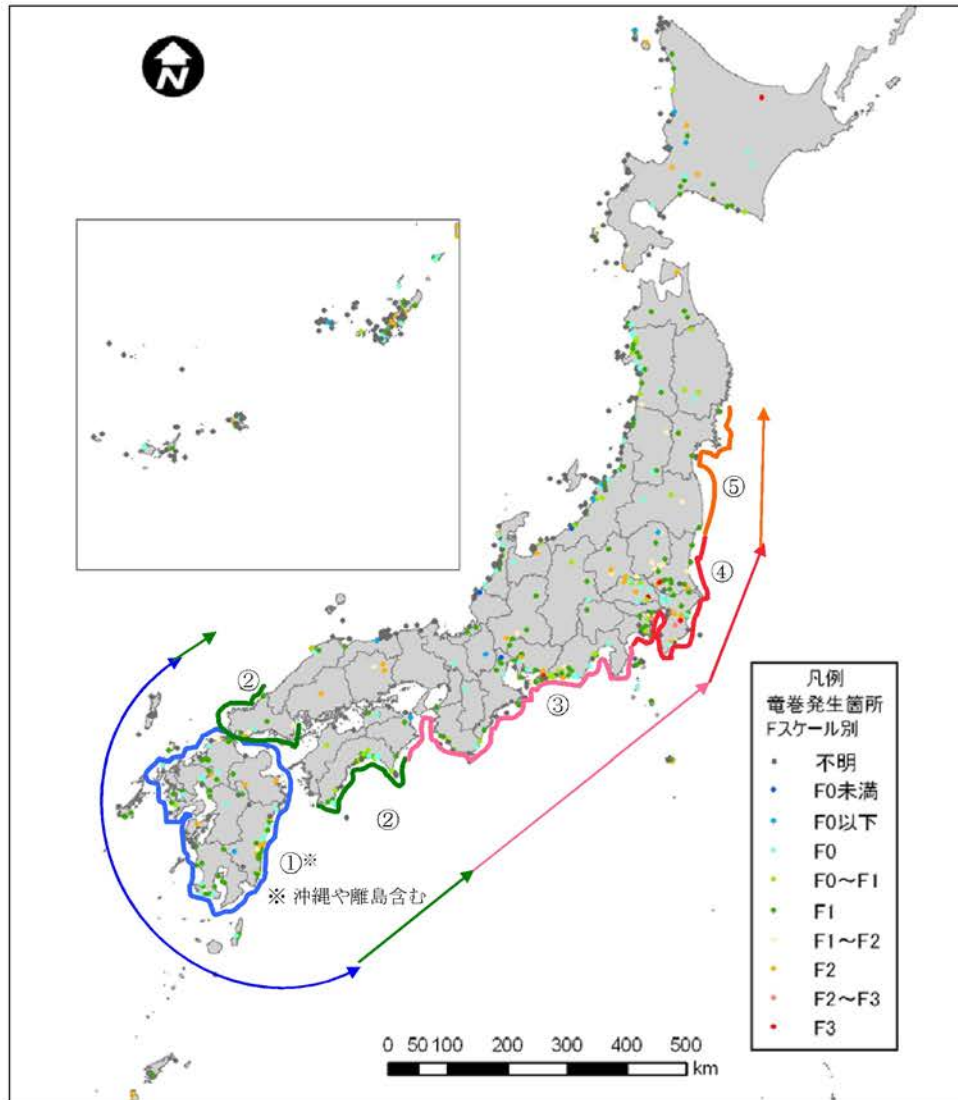
第1.2-20図 竜巻発生位置(低気圧起因)



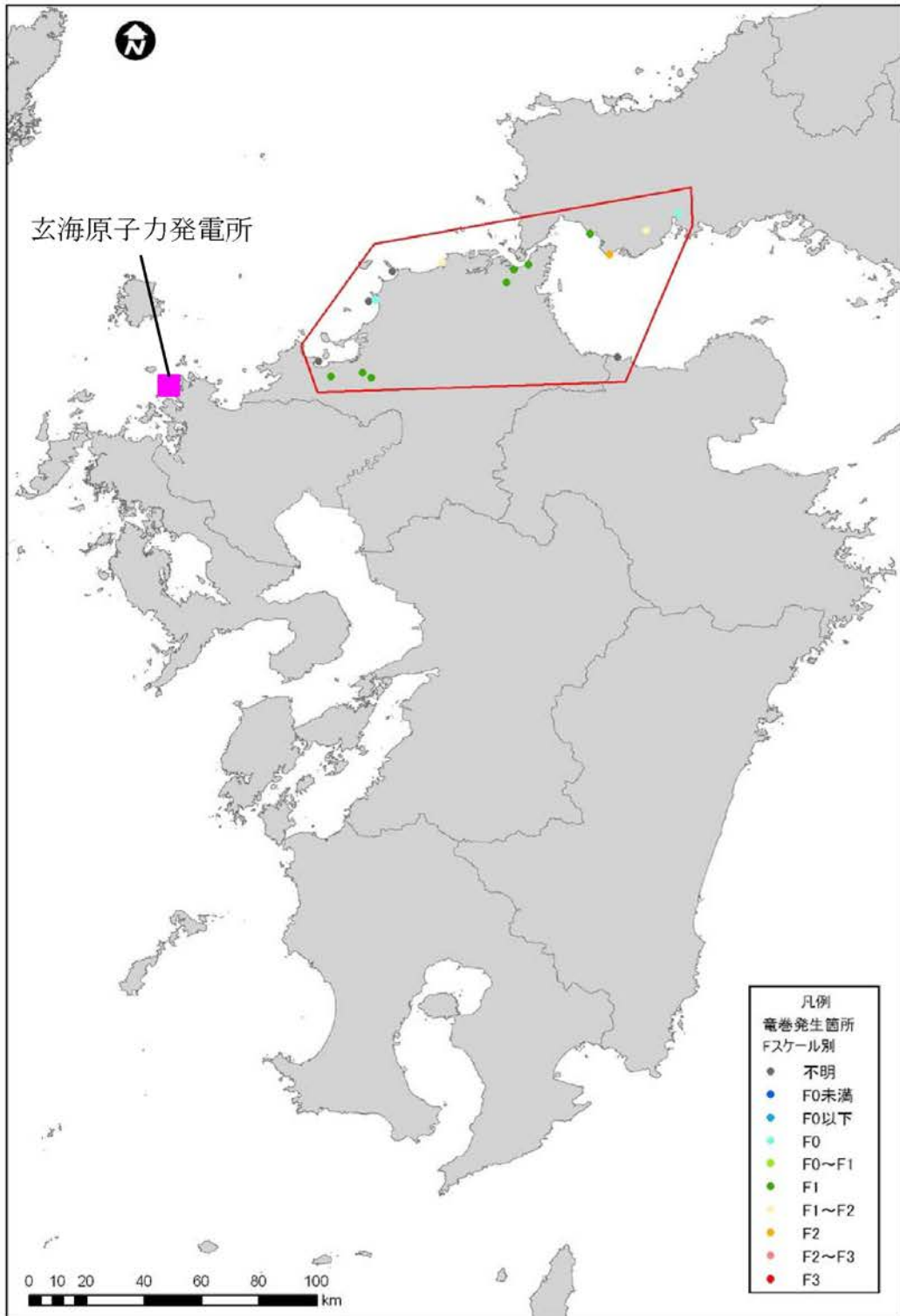
第1.2-21図 竜巻発生位置(停滞前線起因)



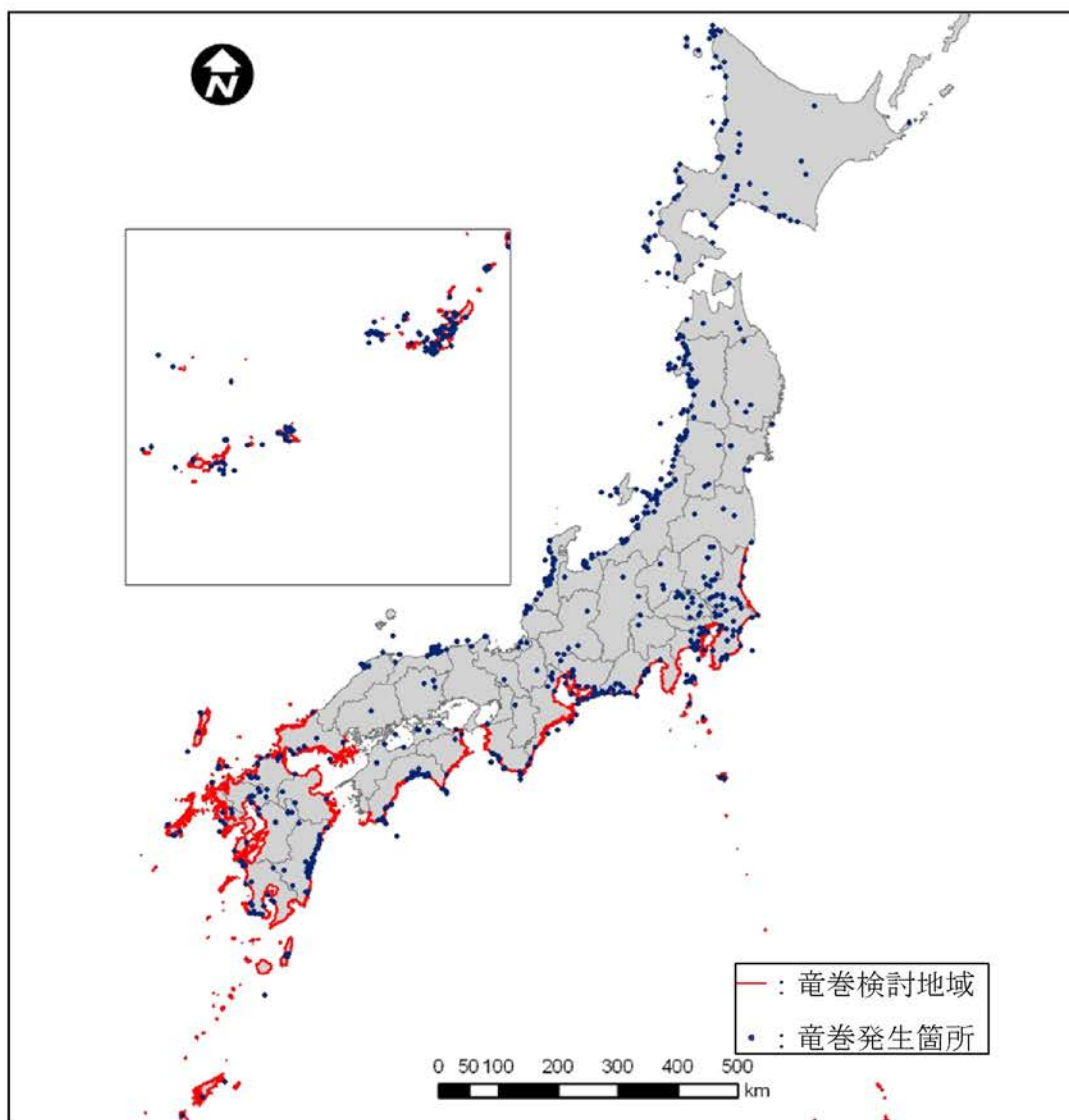
第1.2-22図 竜巻発生位置(台風起因)



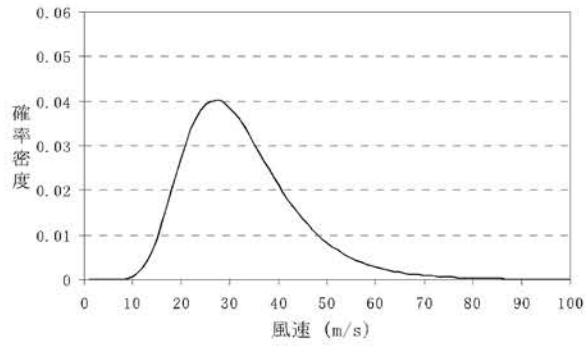
第1.2-23図 Fスケール別の竜巻発生位置



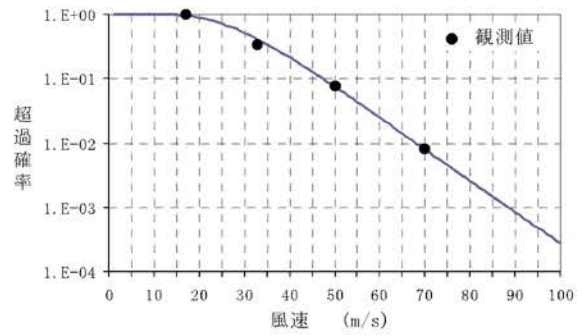
第1.2-24図 集中地域⑧におけるFスケール別竜巻発生位置



第1.2-25図 竜巻検討地域

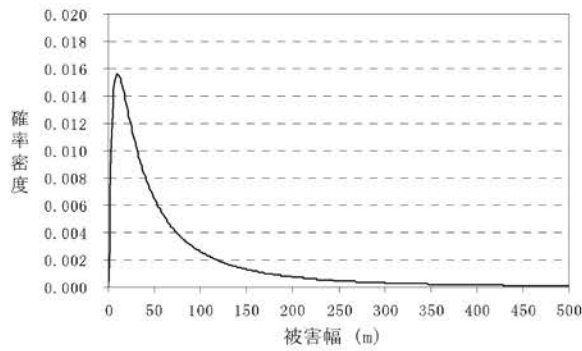


確率密度分布

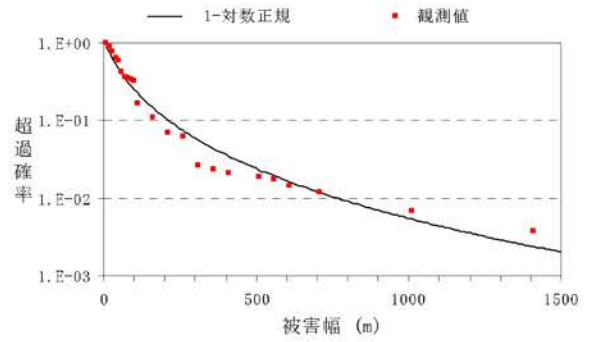


超過確率

第1.2-26図 風速の確率密度分布と超過確率

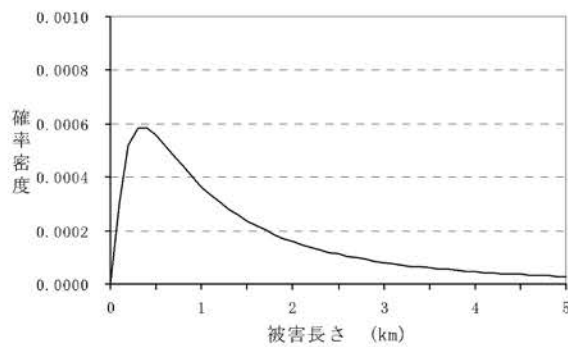


確率密度分布

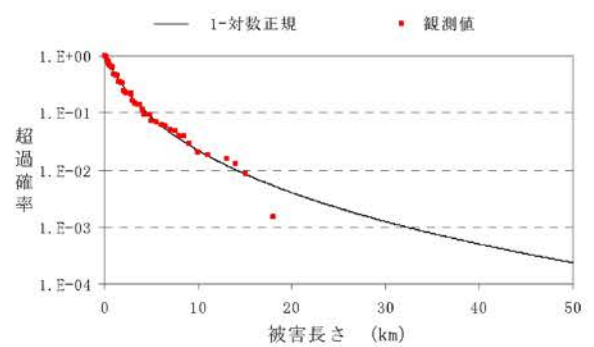


超過確率

第1.2-27図 被害幅の確率密度分布と超過確率

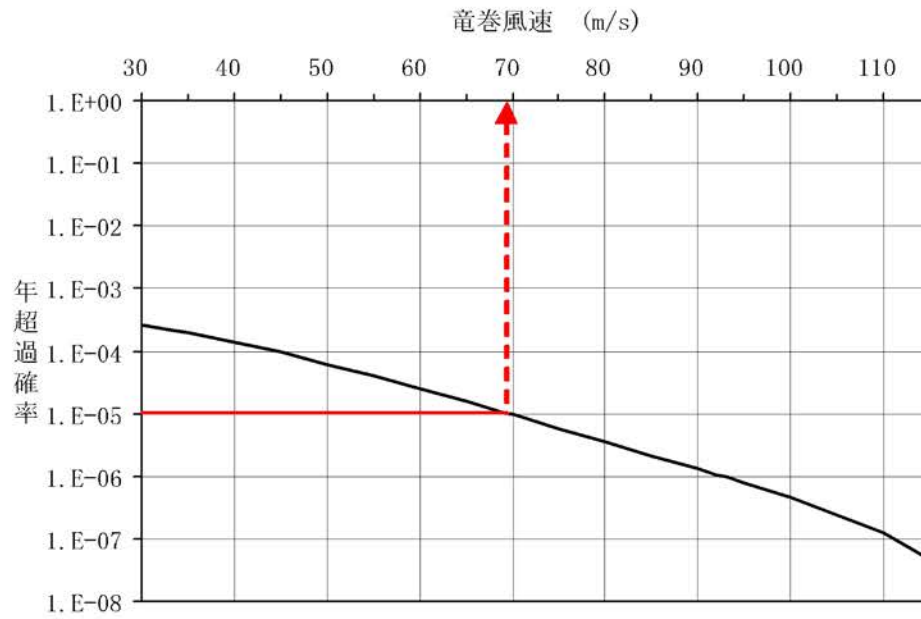


確率密度分布

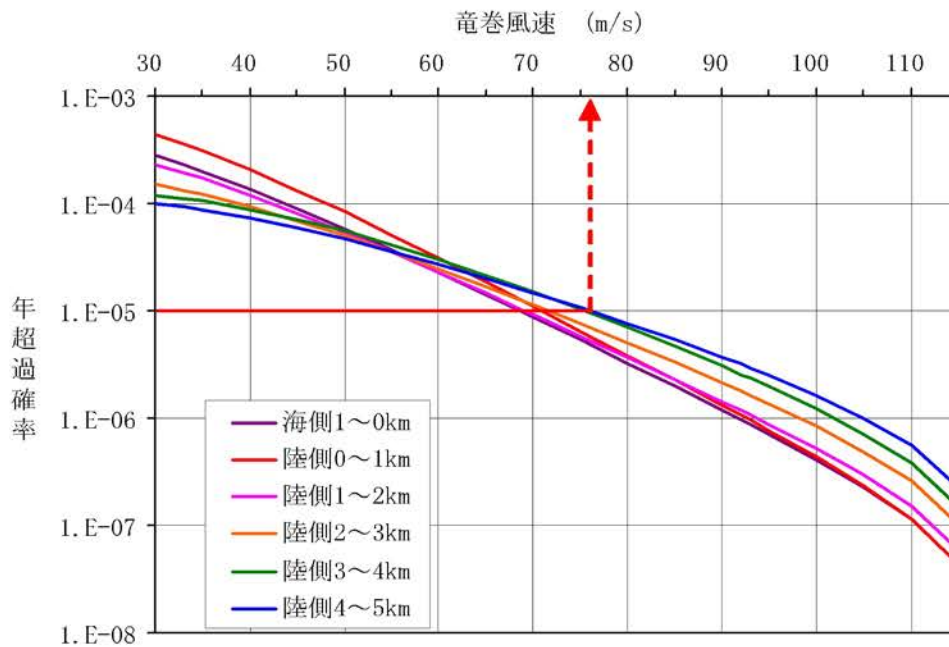


超過確率

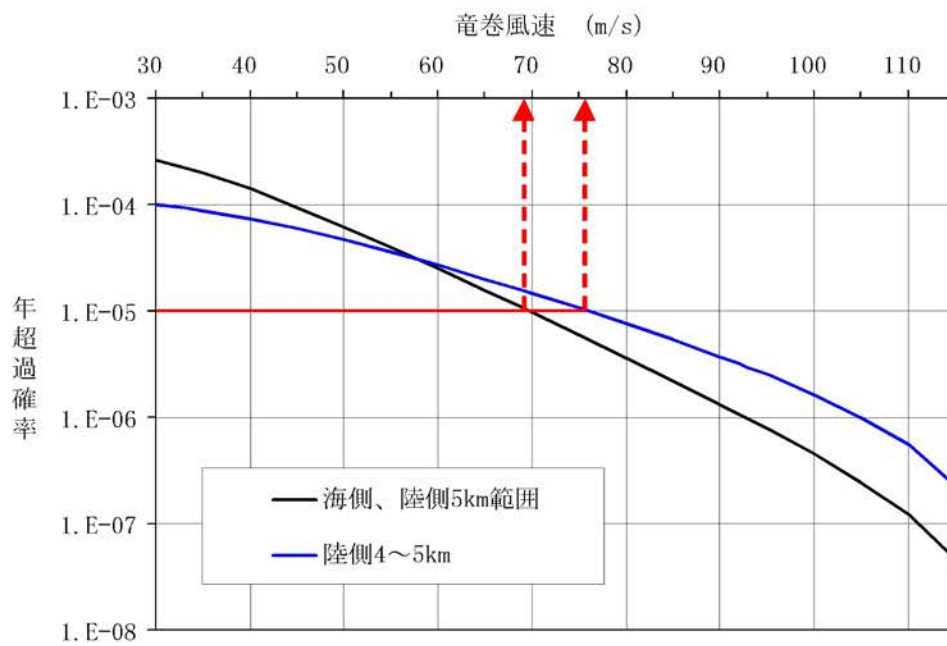
第1.2-28図 被害長さの確率密度分布と超過確率



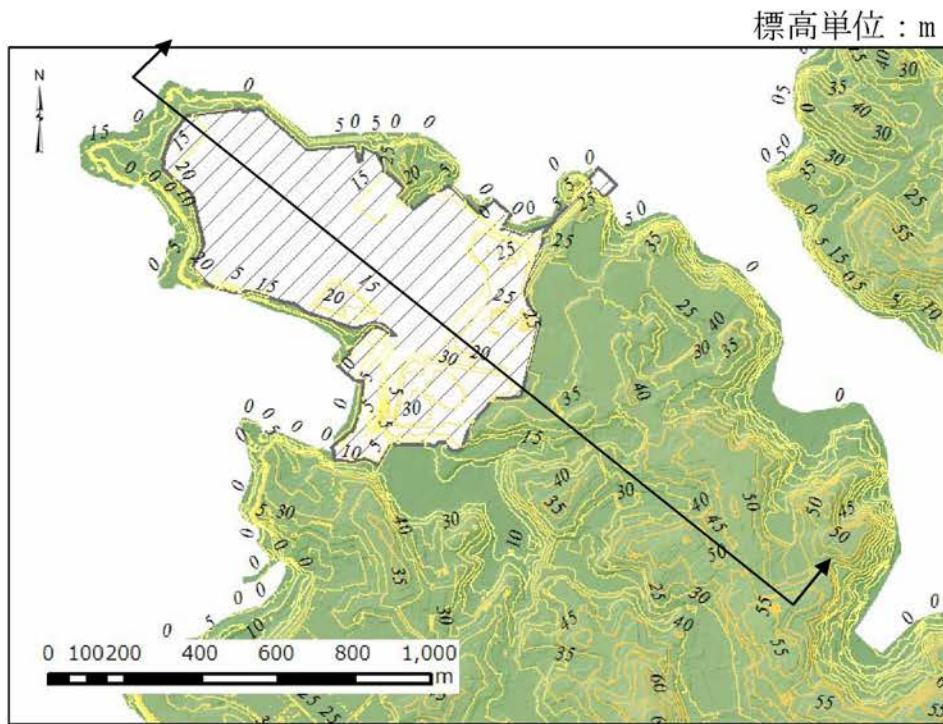
第1.2-30図 竜巻最大風速のハザード曲線(海側、陸側5km範囲)



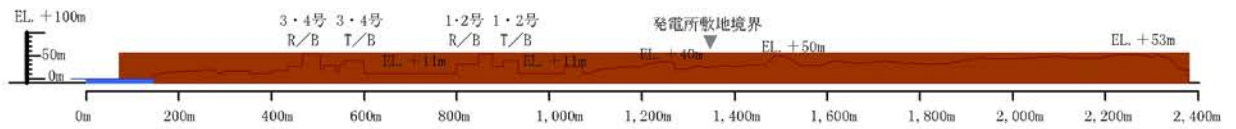
第1.2-31図 竜巻最大風速のハザード曲線(1km範囲)



第1.2-32図 竜巻最大風速のハザード曲線

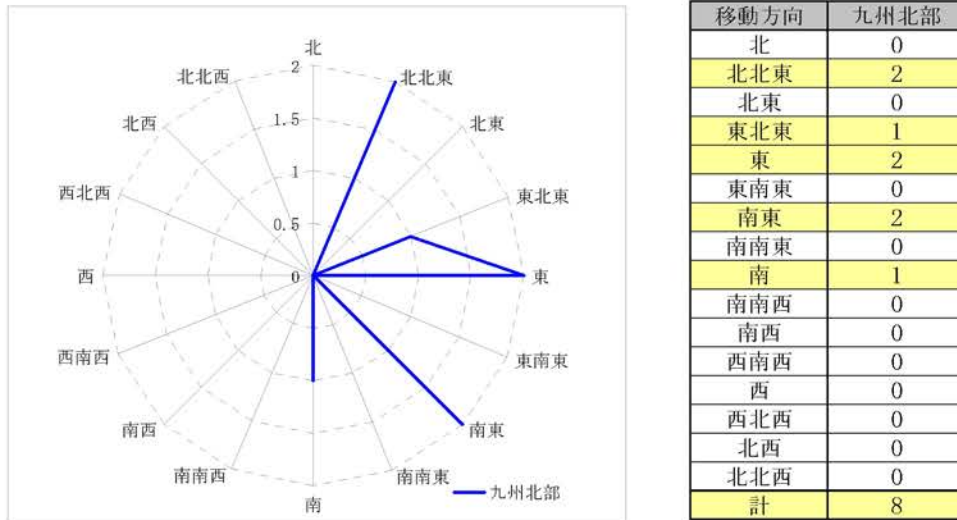


発電所周辺平面図



発電所周辺断面図

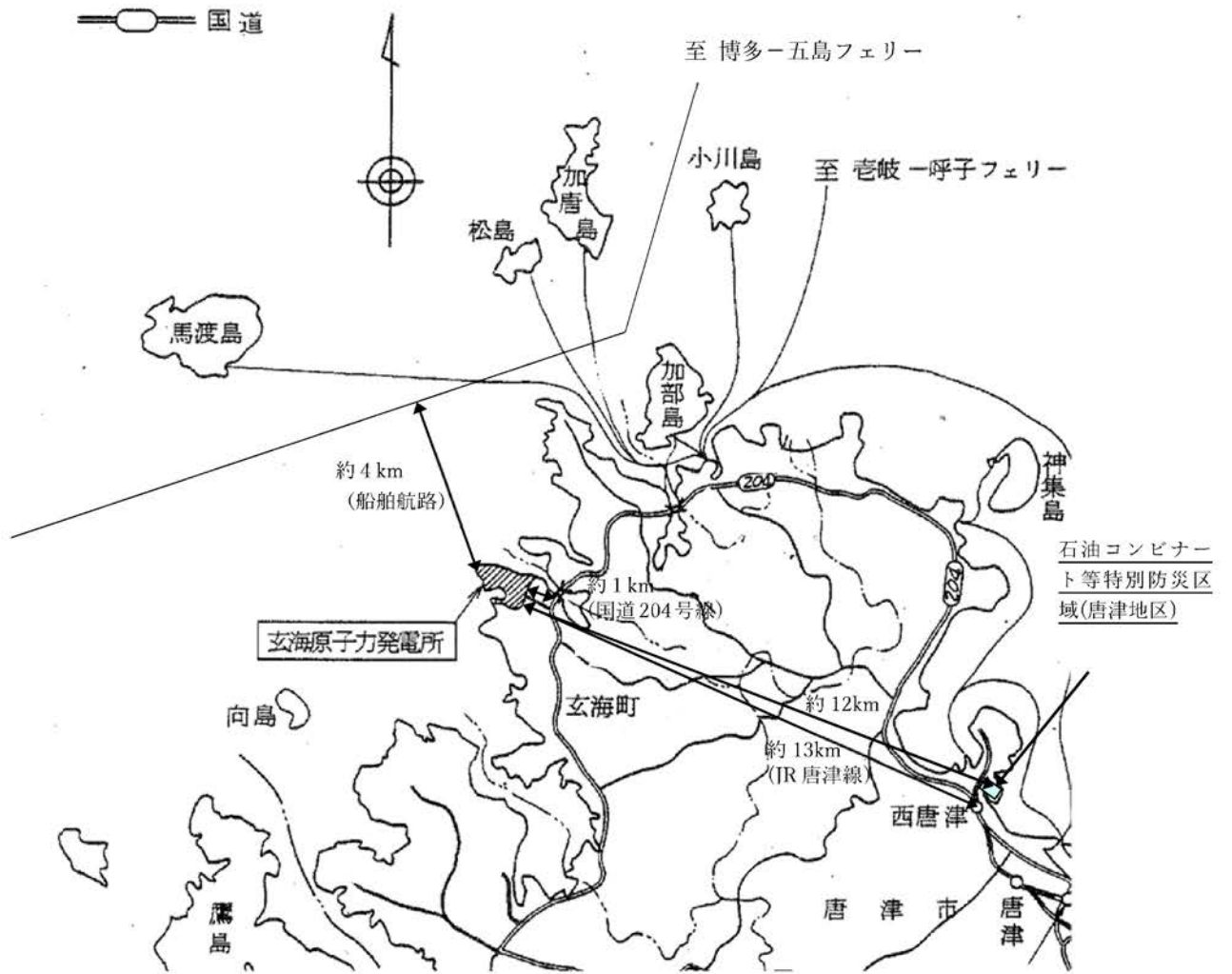
第1.2-33図 玄海原子力発電所敷地周辺の地形



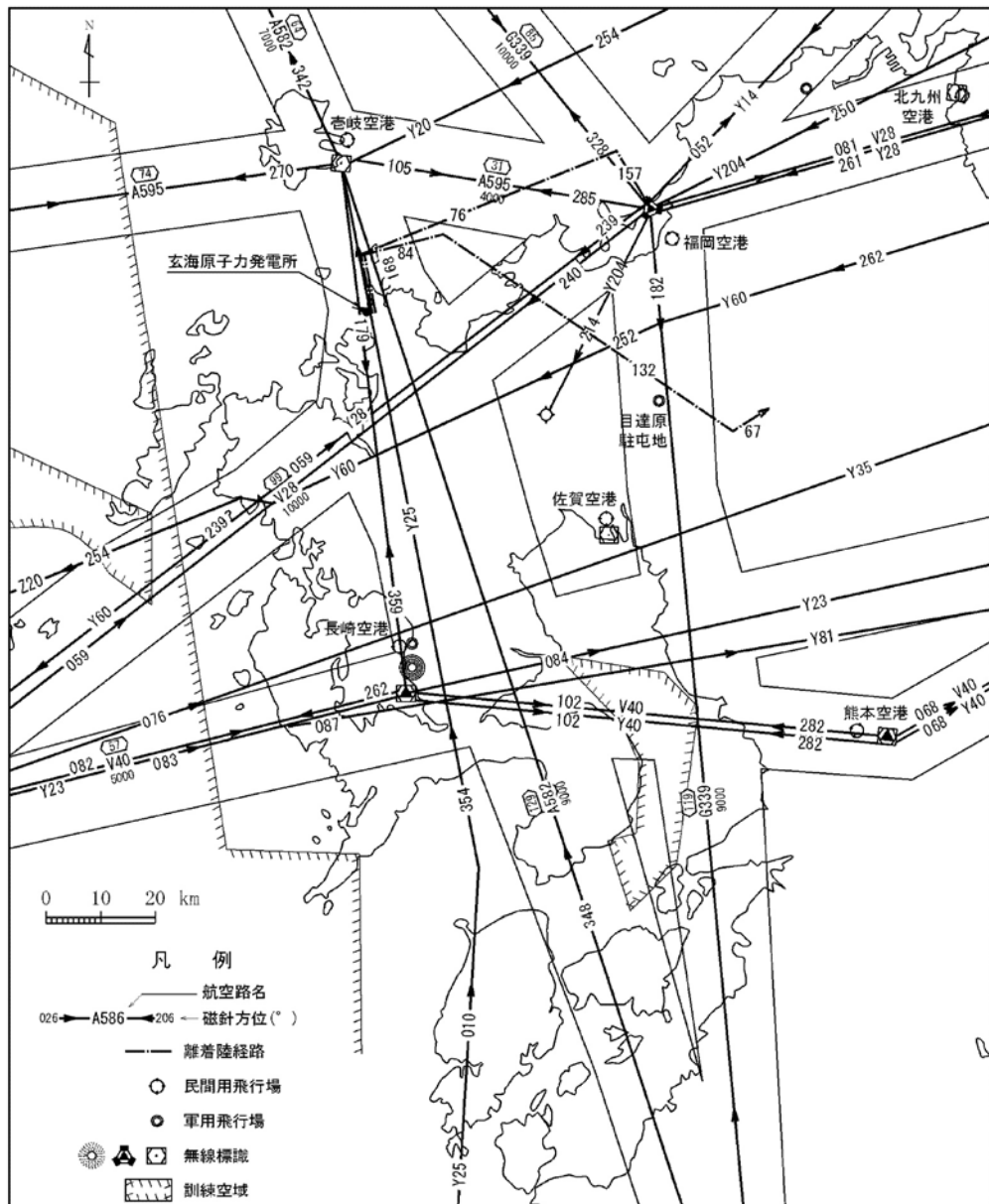
第1.2-34図 九州北部で過去に発生した竜巻の移動方向



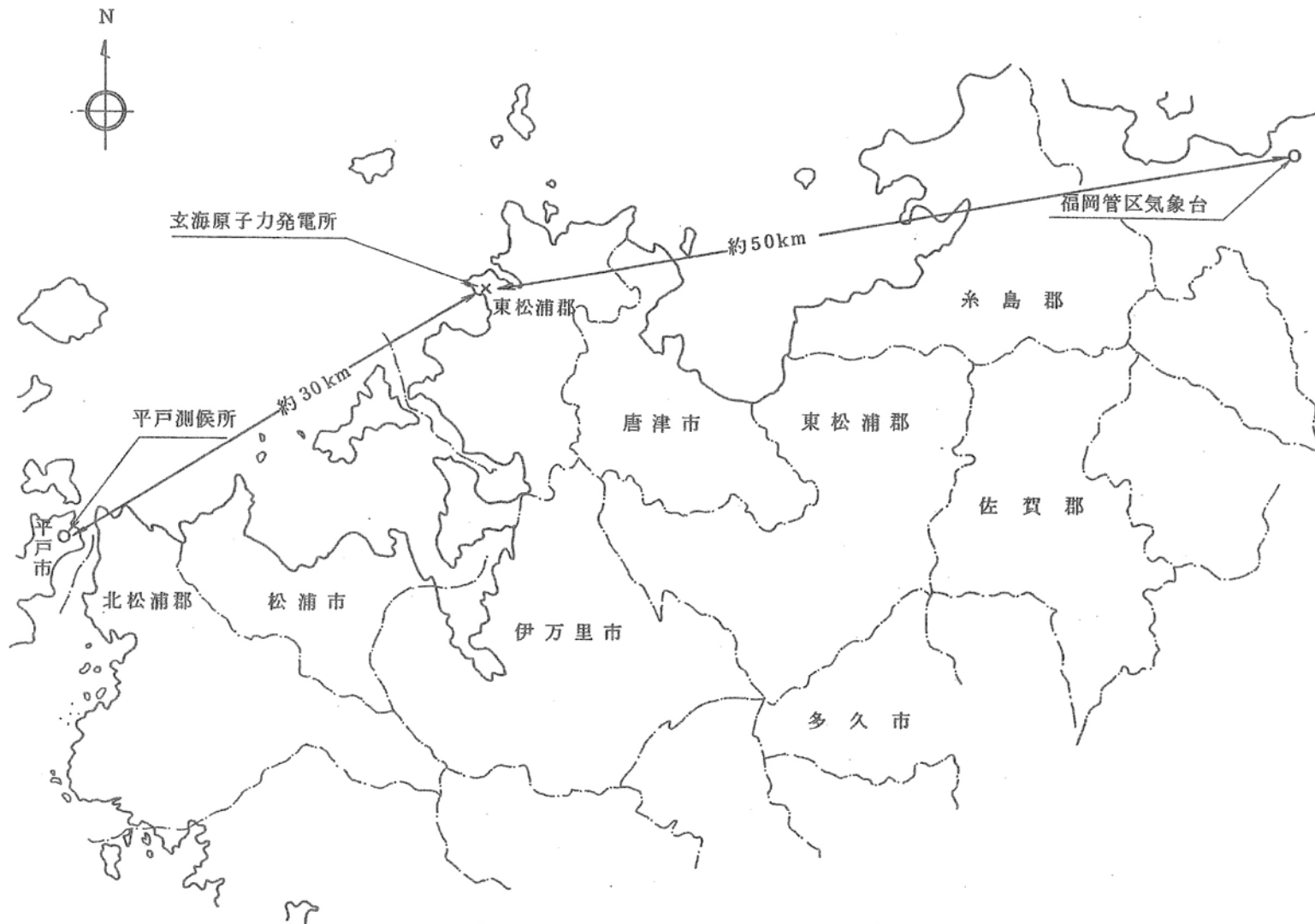
第1.2-35図 玄海原子力発電所の位置と竜巻の移動方向



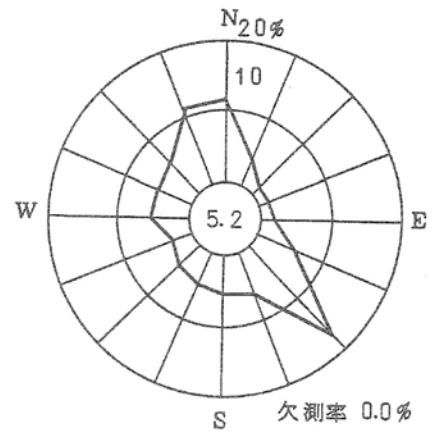
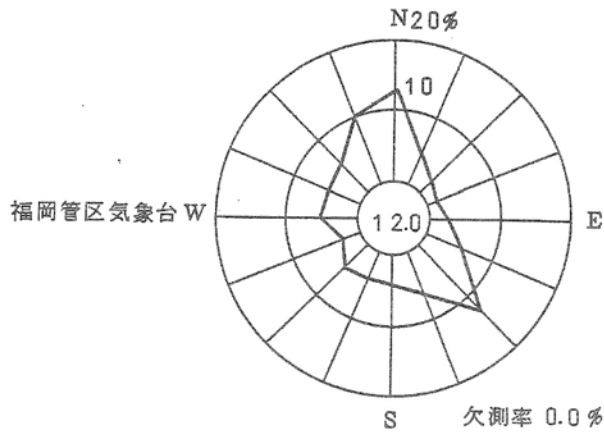
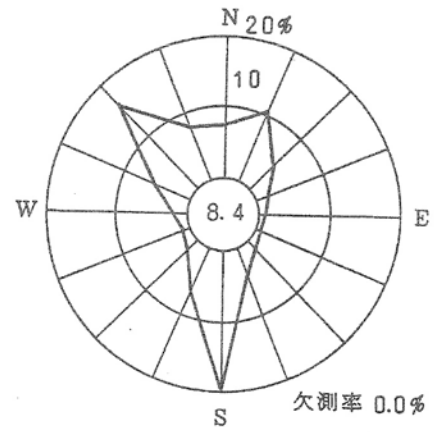
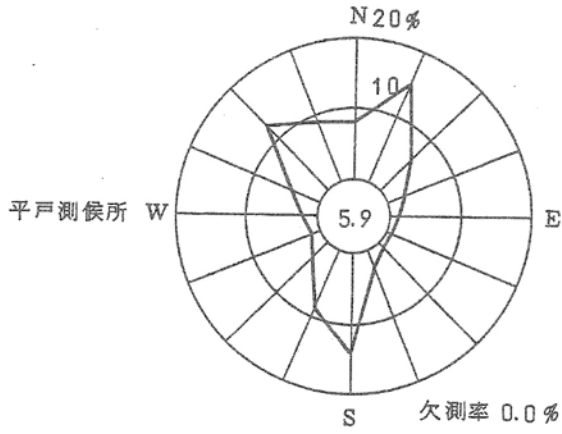
第1.2-36図 鉄道、主要道路及び海上航路



第1.2-37図 発電所上空一帯の航空路



第1.2-38図 気象官署の位置図

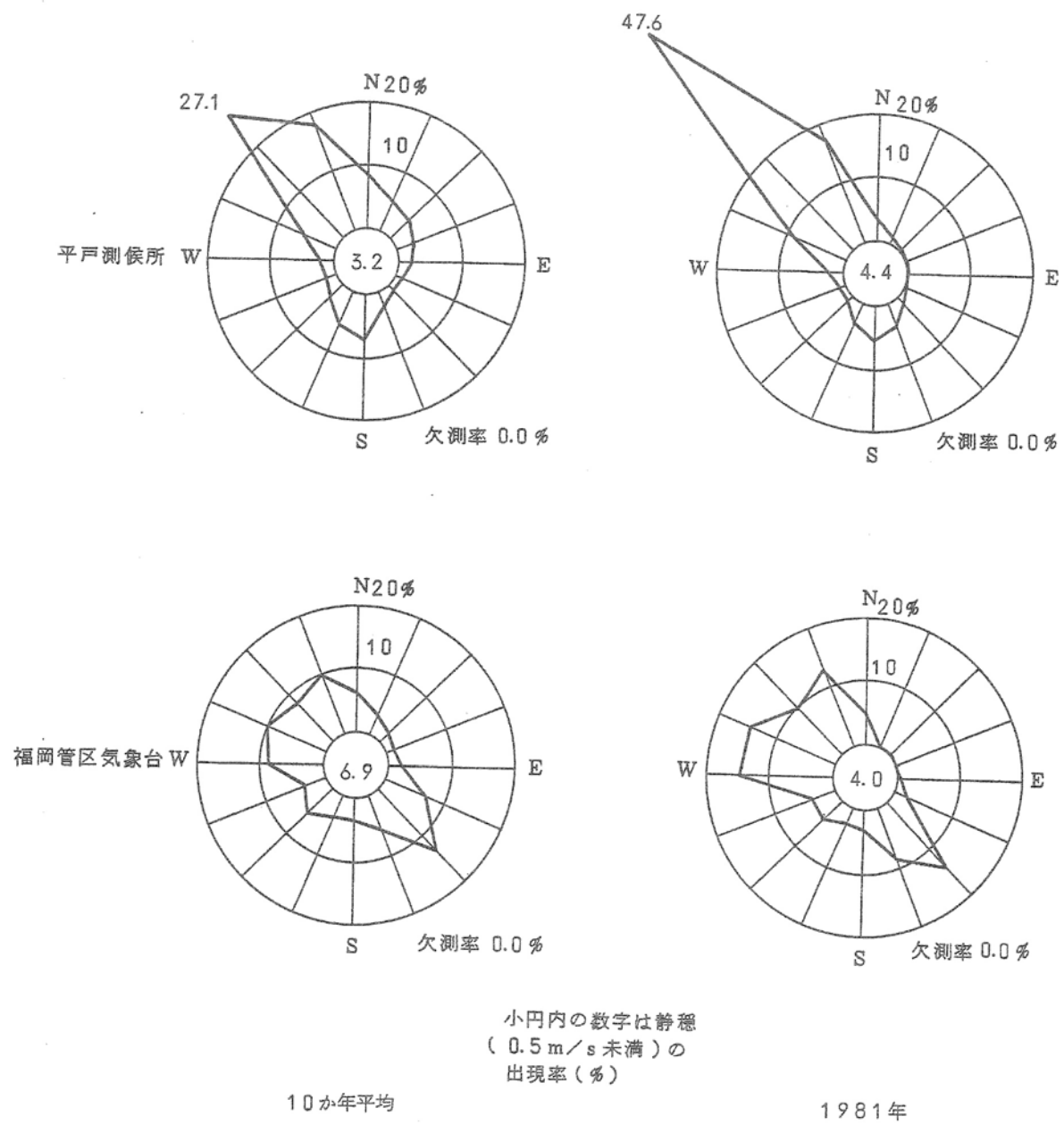


小円内の数字は静穏
(0.5 m/s未滿)の
出現率(%)

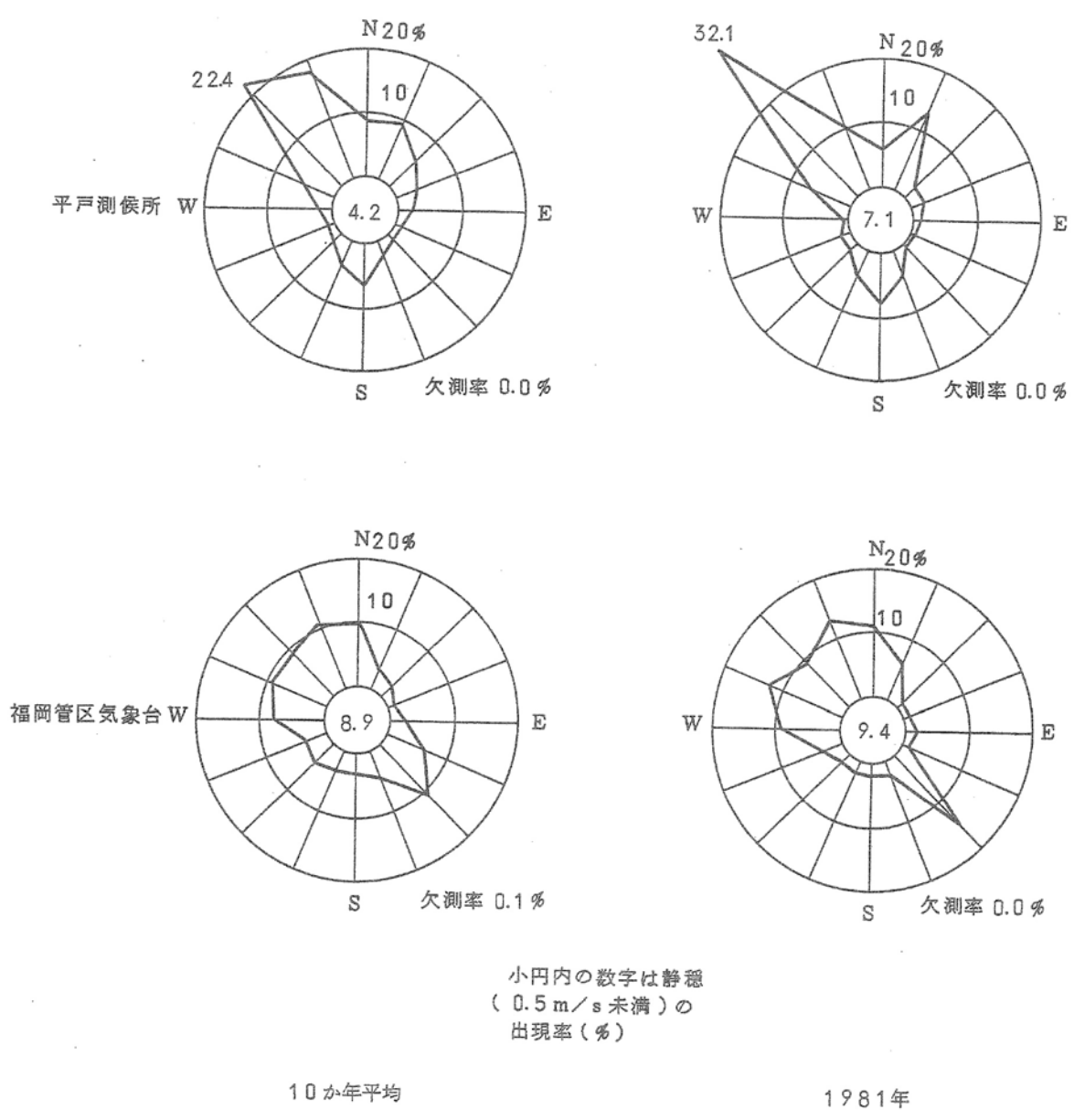
統計期間 10年
(1971年1月~1980年12月)

統計期間 1年
(1981年1月~1981年12月)

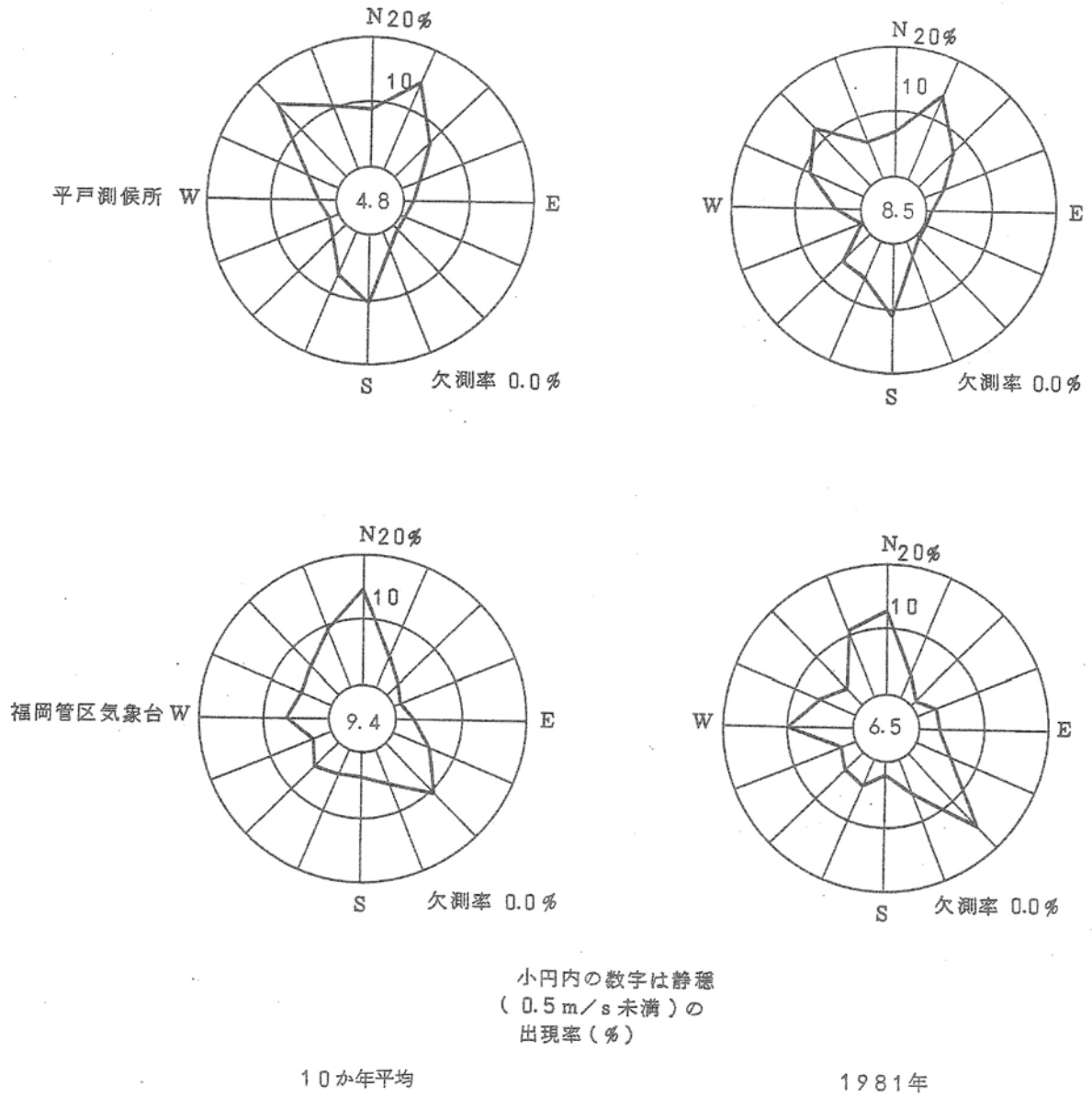
第1.2-39図 気象官署の風配図(全年)



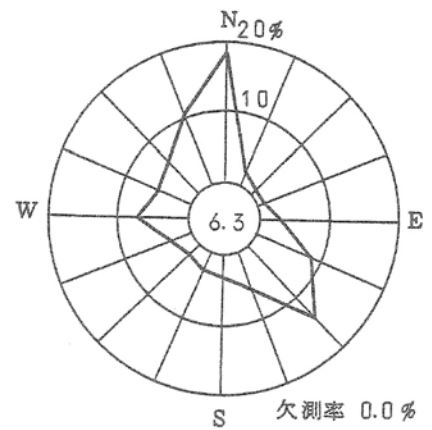
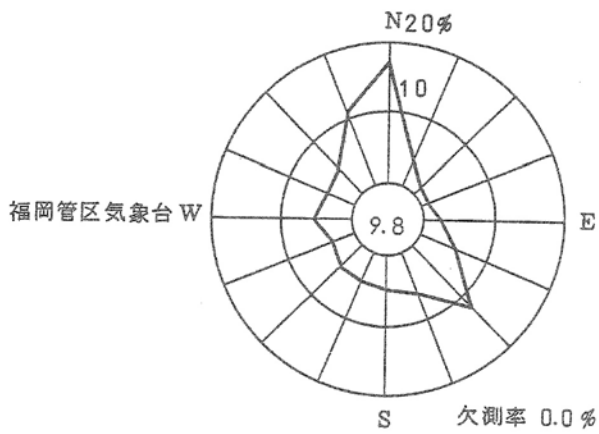
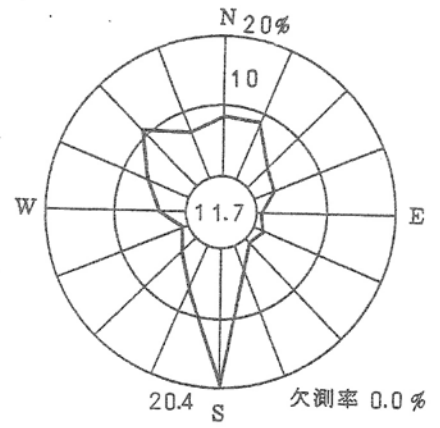
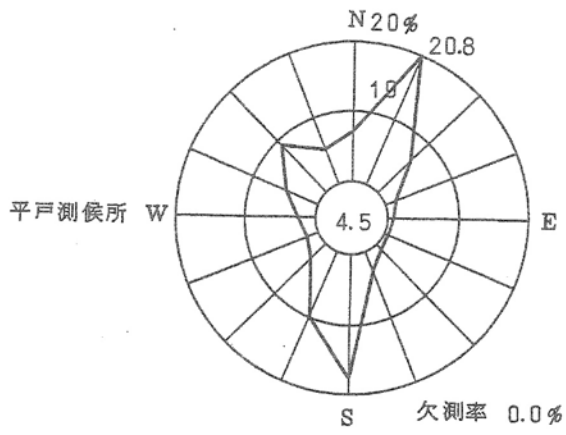
第1.2-40図(1) 気象官署の風配図(1月)



第1.2-40図(2) 気象官署の風配図(2月)



第1.2-40図(3) 気象官署の風配図(3月)

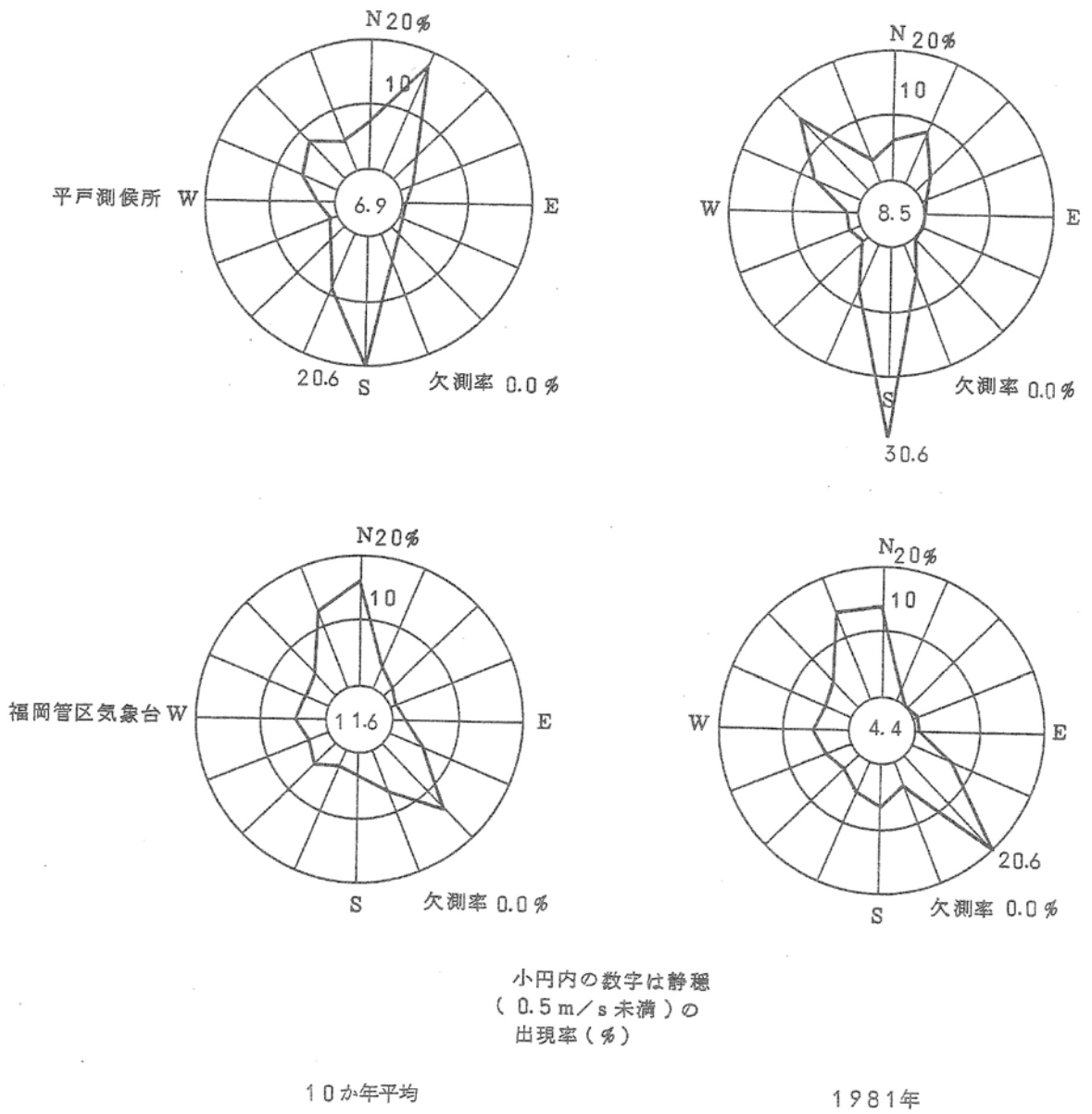


小円内の数字は静穏
(0.5 m/s 未満)の
出現率(%)

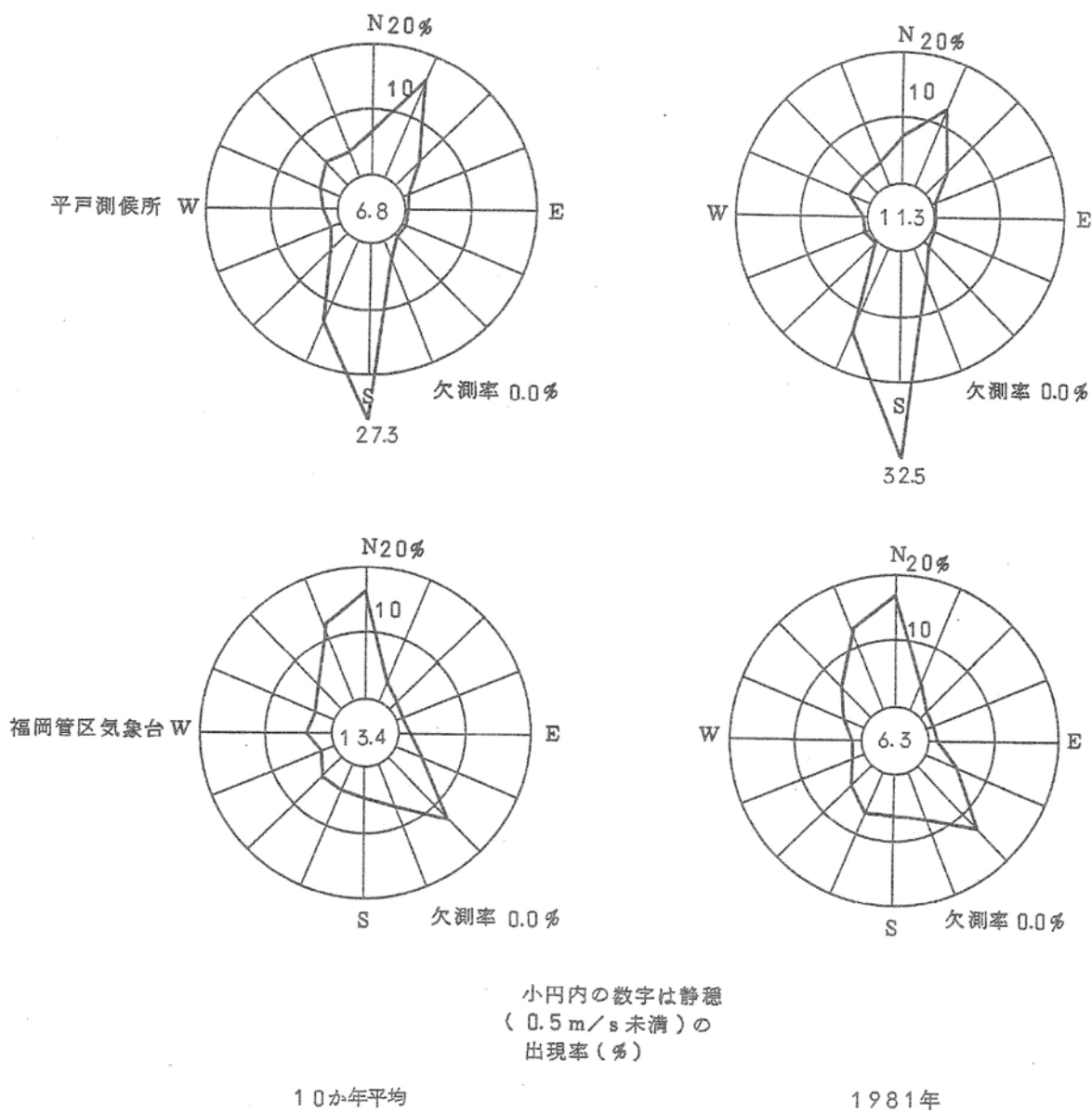
10か年平均

1981年

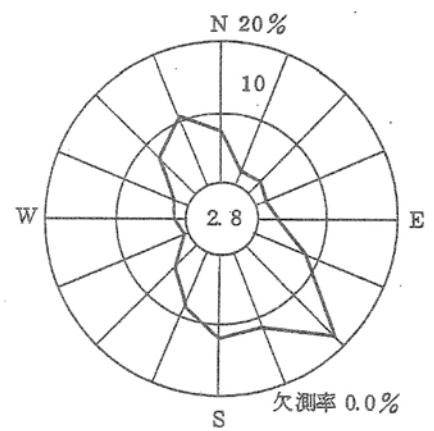
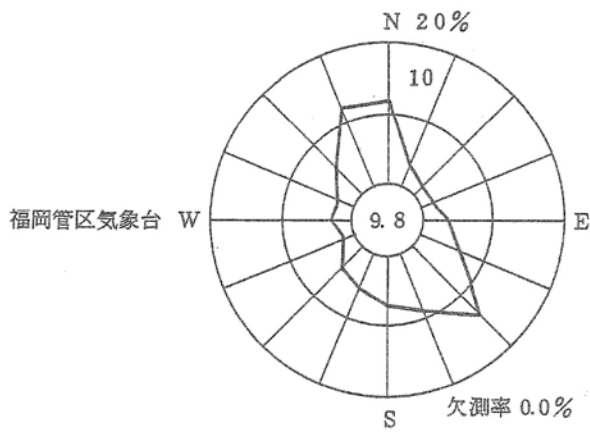
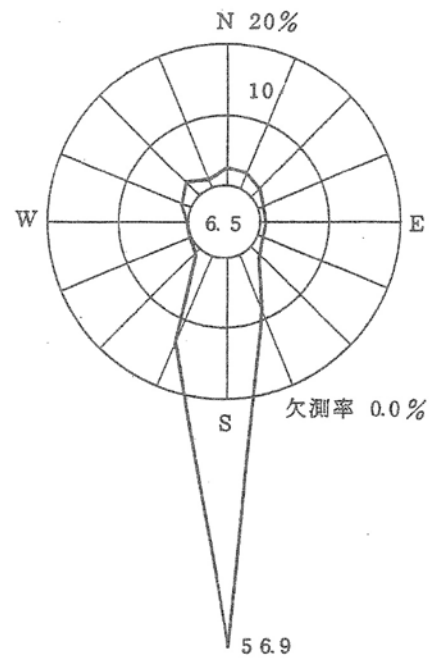
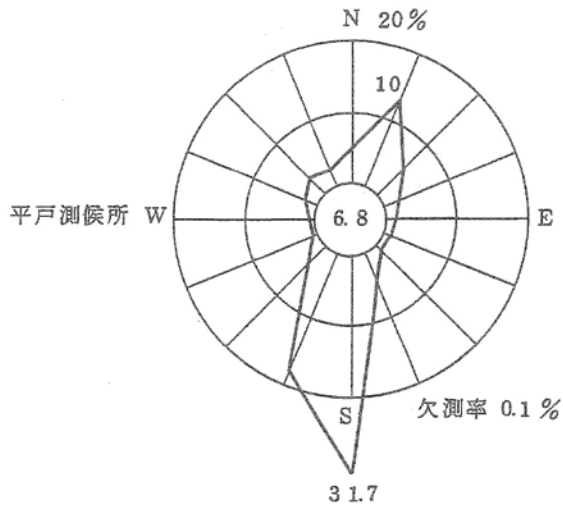
第1.2-40図(4) 気象官署の風配図(4月)



第1.2-40図(5) 気象官署の風配図(5月)



第1.2-40図(6) 気象官署の風配図(6月)

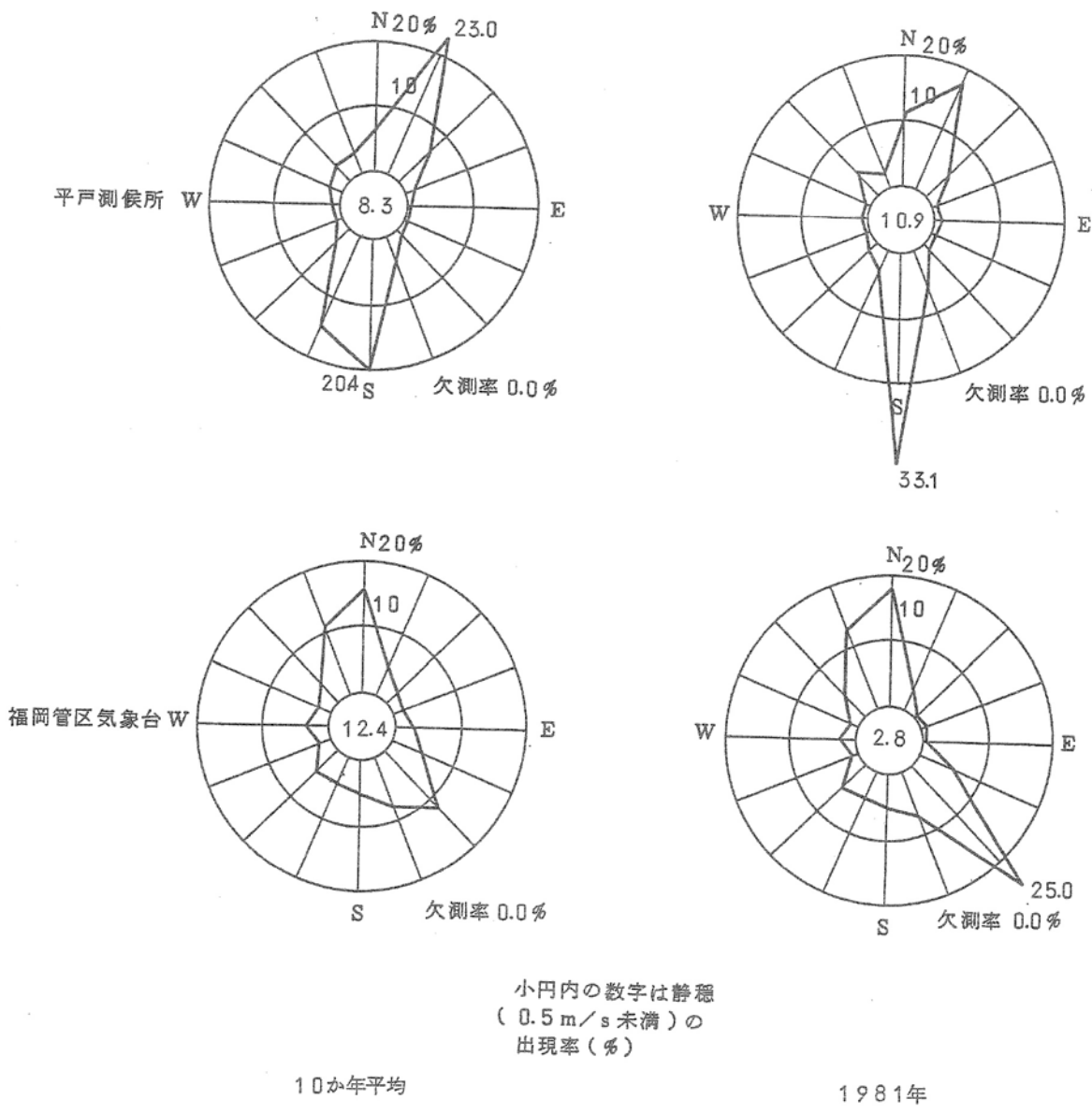


小円内の数字は静穏
(0.5m/s未満)の
出現率(%)

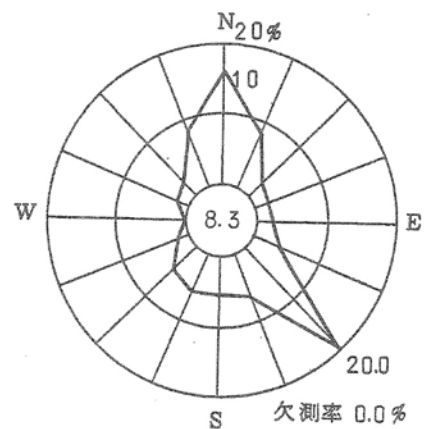
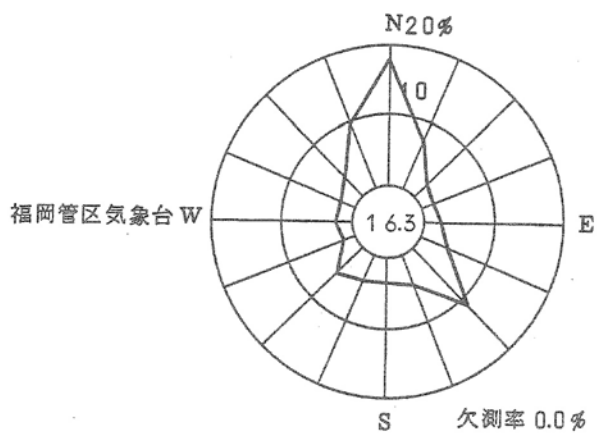
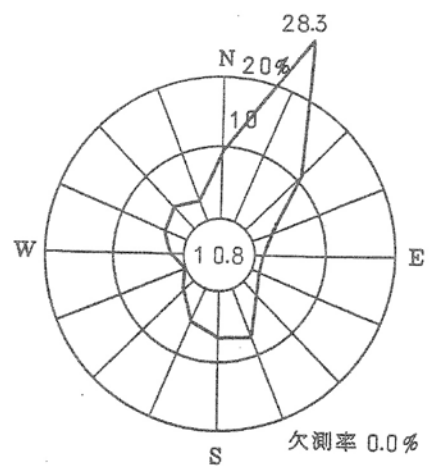
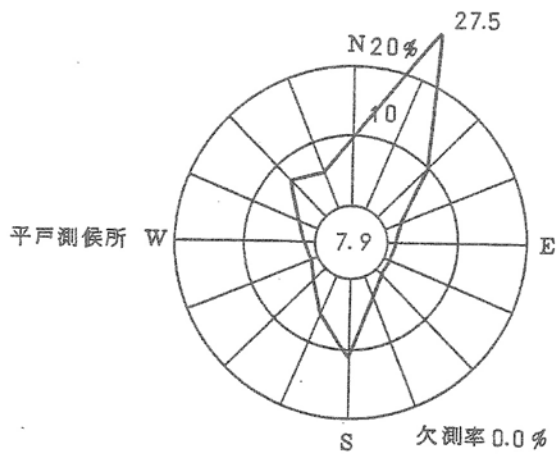
10か年平均

1981年

第1.2-40図(7) 気象官署の風配図(7月)



第1.2-40図(8) 気象官署の風配図(8月)

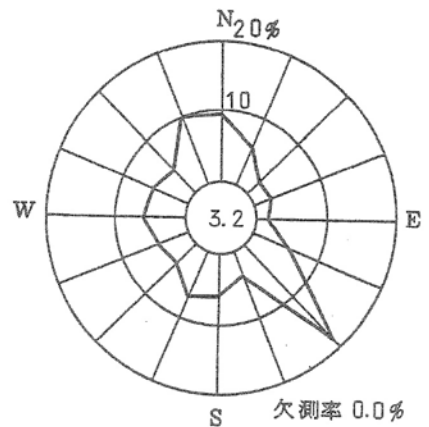
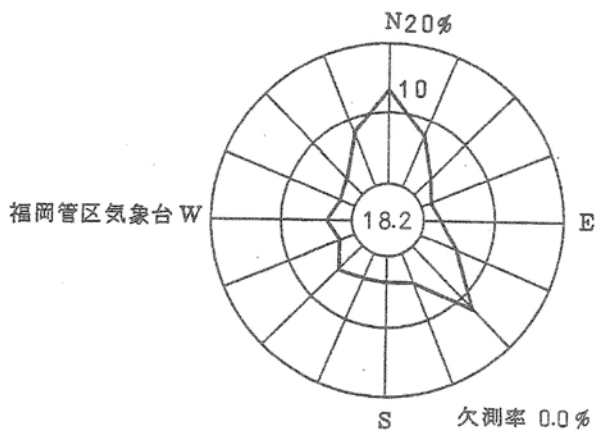
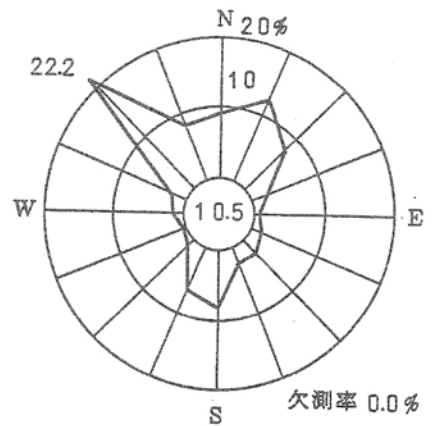
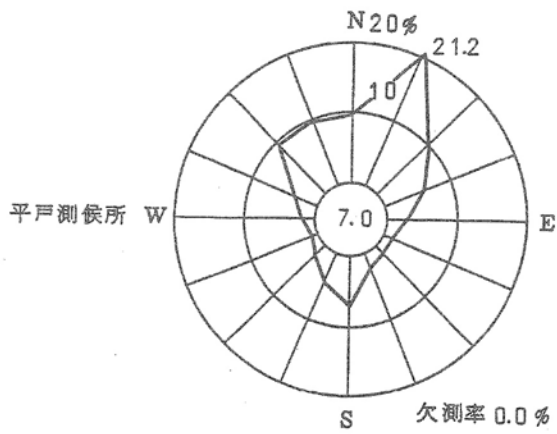


小円内の数字は静穏
(0.5 m/s 未満)の
出現率(%)

10 年平均

1981年

第1.2-40図(9) 気象官署の風配図(9月)

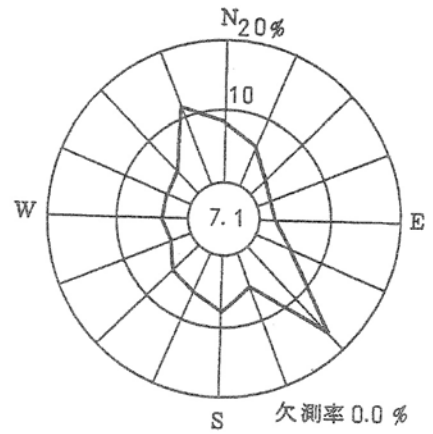
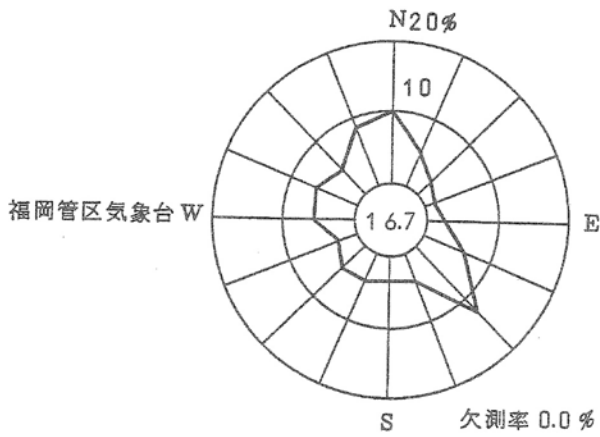
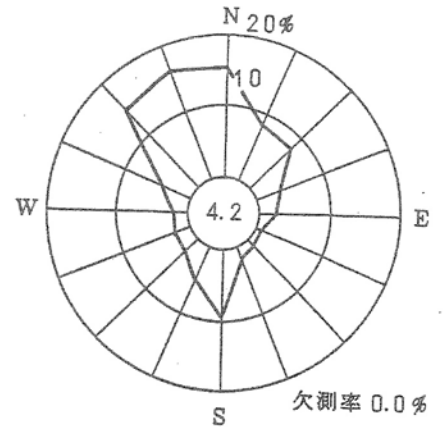
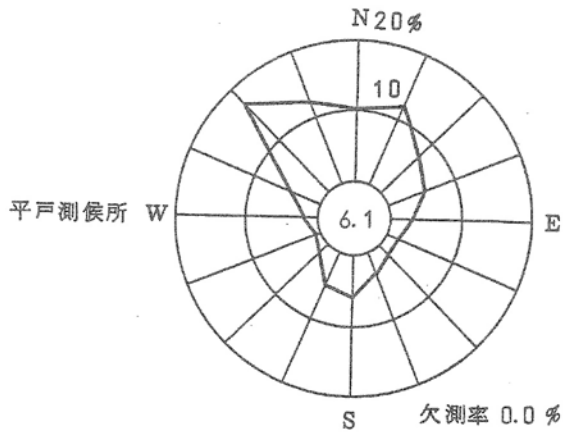


小円内の数字は静穏
(0.5 m/s 未満)の
出現率(%)

10か年平均

1981年

第1.2-40図(10) 気象官署の風配図(10月)

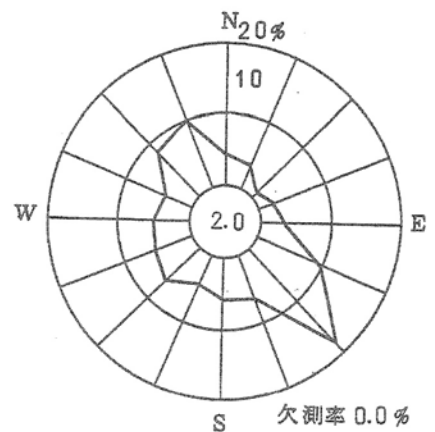
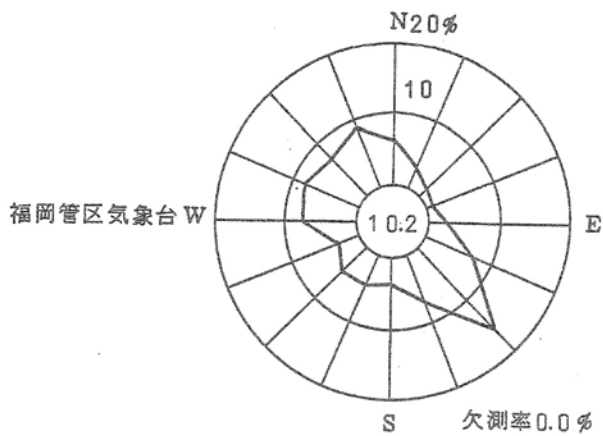
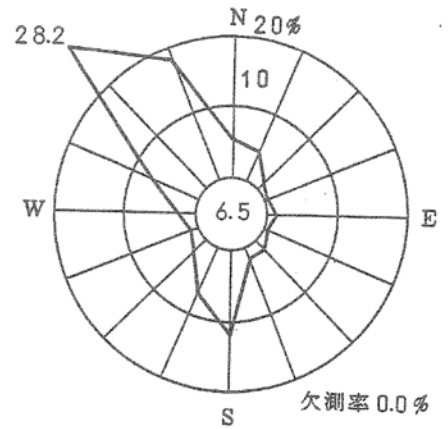
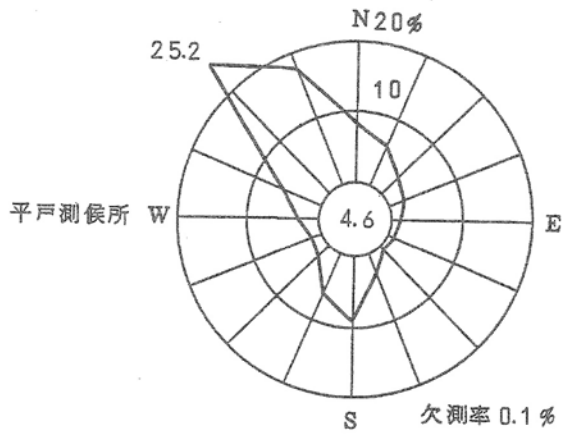


小円内の数字は静穏
(0.5 m/s 未満)の
出現率(%)

10か年平均

1981年

第1.2-40図(11) 気象官署の風配図(11月)

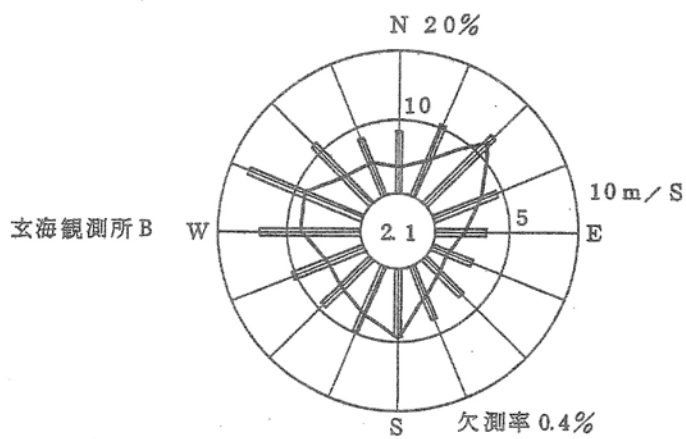


小円内の数字は静穏
(0.5 m/s 未満)の
出現率(%)

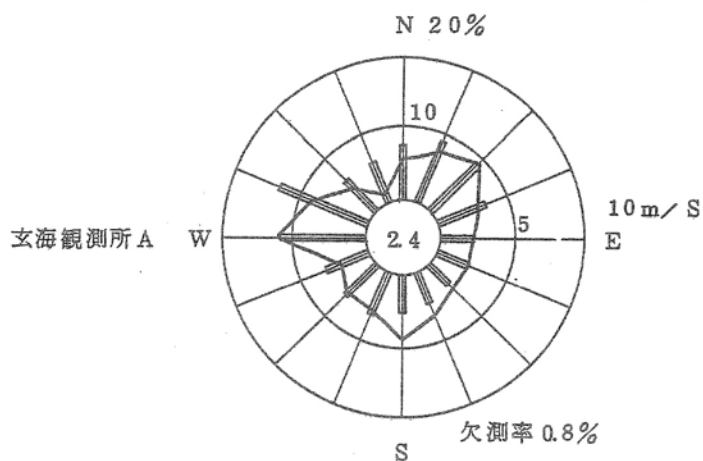
10か年平均

1981年

第1.2-40図(12) 気象官署の風配図(12月)

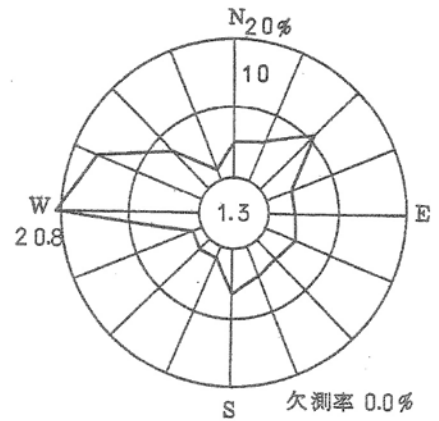
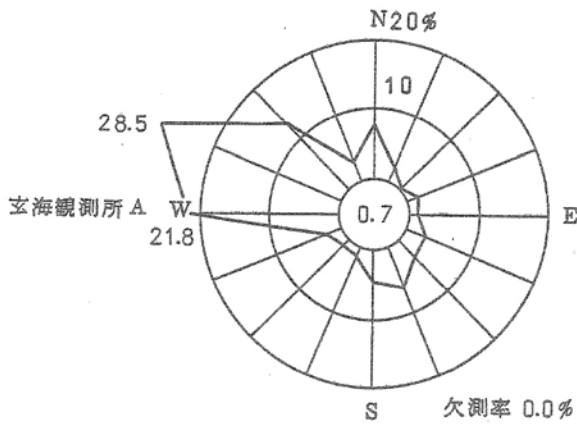
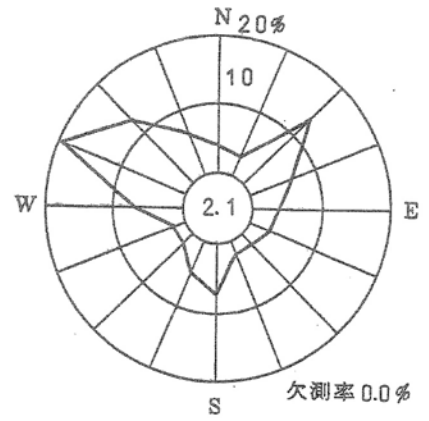
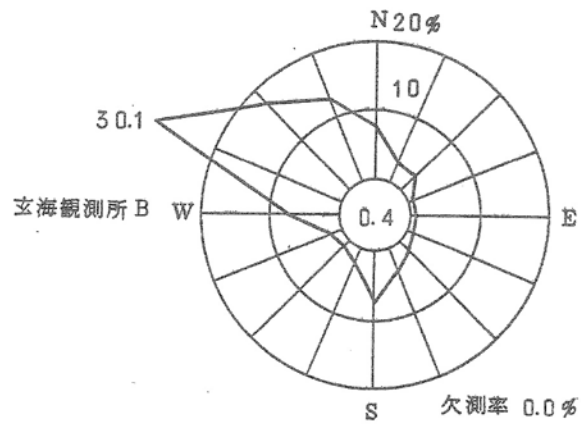


小円内の数字は静穏
(0.5 m/s 未満)の
出現率(%)



— 風向出現度数(%)
□ 平均風速(m/s)
統計期間 1年
(1981年1月~1981年12月)

第1.2-42図 全年の風配図

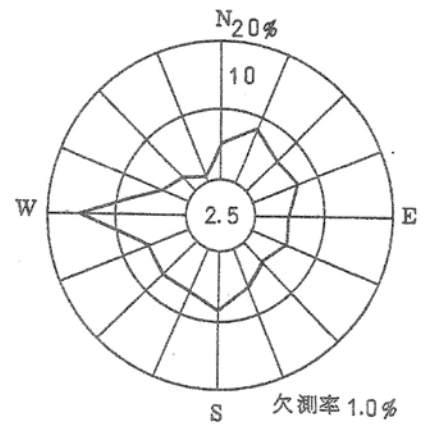
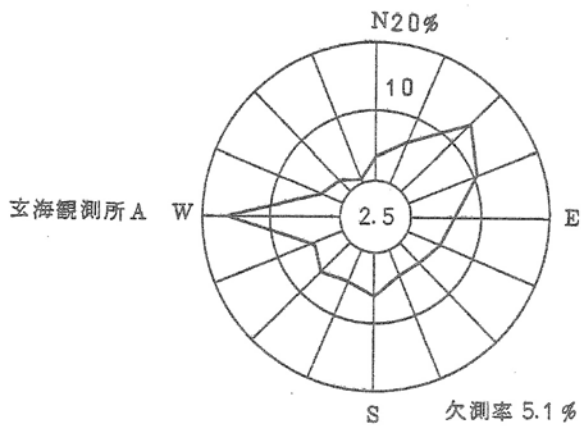
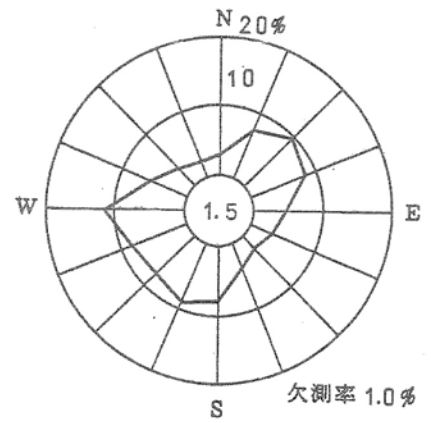
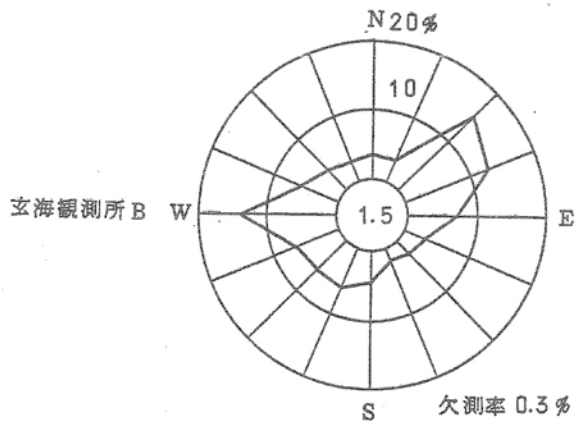


1981年1月

小円内の数字は静穏
(0.5 m/s未満)の
出現率(%)

2月

第1.2-43図(1) 月別風配図

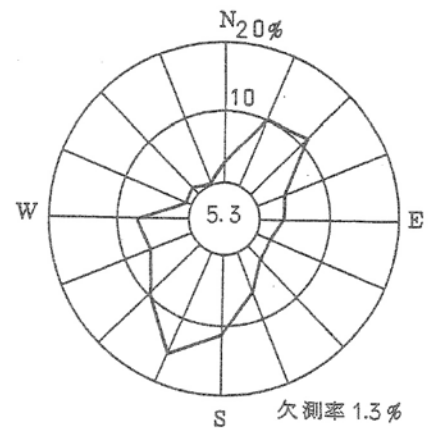
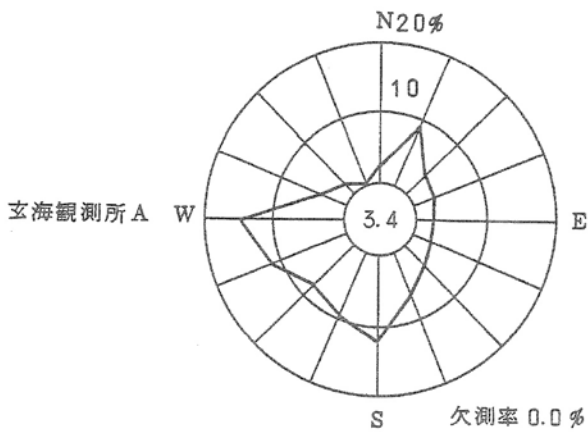
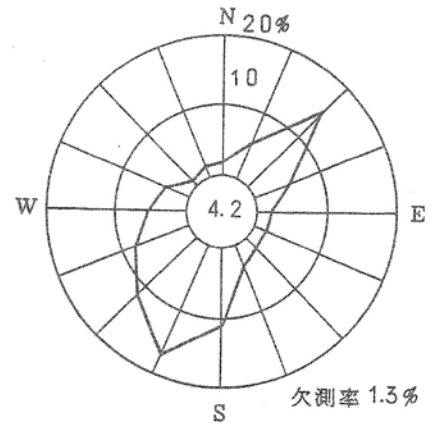
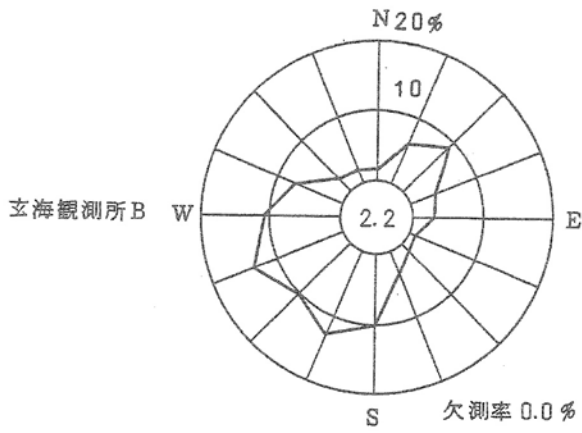


1981年3月

小円内の数字は静穏
(0.5 m/s 未満)の
出現率(%)

4月

第1.2-43図(2) 月別風配図

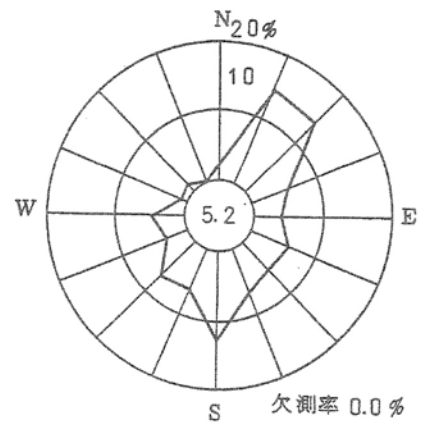
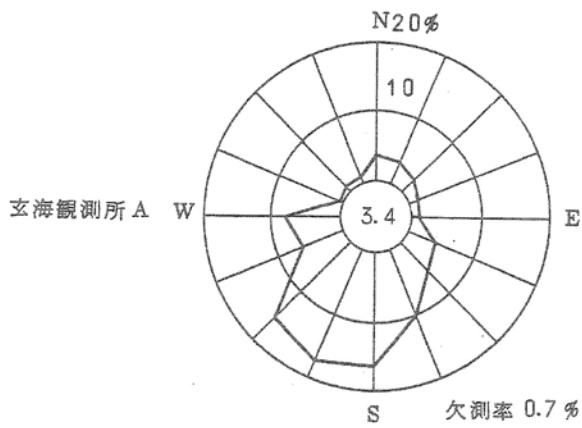
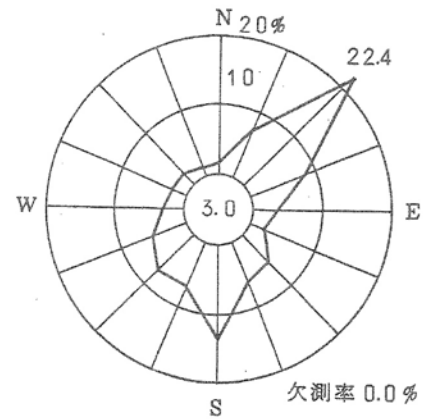
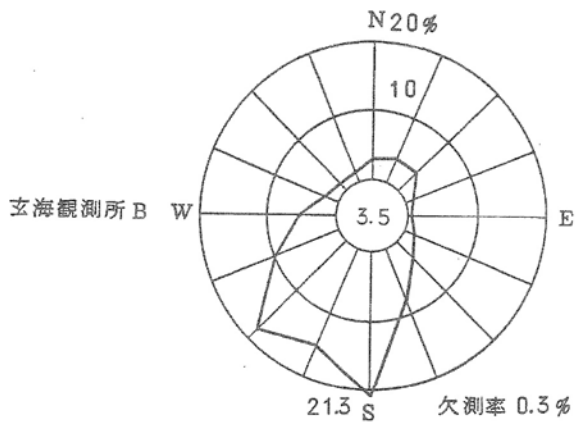


1981年5月

小円内の数字は静穏
(0.5 m/s未満)の
出現率(%)

6月

第1.2-43図(3) 月別風配図

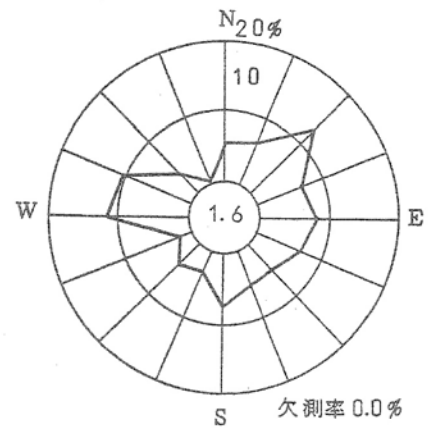
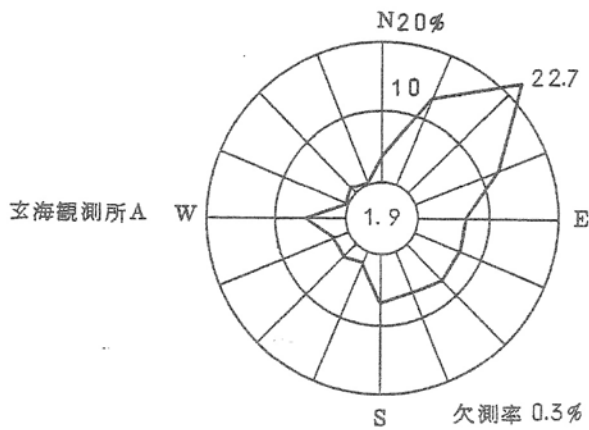
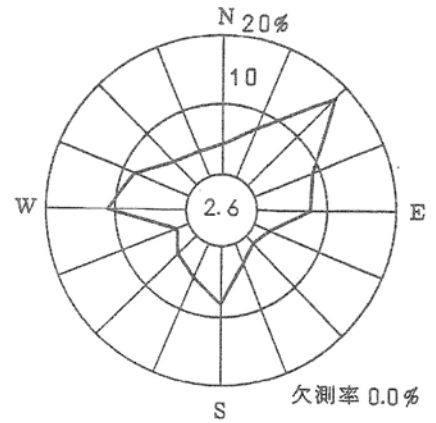
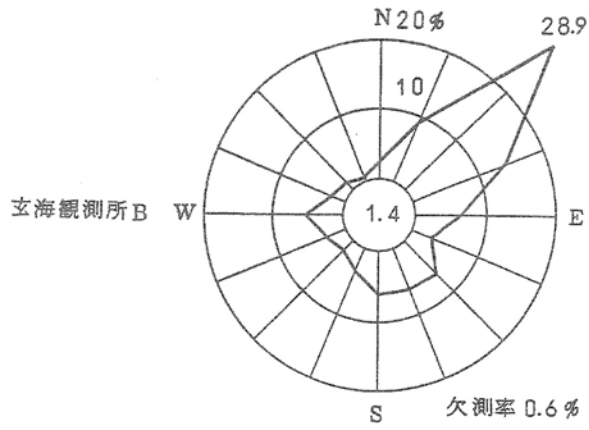


1981年7月

小円内の数字は静穏
(0.5 m/s未満)の
出現率(%)

8月

第1.2-43図(4) 月別風配図

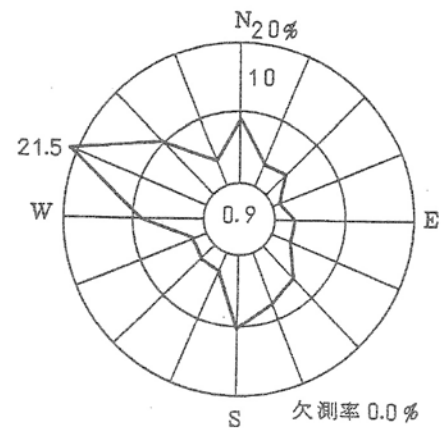
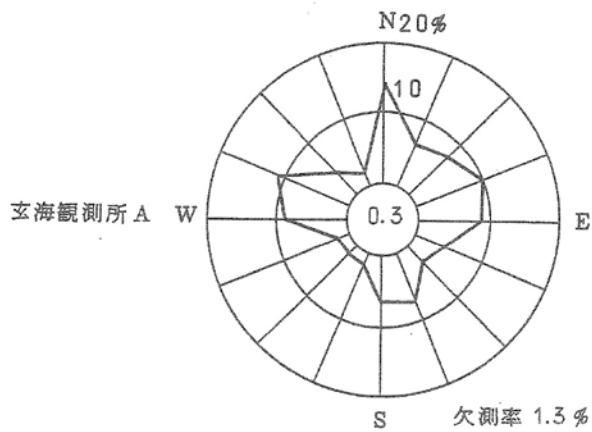
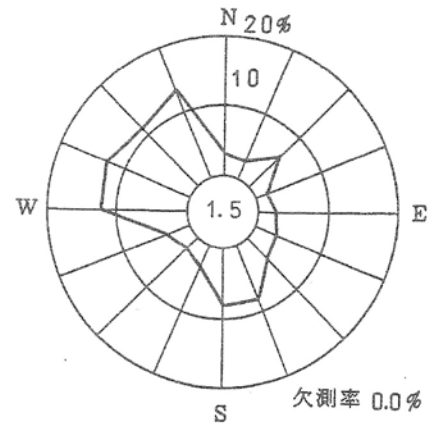
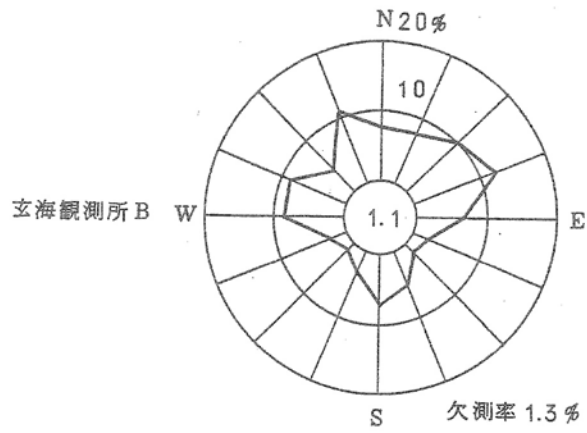


1981年9月

小円内の数字は静穏
(0.5 m/s未満)の
出現率(%)

10月

第1.2-43図(5) 月別風配図

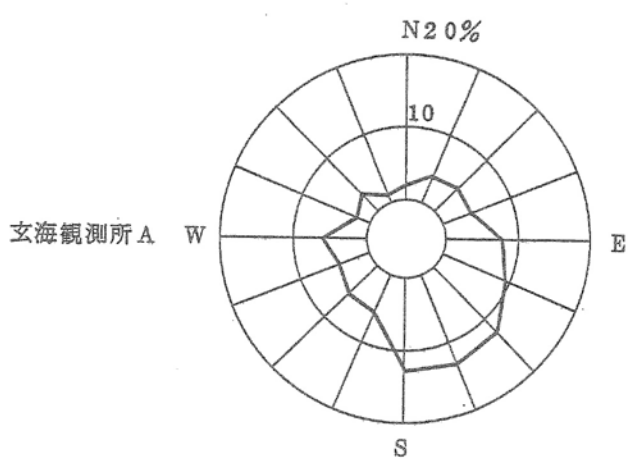
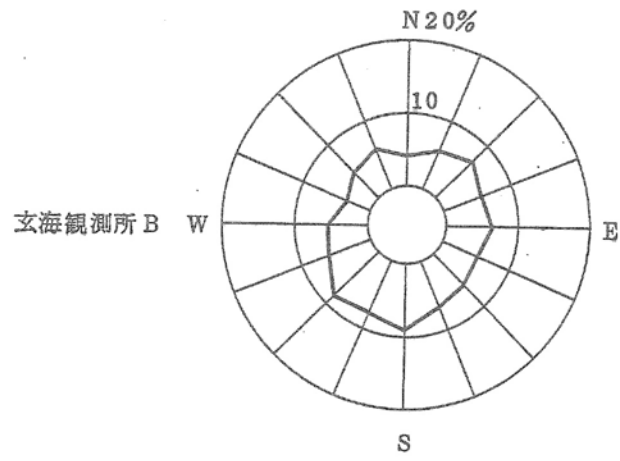


1981年11月

小円内の数字は静穏
(0.5 m/s 未満)の
出現率(%)

12月

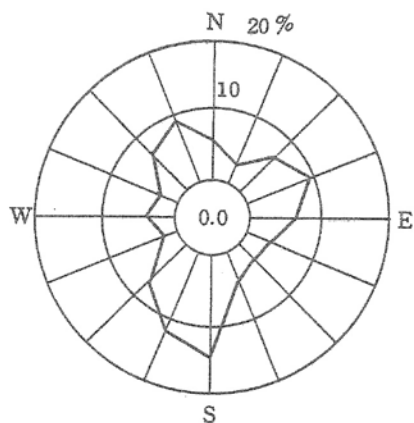
第1.2-43図(6) 月別風配図



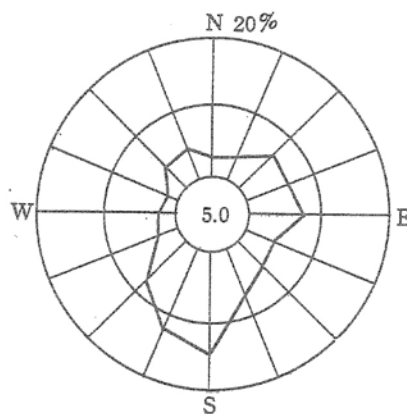
統計期間1981年1月~1981年12月

第1.2-44図 低風速時(0.5~2.0m/s)の風配図(全年)

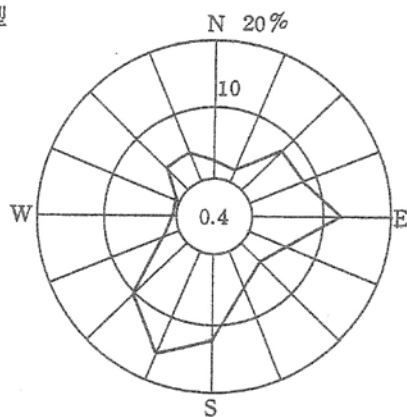
E 型



(E+F+G)型



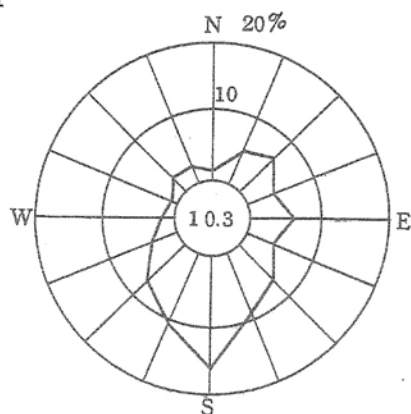
F 型



大気安定度	出現頻度 (%)
E	6.4
F	5.5
G	10.6
E+F+G	22.5

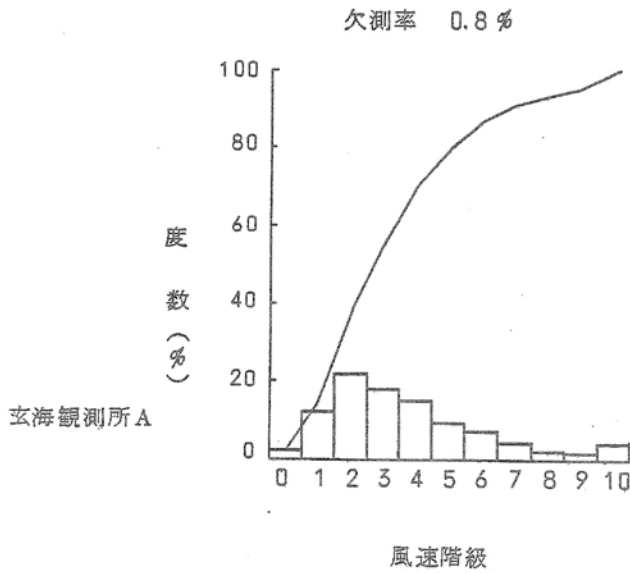
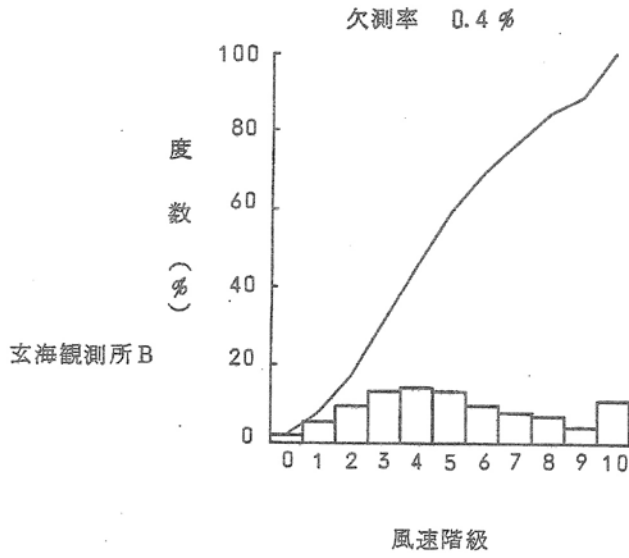
統計期間 1年
(1981年1月～
1981年12月)

G 型



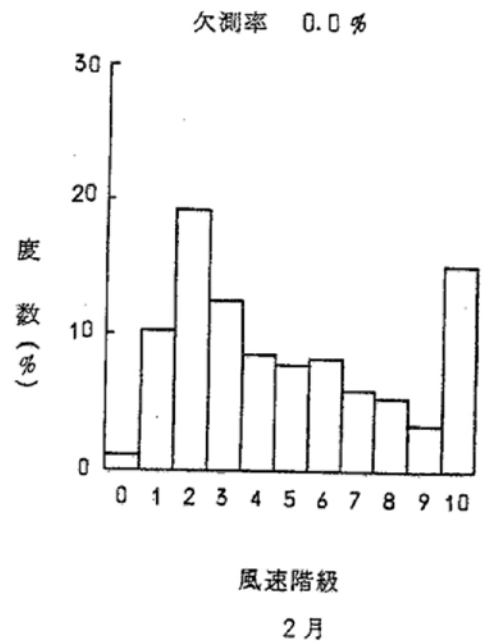
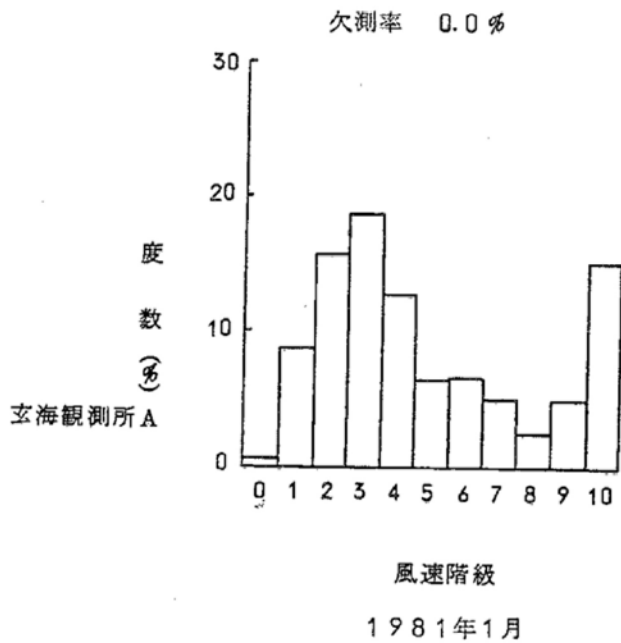
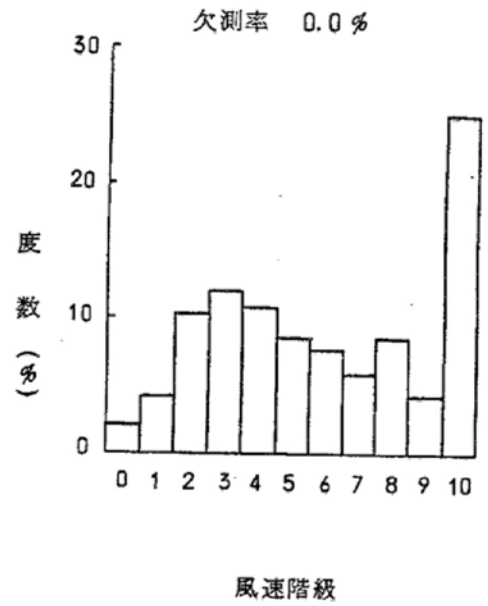
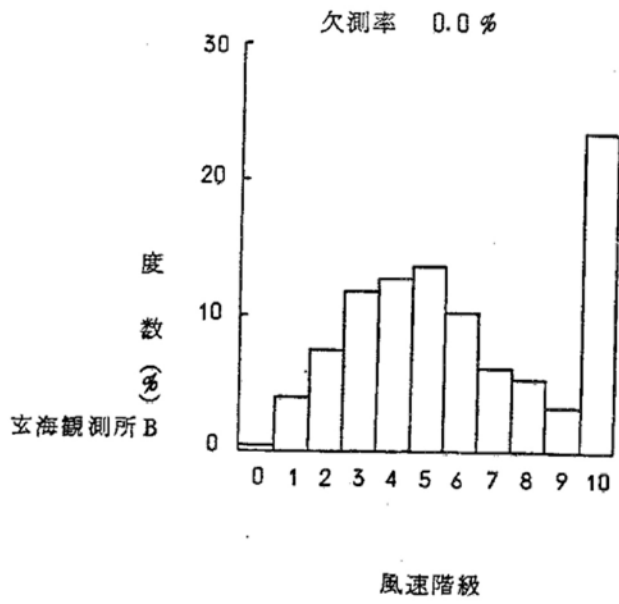
- 注) 1. 安定度は玄海観測所Aの風速によって算出し、風向別の分類は玄海観測所Bの風向風速による。
2. 小円内の数字は各大気安定度型の出現に対する静穏(0.5m/s未満)の出現率

第1.2-45図 大気安定度E、F、G型時の風配図(全年)

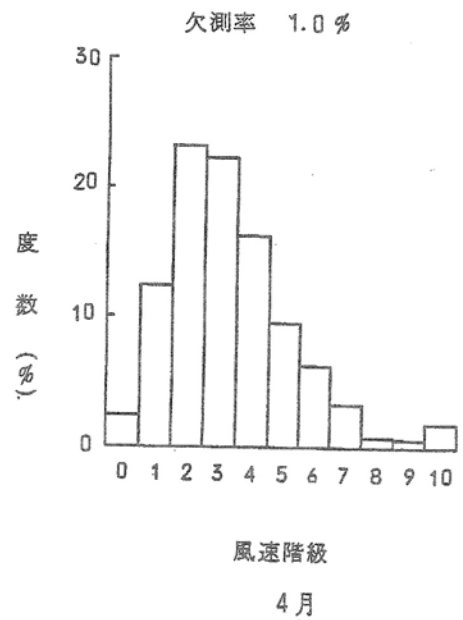
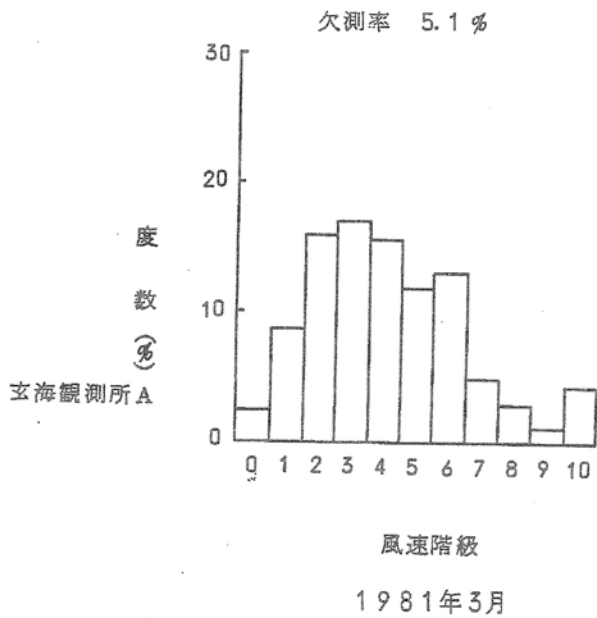
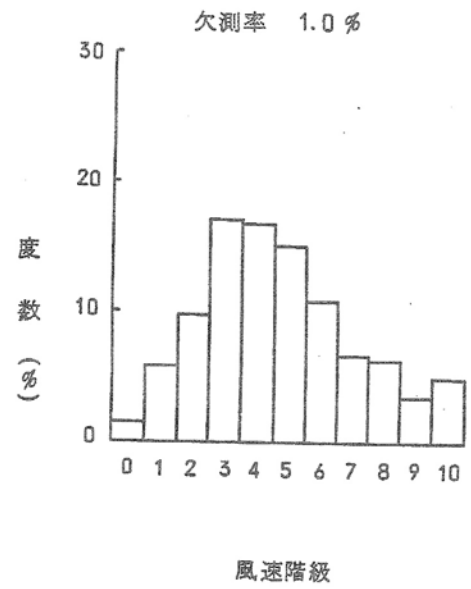
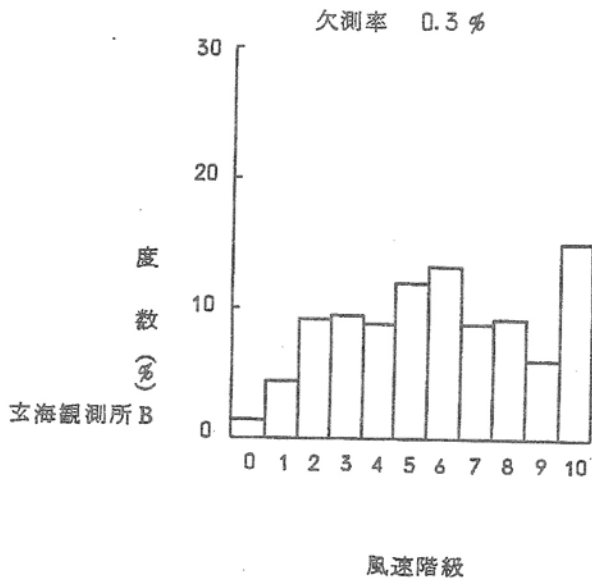


統計期間 1年
(1981年1月～1981年12月)

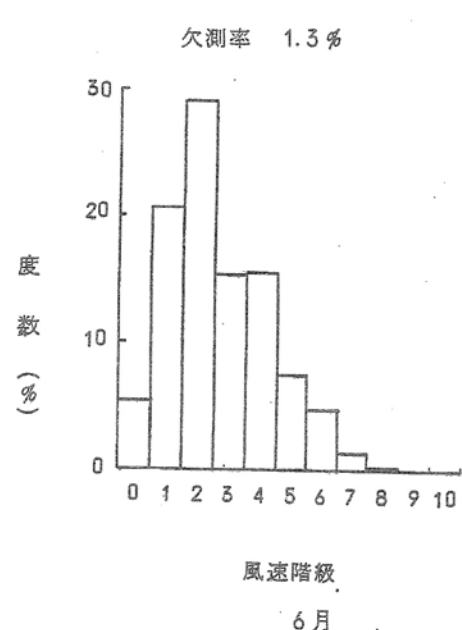
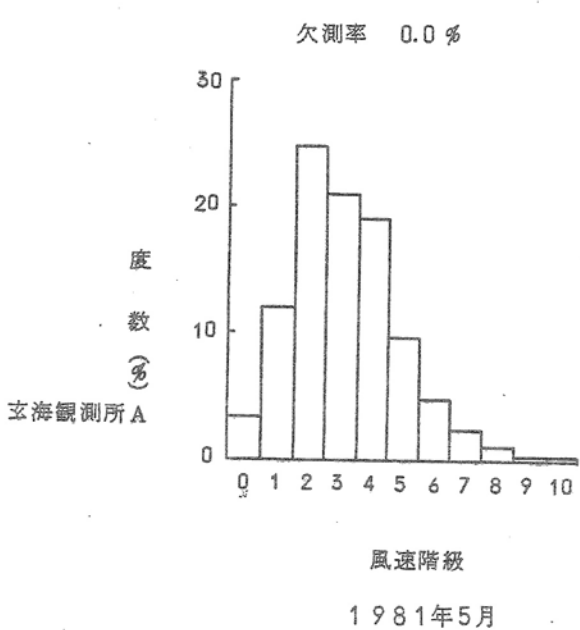
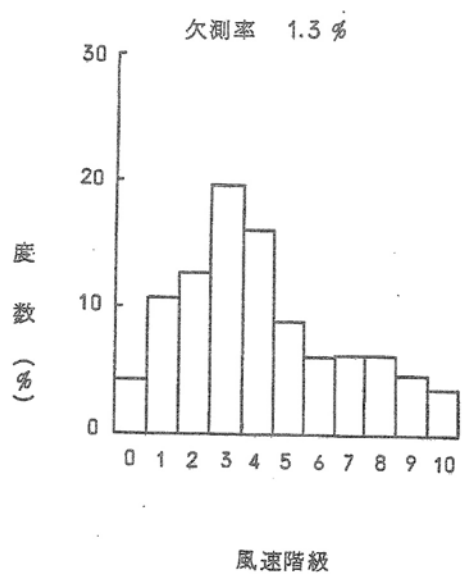
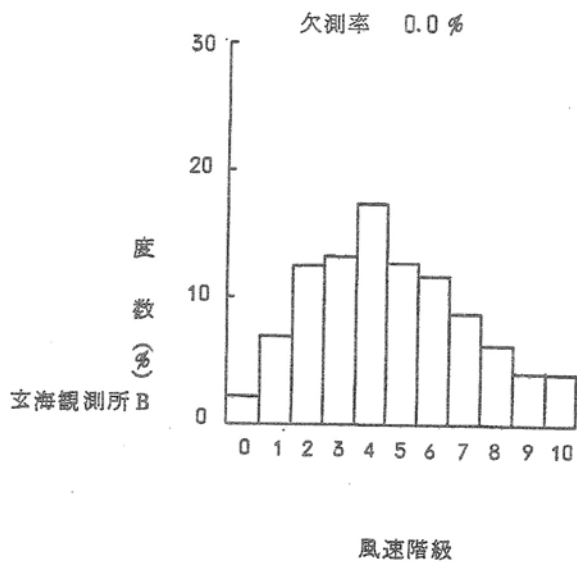
第1.2-46図 風速階級別出現度数分布及び累積度数分布(全年)



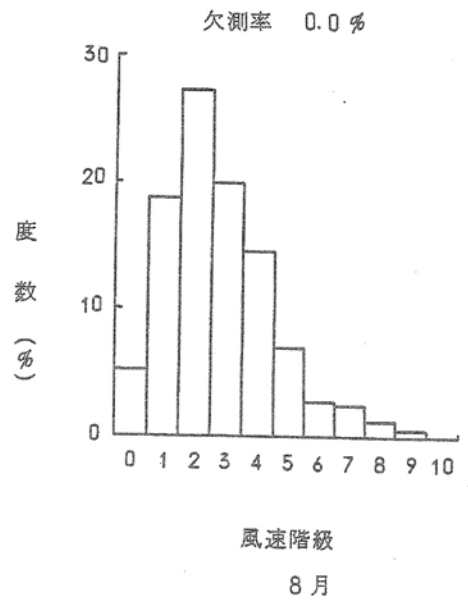
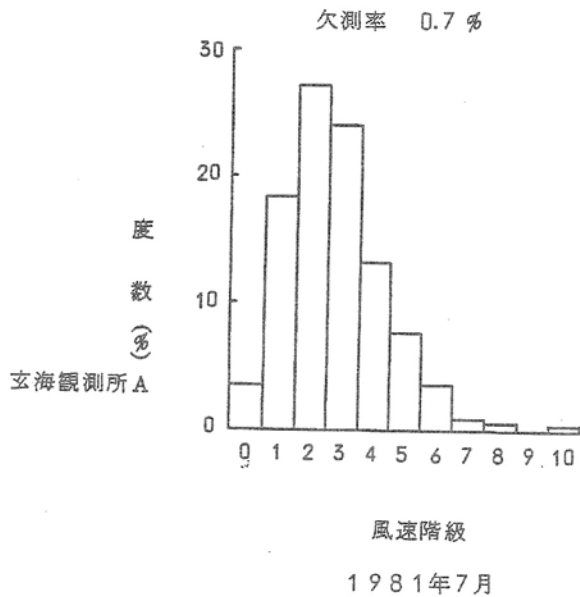
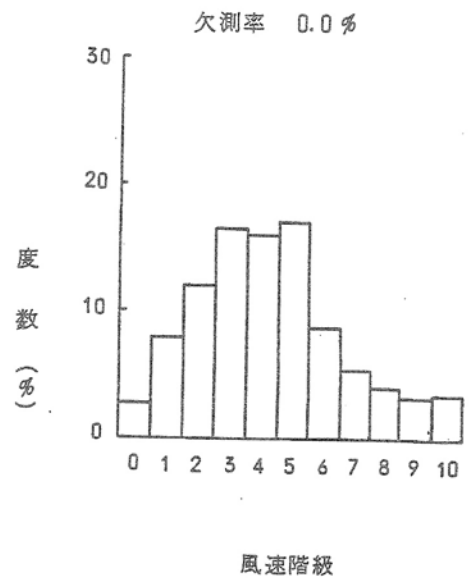
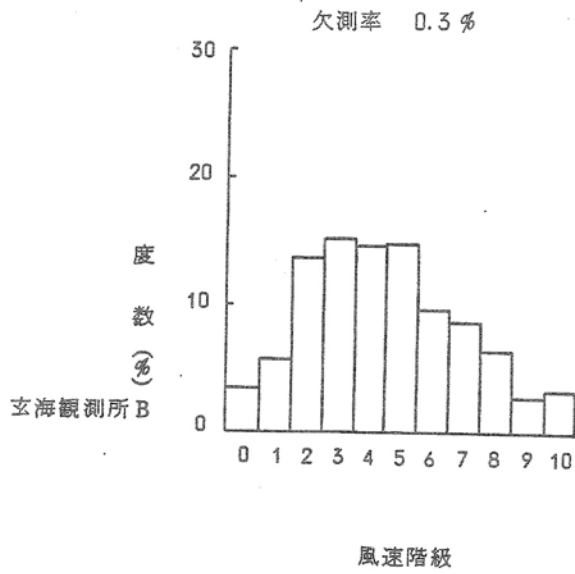
第1.2-47図(1) 月別の風速階級別出現度数分布



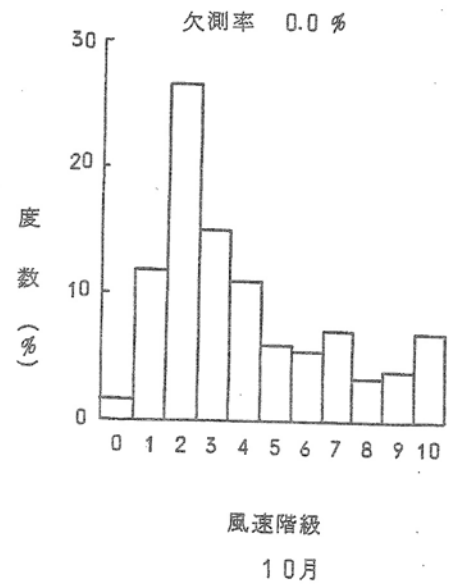
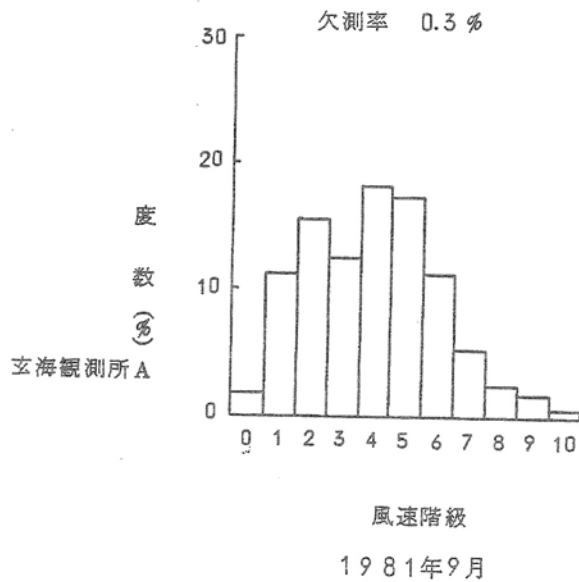
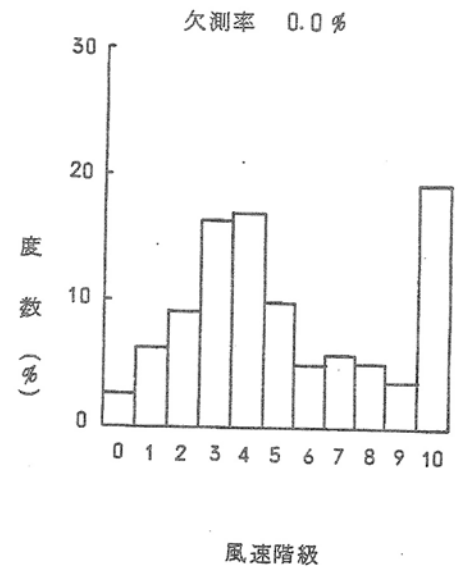
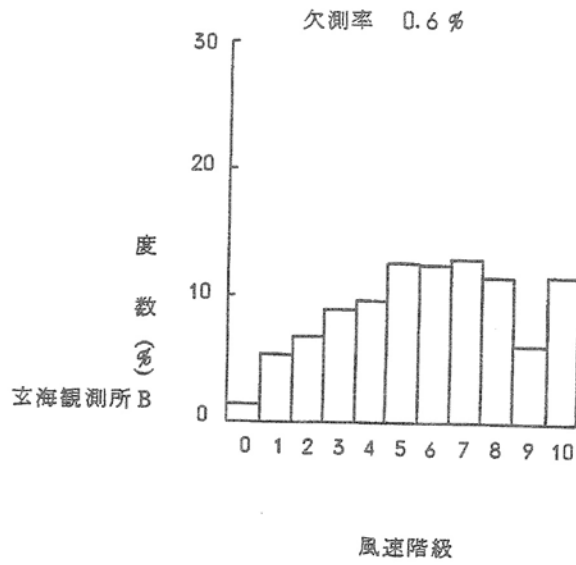
第1.2-47図(2) 月別の風速階級別出現度数分布



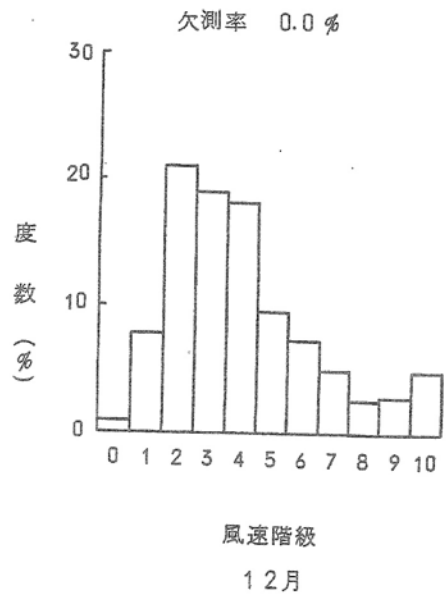
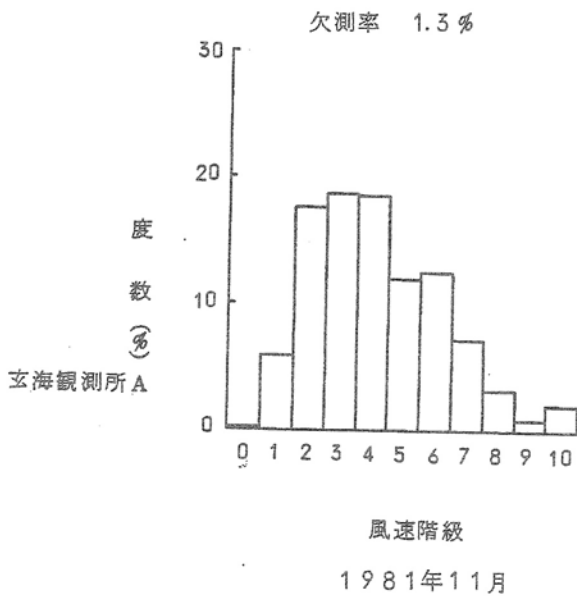
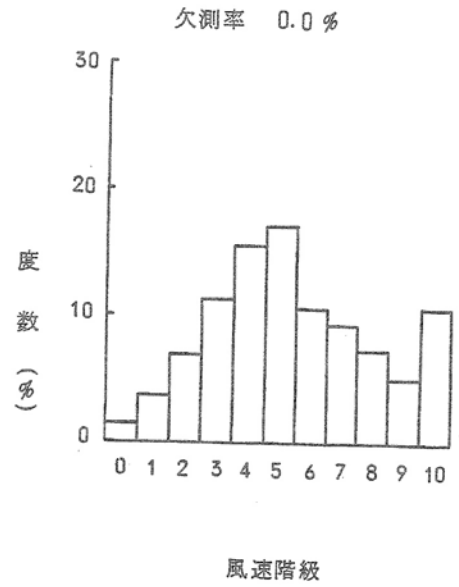
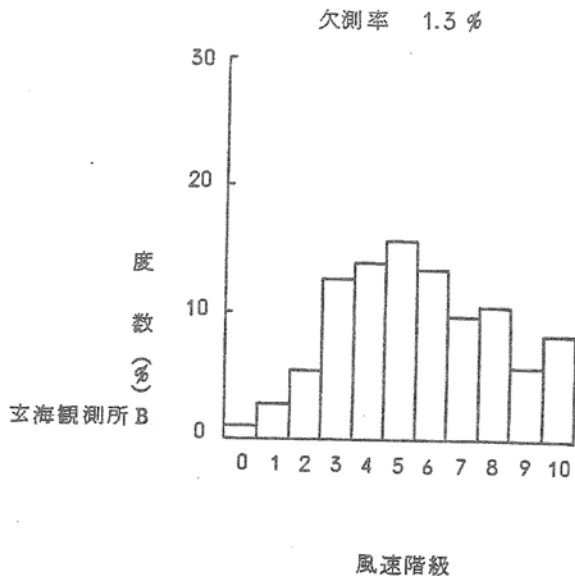
第1.2-47図(3) 月別の風速階級別出現度数分布



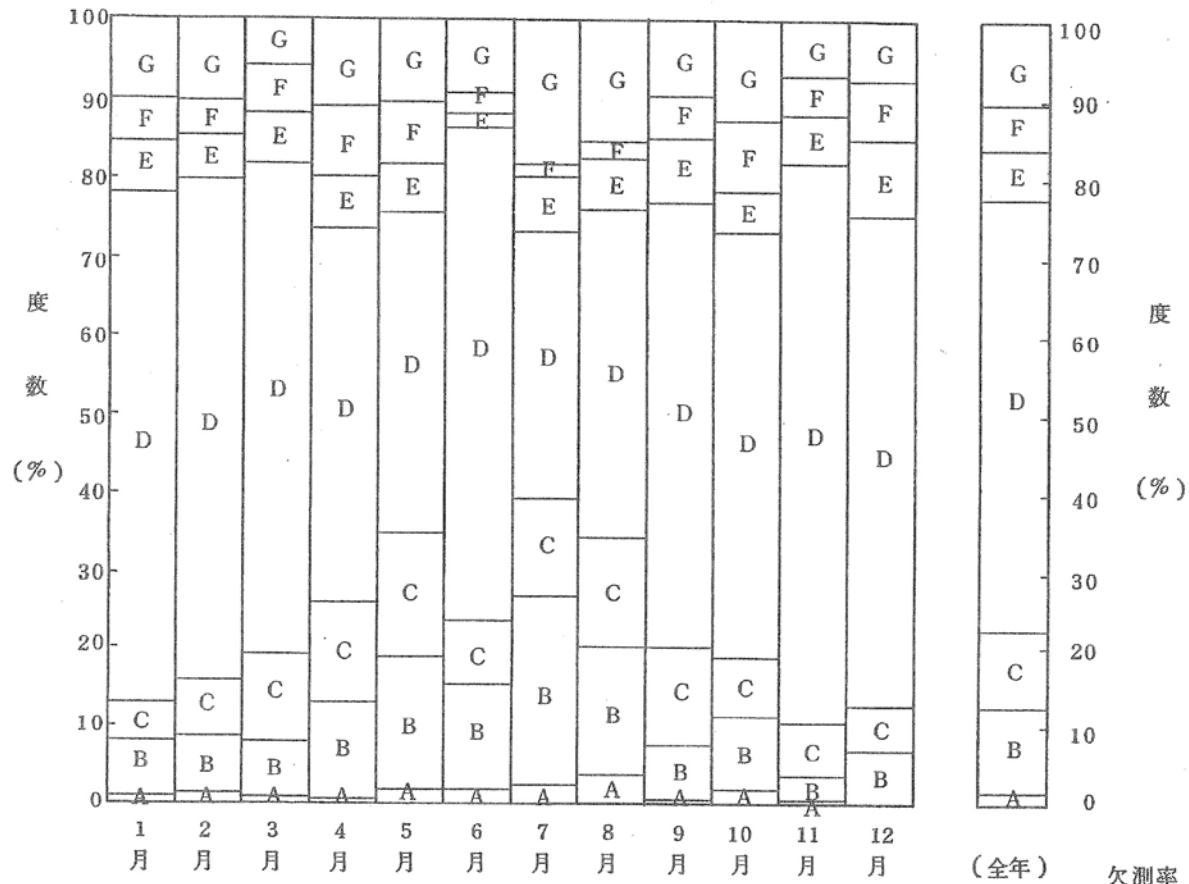
第1.2-47図(4) 月別の風速階級別出現度数分布



第1.2-47図(5) 月別の風速階級別出現度数分布



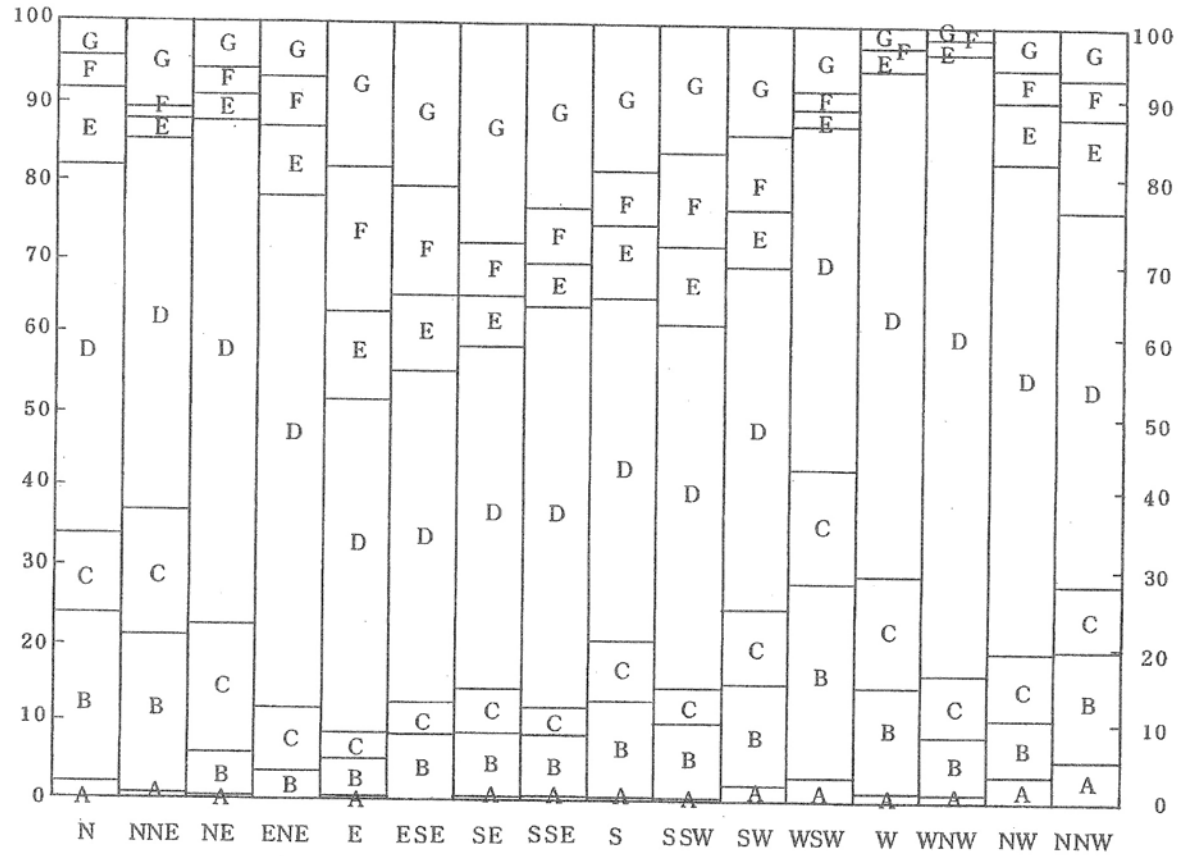
第1.2-47図(6) 月別の風速階級別出現度数分布



注) 統計方法: 大気安定度は、玄海観測所Aの風速によって求め、A-B、B-C及びC-D型は、それぞれB、C及びD型として計上し、統計処理を行った。

欠測率: 1.2%
 統計期間 1年
 (1981年1月~1981年12月)

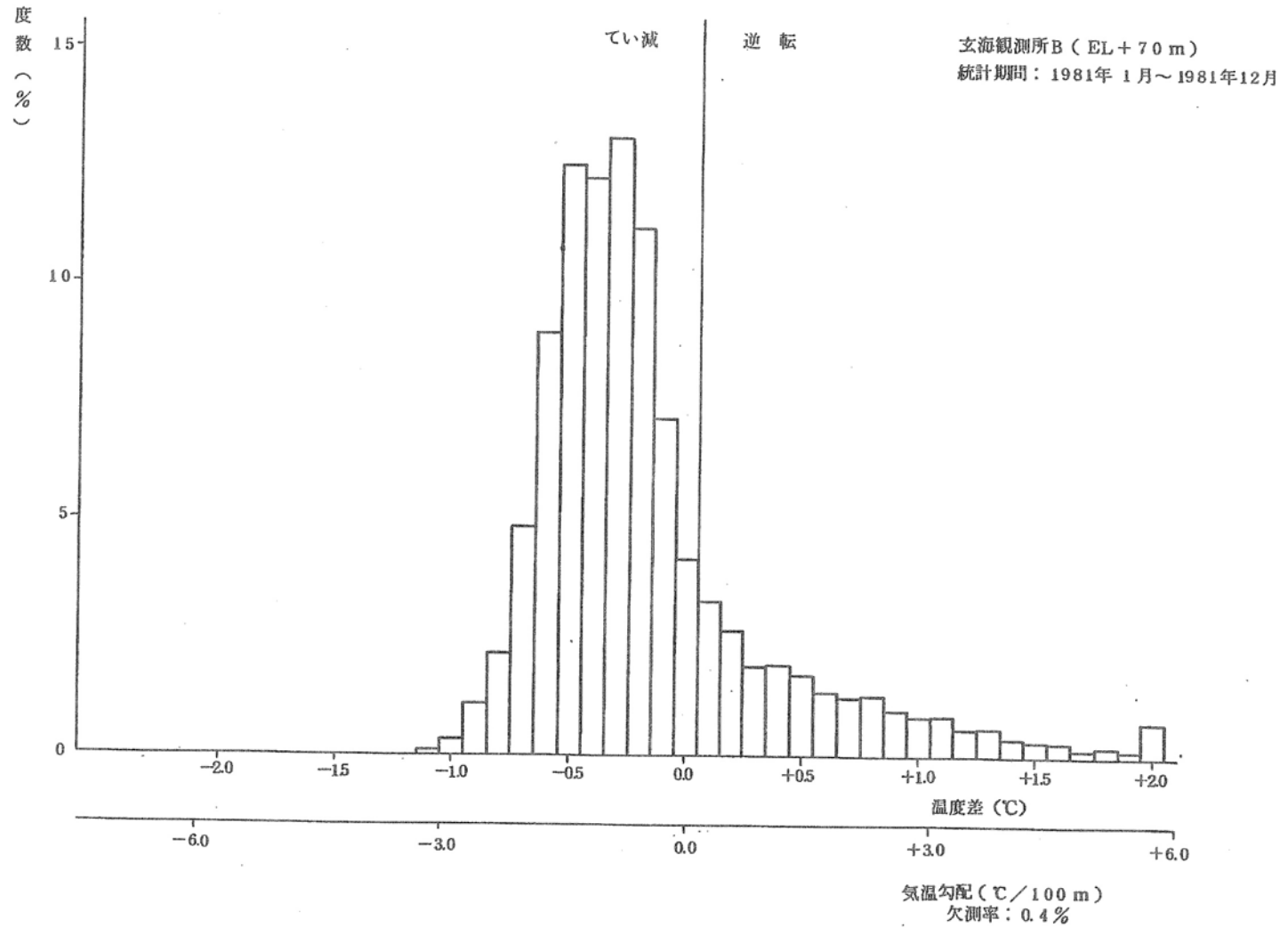
第1.2-48図 全年及び月別の大気安定度出現度数



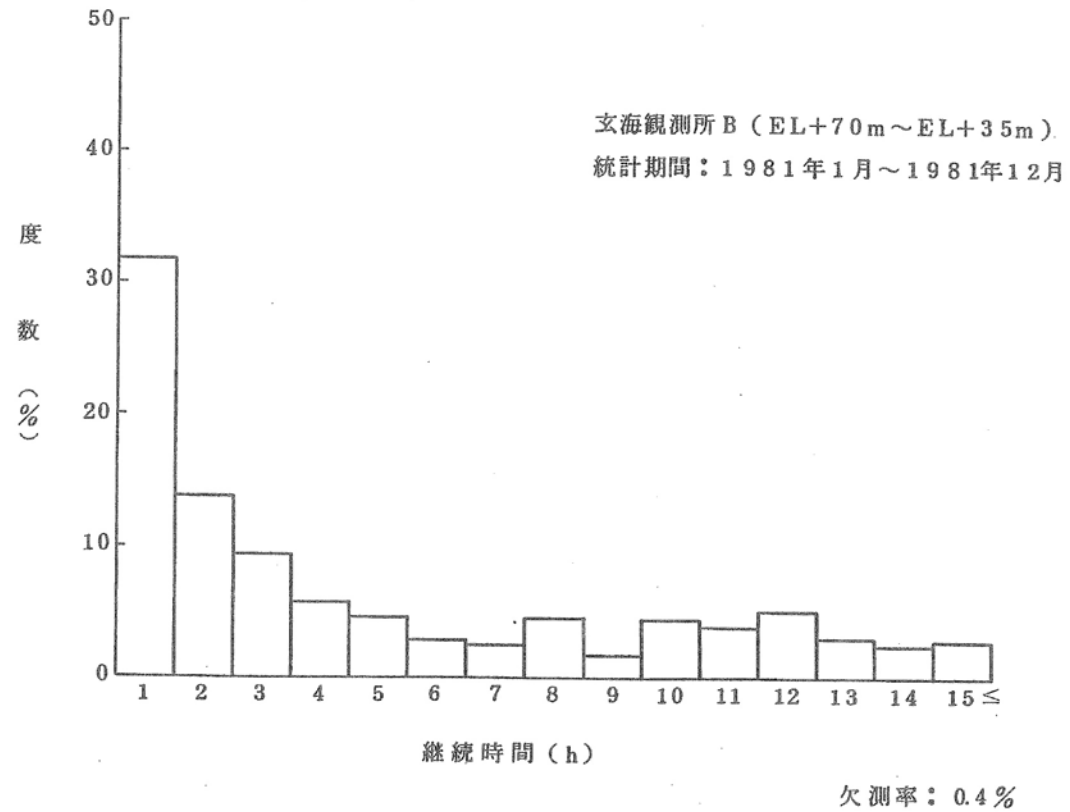
注) 統計方法: 大気安定度は、玄海観測所Aの風速によって求め、A-B、B-C及びC-D型は、それぞれB、C及びD型として計上し、玄海観測所Bの風向によって分類した。
 0.5 m/s未満の大気安定度出現回数は玄海観測所Bにおける0.5 m/s~2.0 m/sの風向出現率にしたがって各方位に配分した。

欠測率: 1.3%
 統計期間 1年
 (1981年1月~1981年12月)

第1.2-49図 風向別の大気安定度出現度数

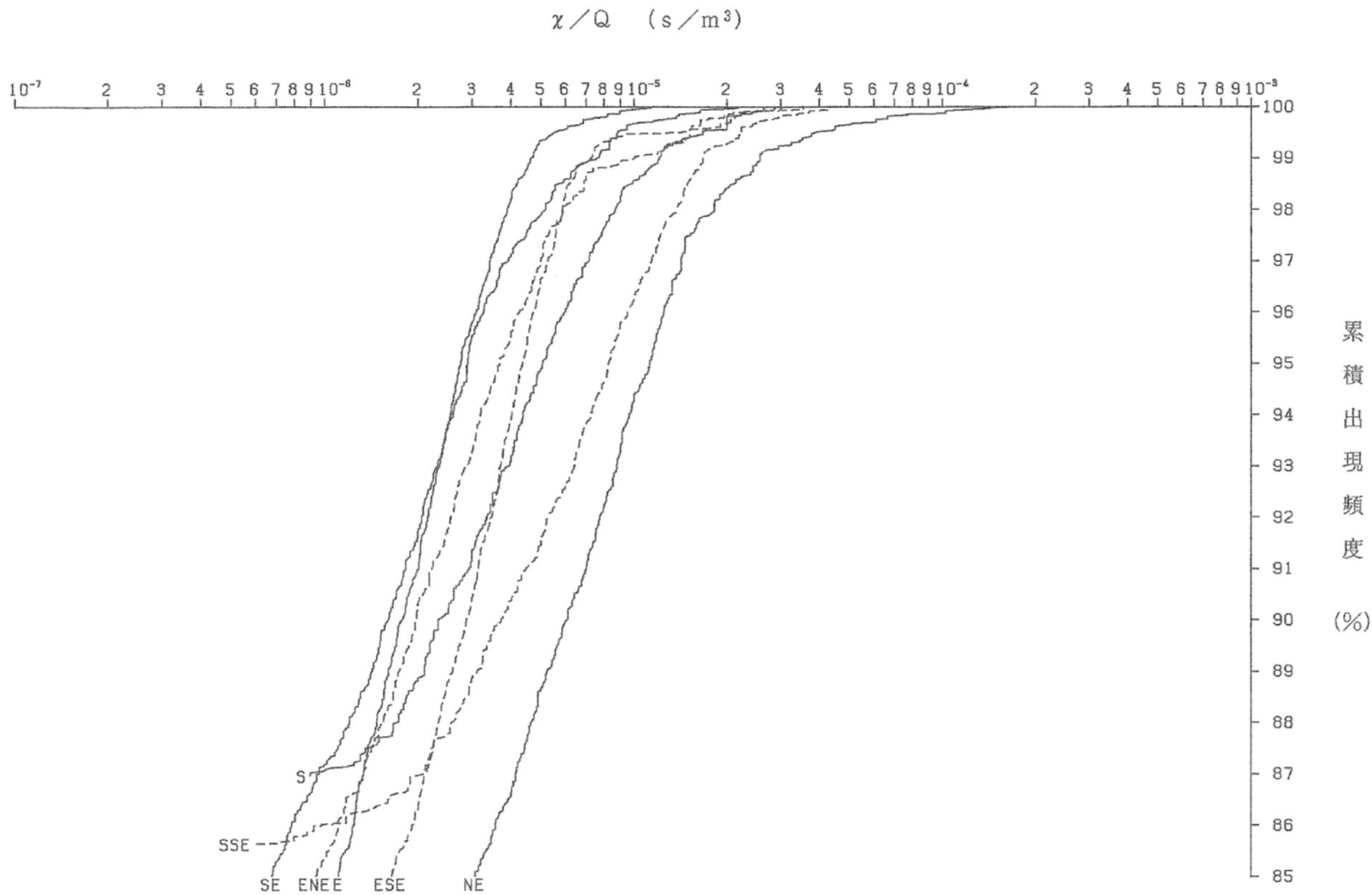


第1.2-50図 温度差別出現度数(全年)

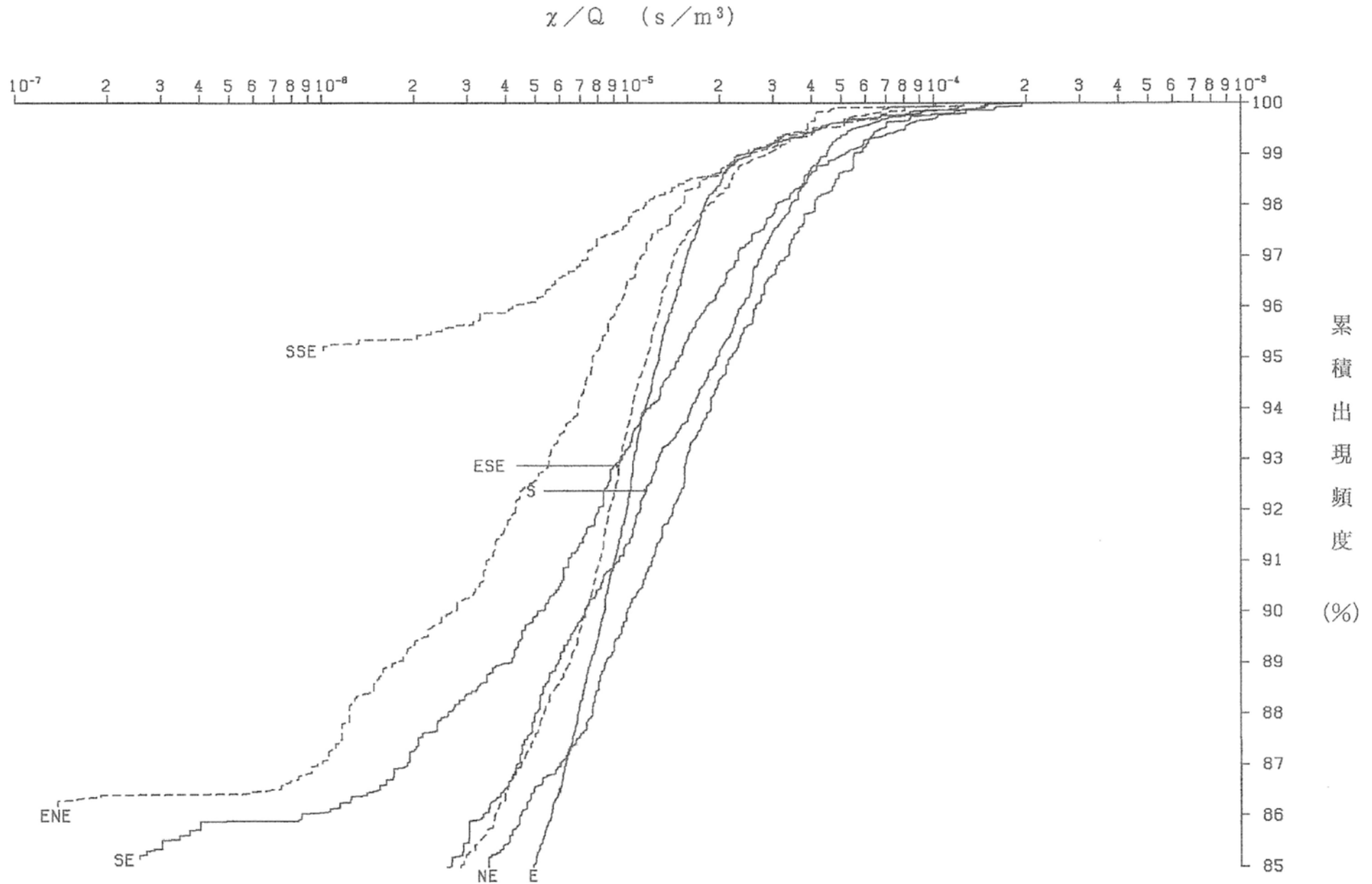


注) 逆転継続時間別の出現回数合計に対する各継続時間の出現回数の割合を求め、図示したものである。

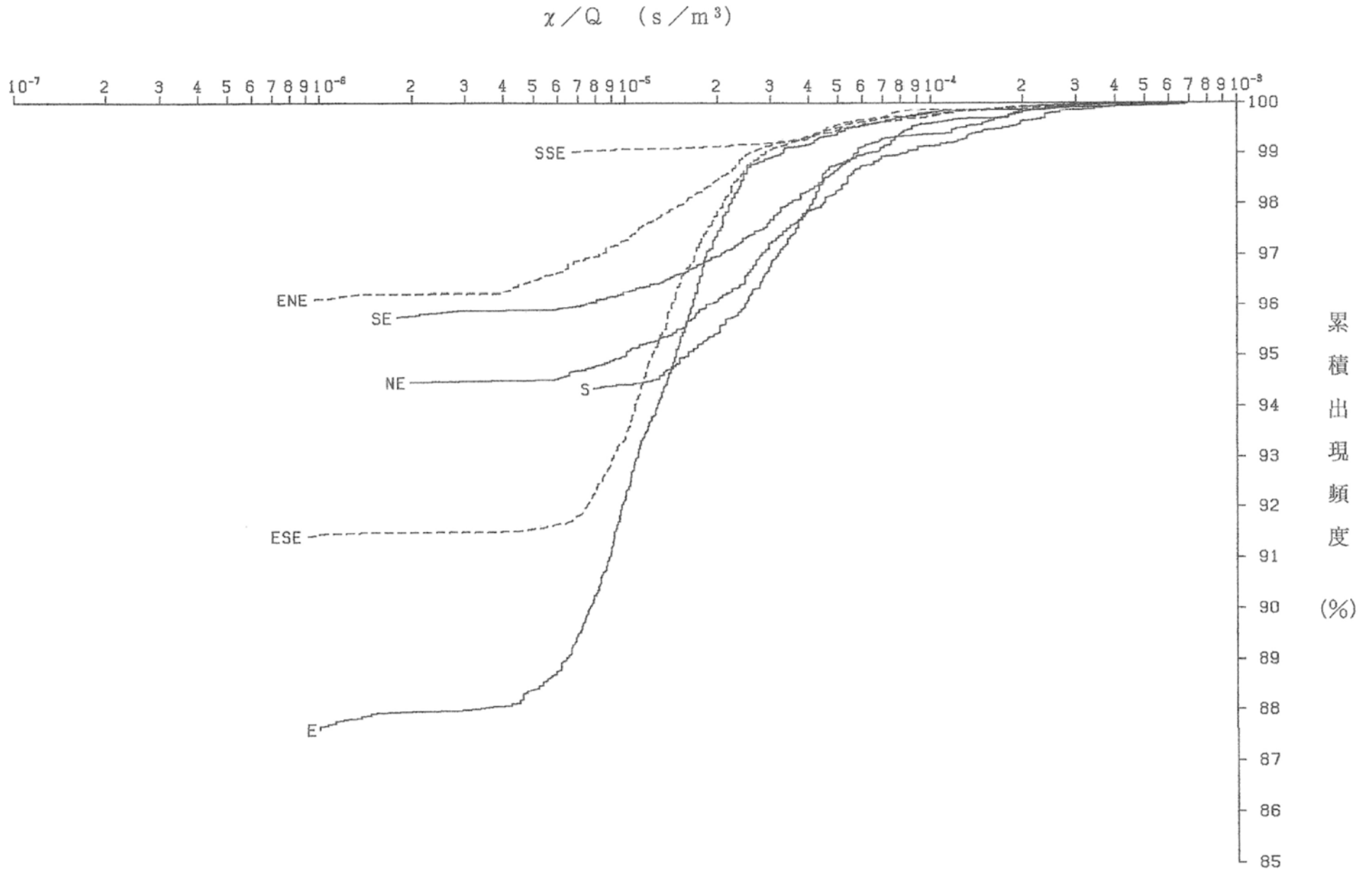
第1.2-51図 逆転現象継続時間の出現度数(全年)



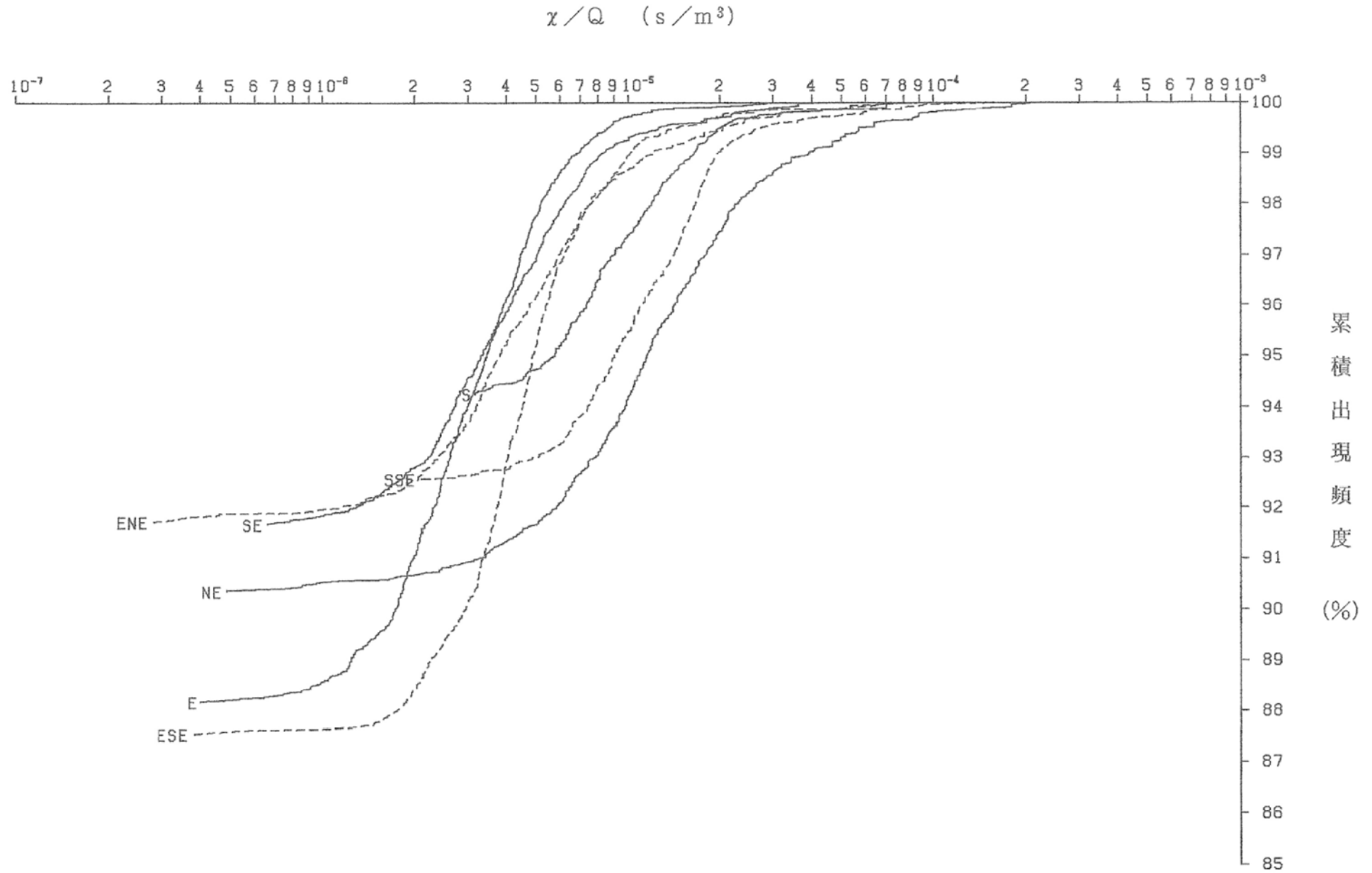
第1.2-52図(1) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(事故時)、排気筒放出分]



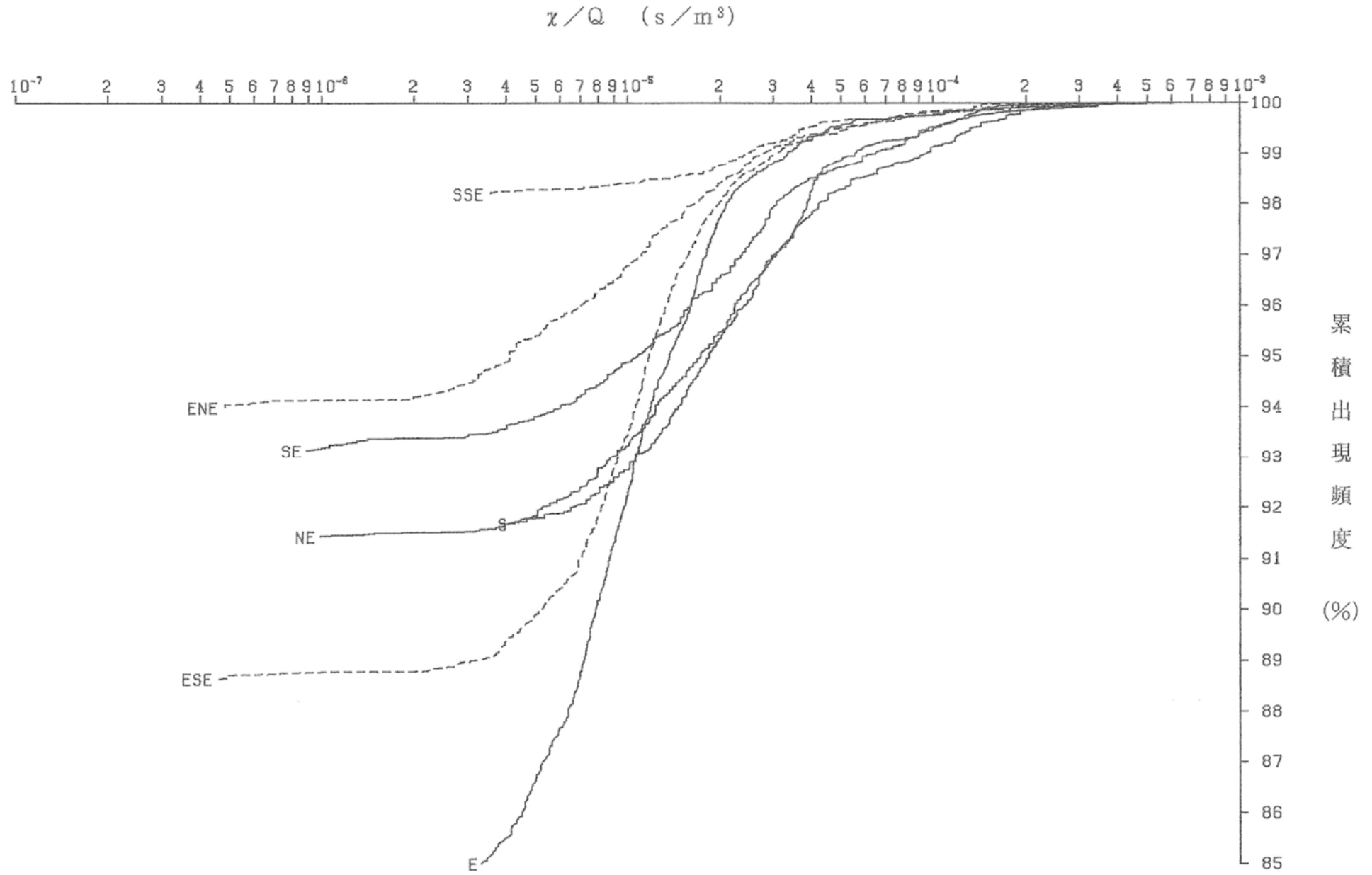
第1.2-52図(2) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(事故時)、地上放出分]



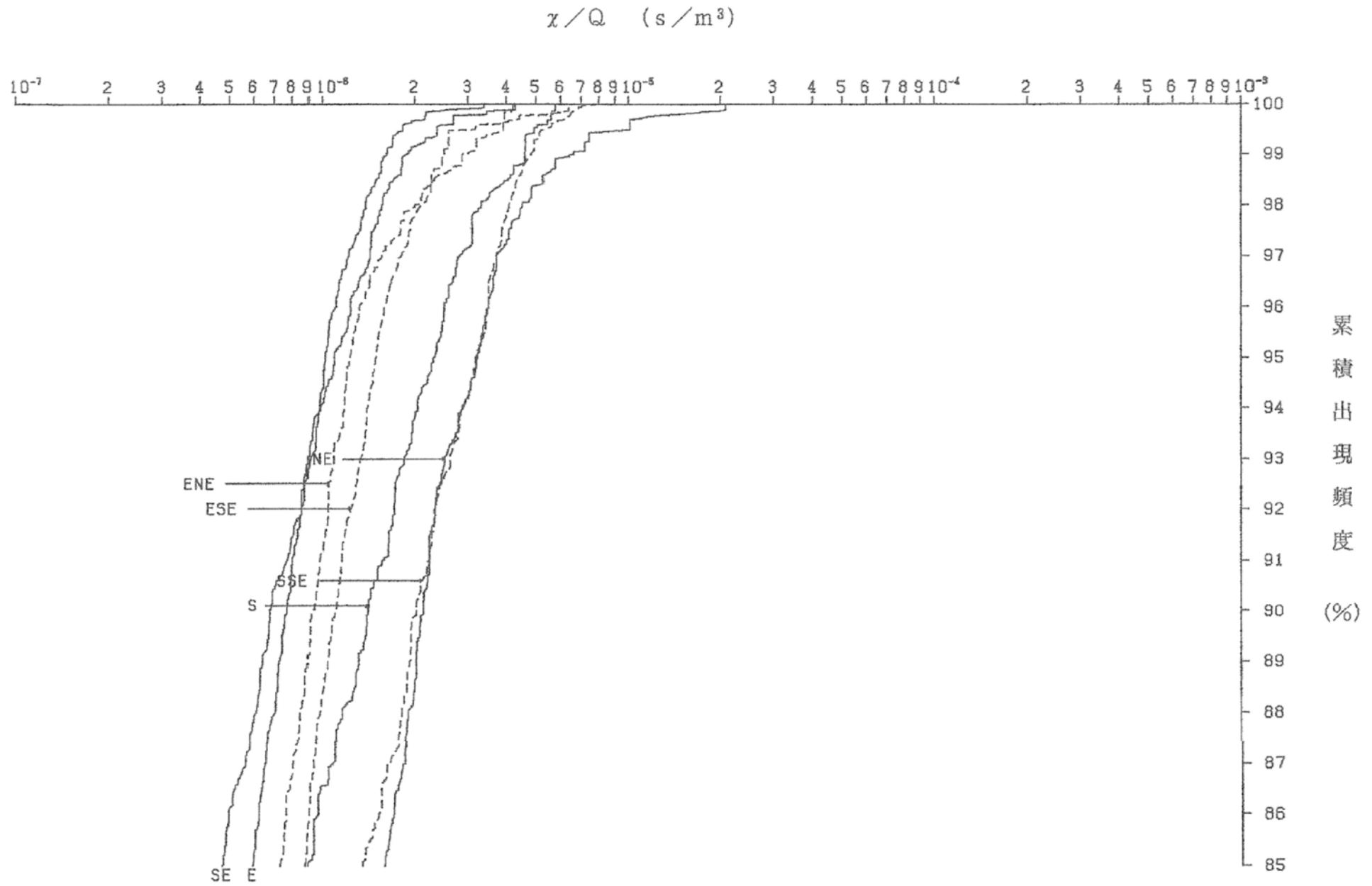
第1.2-52図(3) 方位別相対濃度 (χ/Q) の累積出現頻度
 [蒸気発生器伝熱管破損(事故時並びに重大事故及び仮想事故時)、燃料集合体の落下]



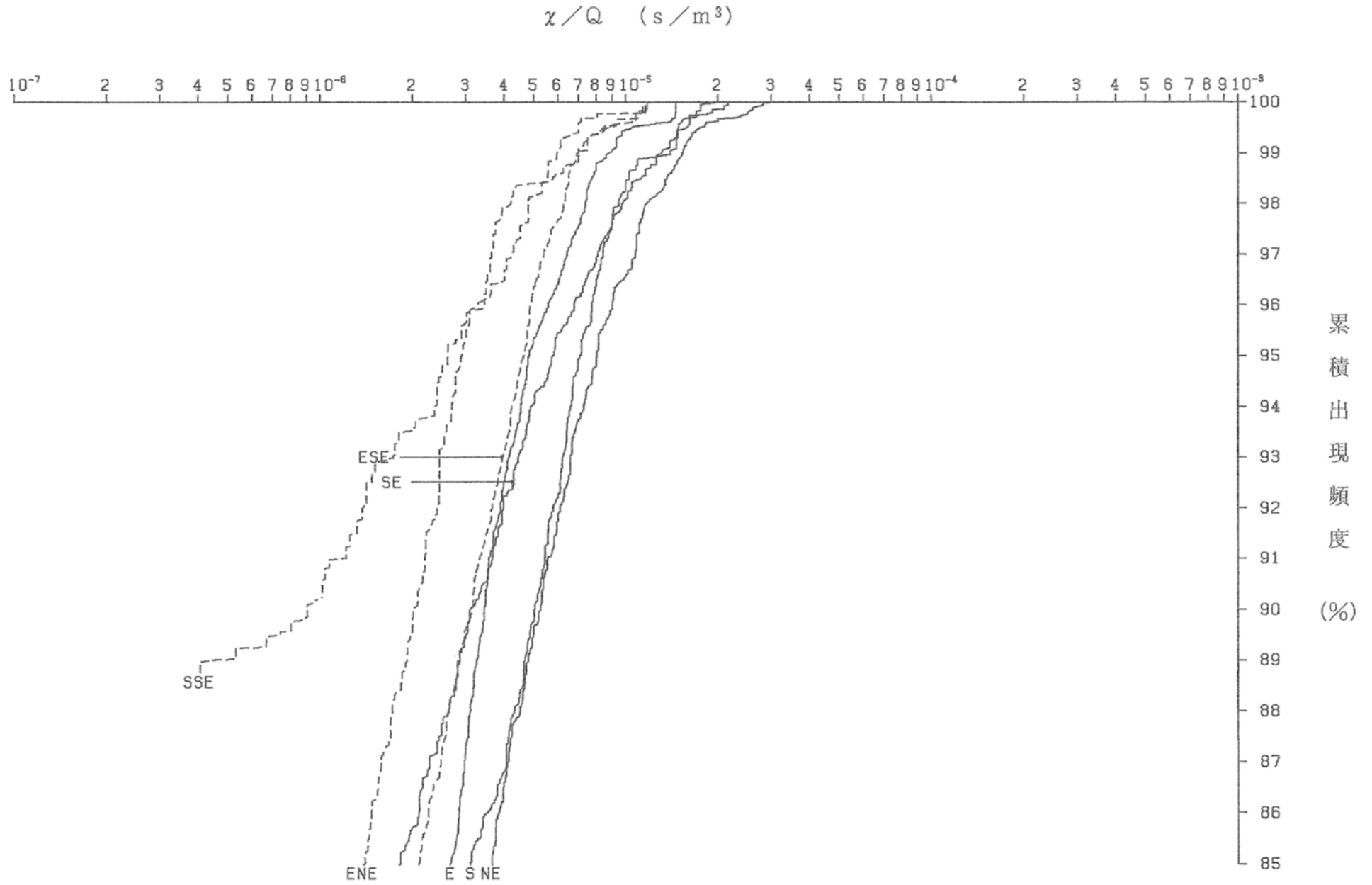
第1.2-52図(4) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [制御棒飛び出し、排気筒放出分]



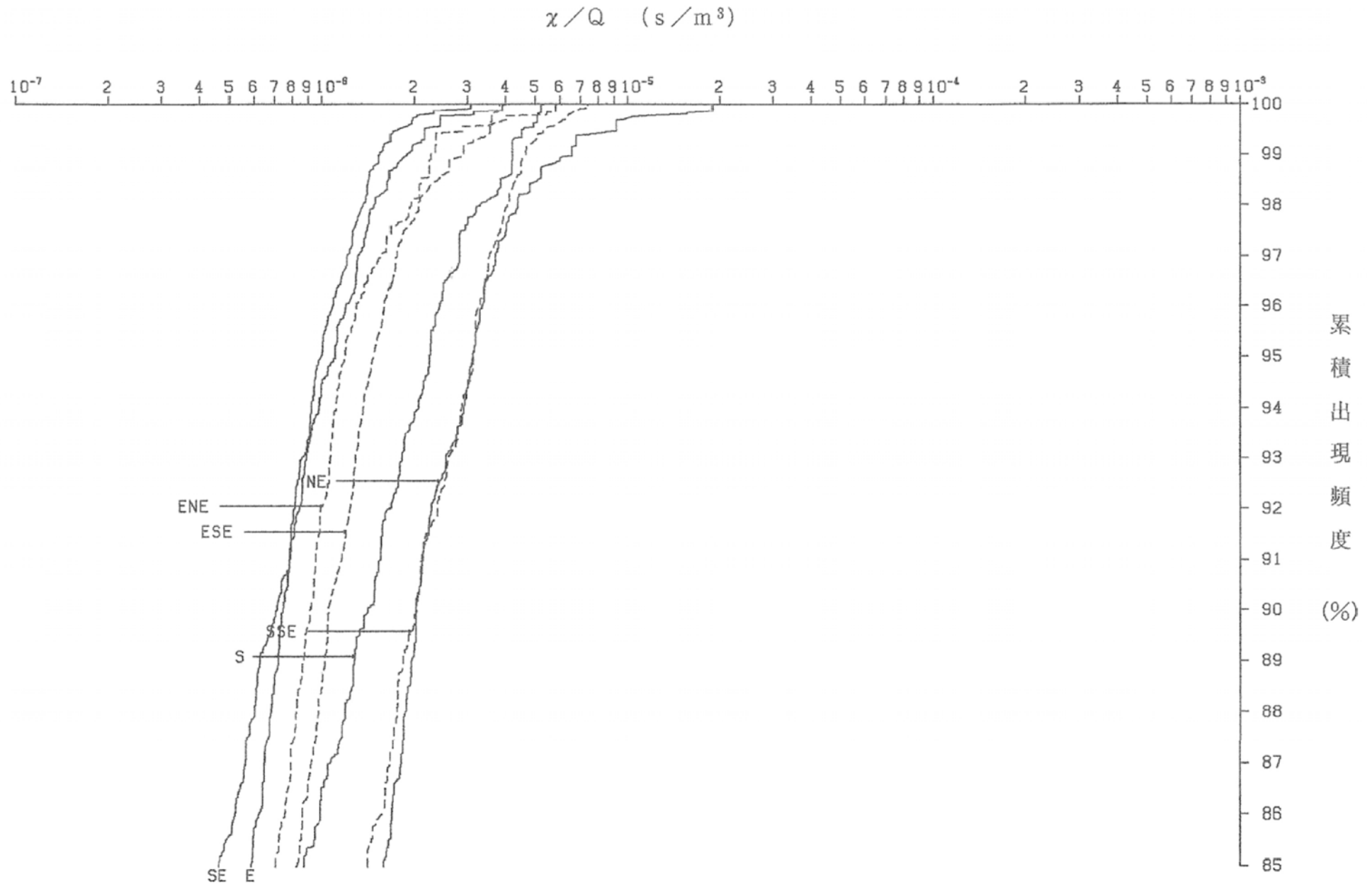
第1.2-52図(5) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [制御棒飛び出し、地上放出分]



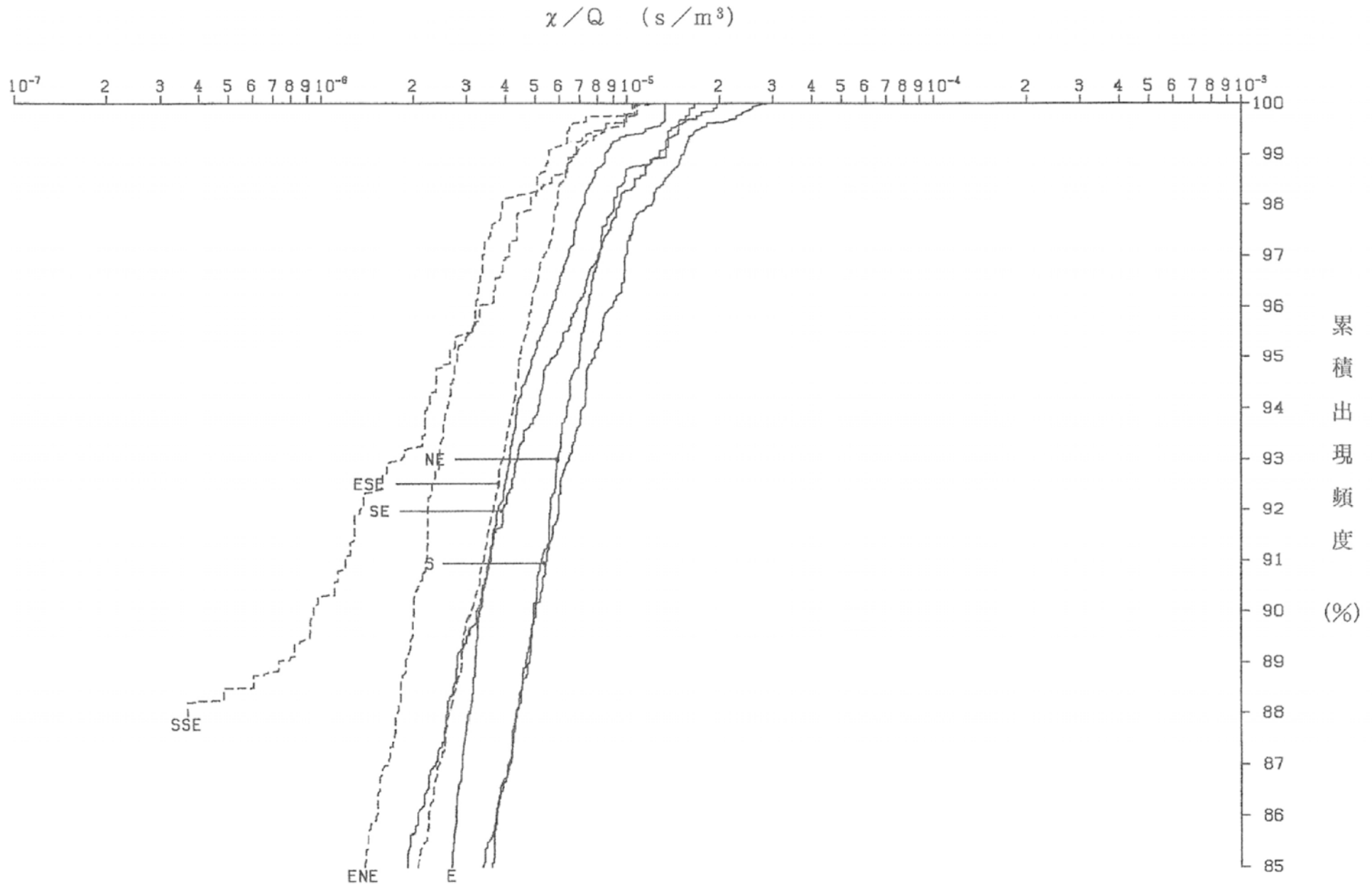
第1.2-52図(6) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
[原子炉冷却材喪失(重大事故時)、排気筒放出分]



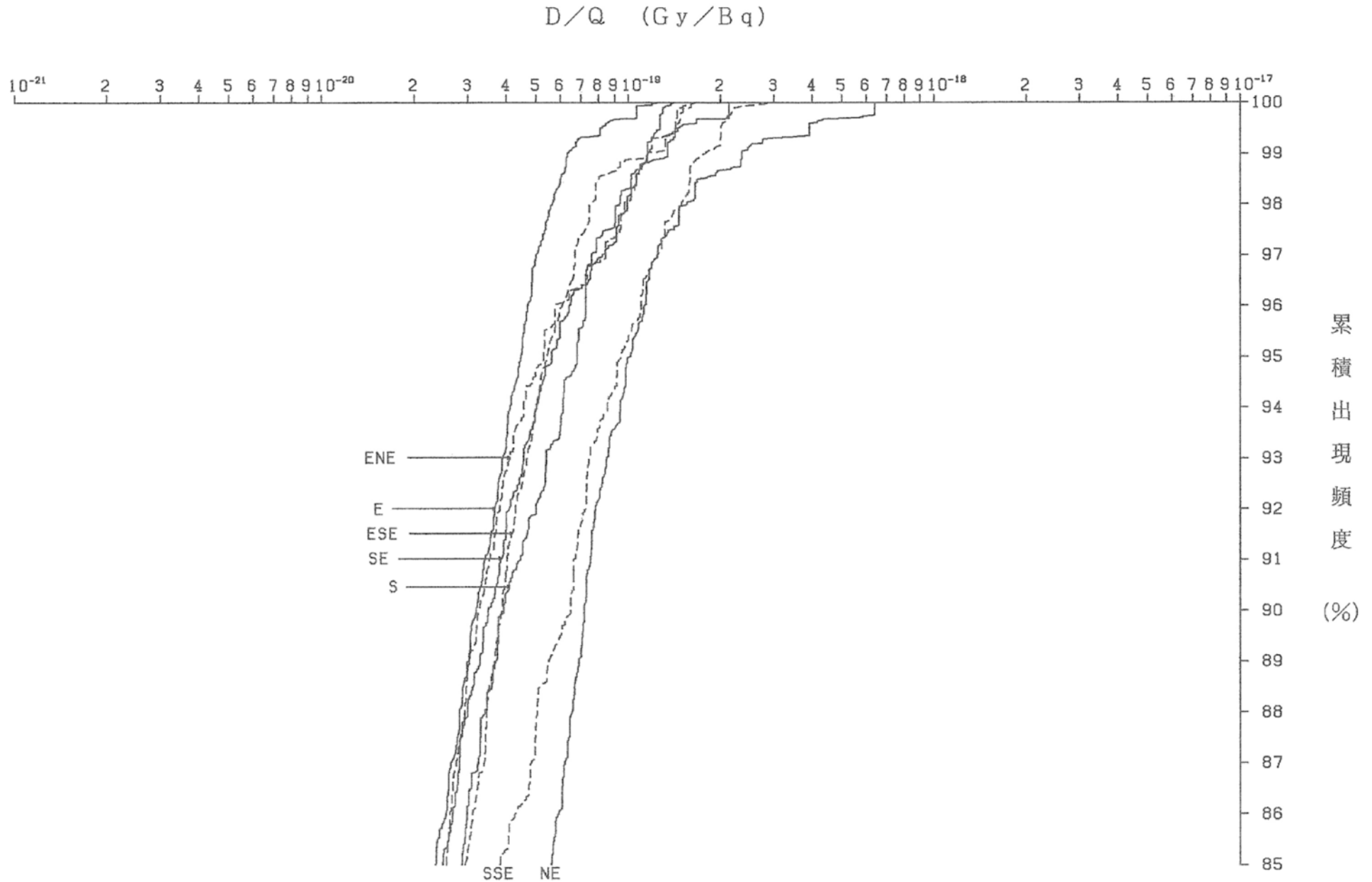
第1.2-52図(7) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(重大事故時)、地上放出分]



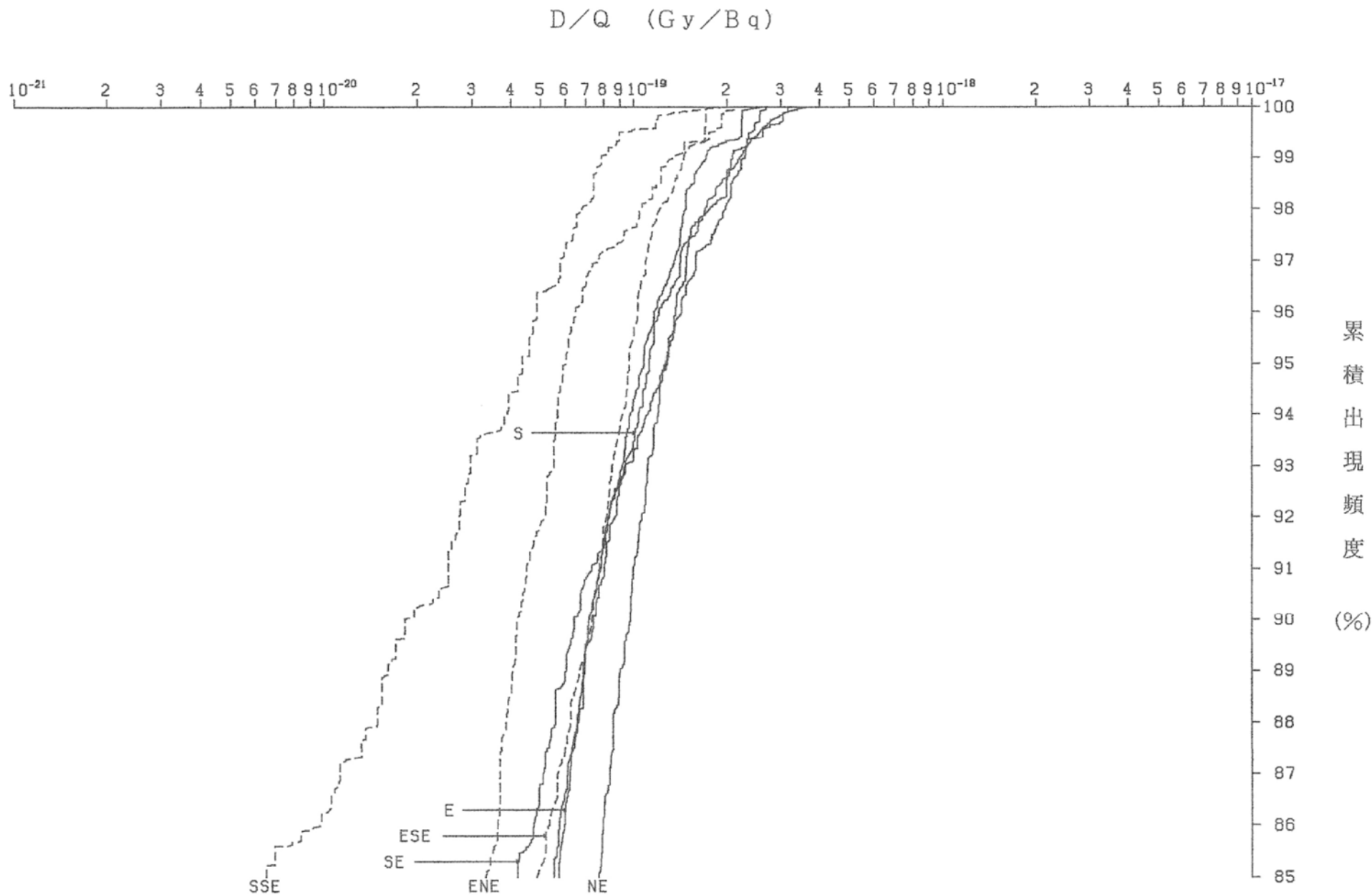
第1.2-52図(8) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(仮想事故時)、排気筒放出分]



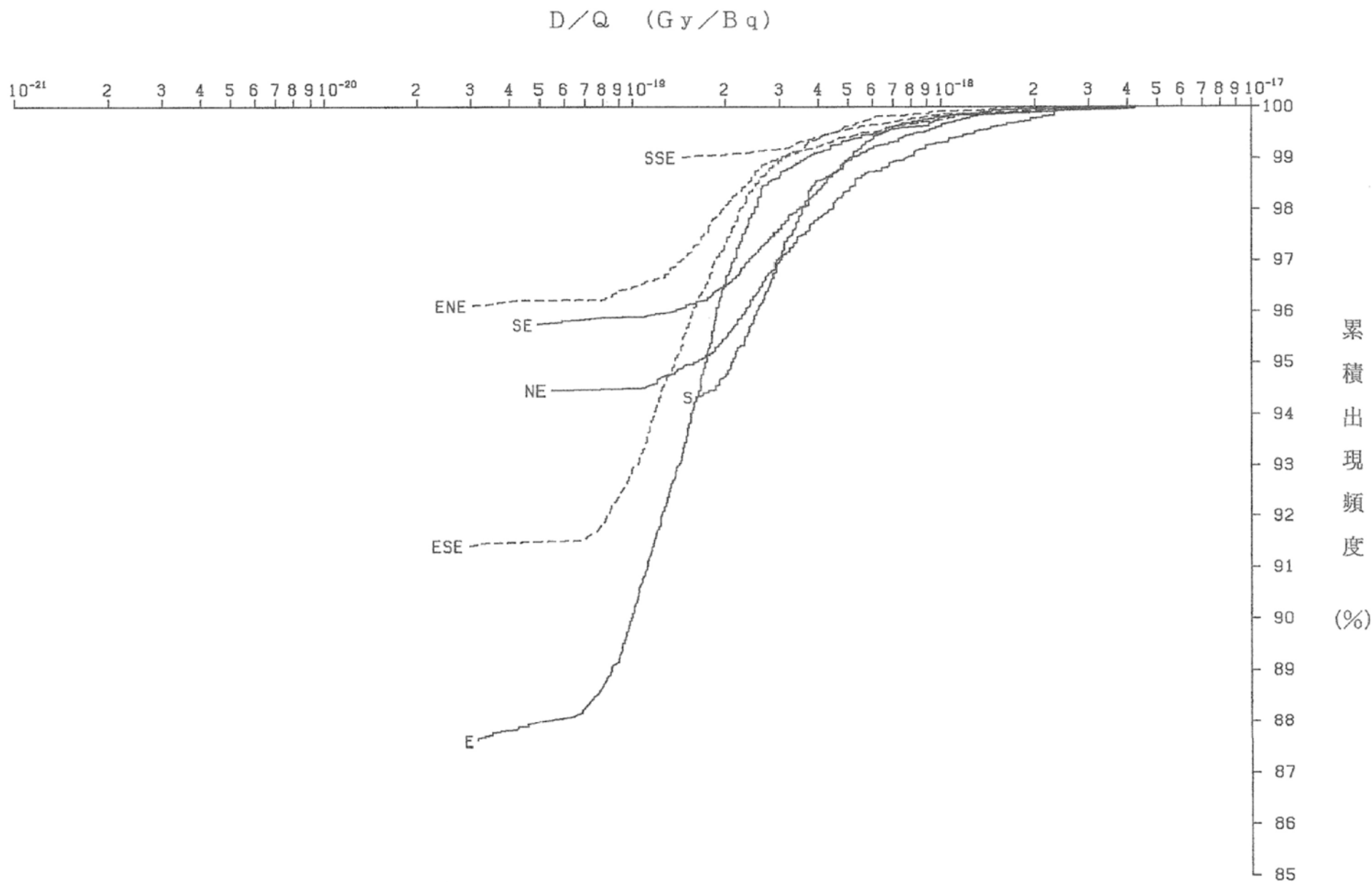
第1.2-52図(9) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(仮想事故時)、地上放出分]



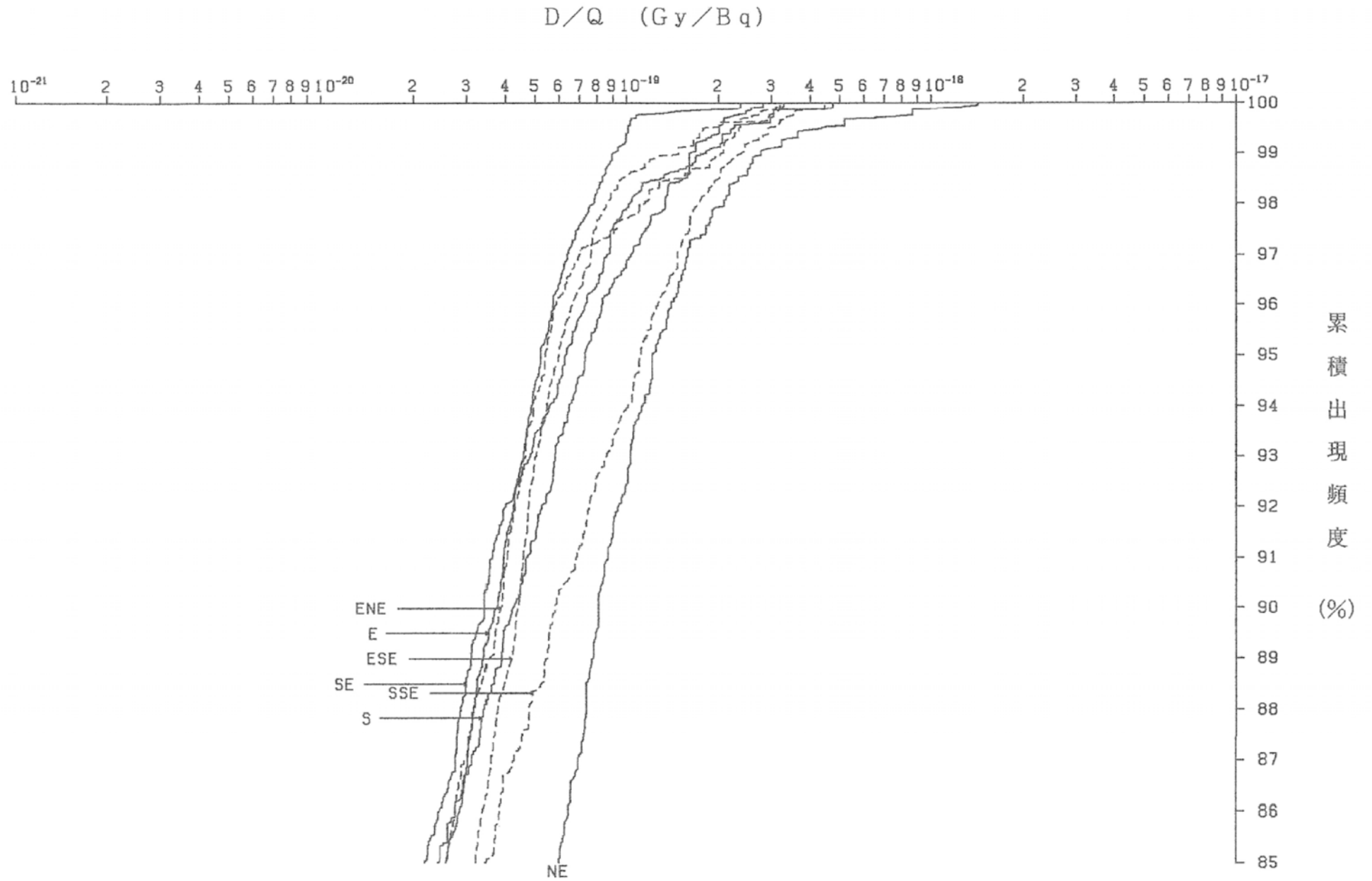
第1.2-52図(10) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
[原子炉冷却材喪失(事故時)、排気筒放出分]



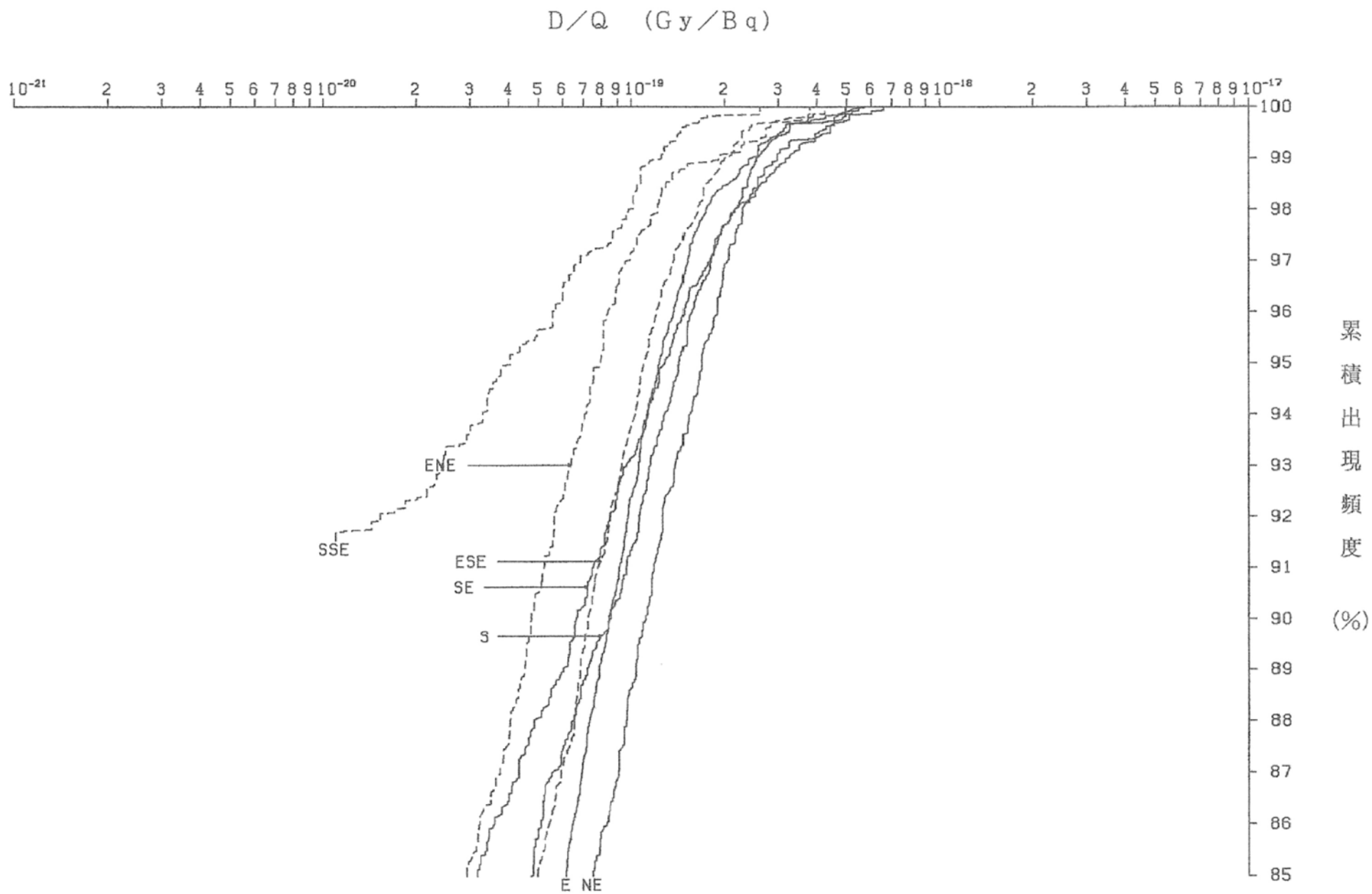
第1.2-52図(11) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
[原子炉冷却材喪失(事故時)、地上放出分]



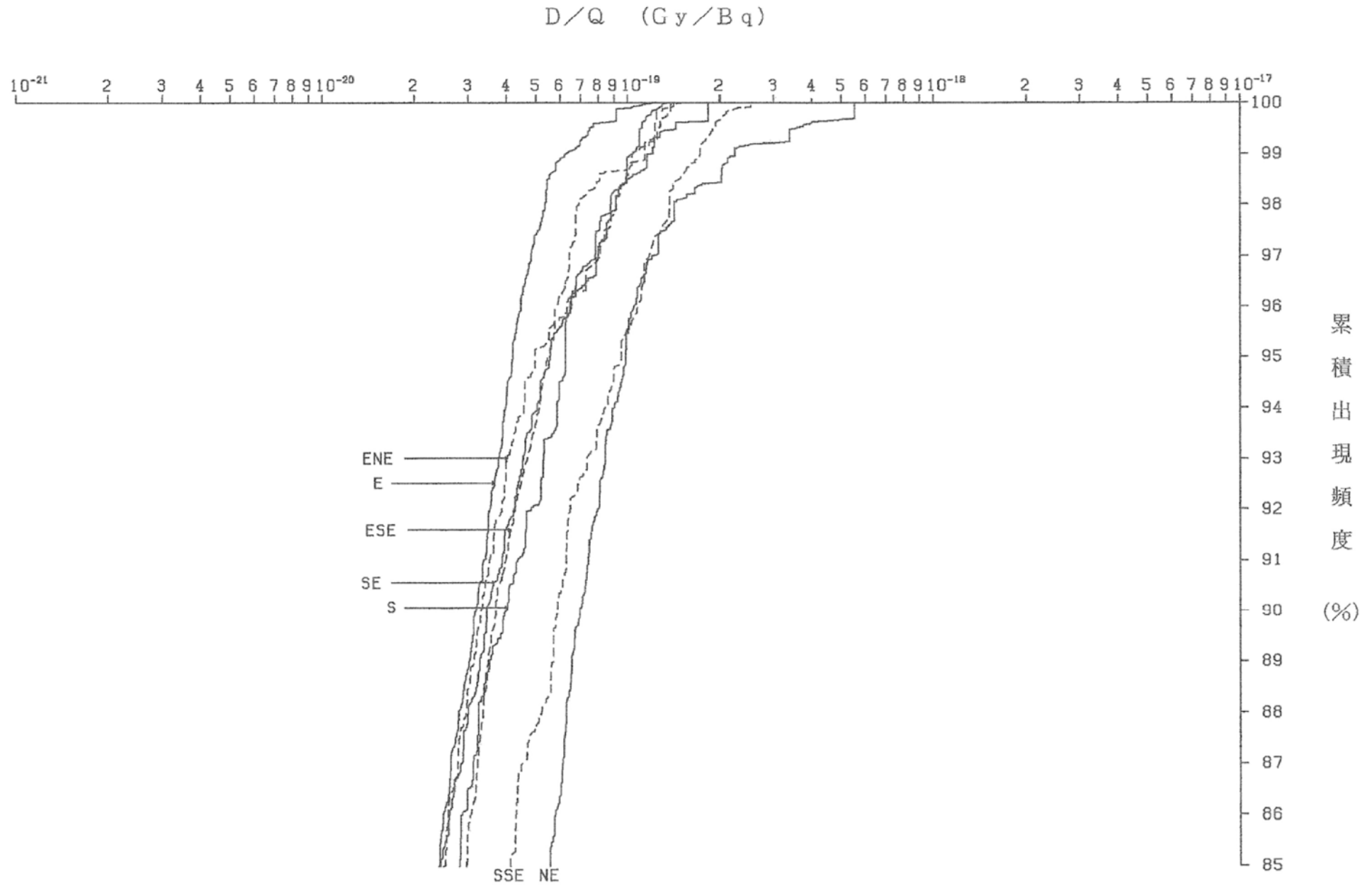
第1.2-52図(12) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
 [蒸気発生器伝熱管破損(事故時並びに重大事故及び仮想事故時)、燃料集合体の落下、
 放射性気体廃棄物処理施設の破損]



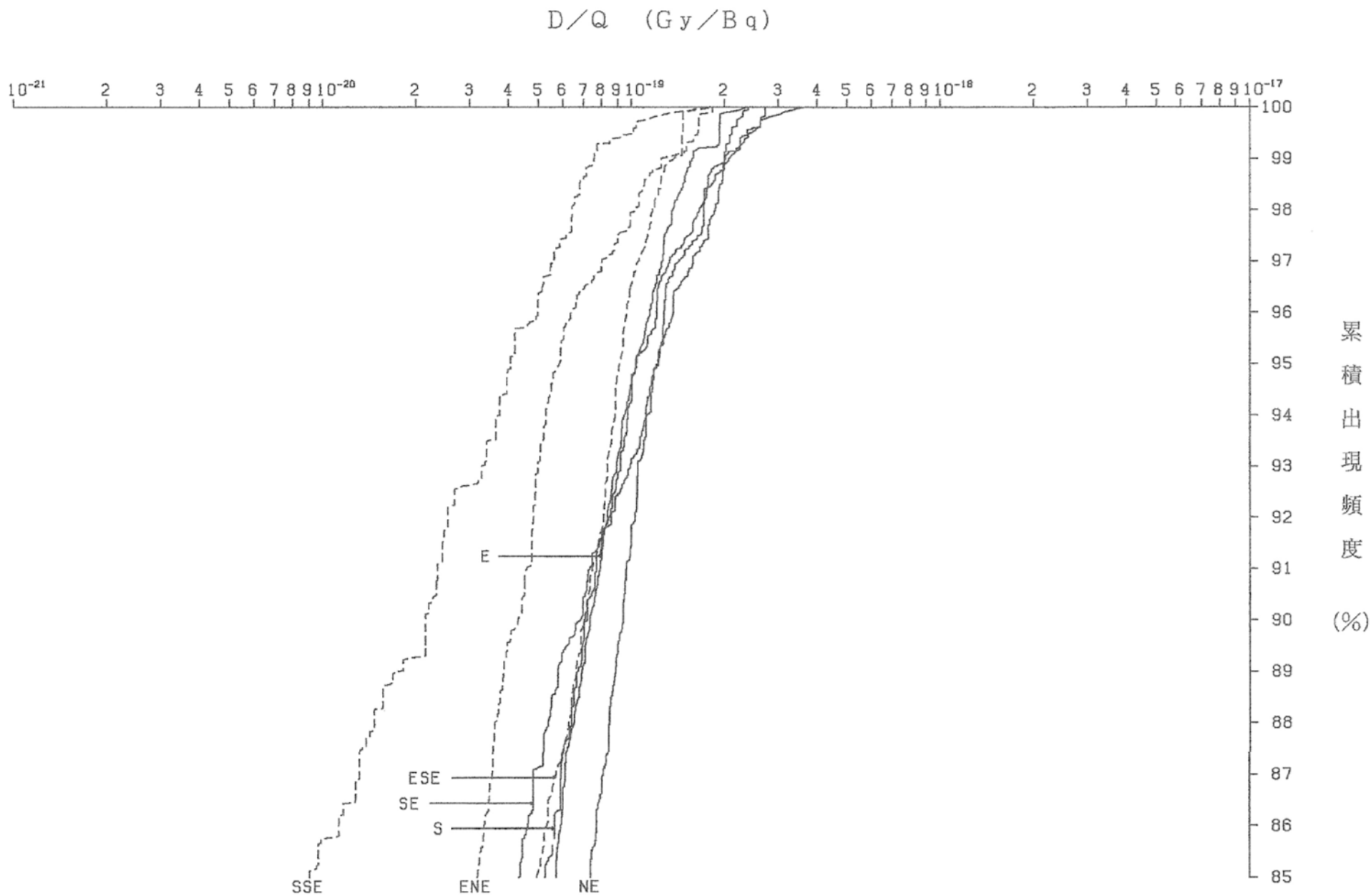
第1.2-52図(13) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
[制御棒飛び出し、排気筒放出分]



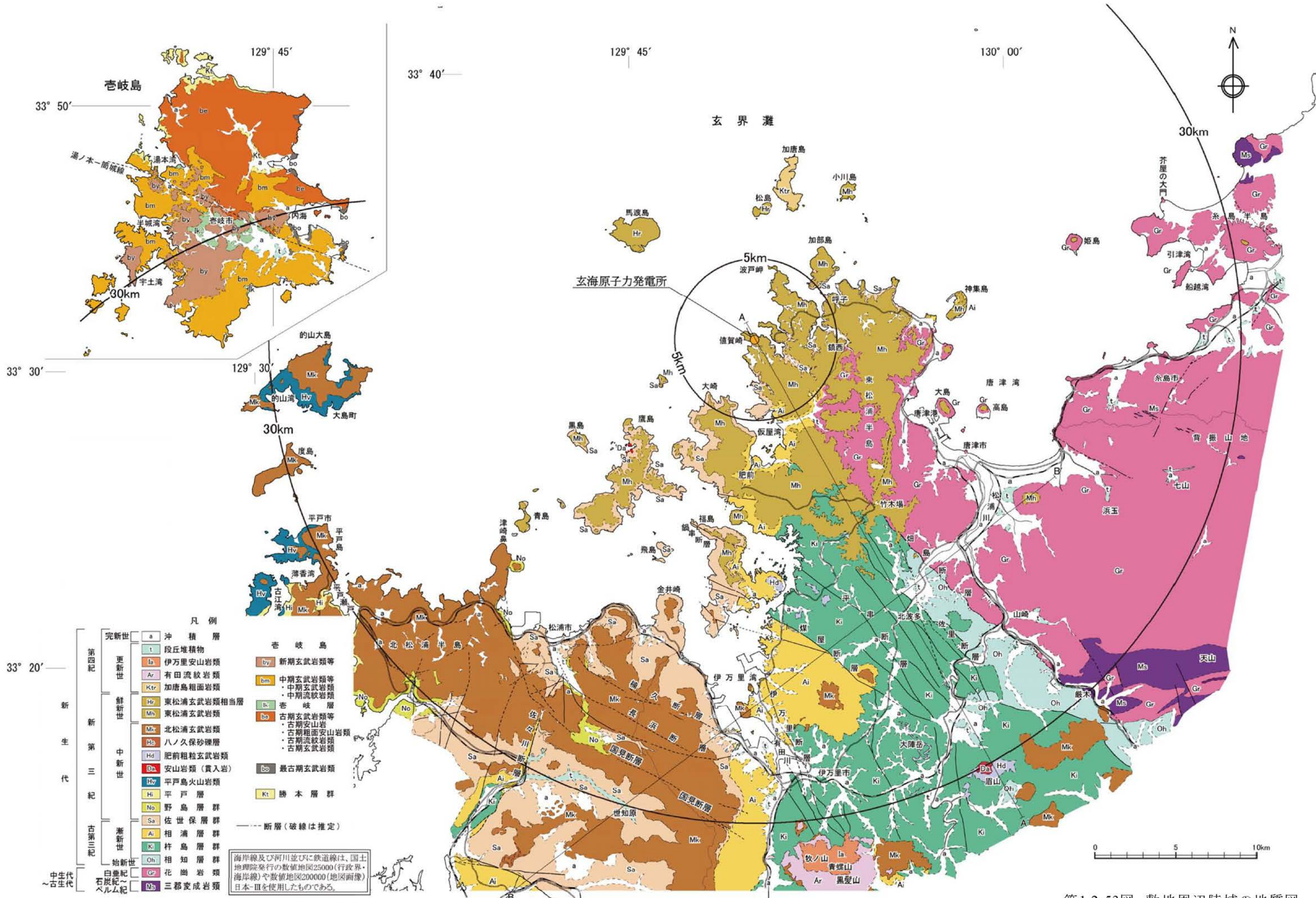
第1.2-52図(14) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
[制御棒飛び出し、地上放出分]



第1.2-52図(15) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)、排気筒放出分]

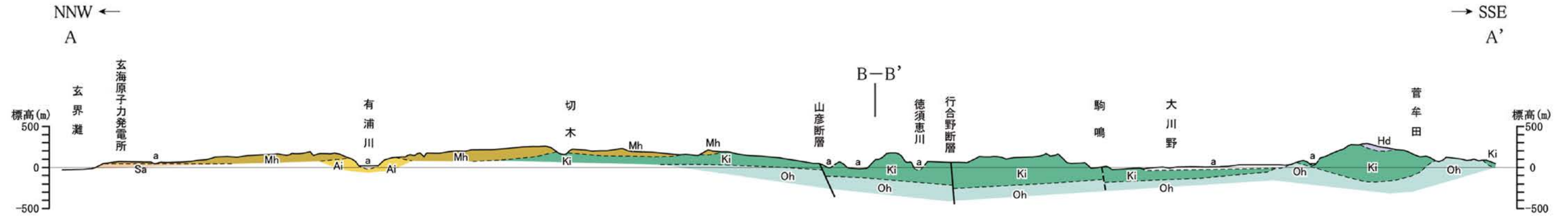


第1.2-52図(16) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)、地上放出分]

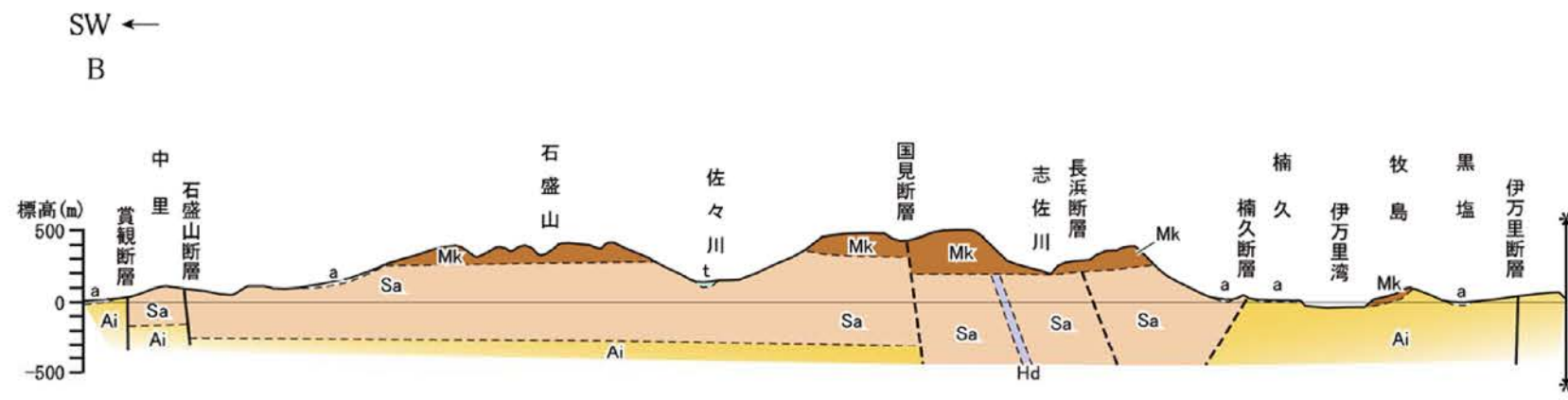


第1.2-53図 敷地周辺陸域の地質図

【A-A'断面図】

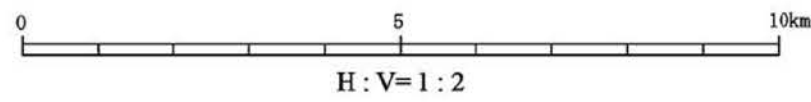


【B-B'断面図】

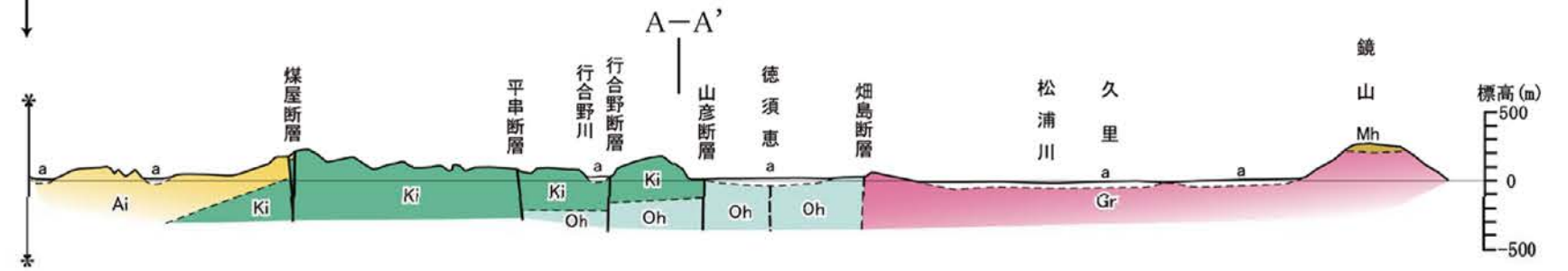


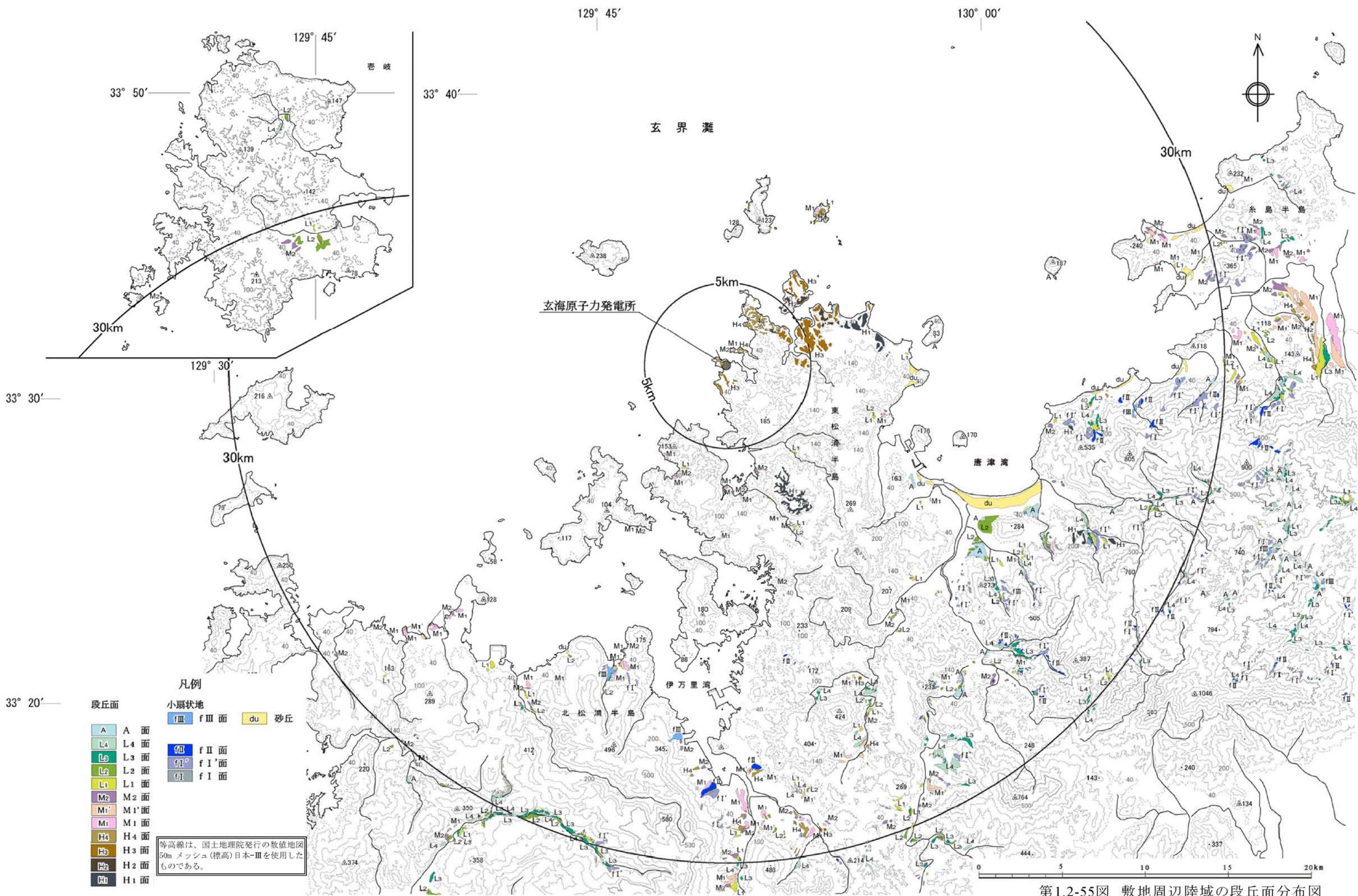
凡例

- | | | |
|------|----|----------|
| 第四紀 | a | 沖積層 |
| | t | 段丘堆積物 |
| 新第三紀 | Mh | 東松浦玄武岩類 |
| | Mk | 北松浦玄武岩類 |
| | Hd | 肥前粗粒玄武岩類 |
| 古第三紀 | Sa | 佐世保層群 |
| | Ai | 相浦層群 |
| | Ki | 杵島層群 |
| | Oh | 相知層群 |
| 白亜紀 | Gr | 花崗岩類 |
- - - 断層(破線は推定)
 - · - · 地質境界(破線は推定)

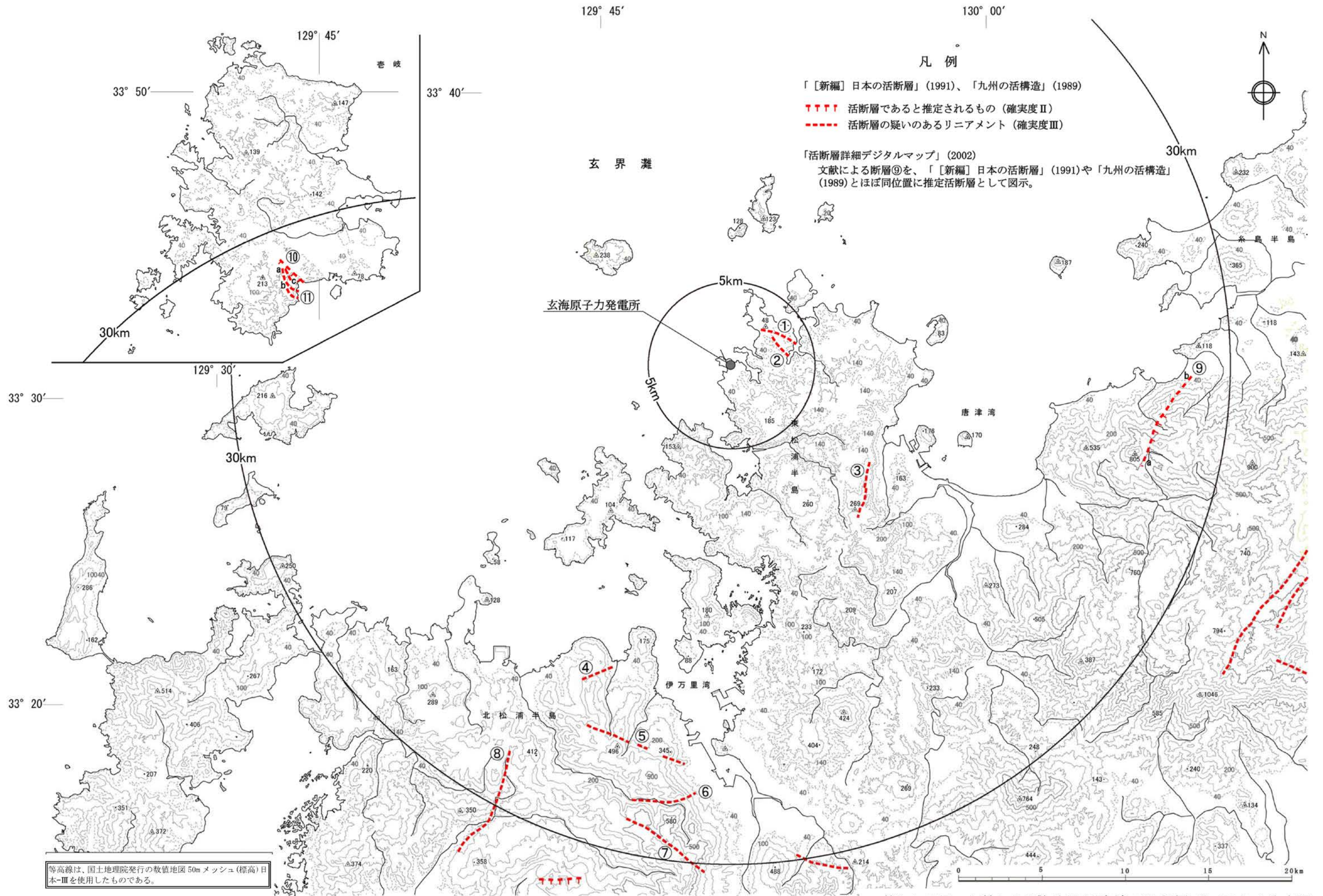


→ NE
B'





第1.2-55図 敷地周辺陸域の段丘面分布図



第1.2-57図 文献による敷地周辺陸域の活断層・リニアメント分布図



リニアメント

凡例	記号
	LA※
	LB
	LC
	LD

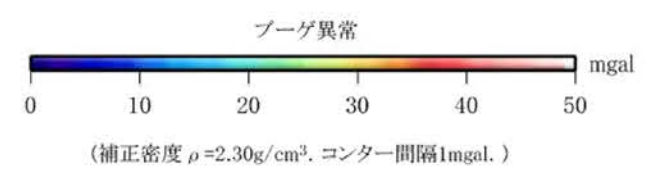
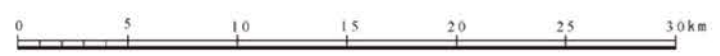
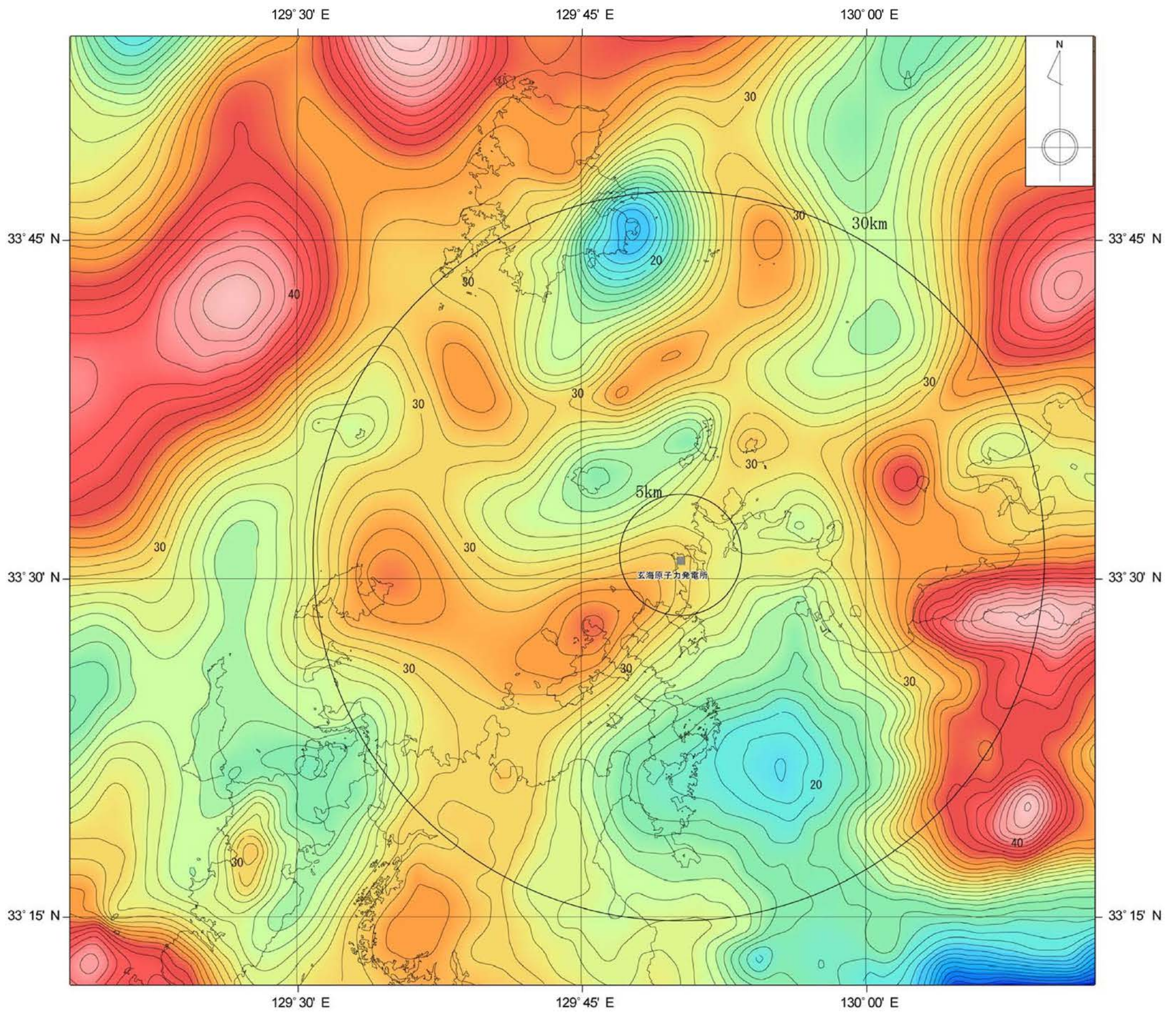
短線は低下側を、矢印の方向は横ずれの方向を示す。

↓↓ 掘み・傾動方向・急傾斜部

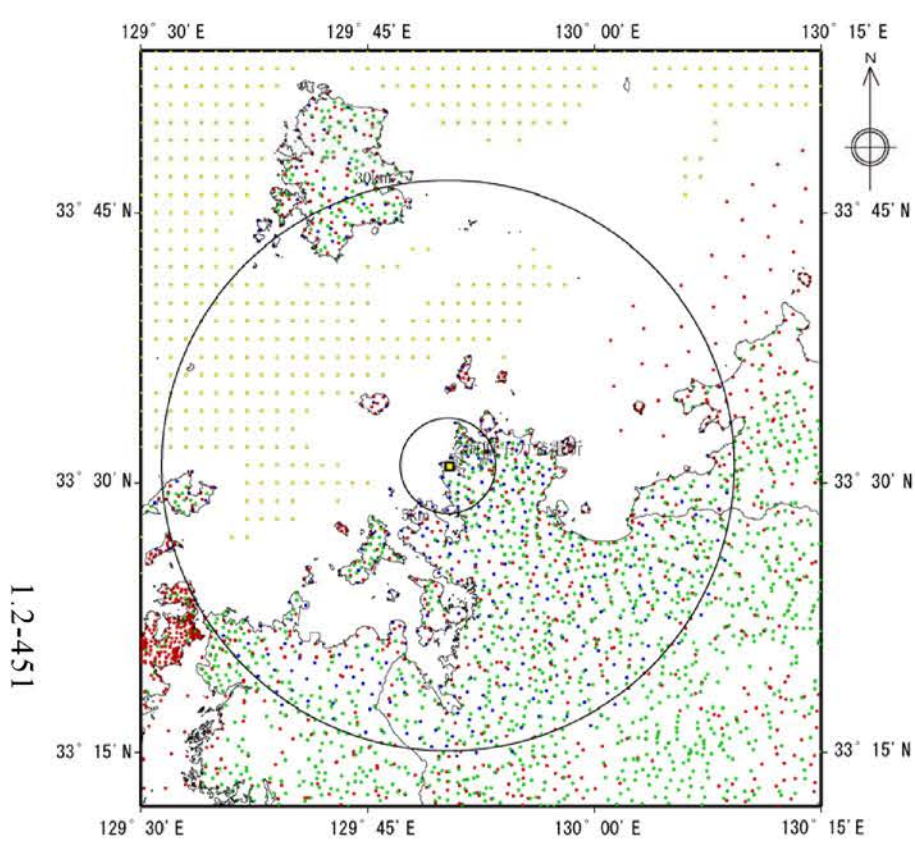
※本地域には、LAリニアメントは判読されない。

等高線は、国土地理院発行の数値地図 50m メッシュ (標高) を使用したものである。

第1.2-58図 敷地周辺陸域のリニアメント分布図



重力異常図は、陸域については、地質調査総合センター編(2013)「日本重力データベースDVD版」、Yamamoto et al.(2011)Gravity Database of Japan (CD-ROM)及び九州電力株式会社、海域については、Sandwell and Smith(1997)及び笹原・矢沼・矢吹(2006)による重力データを使用。

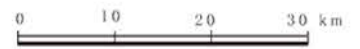


- 重力データ測定点分布凡例
- 九州電力株式会社
 - Sandwell and Smith(1997)及び笹原・矢沼・矢吹(2006)
 - 地質調査総合センター
 - Yamamoto et al. (2011)

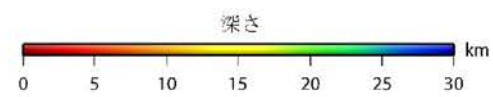
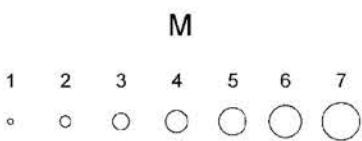
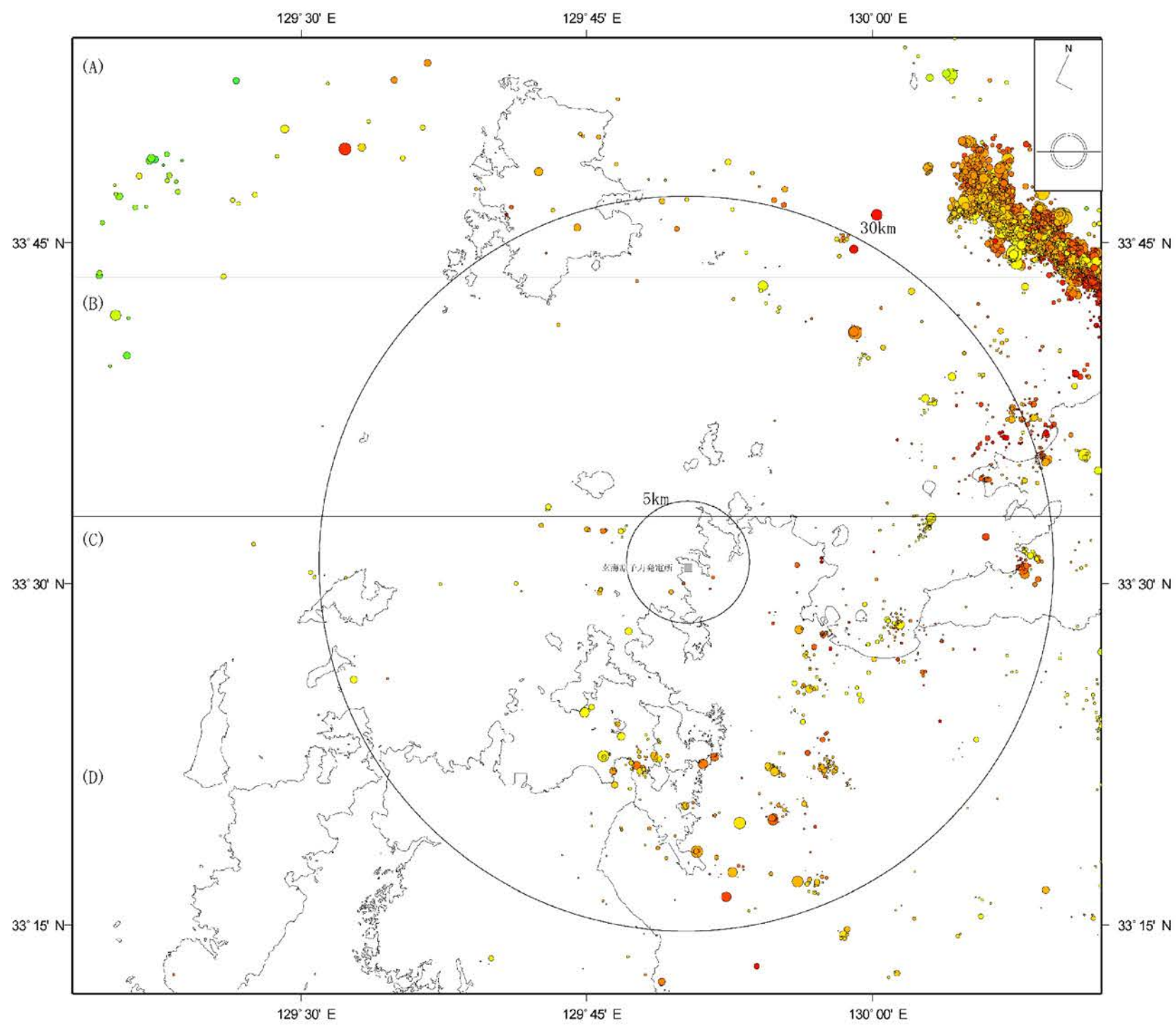
海岸線及び県境線は、国土地理院発行の数値地図25000(行政界・海岸線)を使用したものである。

1.2-451

重力データ測定点分布図

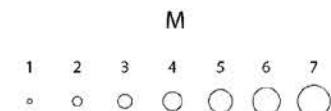
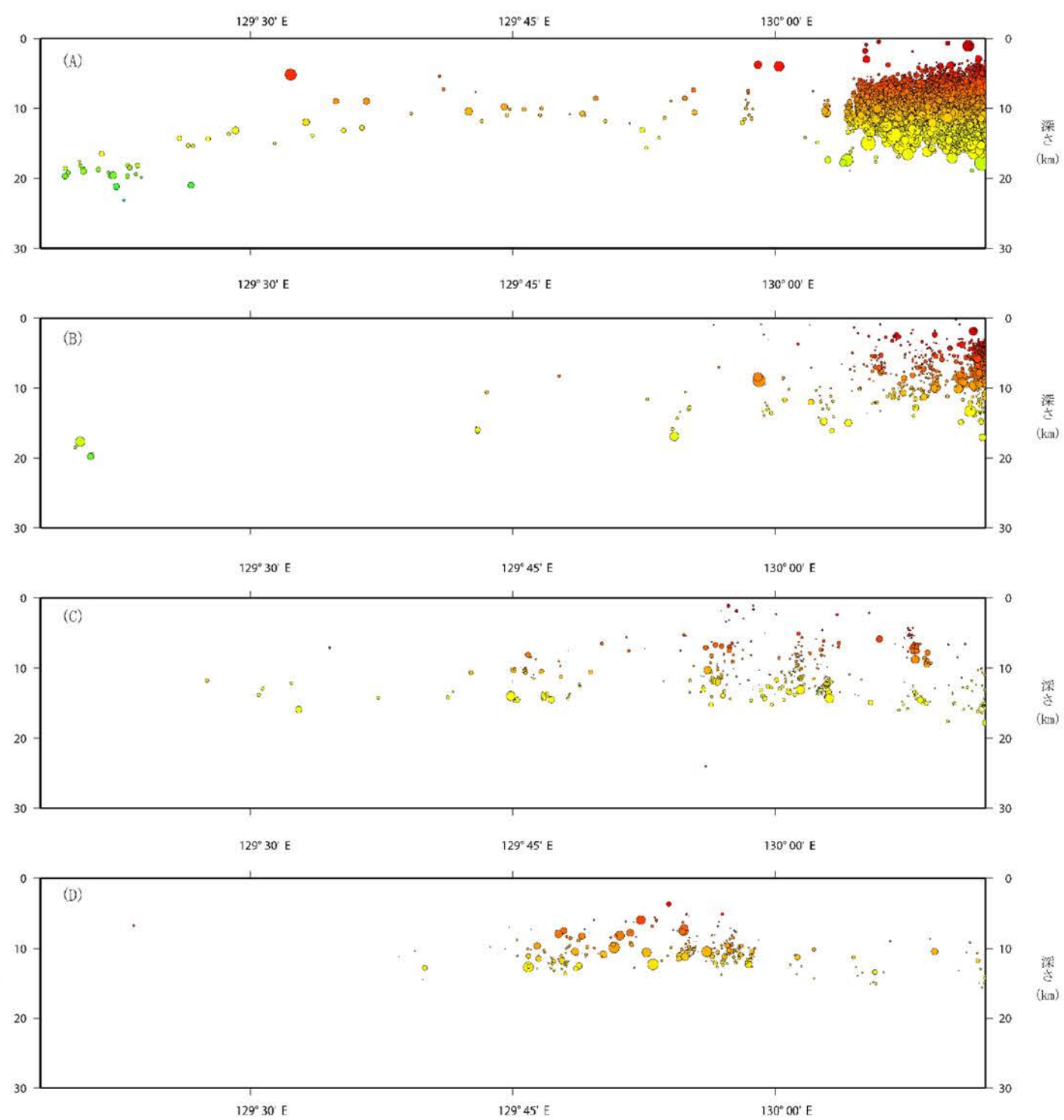


第1.2-59図 敷地周辺の重力異常図



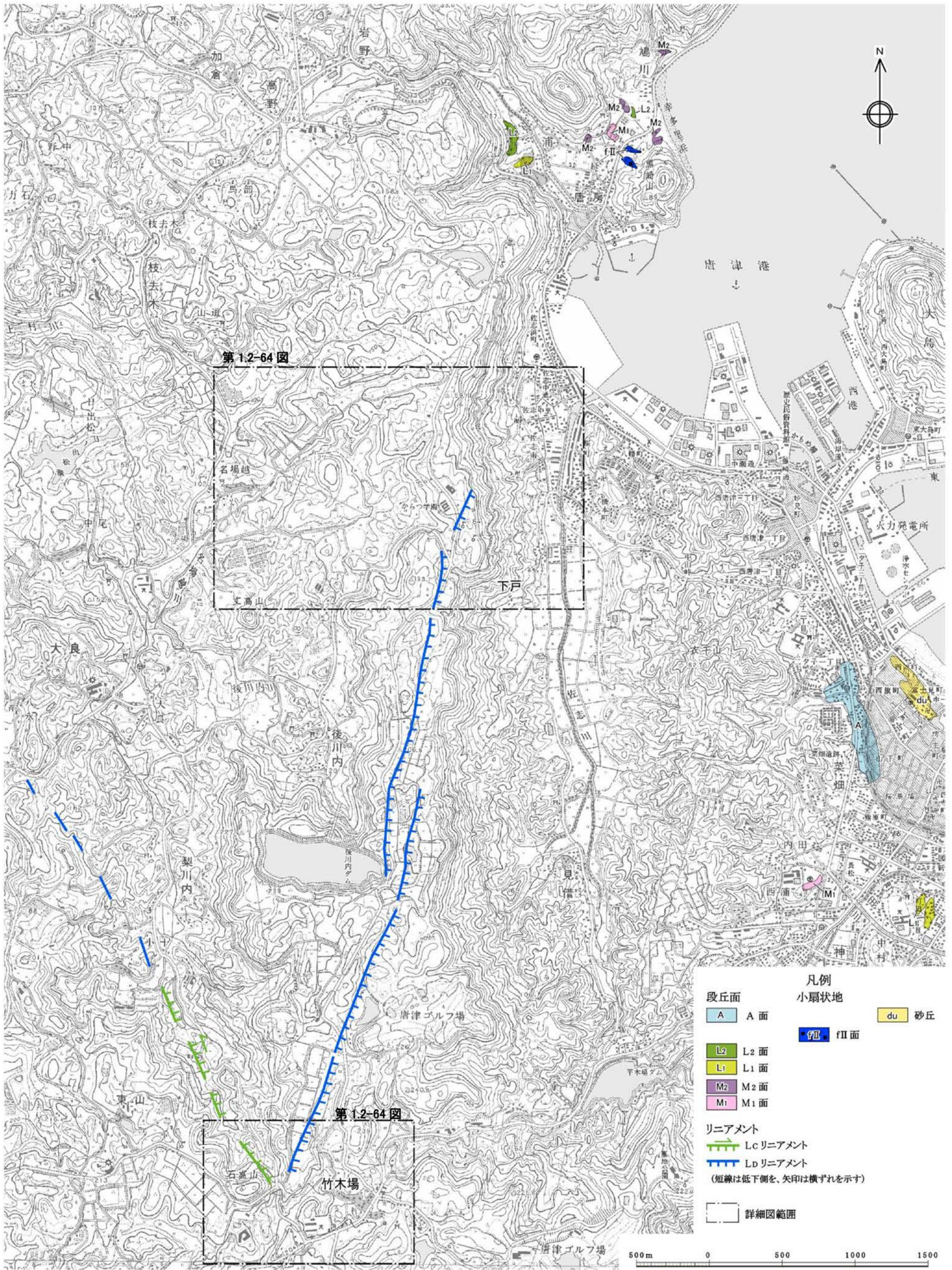
(気象庁震源カタログデータ(期間: 1923-2012年12月)を使用、 $M \geq 0$ 、深さ30km以浅)

海岸線及び県境線は、国土地理院発行の数値地図 25000(行政界・海岸線)を使用したものである。



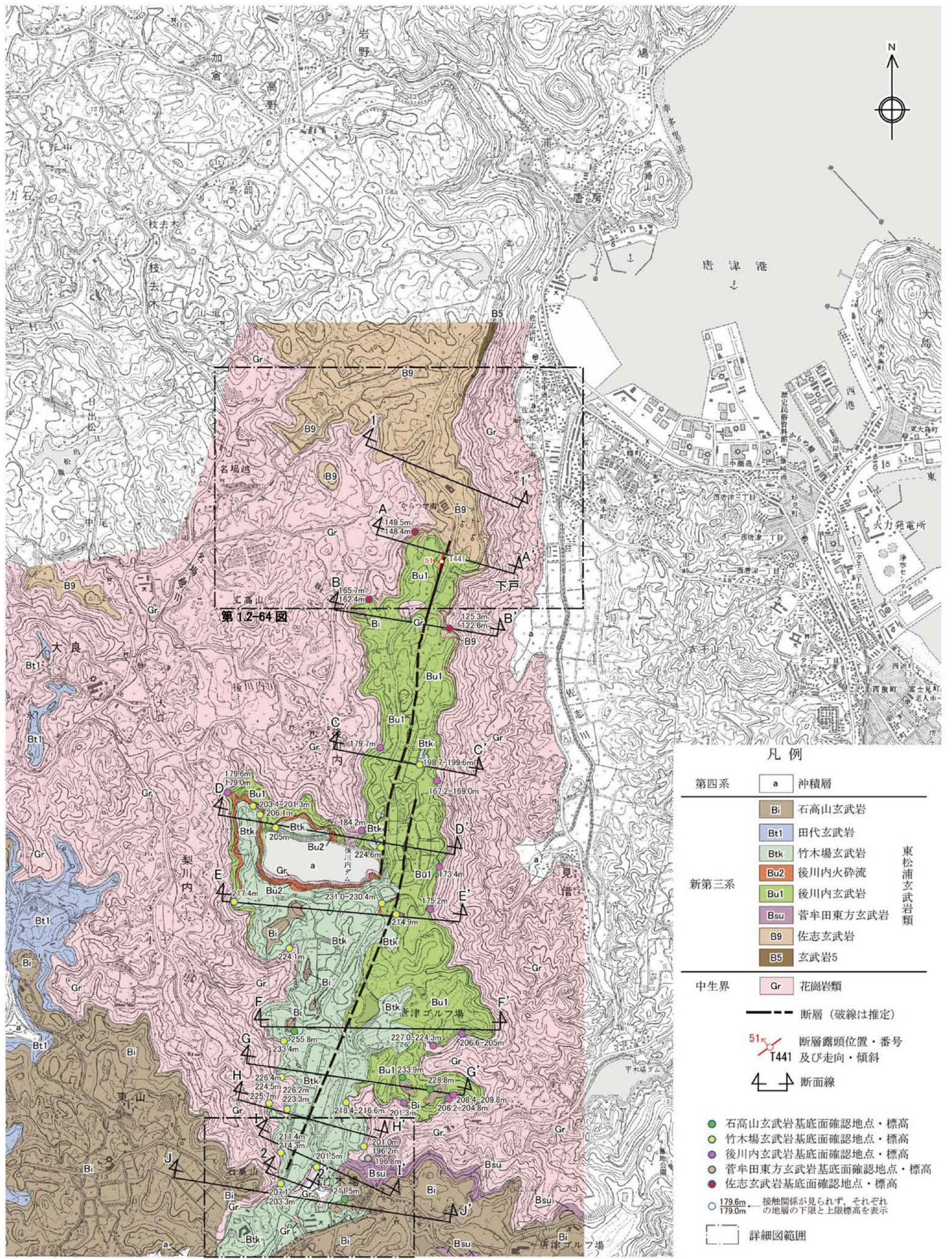
震源分布断面図
(気象庁震源カタログデータ(期間: 1923-2012年12月)を使用、 $M \geq 0$ 、深さ30km以浅)

第1.2-60図 敷地周辺の微小地震分布図



この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図(唐津)を使用したものである。

第1.2-61図 竹木場断層周辺の空中写真判読図

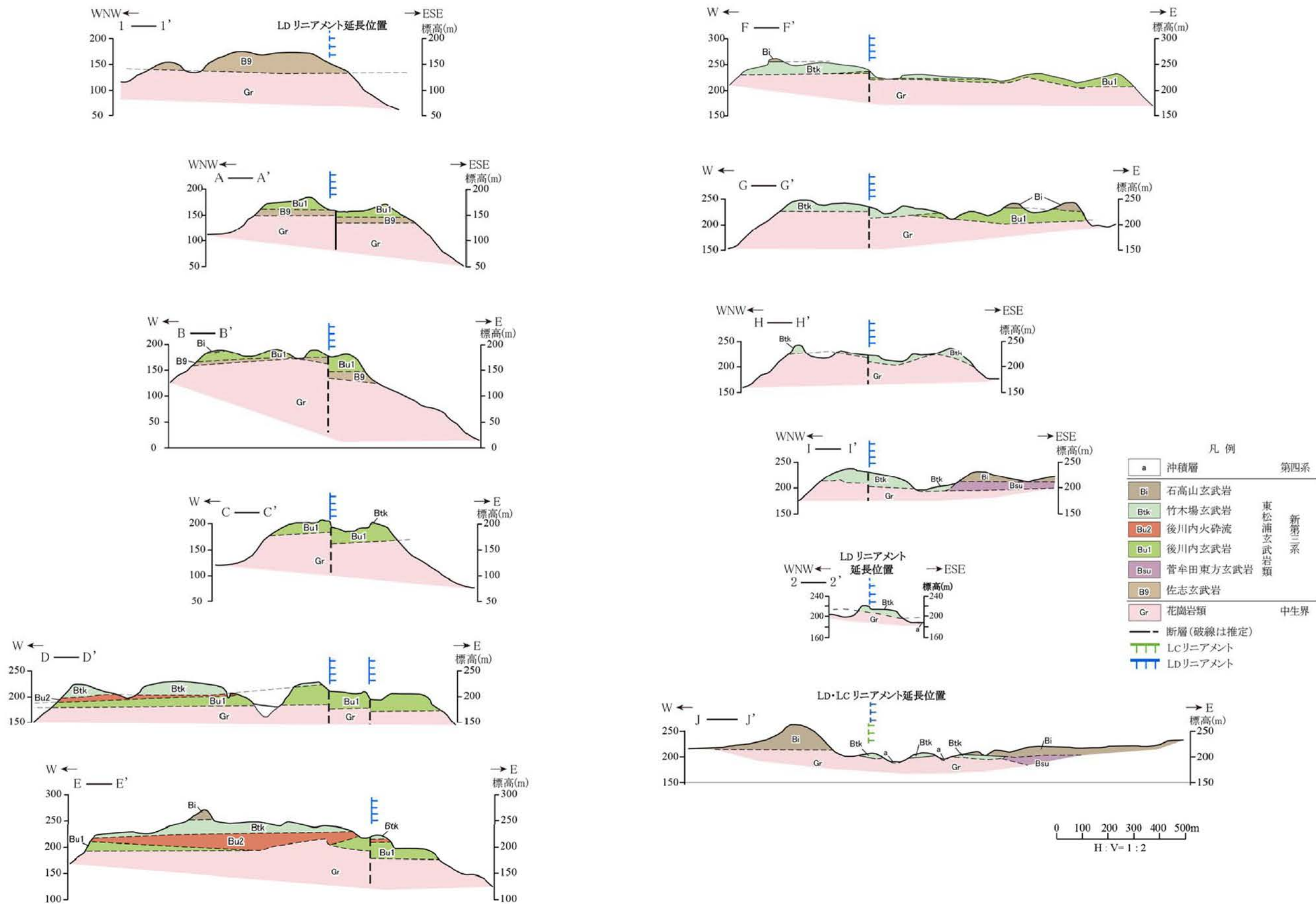


- 凡例
- | | | | |
|------|-----|----------|---------|
| 第四系 | a | 沖積層 | |
| 新第三系 | Bi | 石高山玄武岩 | 東松浦玄武岩類 |
| | Bt1 | 田代玄武岩 | |
| | Btk | 竹木場玄武岩 | |
| | Bu2 | 後川内火砕流 | |
| | Bu1 | 後川内玄武岩 | |
| 中生界 | Bsu | 菅牟田東方玄武岩 | |
| | B9 | 佐志玄武岩 | |
| | B5 | 玄武岩5 | |
| 中生界 | Gr | 花崗岩類 | |
- - - 断層 (破線は推定)
 51 T441 断層露頭位置・番号及び走向・傾斜
 断面線
- 石高山玄武岩基底面確認地点・標高
 - 竹木場玄武岩基底面確認地点・標高
 - 後川内玄武岩基底面確認地点・標高
 - 菅牟田東方玄武岩基底面確認地点・標高
 - 佐志玄武岩基底面確認地点・標高
 - 179.6m 接触関係が見られず、それぞれの地層の下限と上限標高を表示
 - 詳細図範囲

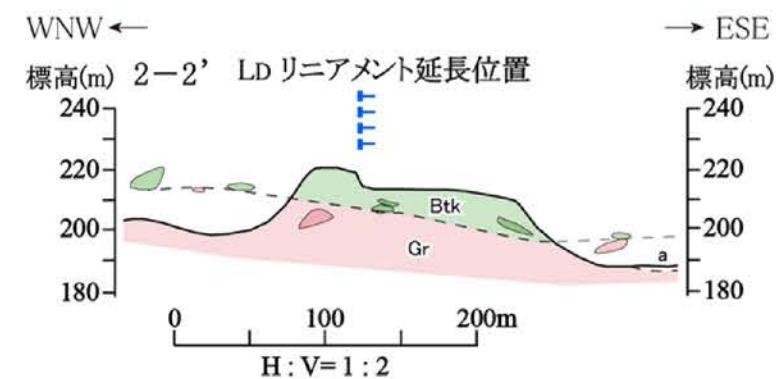
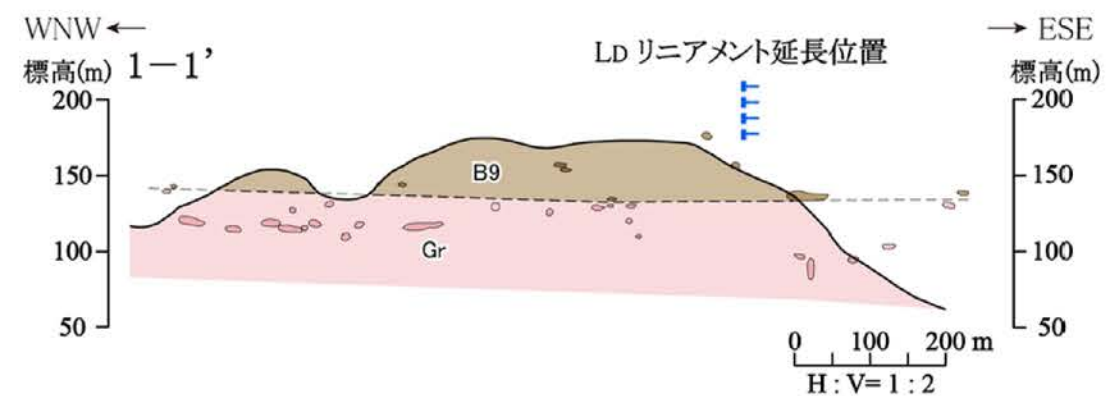
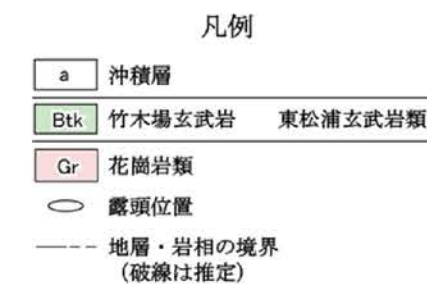
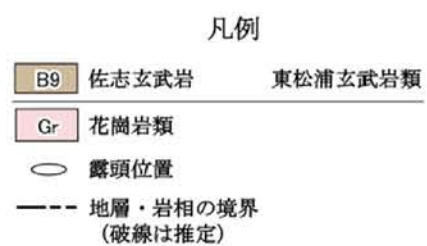
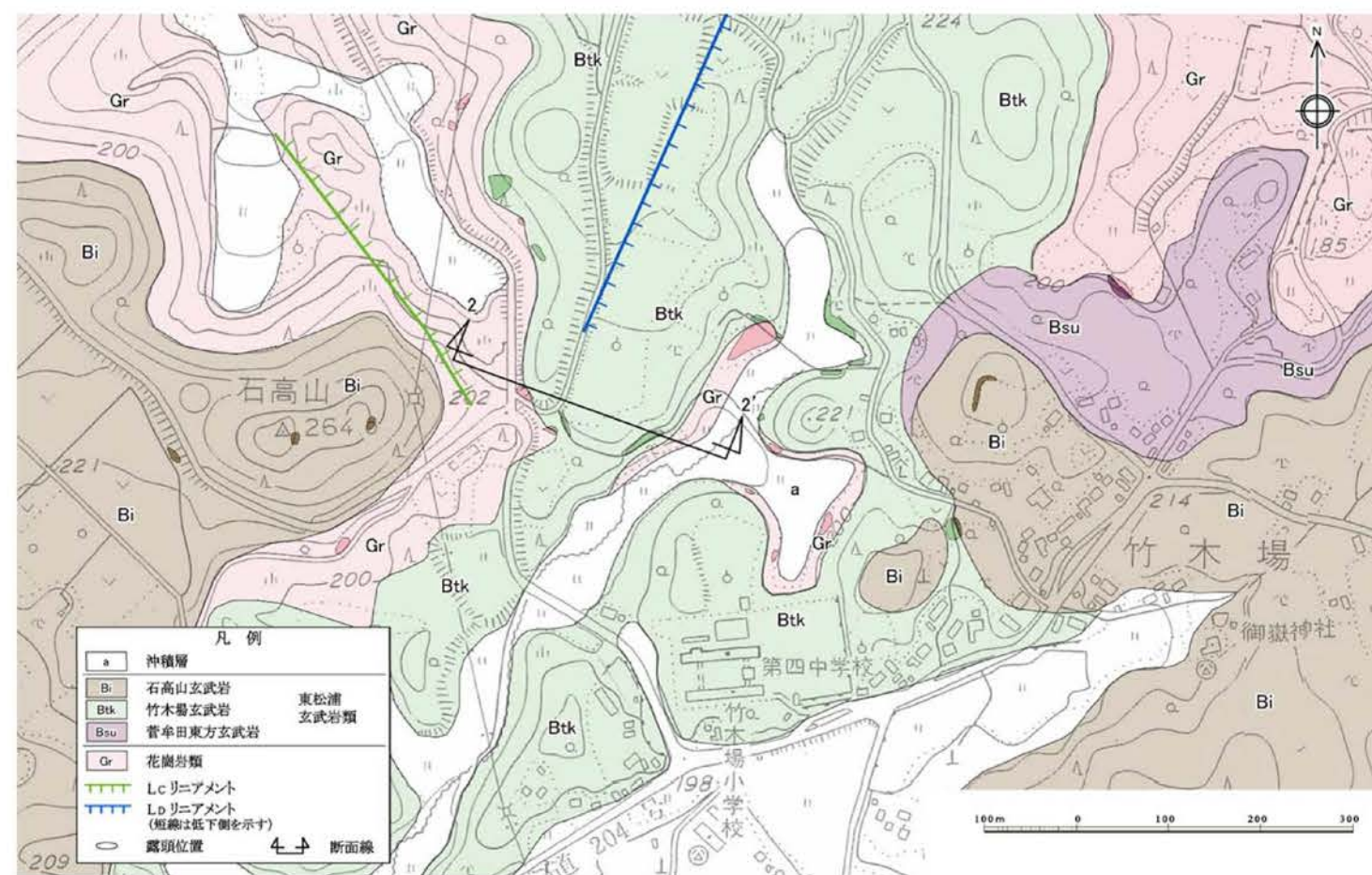
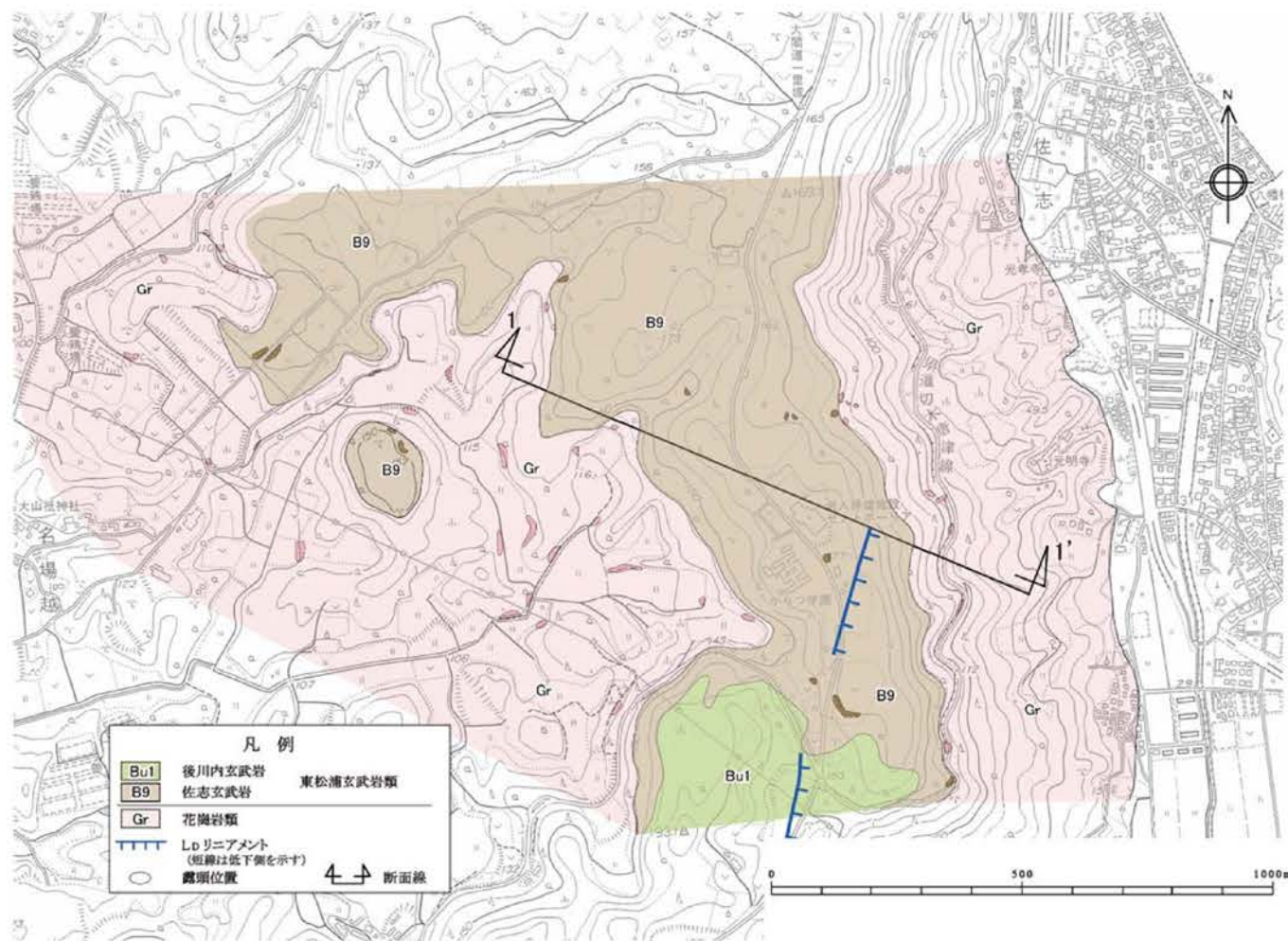
第1.2-64図

この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図(唐津)を使用したものである。

第1.2-62図 竹木場断層周辺の地質図



第1.2-63図 竹木場断層周辺の地質断面図

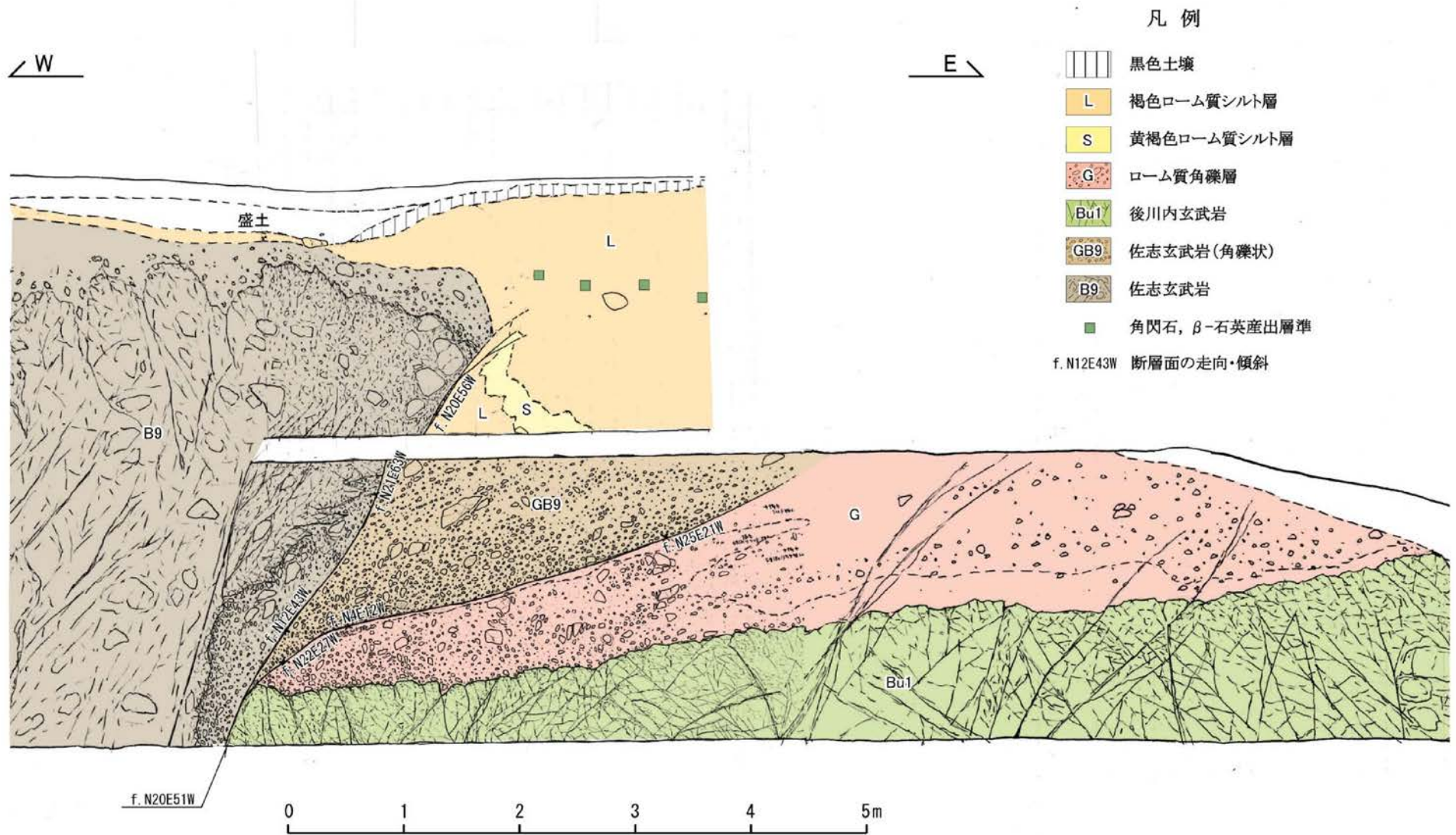


唐津市下戸付近

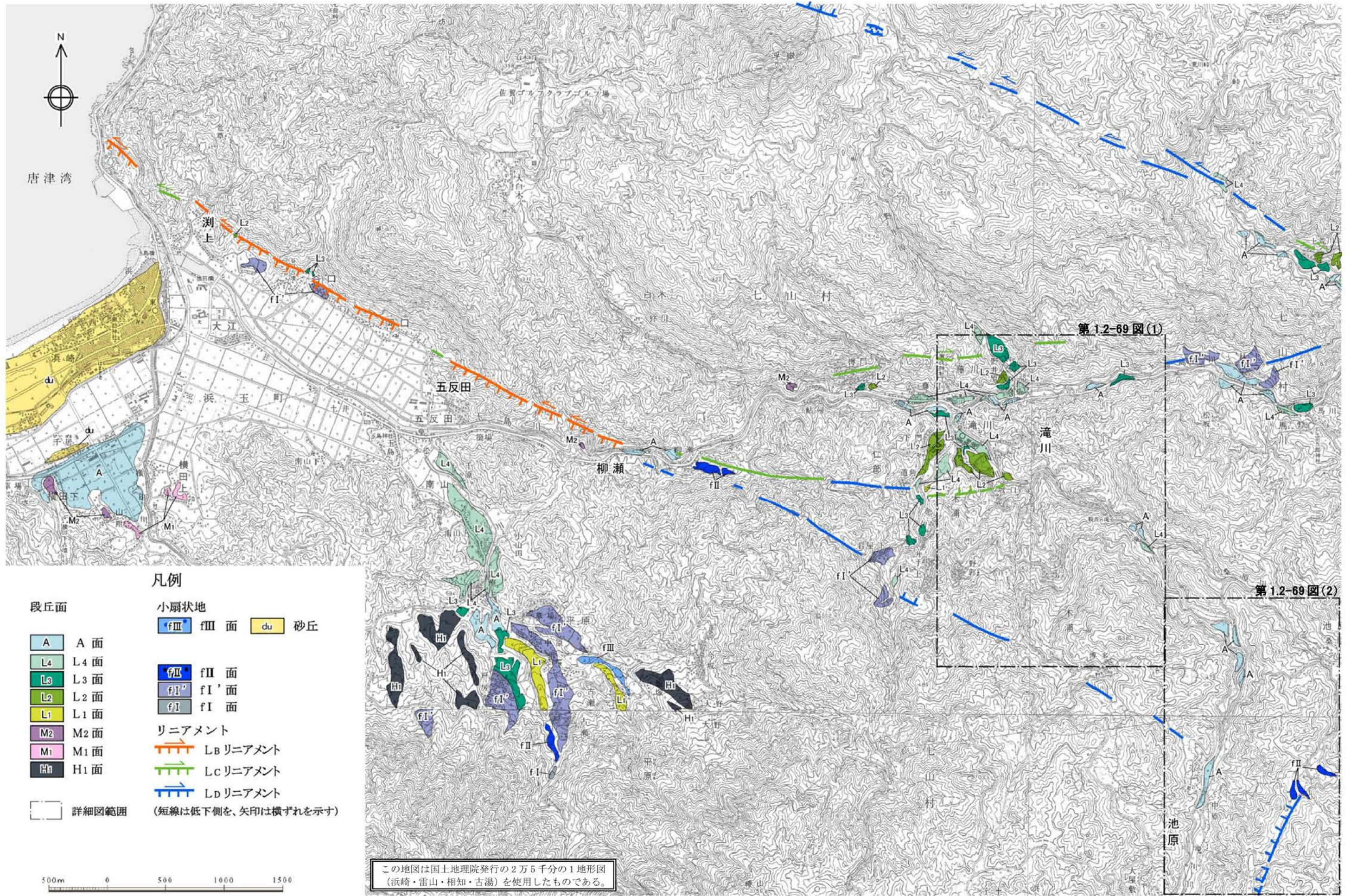
唐津市竹木場付近

第1.2-64図 唐津市下戸付近及び竹木場付近のルートマップ・地質断面図

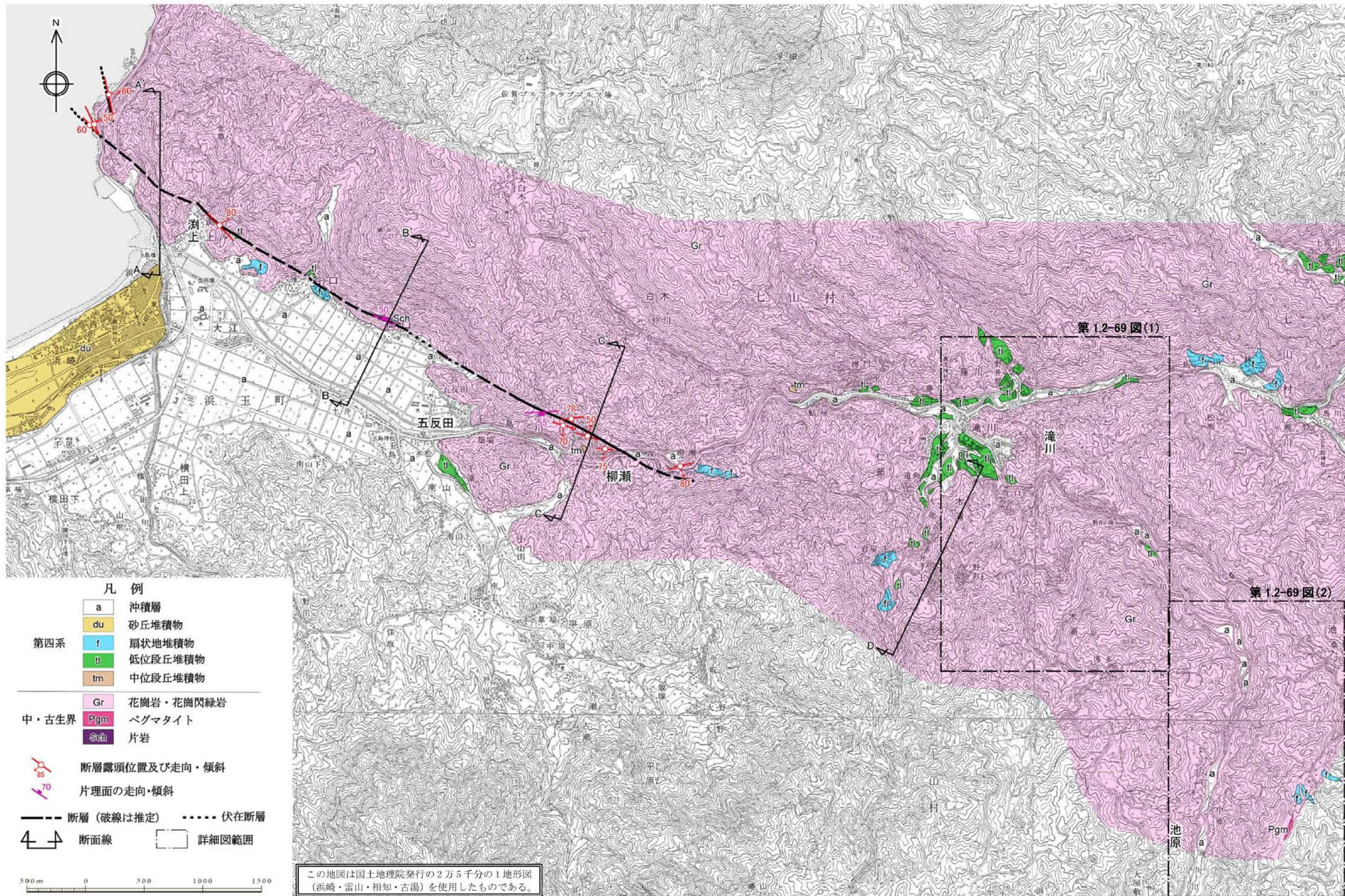
1.2-457



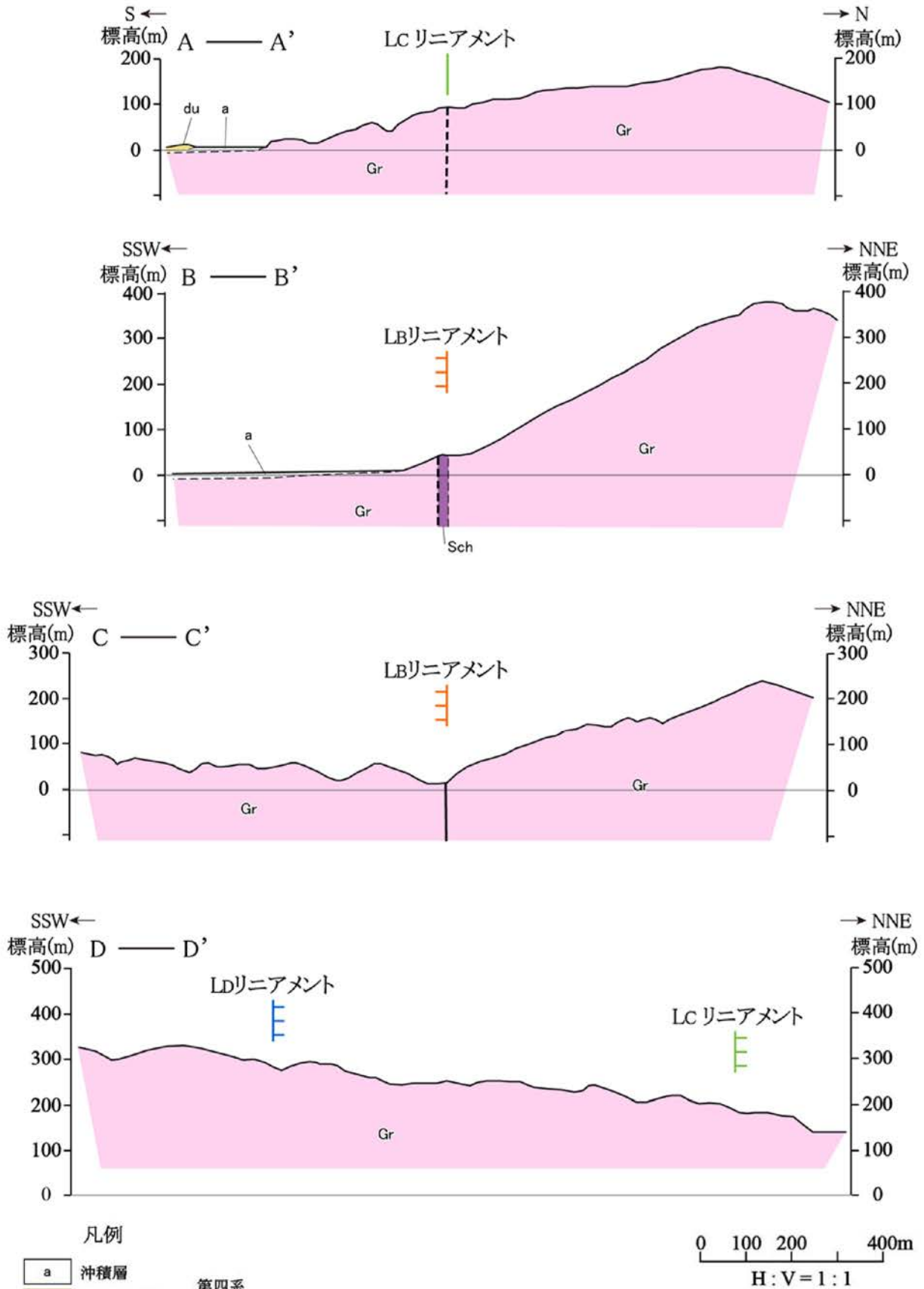
第1.2-65図 露頭スケッチ (Loc.T441、唐津市下戸西)



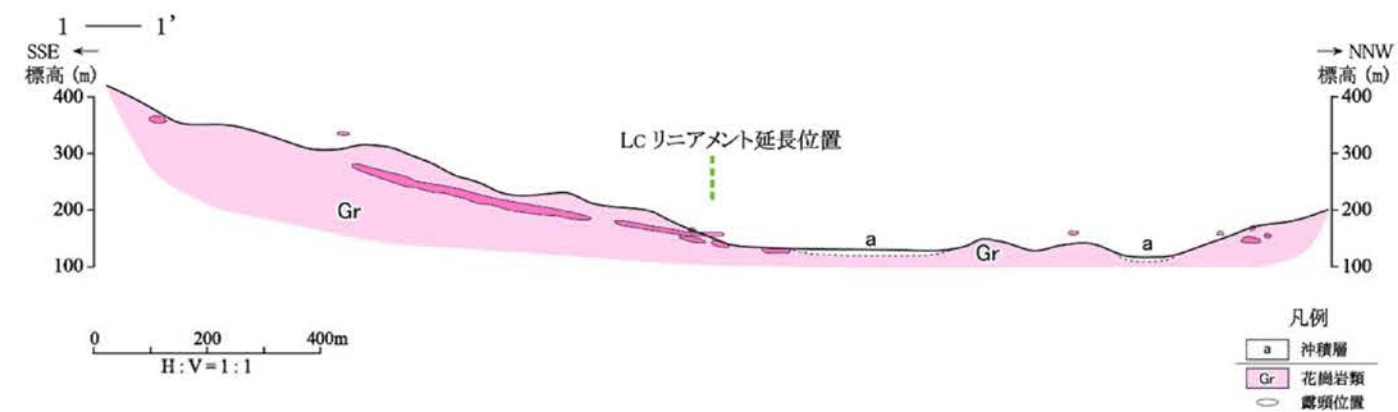
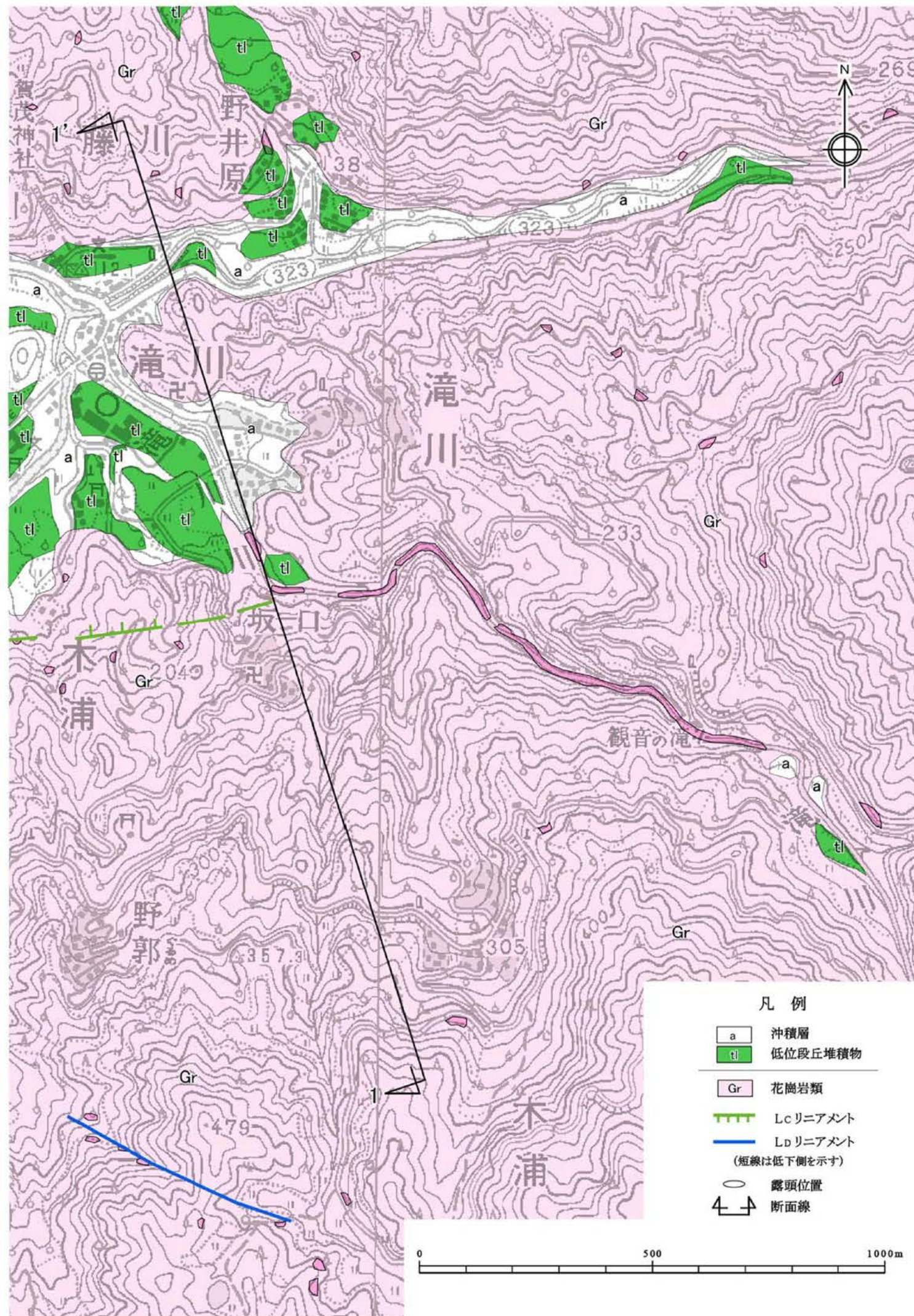
第1.2-66図 城山南断層周辺の空中写真判読図



第1.2-67図 城山南断層周辺の地質図

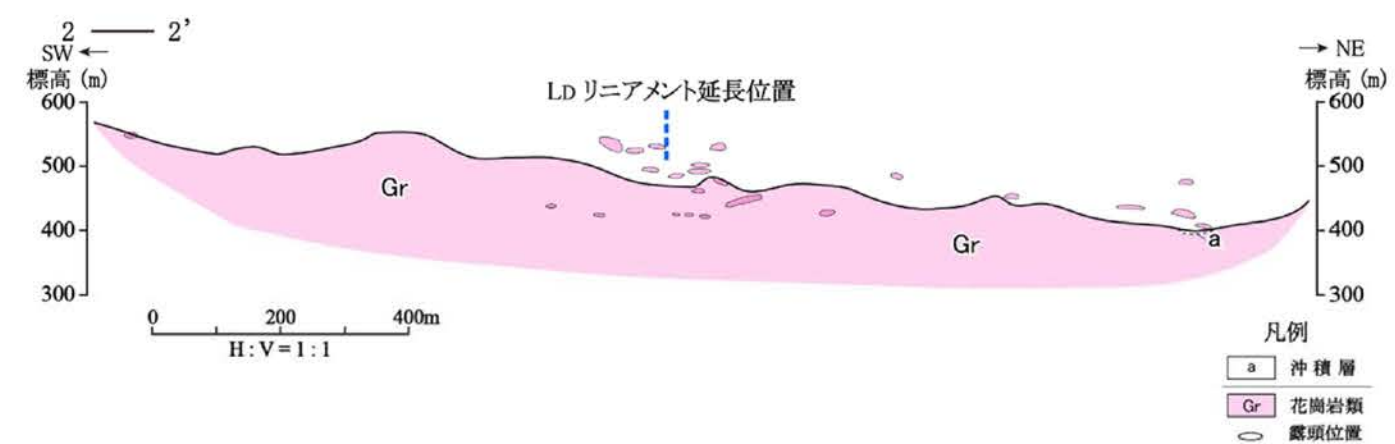
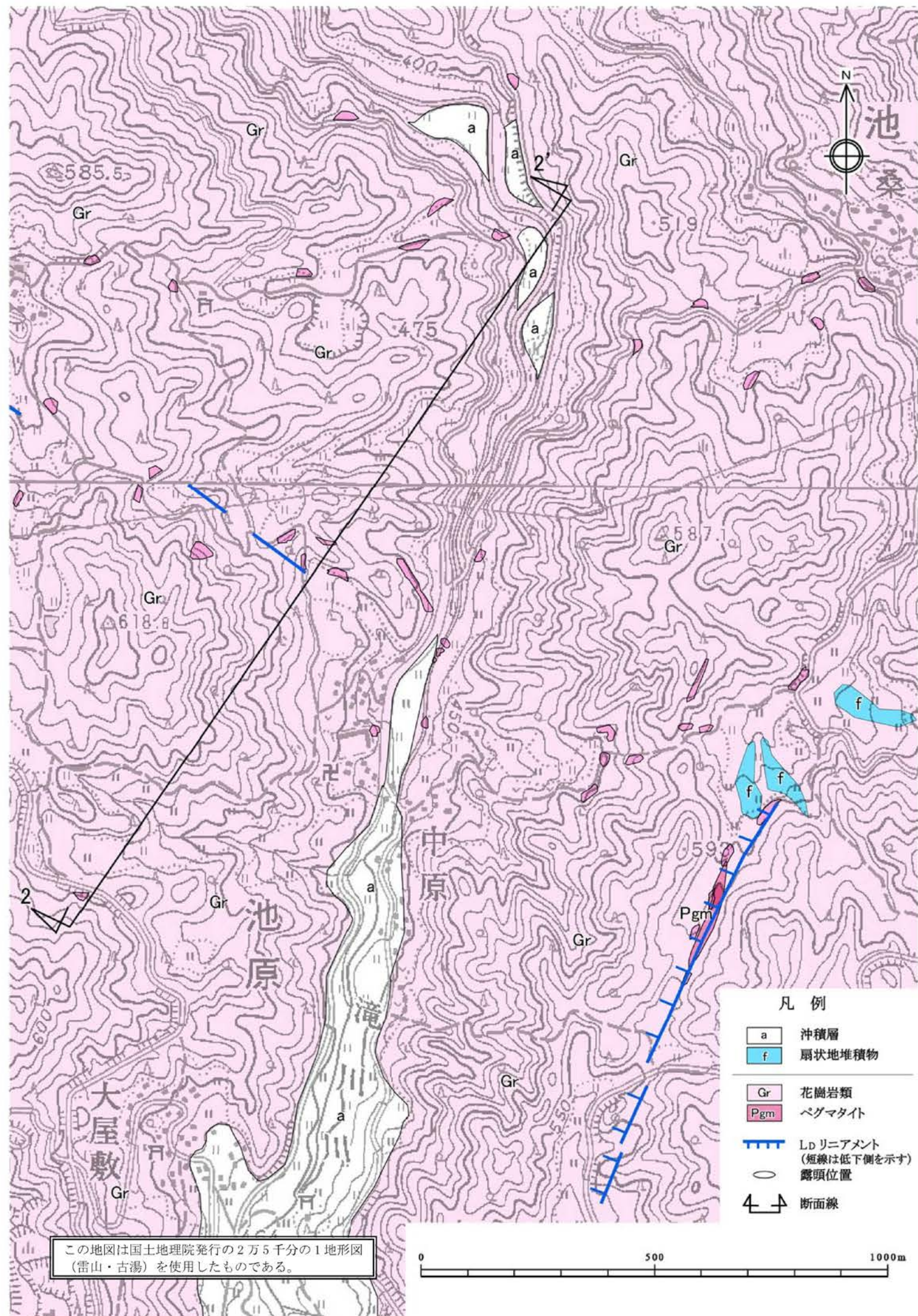


第1.2-68図 城山南断層周辺の地質断面図

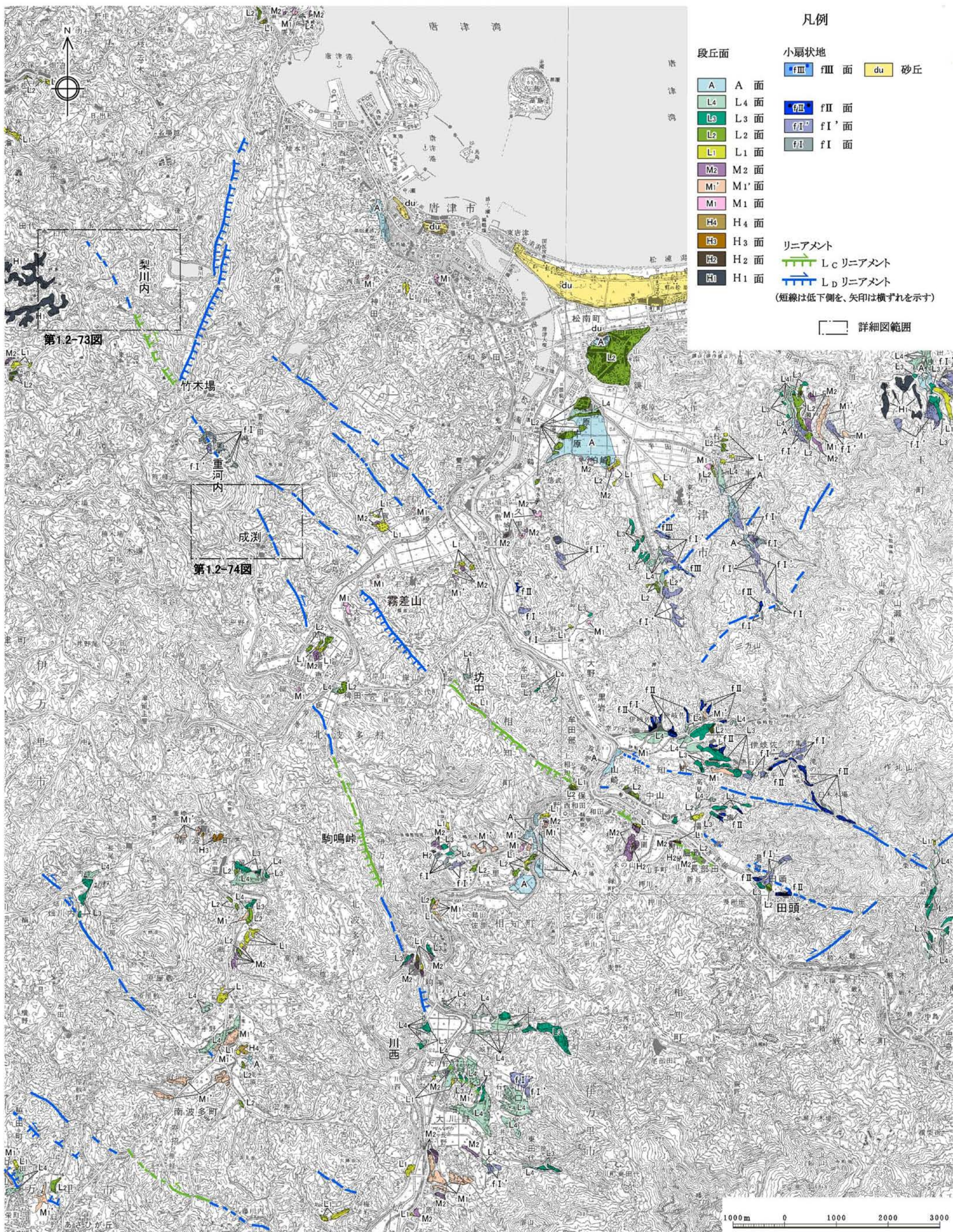


この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図 (浜崎・雷山) を使用したものである。

第1.2-69図(1) 唐津市七山滝川付近のルートマップ・地質断面図



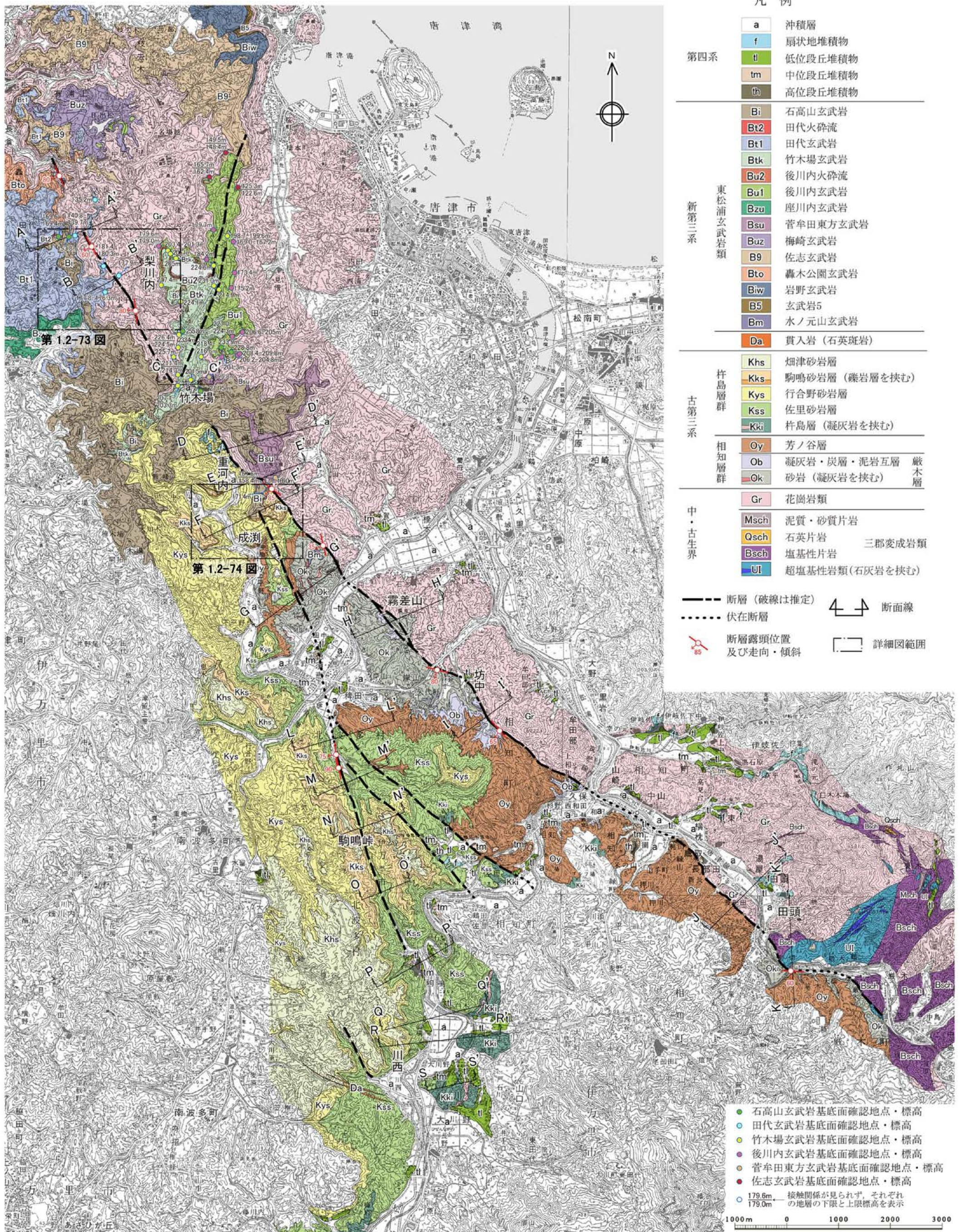
第1.2-69図(2) 唐津市七山池原付近のルートマップ・地質断面図



1.2-463

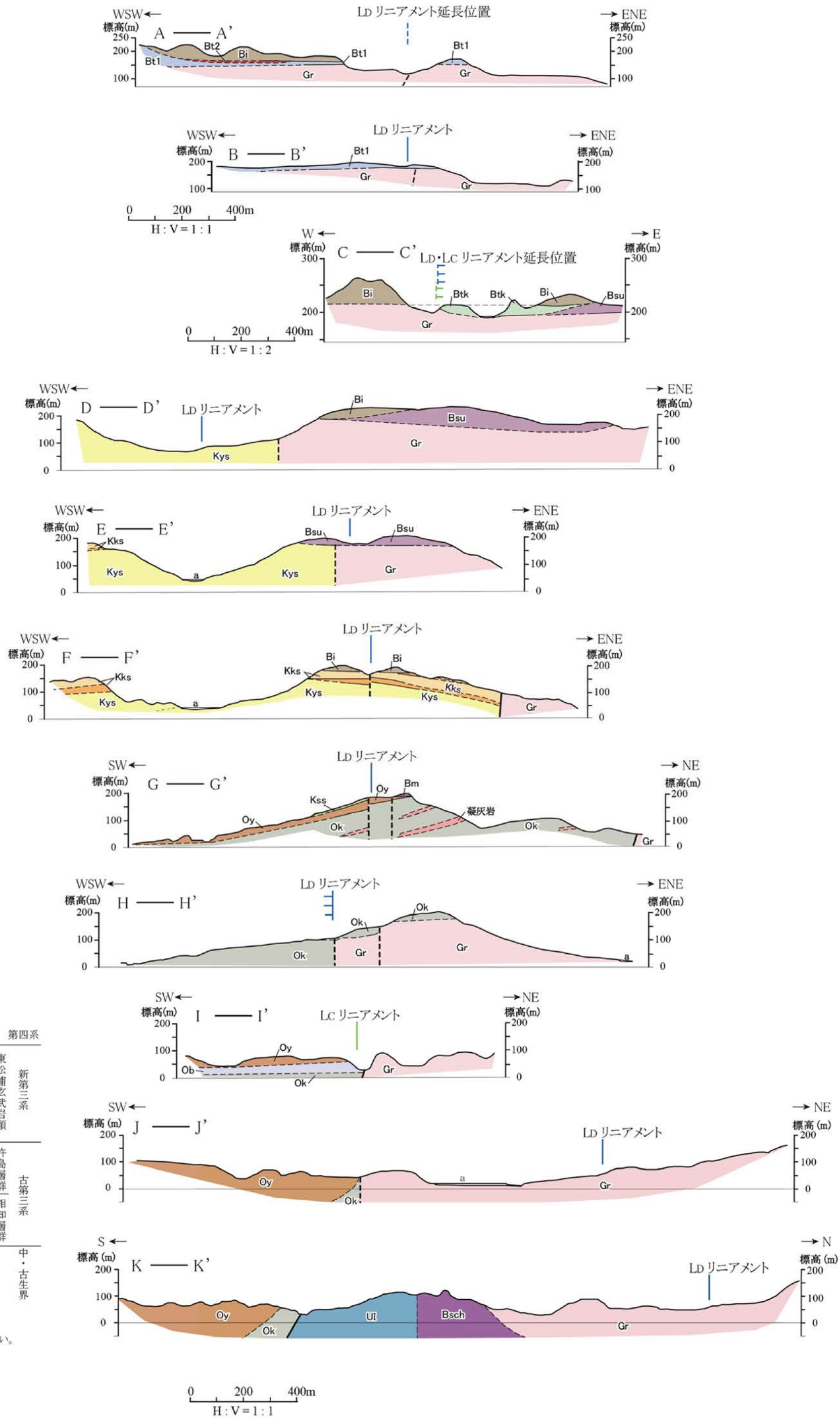
この地図は国土地理院発行の5万分の1地形図(唐津・浜崎・伊万里・武雄)を使用したものである。

第1.2-70図 畑島リニアメント・駒鳴峠リニアメント周辺の空中写真判読図



この地図は国土院発行の5万分の1地形図（唐津・浜崎・伊万里・武雄）を使用したものである。

第1.2-71図 畑島リニアメント・駒鳴峠リニアメント周辺の地質図

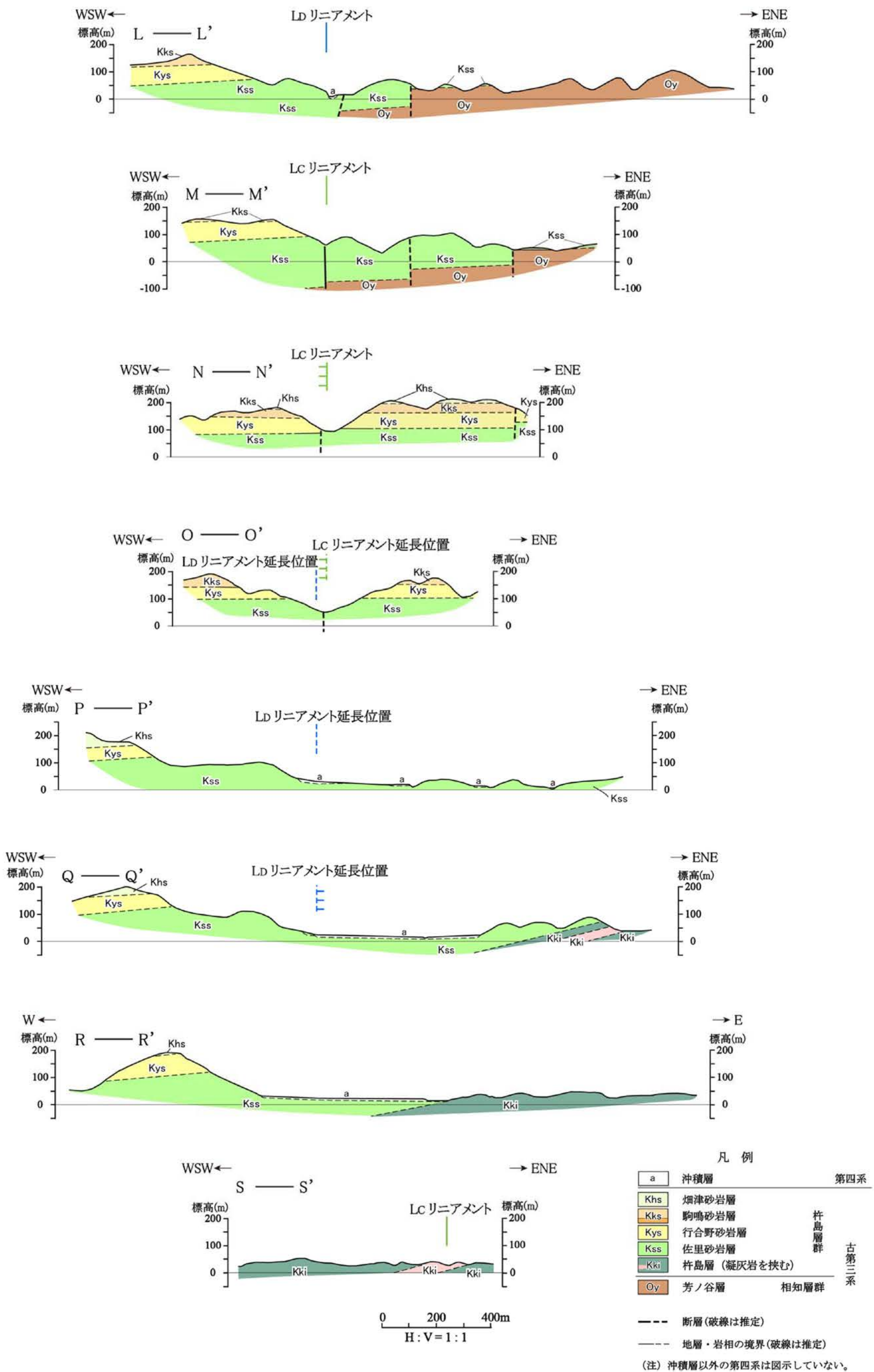


凡例

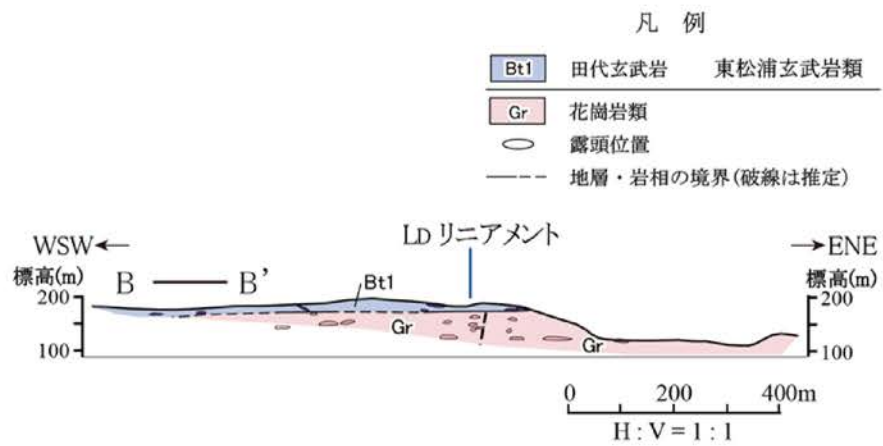
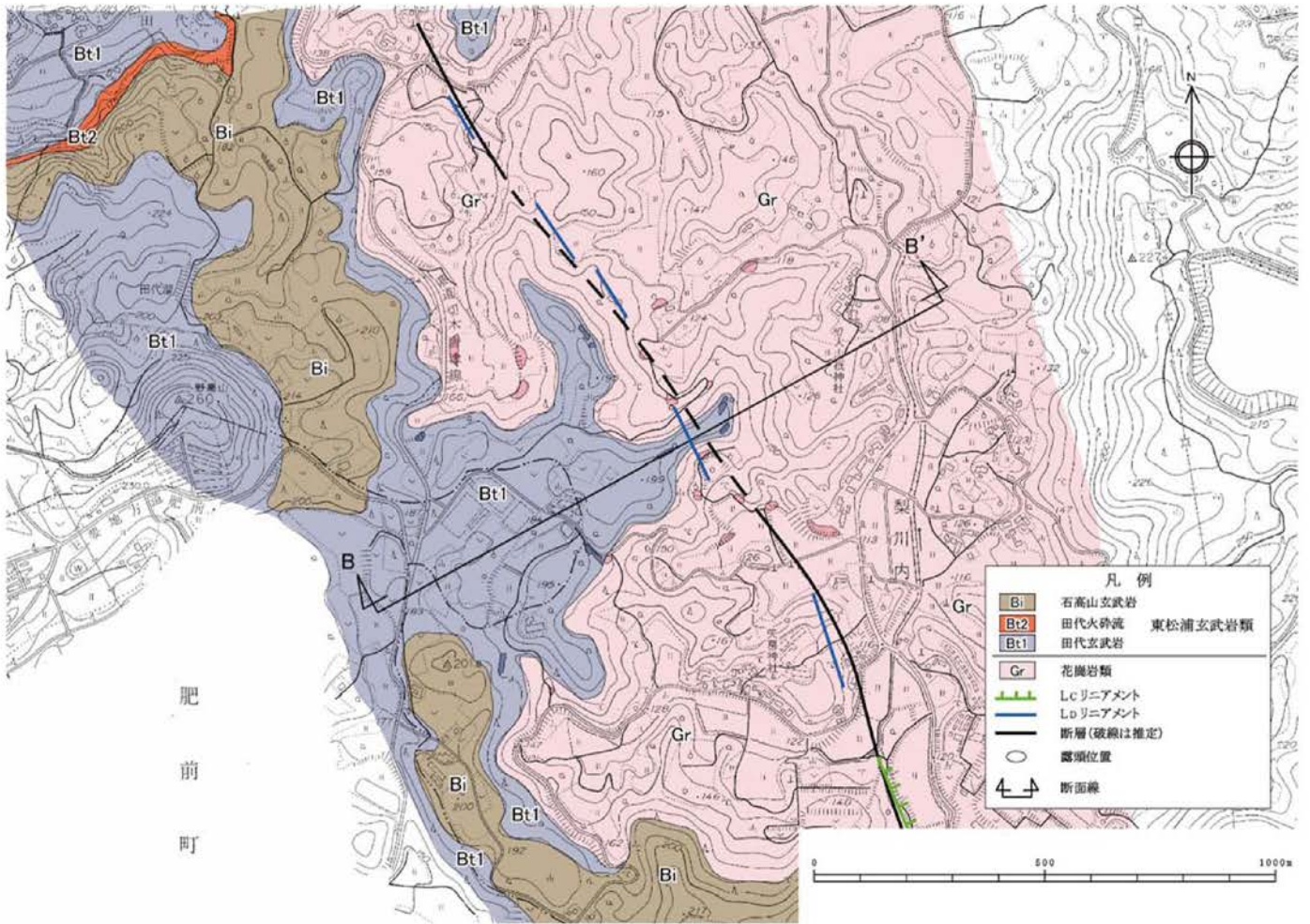
a	沖積層	第四系
Bi	石高山玄武岩	新第三系 東松浦玄武岩類
Bt2	田代火砕流	
Bt1	田代玄武岩	
Btk	竹木場玄武岩	
Bsu	菅牟田東方玄武岩	
Bm	水ノ元山玄武岩	
Kks	駒鳴砂岩層 (礫岩層を挟む)	古第三系 杵島層群
Kys	行合野砂岩層	
Kss	佐里砂岩層	
Oy	芳ノ谷層	相知層群
Ob	凝灰岩・炭層・泥岩互層	
Ok	砂岩 (凝灰岩を挟む)	
Gr	花崗岩類	中・古生界 三郡変成岩類
Bsck	塩基性片岩	
Ul	超塩基性岩類	

--- 断層 (破線は推定)
 --- 地層・岩相の境界 (破線は推定)
 (注) 沖積層以外の第四系は図示していない。

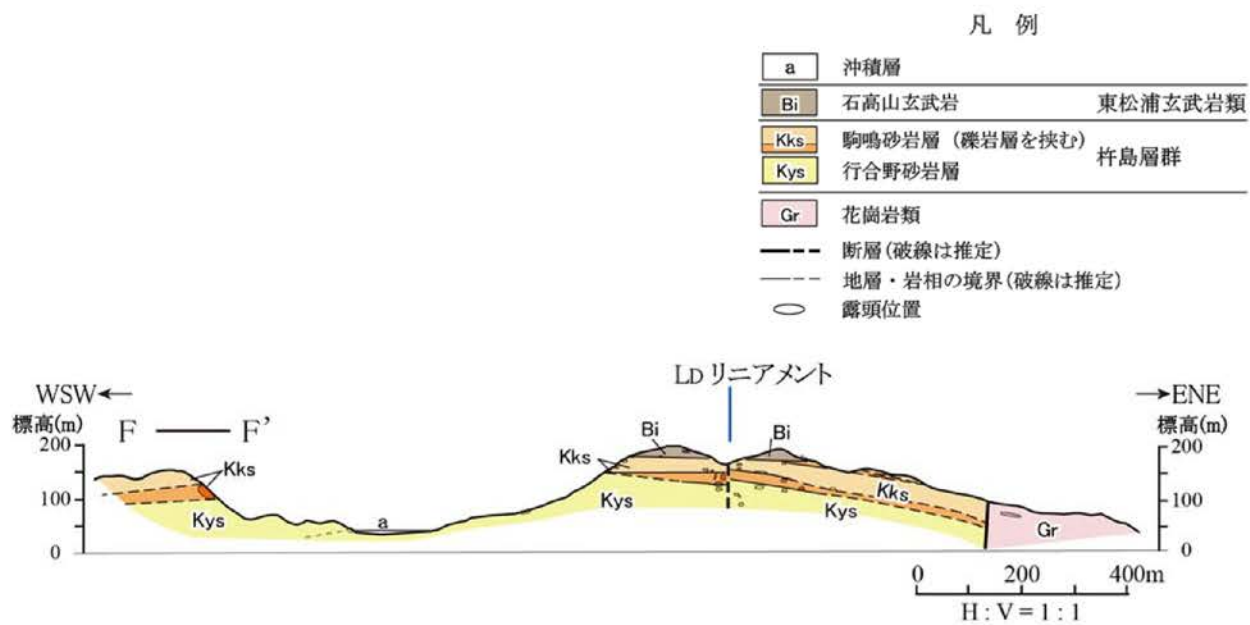
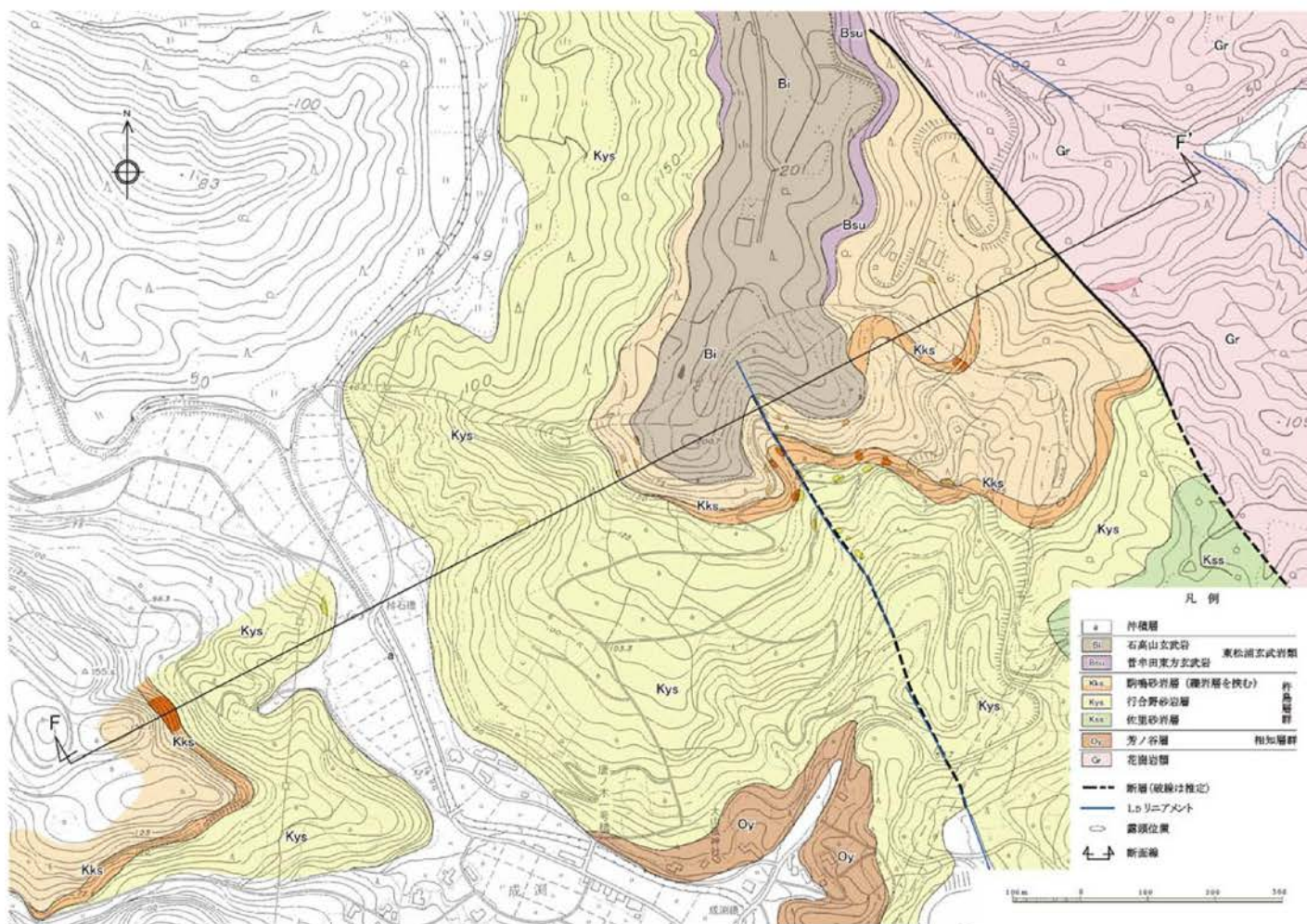
第1.2-72図(1) 畑島リニアメント・駒鳴峠リニアメント周辺の地質断面図 (畑島リニアメント)



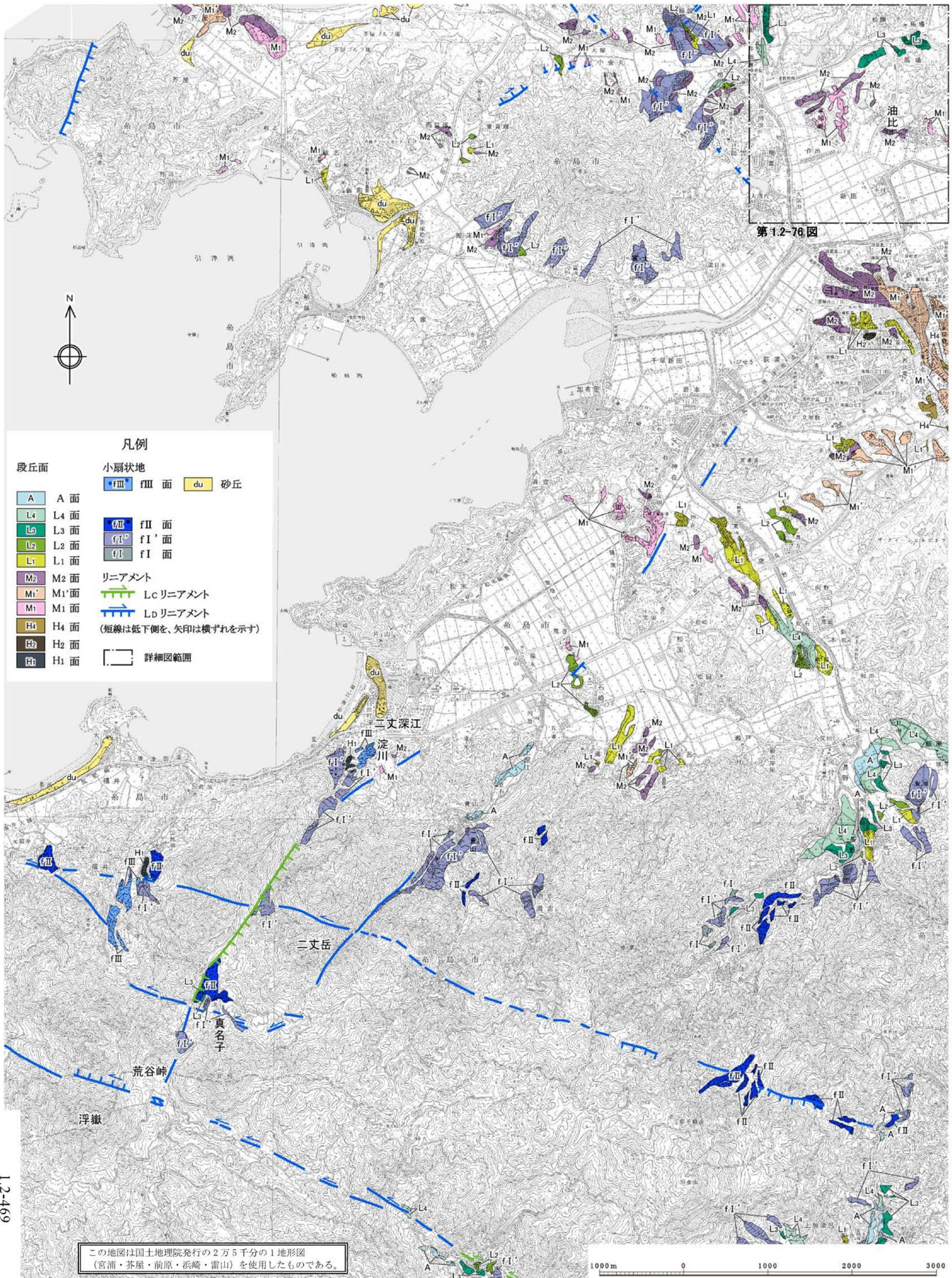
第1.2-72図(2) 畑島リニアメント・駒鳴峠リニアメント周辺の地質断面図 (駒鳴峠リニアメント)



第1.2-73図 唐津市梨川内付近のルートマップ・地質断面図



第1.2-74図 唐津市北波多成沢付近のルートマップ・地質断面図

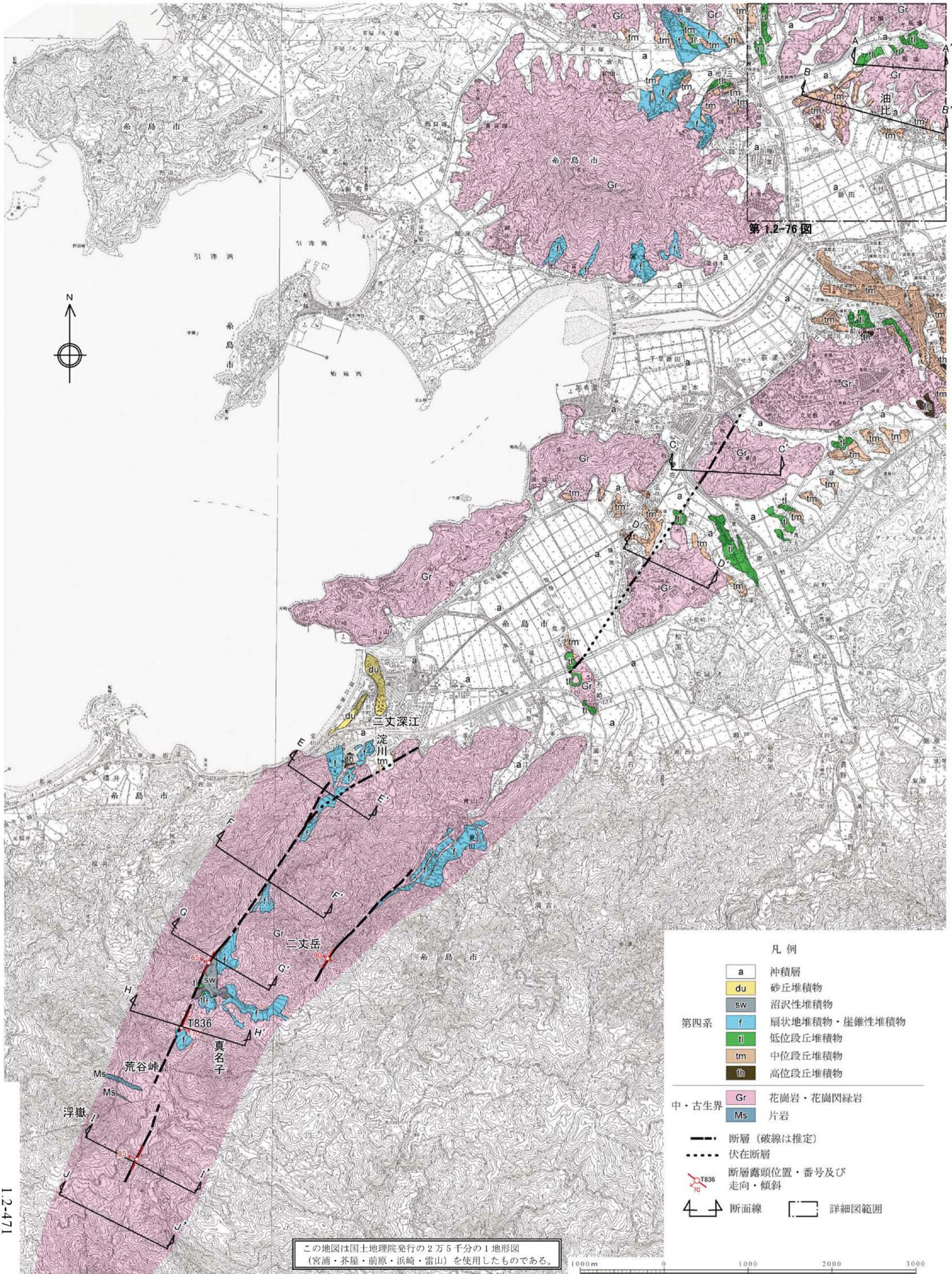


第1.2-76図

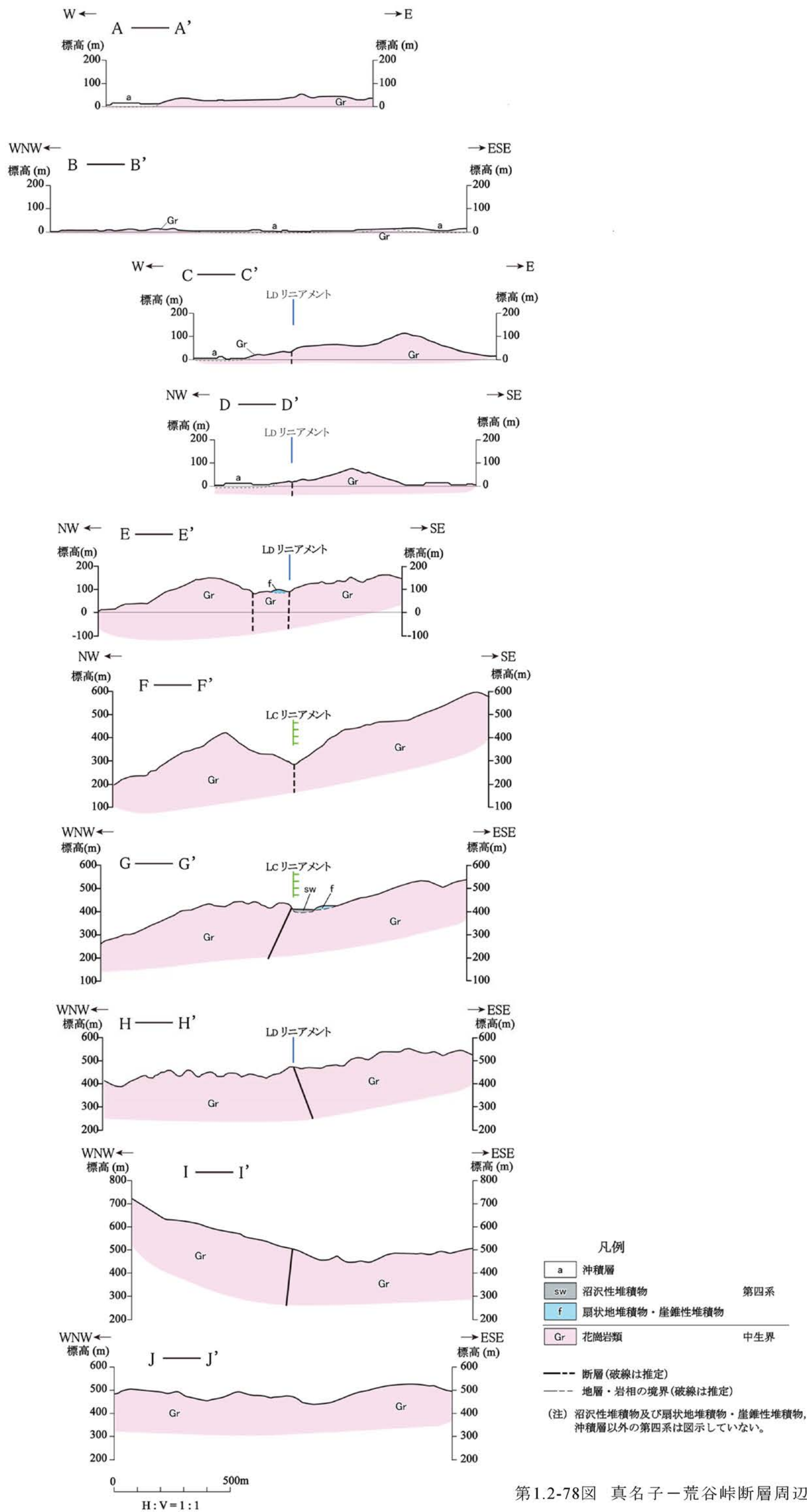
- 凡例**
- | | | |
|------------|---------------------|-----------|
| 段丘面 | 小扇状地 | 砂丘 |
| A 面 | fIII 面 | du |
| L4 面 | fII 面 | |
| L3 面 | fI' 面 | |
| L2 面 | fI 面 | |
| L1 面 | | |
| M2 面 | リニアメント | |
| M1' 面 | Lc リニアメント | |
| M1 面 | Ld リニアメント | |
| H4 面 | (短線は低下側を、矢印は横ずれを示す) | |
| H2 面 | | |
| H1 面 | 詳細図範囲 | |

1.2-469

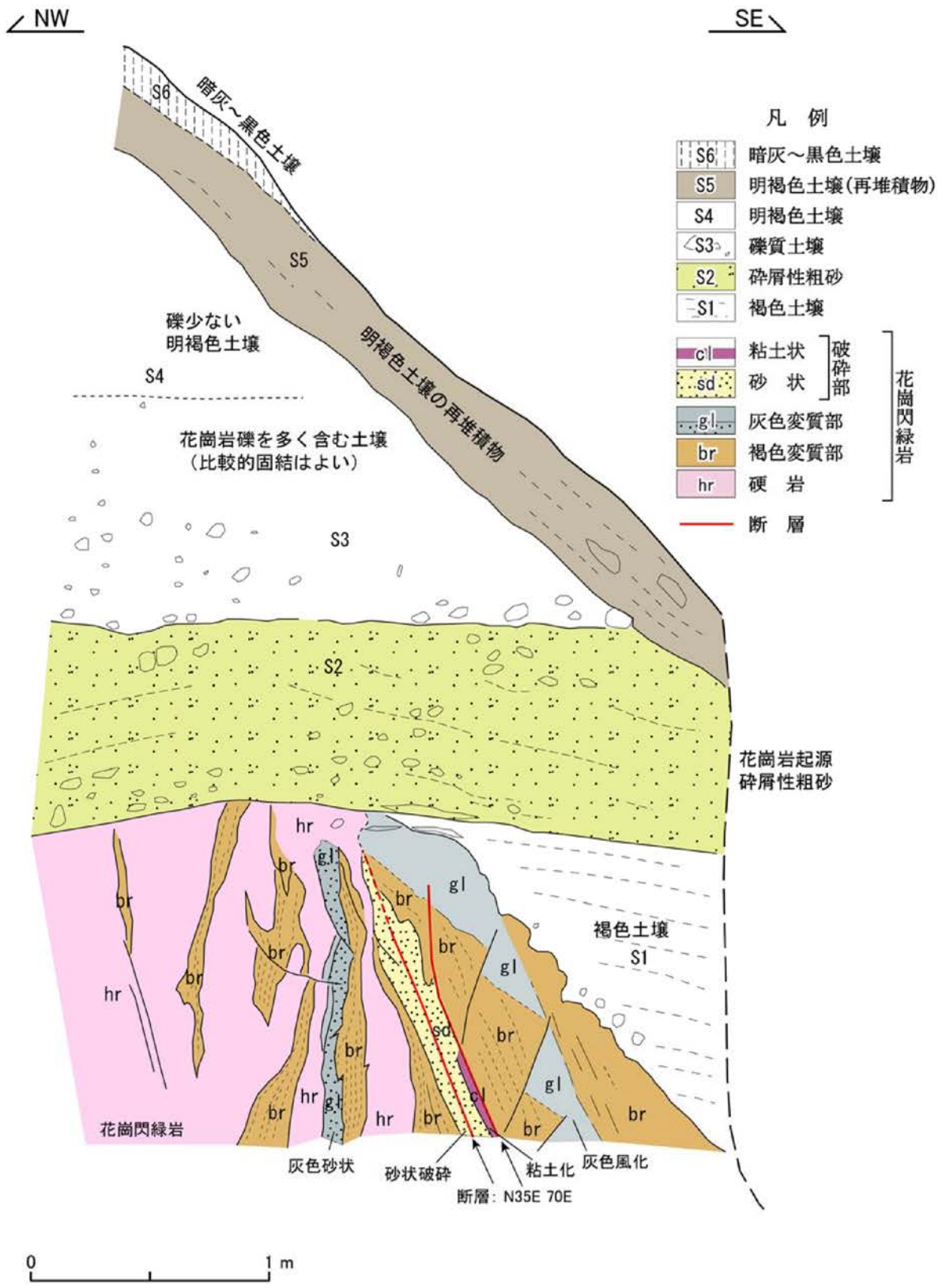
第1.2-75図 真名子-荒谷峠断層周辺の空中写真判読図



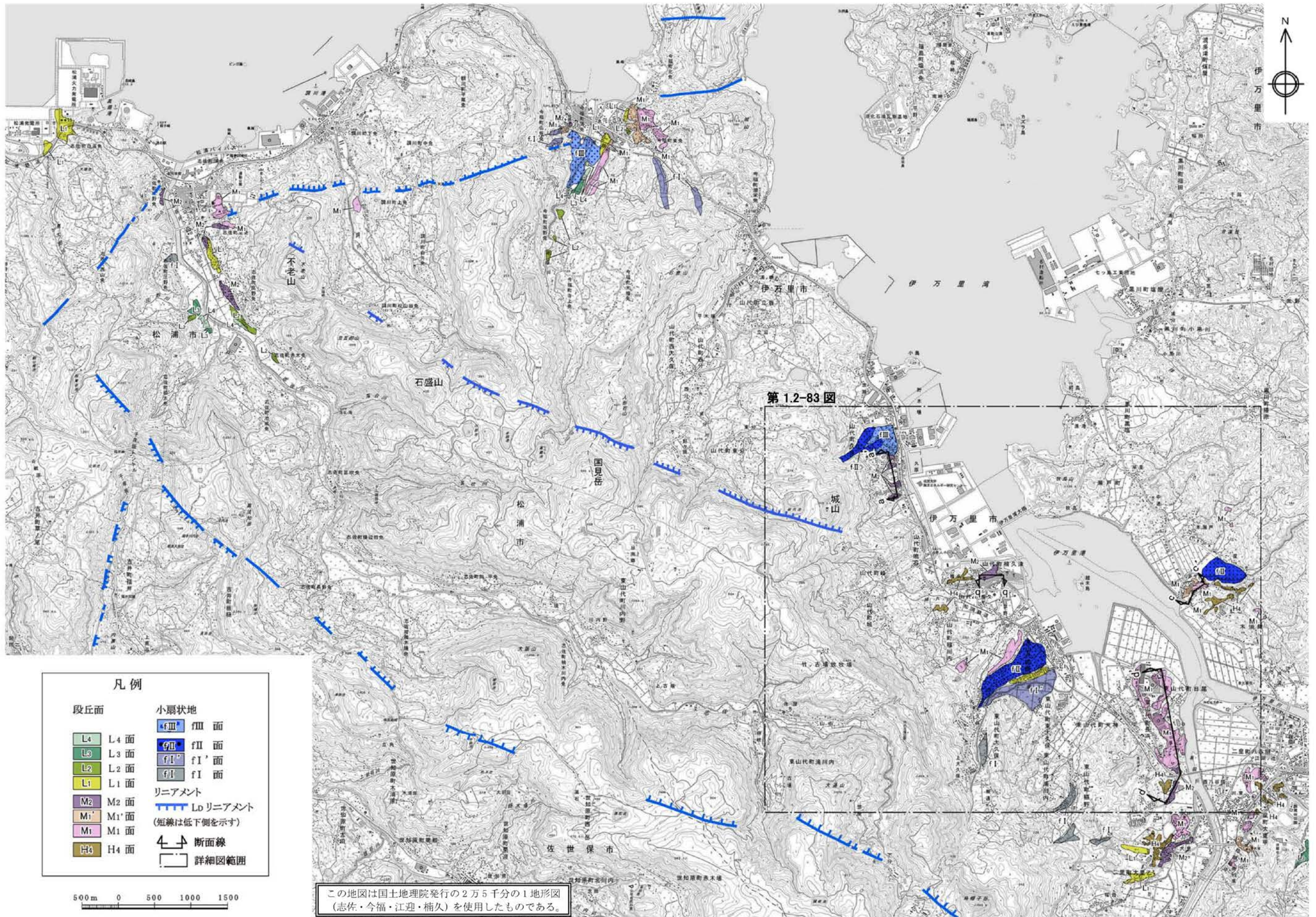
- 凡例
- a 沖積層
 - du 砂丘堆積物
 - sw 沼沢性堆積物
 - f 扇状地堆積物・崖錐性堆積物
 - tl 低位段丘堆積物
 - tm 中位段丘堆積物
 - th 高位段丘堆積物
 - Gr 花崗岩・花崗閃緑岩
 - Ms 片岩
- 中・古生界
- 断層(破線は推定)
 - 伏在断層
 - T836 断層露頭位置・番号及び走向・傾斜
 - ↔ 断面線
 - 詳細図範囲



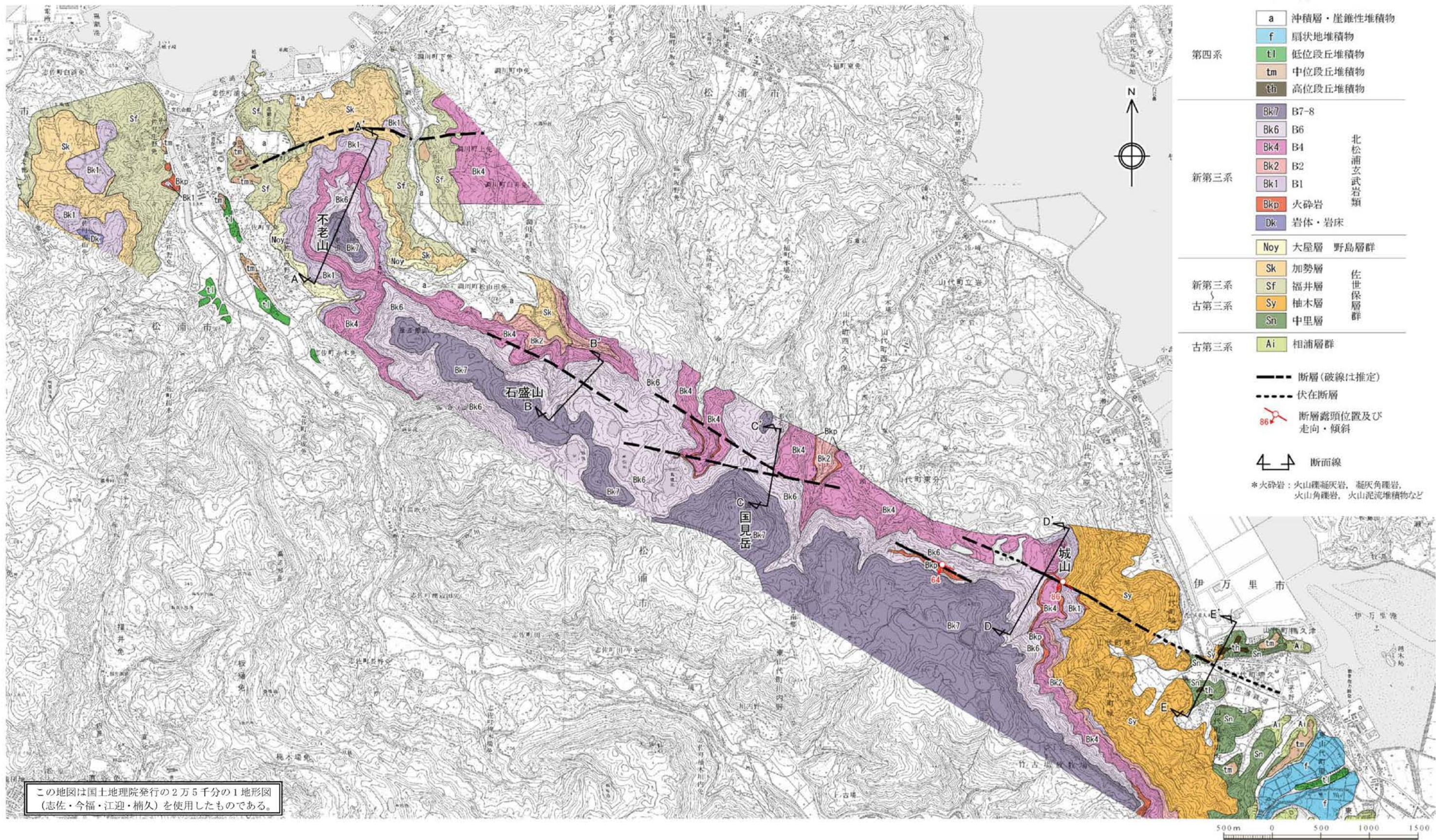
第1.2-78図 真名子-荒谷峠断層周辺の地質断面図



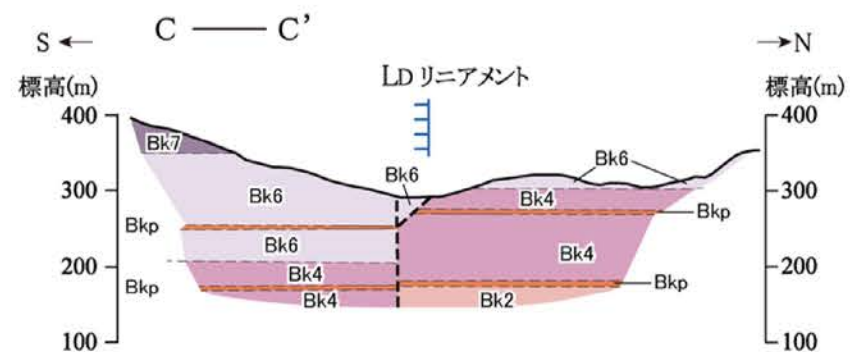
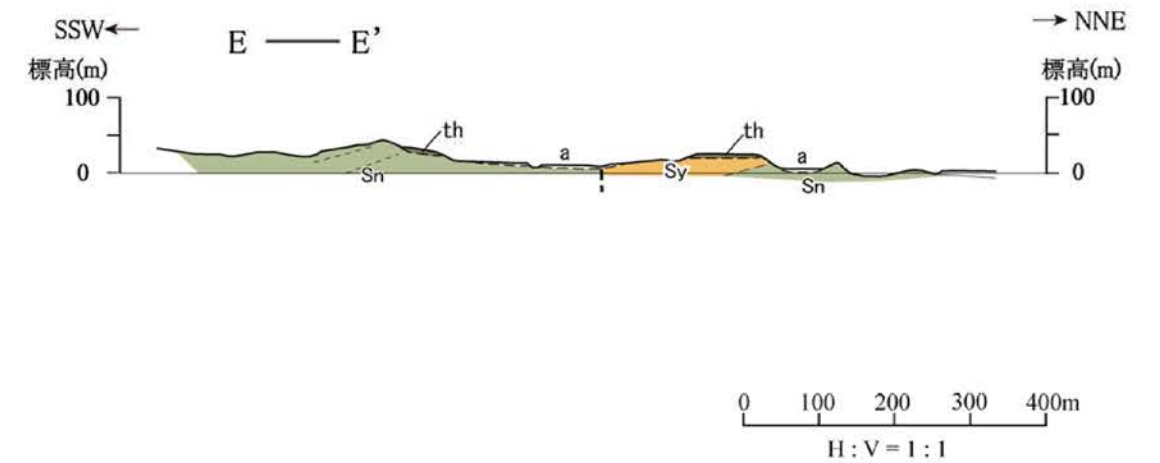
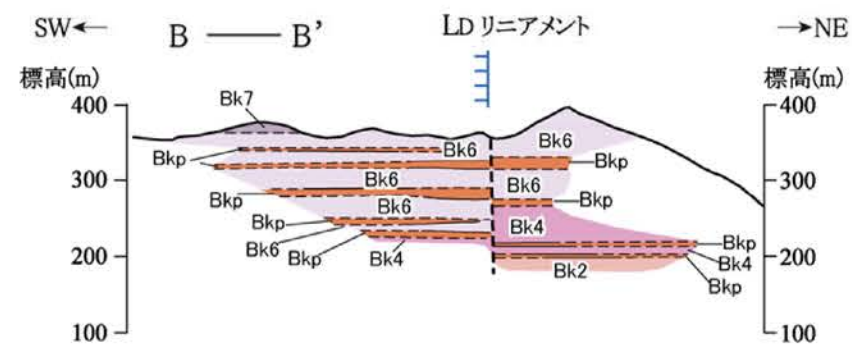
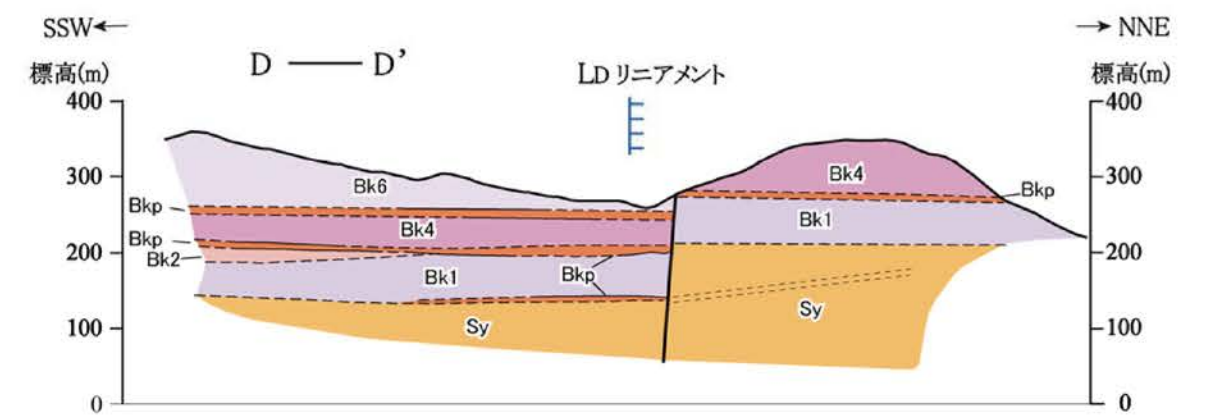
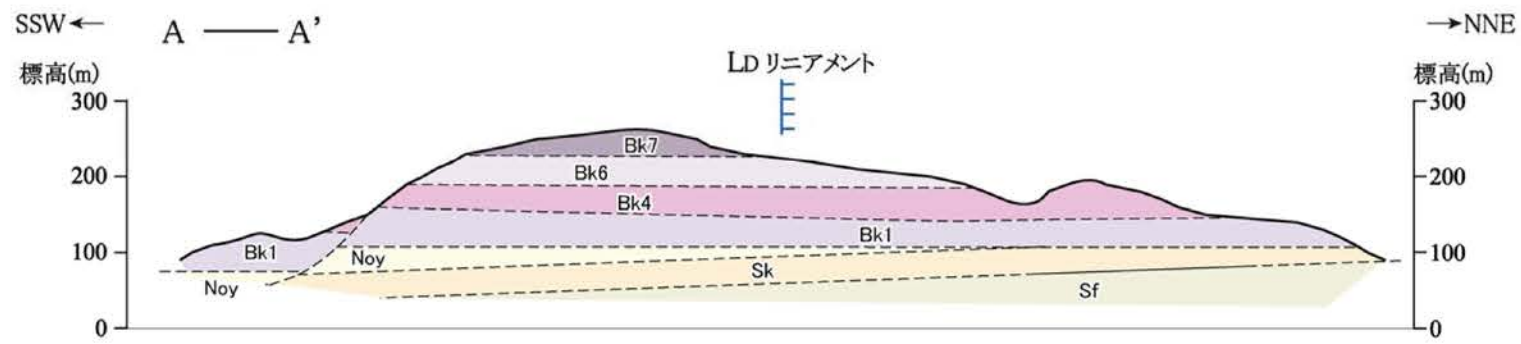
第1.2-79図 露頭スケッチ (Loc.T836、福岡県糸島市真名子南)



第1.2-80図 楠久断層周辺の空中写真判読図



第1.2-81図 楠久断層周辺の地質図

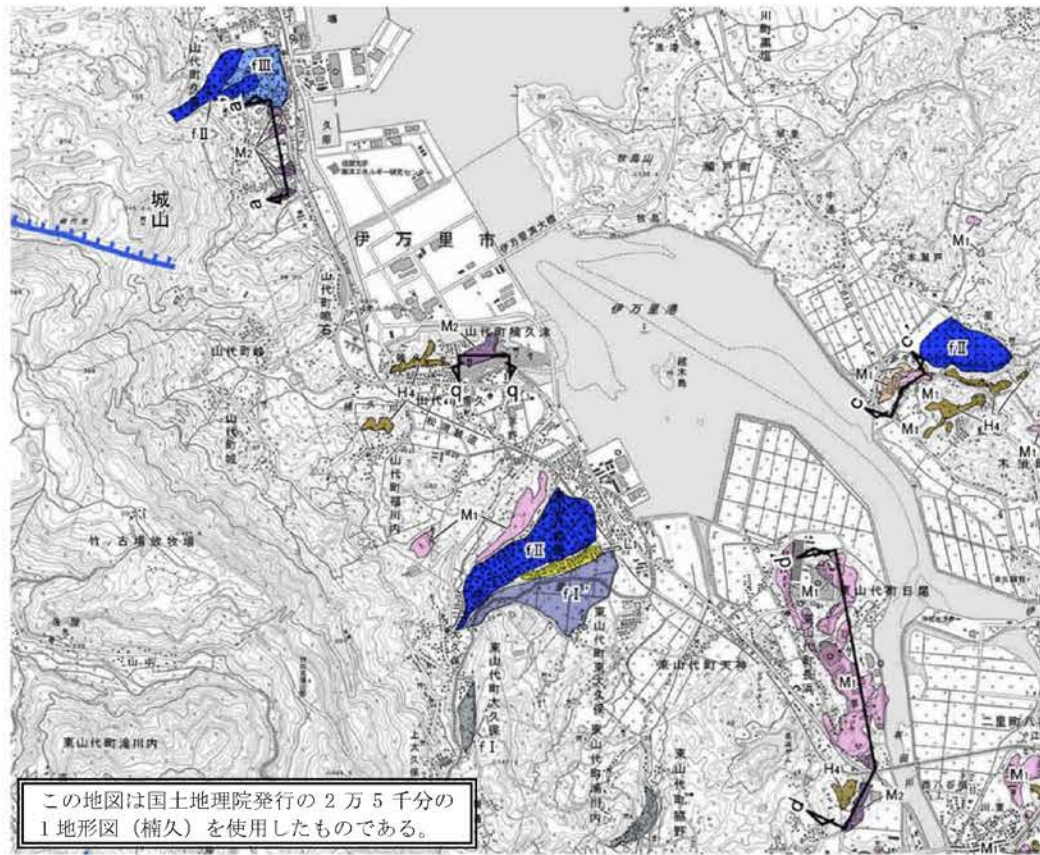


凡例

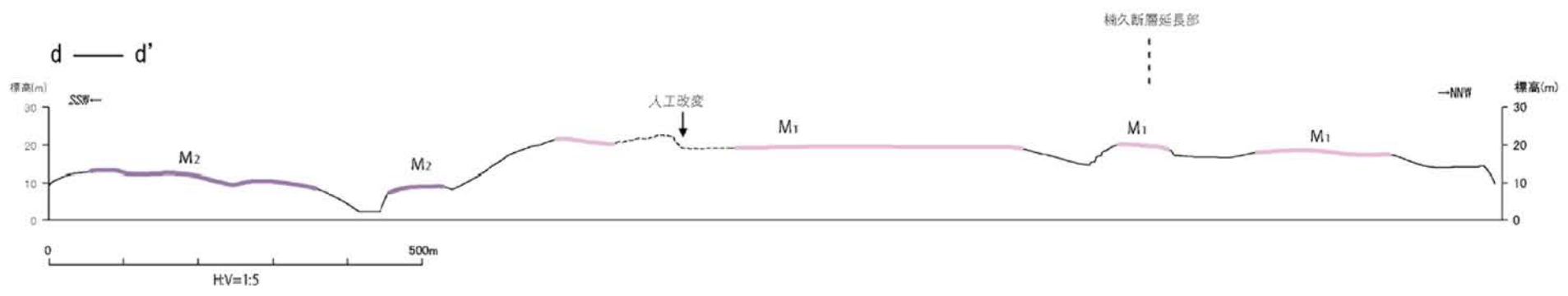
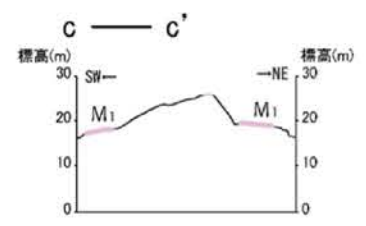
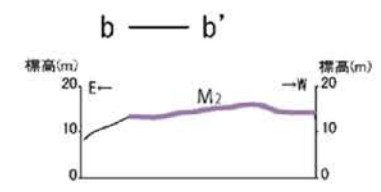
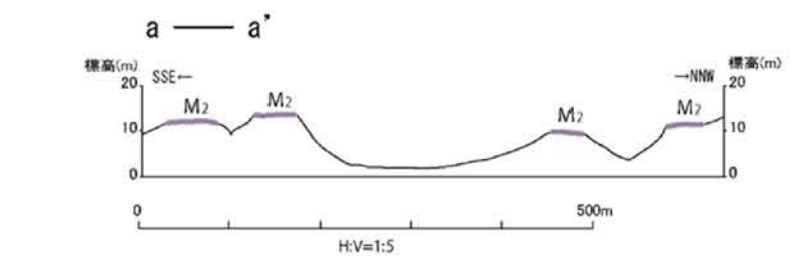
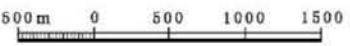
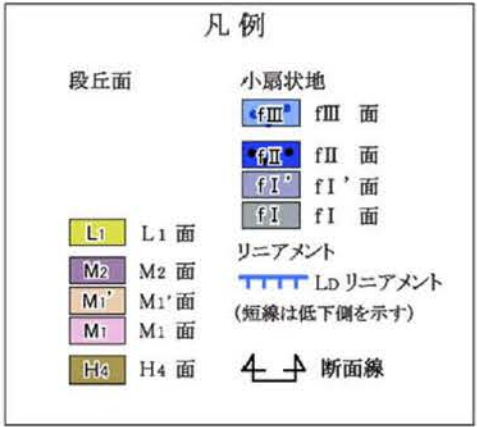
a	沖積層・崖錐性堆積物	第四系	---	断層(破線は推定)
th	高位段丘堆積物	第四系	- - -	地層・岩相の境界(破線は推定)
Bk7	B7-8	北松浦玄武岩類 新第三系	層理面
Bk6	B6			
Bk4	B4			
Bk2	B2			
Bk1	B1	野島層群		
Bkp	火砕岩			
Noy	大屋層	佐世保層群 新第三系 古第三系		
Sk	加勢層			
Sf	福井層			
Sy	柚木層			
Sn	中里層			

(注) 沖積層及び高位段丘堆積物以外の第四系は図示していない。
火砕岩: 火山礫凝灰岩, 凝灰角礫岩, 火山角礫岩, 火山泥流堆積物など

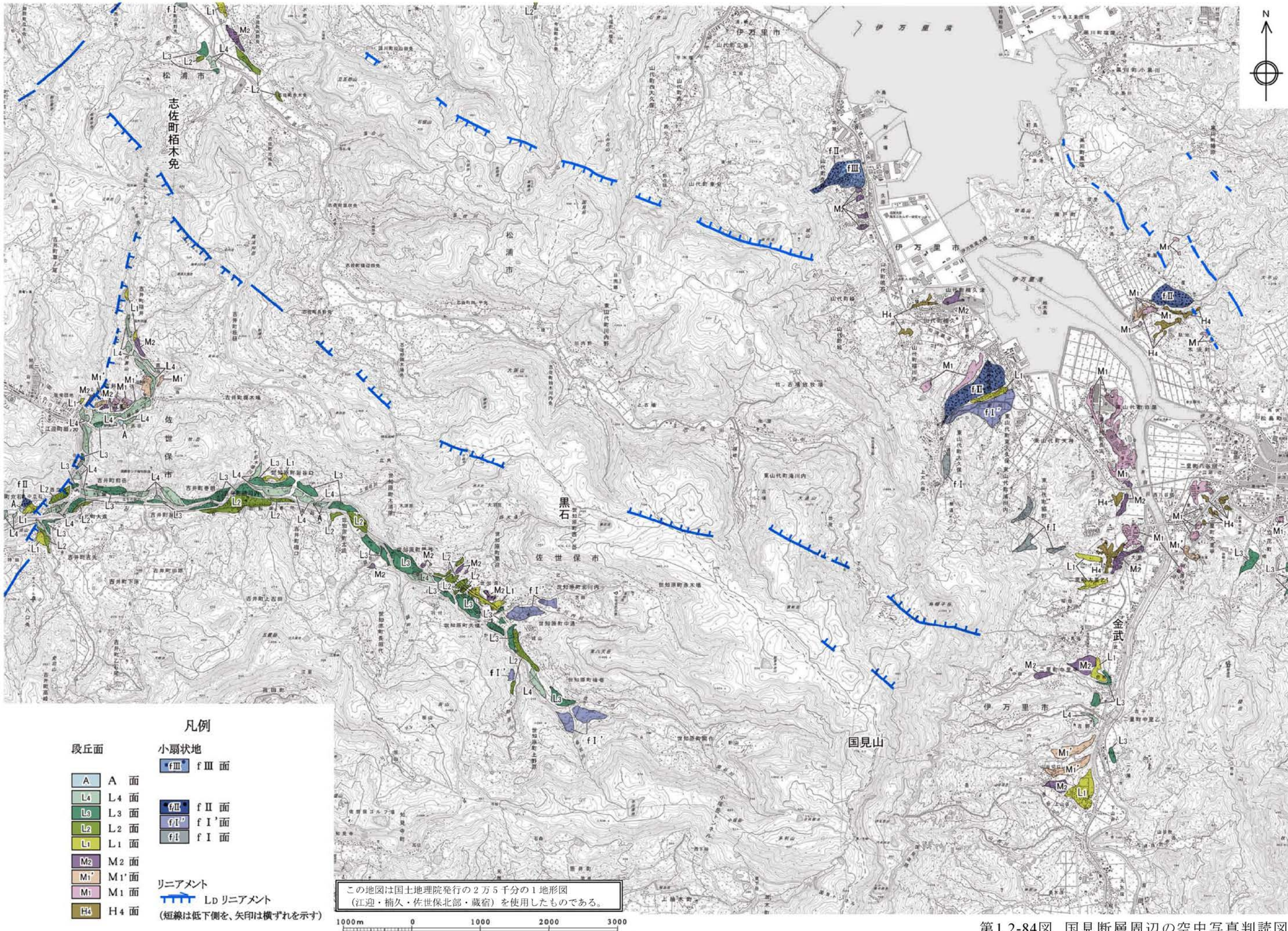
第1.2-82図 楠久断層周辺の地質断面図



この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図(補欠)を使用したものである。



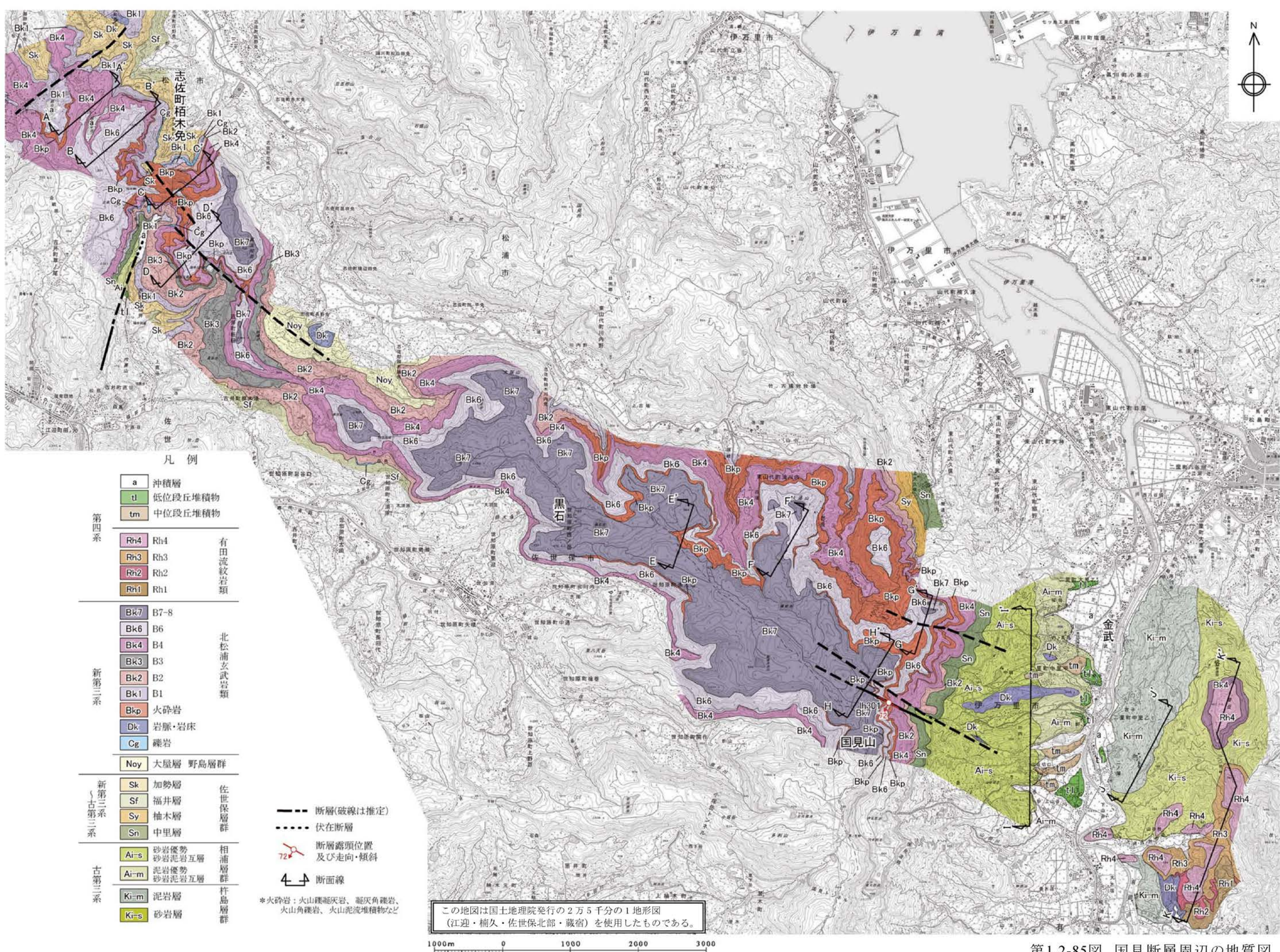
第1.2-83図 伊万里市山代町城山付近の地形断面図
1.2-477



- 凡例**
- | | |
|---------------------|-------------|
| 段丘面 | 小扇状地 |
| A A面 | fIII fIII面 |
| L4 L4面 | fII fII面 |
| L3 L3面 | fI' fI'面 |
| L2 L2面 | fI fI面 |
| L1 L1面 | |
| M2 M2面 | |
| M1' M1'面 | |
| M1 M1面 | |
| リニアメント | |
| Ld リニアメント | |
| (短線は低下側を、矢印は横ずれを示す) | |

この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図
(江迎・楠久・佐世保北部・蔵宿)を使用したものである。

第1.2-84図 国見断層周辺の空中写真判読図



凡例

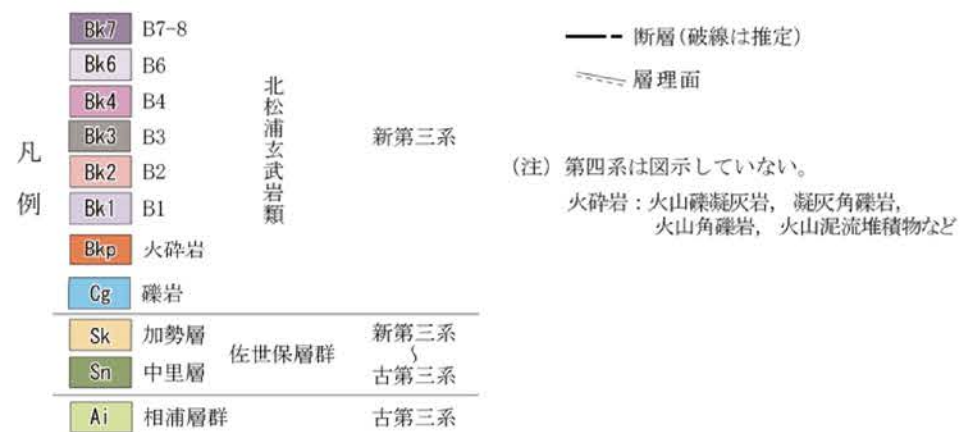
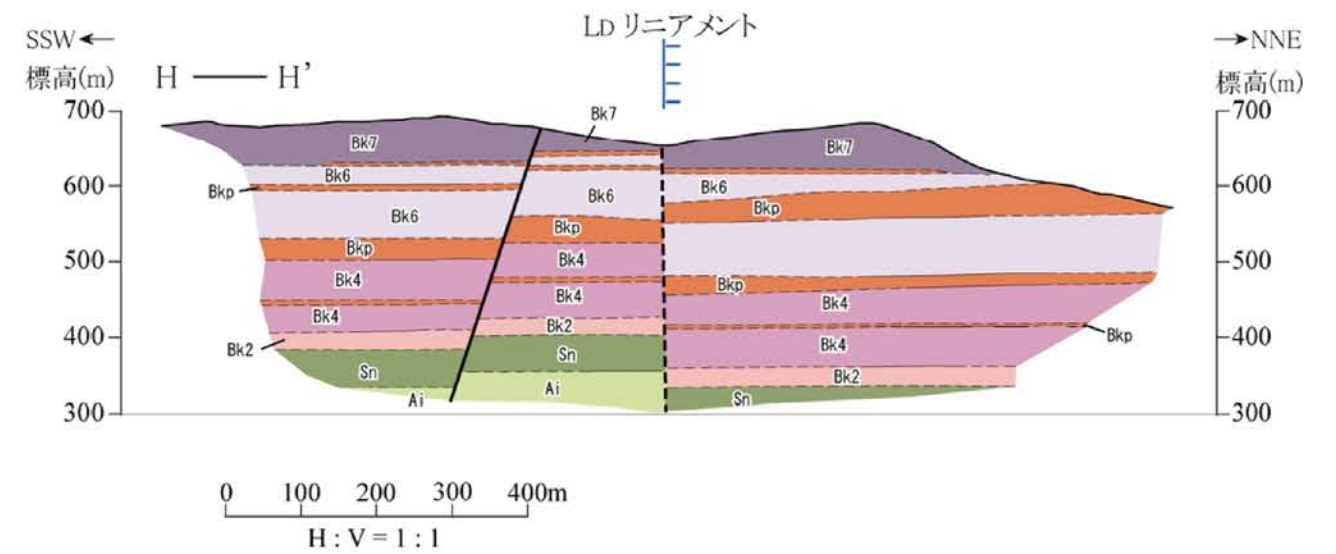
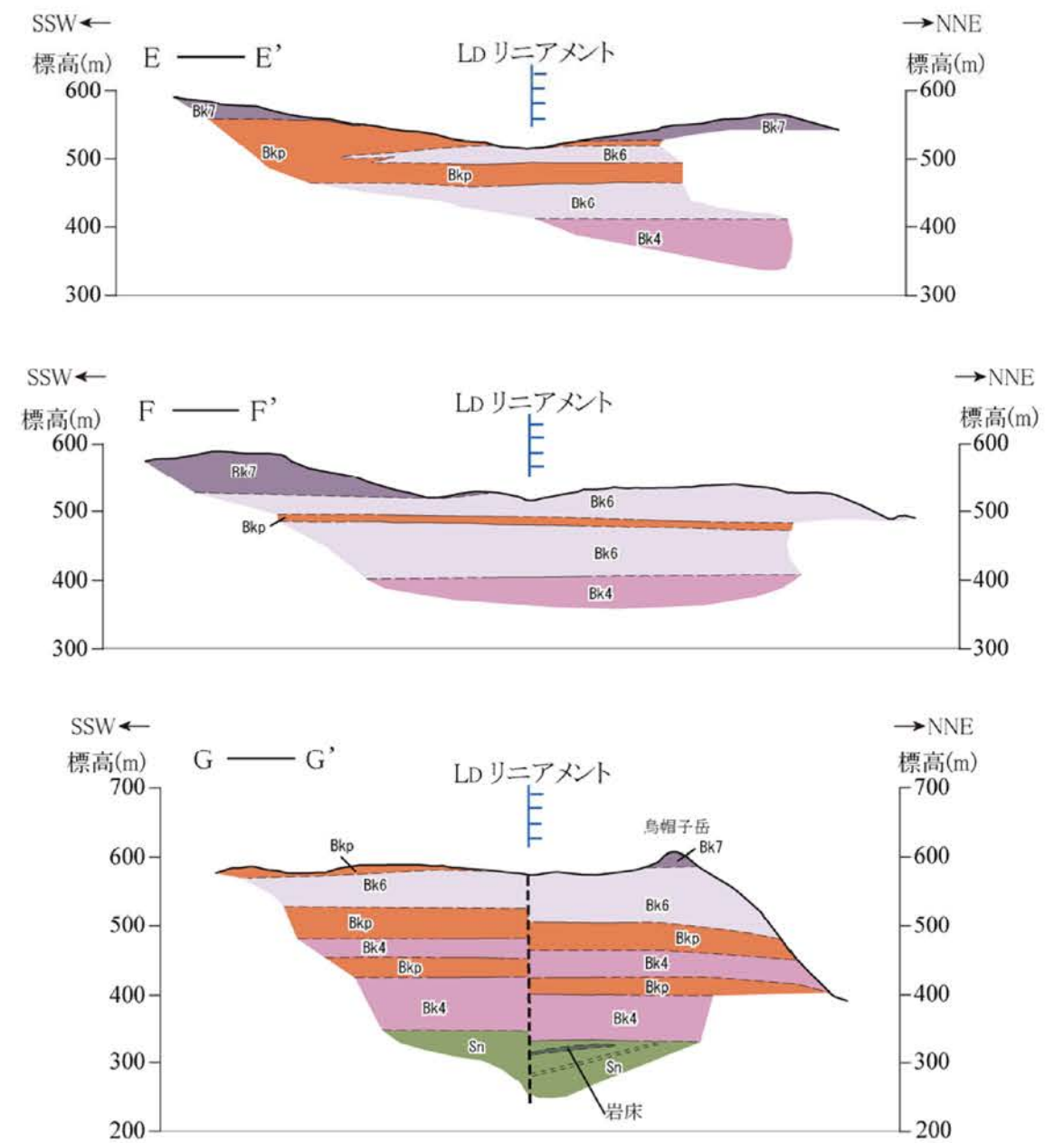
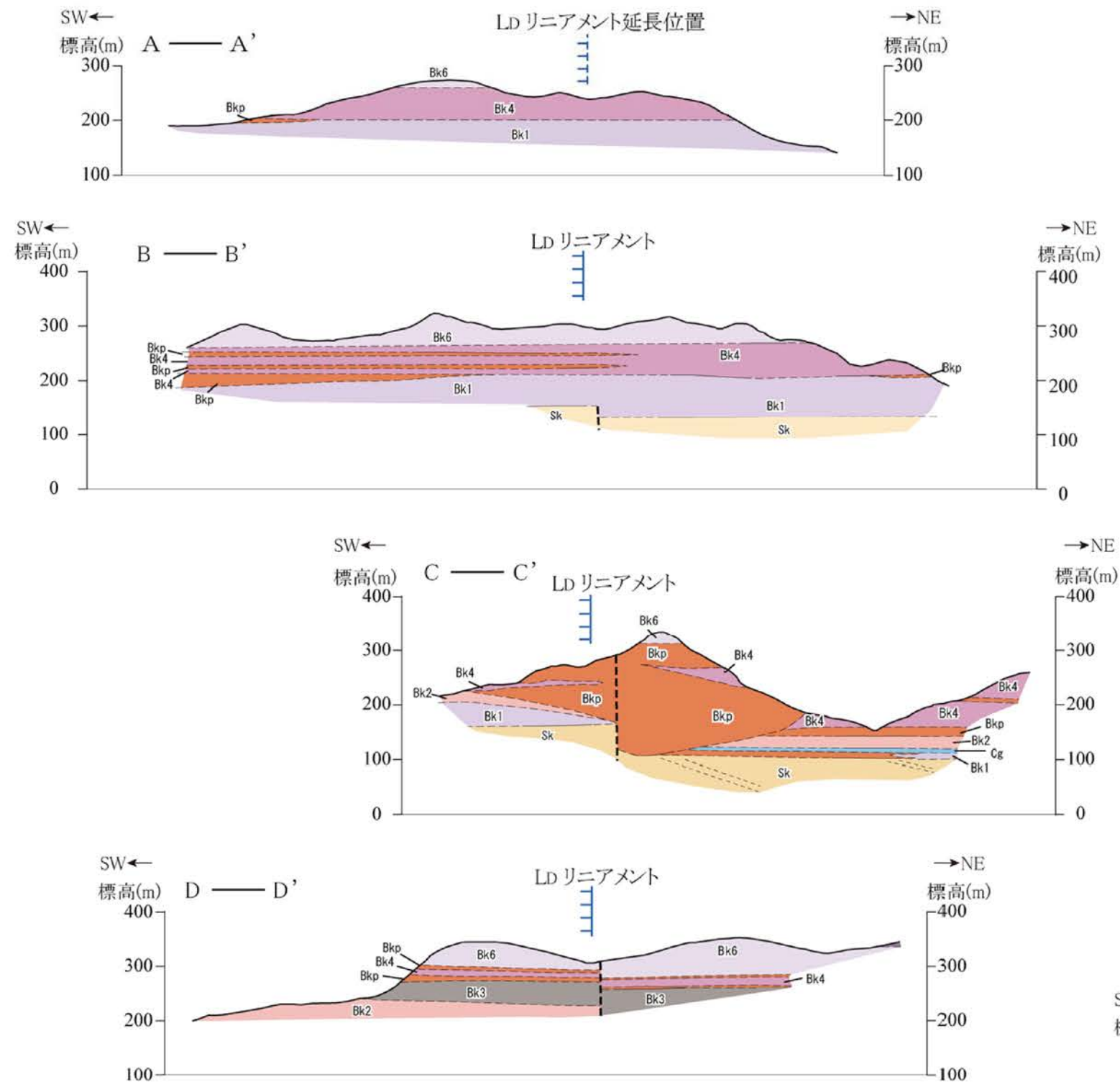
- | | | |
|-------------------|----------------|---------|
| a | 沖積層 | |
| tl | 低位段丘堆積物 | |
| tm | 中位段丘堆積物 | |
| 第四系 | | |
| Rh4 | Rh4 | 有田流紋岩類 |
| Rh3 | Rh3 | |
| Rh2 | Rh2 | |
| Rh1 | Rh1 | |
| | | |
| 新第三系 | | |
| Bk7 | B7-8 | 北松浦玄武岩類 |
| Bk6 | B6 | |
| Bk4 | B4 | |
| Bk3 | B3 | |
| Bk2 | B2 | |
| Bk1 | B1 | |
| Bkp | 火砕岩 | |
| Dk | 岩脈・岩床 | |
| Cg | 礫岩 | |
| | | |
| Noy | 大屋層 野島層群 | |
| 新第三系(古第三系) | | |
| Sk | 加勢層 | 佐世保層群 |
| Sf | 福井層 | |
| Sy | 柚木層 | |
| Sn | 中里層 | |
| 古第三系 | | |
| Ai-s | 砂岩優勢
砂岩泥岩互層 | 相浦層群 |
| Ai-m | 泥岩優勢
砂岩泥岩互層 | |
| Ki-m | 泥岩層 | 杵島層群 |
| Ki-s | 砂岩層 | |

- 断層(破線は推定)
- 伏在断層
- 断層露頭位置及び走向・傾斜
- 断面線

*火砕岩：火山礫凝灰岩、凝灰角礫岩、火山角礫岩、火山泥流堆積物など

この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図(江迎・楠久・佐世保北部・蔵宿)を使用したものである。

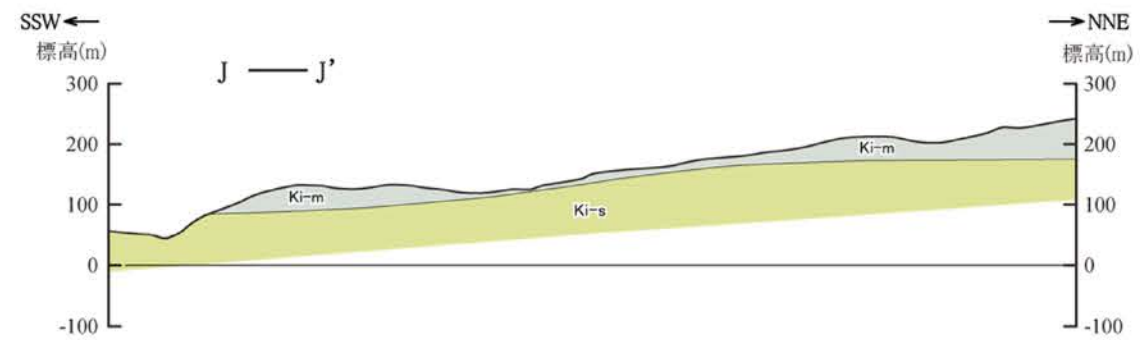
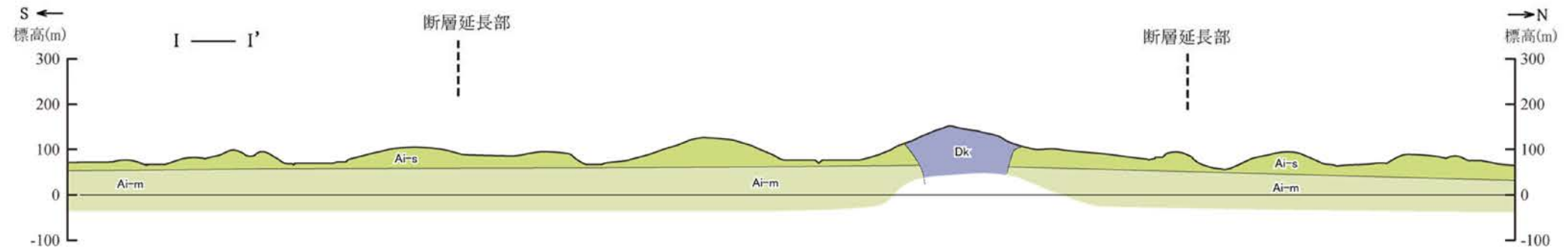
第1.2-85図 国見断層周辺の地質図
1.2-479



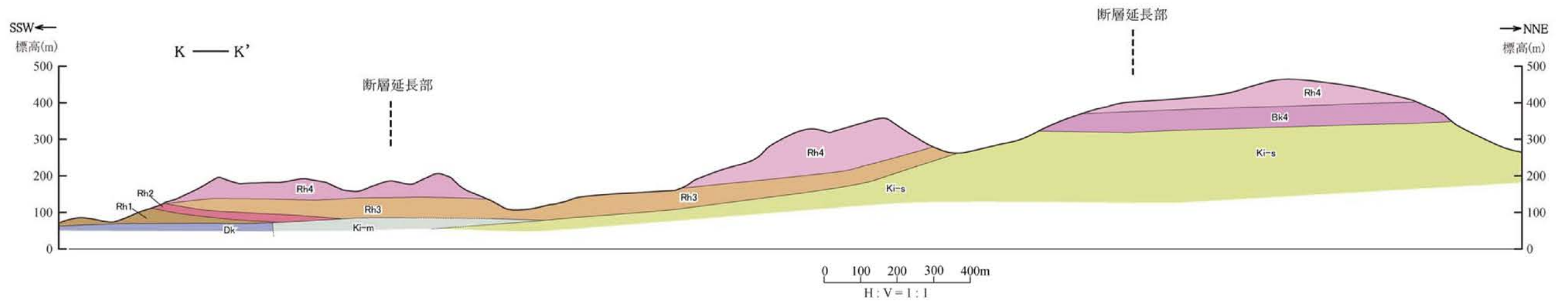
第1.2-86図(1) 国見断層周辺の地質断面図(その1)

凡例

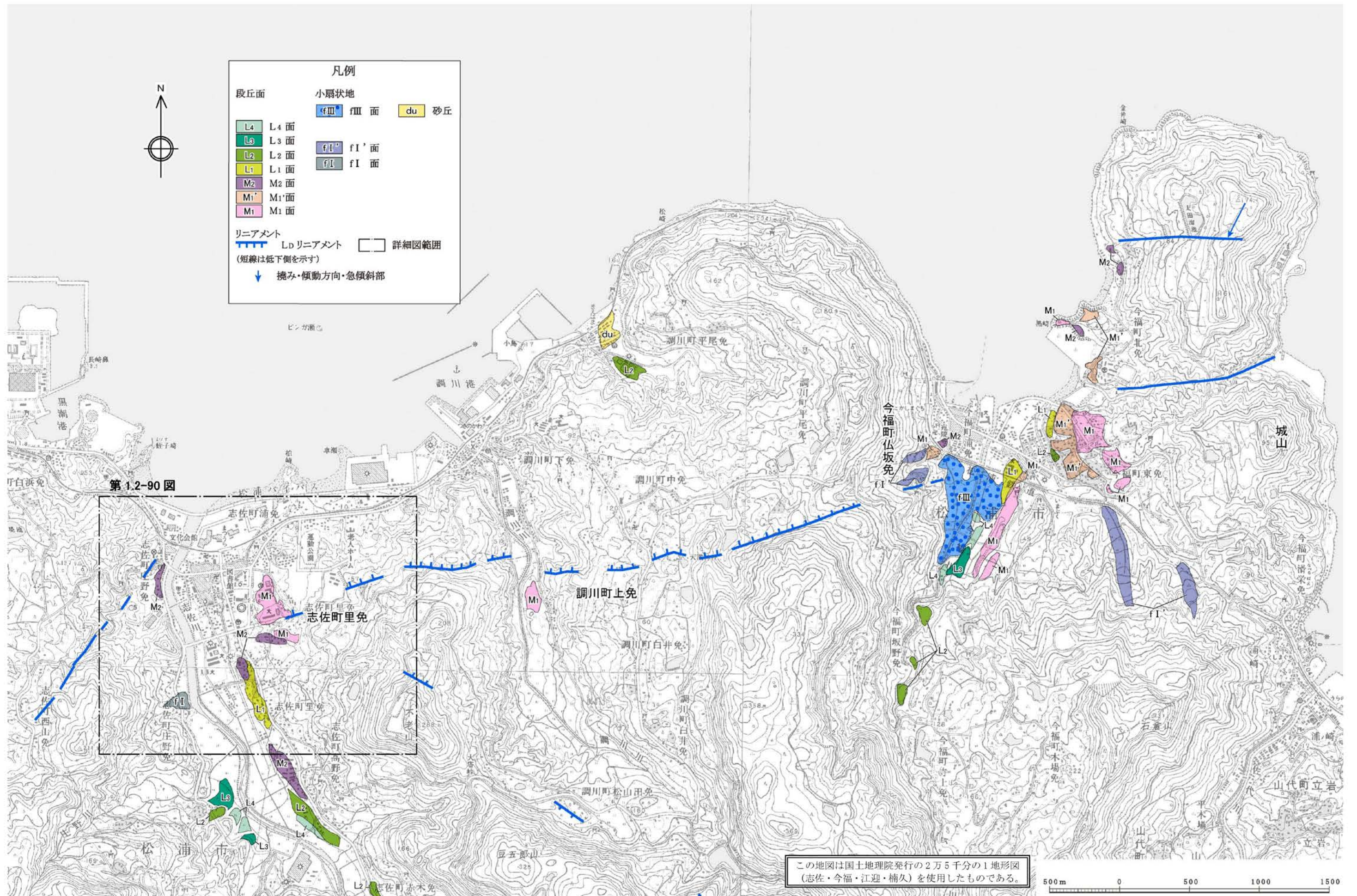
Rh4	Rh4	有田流紋岩類	第四系
Rh3	Rh3		
Rh2	Rh2		
Rh1	Rh1		
Bk4	B4	北松浦玄武岩類	新第三系
Dk	岩脈・岩床		
Ai-s	砂岩優勢 砂岩泥岩互層	相浦層群	古第三系
Ai-m	泥岩優勢 砂岩泥岩互層		
Ki-m	泥岩層	杵島層群	古第三系
Ki-s	砂岩層		



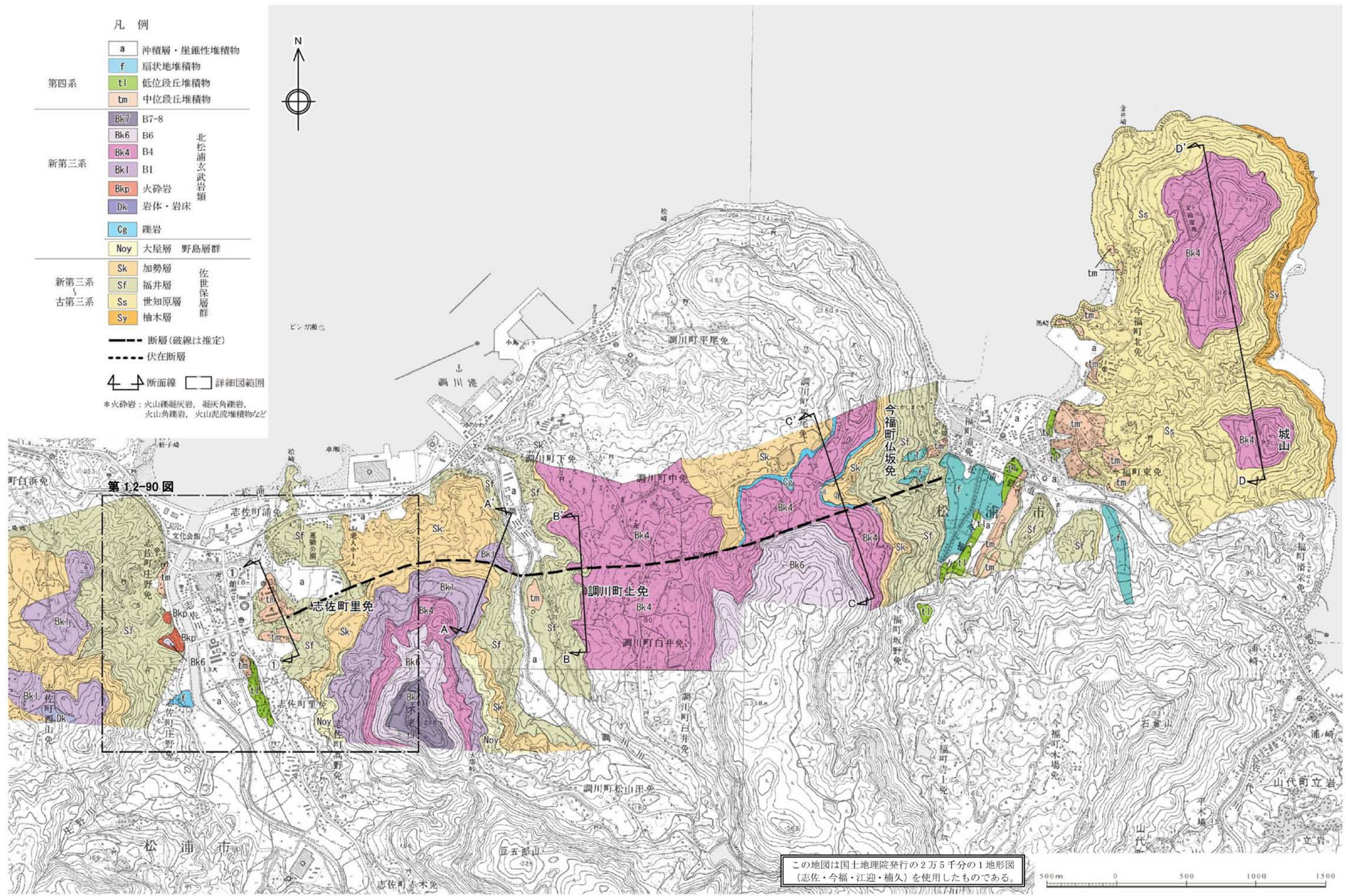
- - - 断層(破線は推定)
 - - - 地層・岩相の境界(破線は推定)
 - - - 層理面
 (注) 有田流紋岩類以外の第四系は図示していない。
 * 火砕岩: 火山礫凝灰岩、凝灰角礫岩、火山角礫岩、火山泥流堆積物など



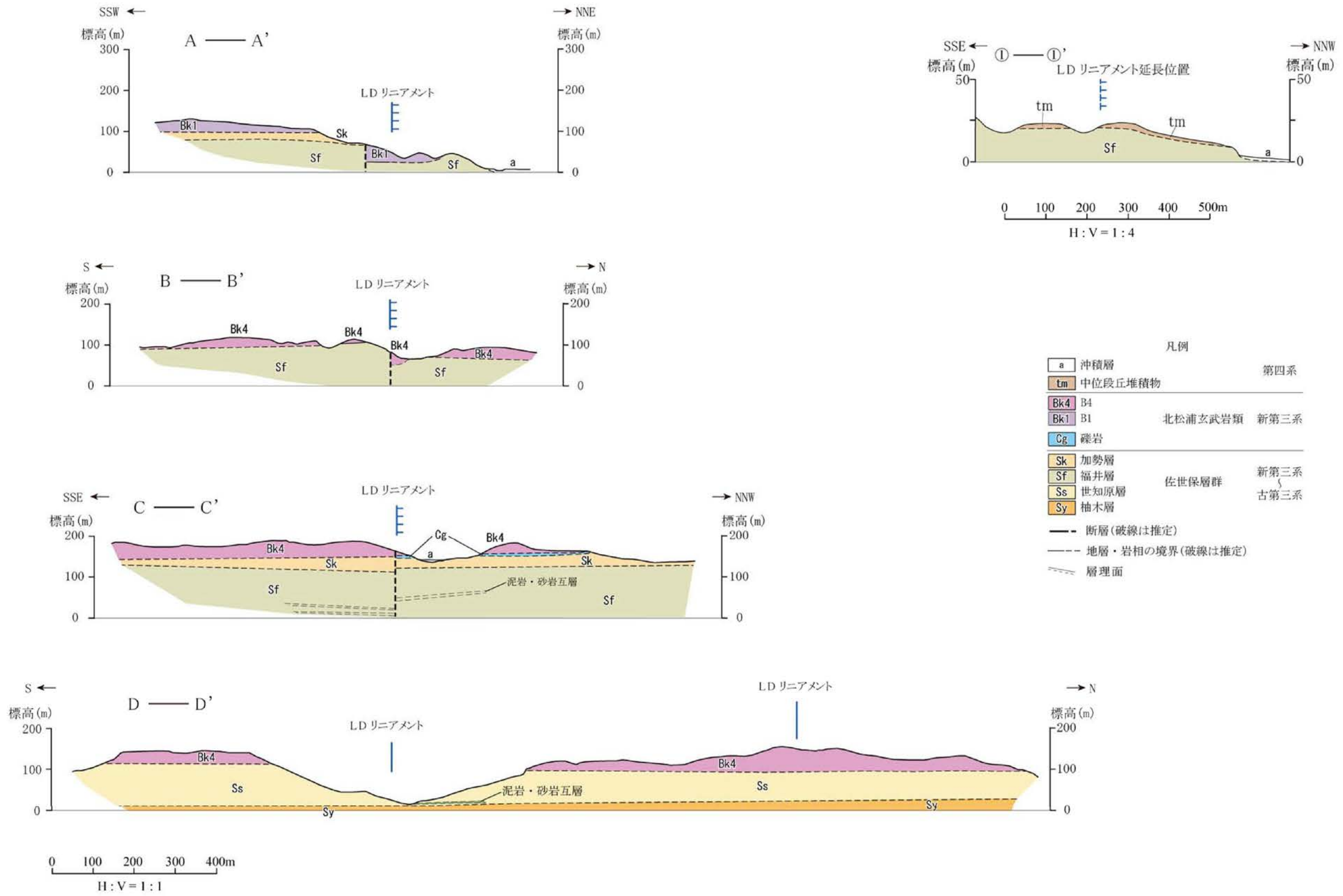
第1.2-86図(2) 国見断層周辺の地質断面図(その2)



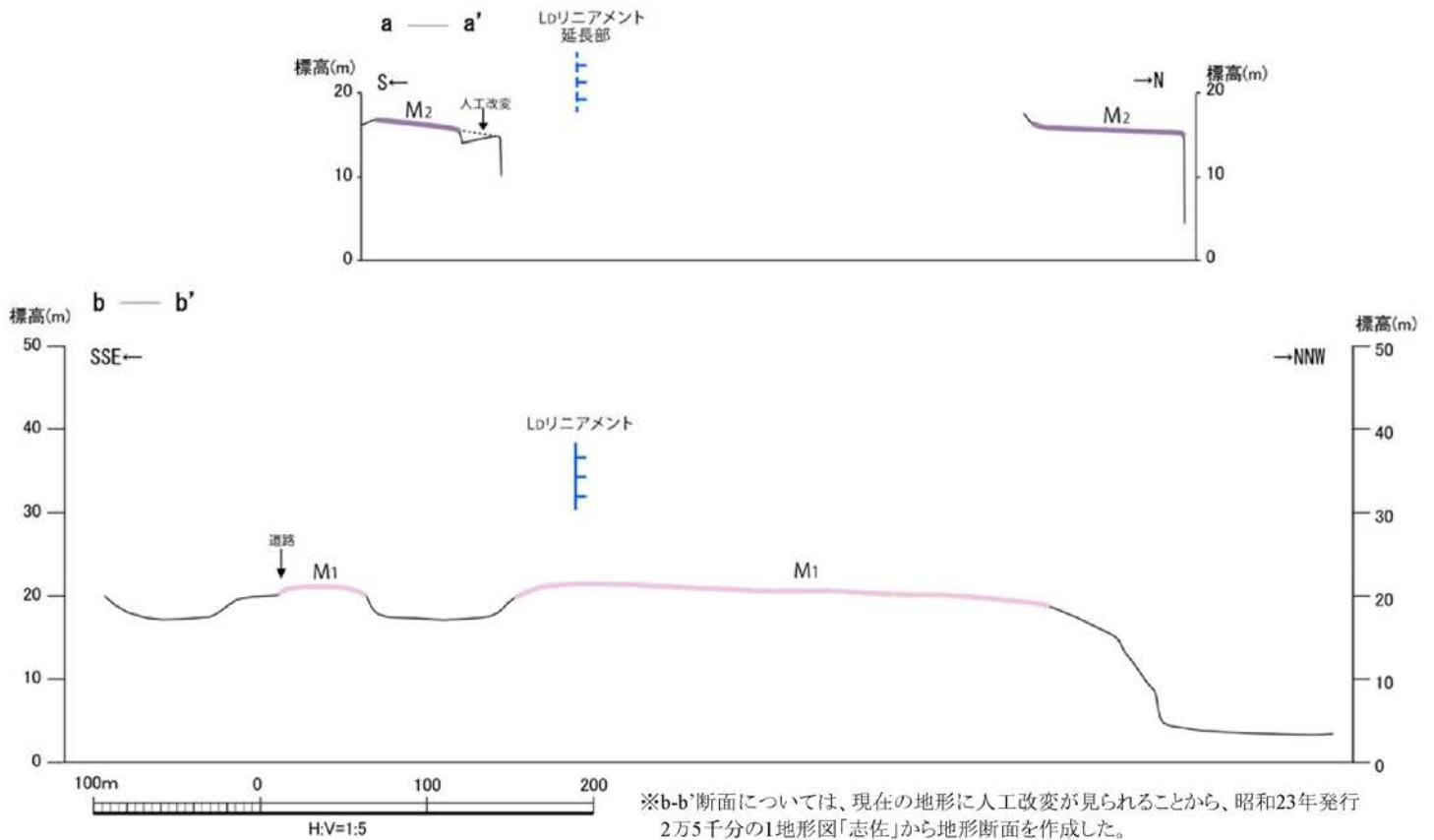
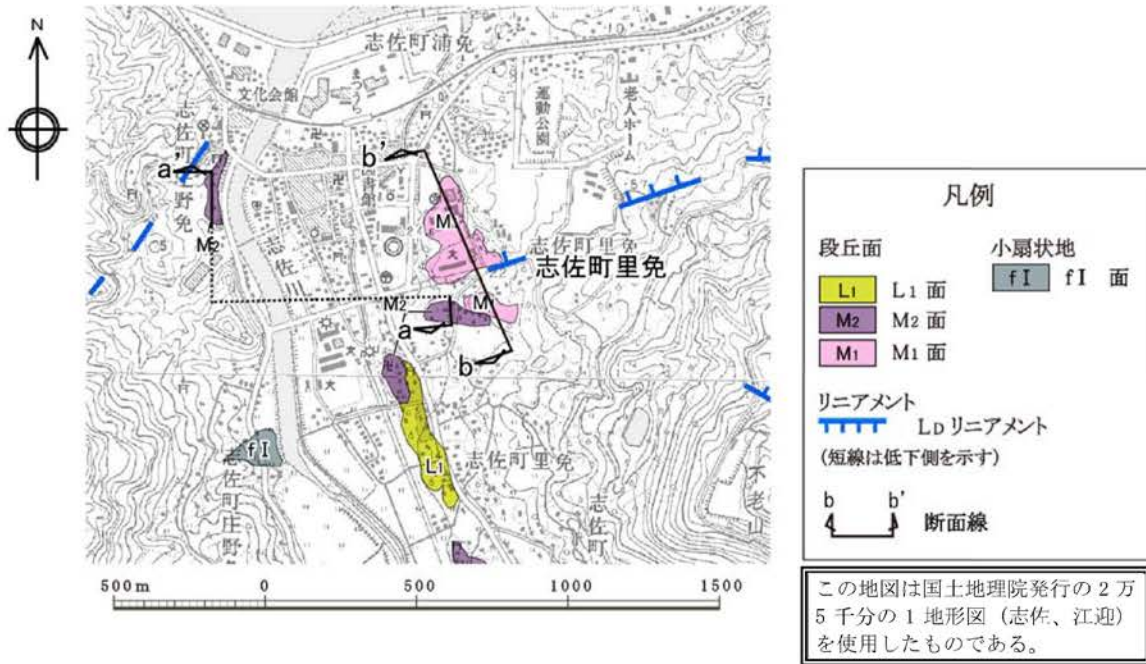
第1.2-87図 今福断層周辺の空中写真判読図



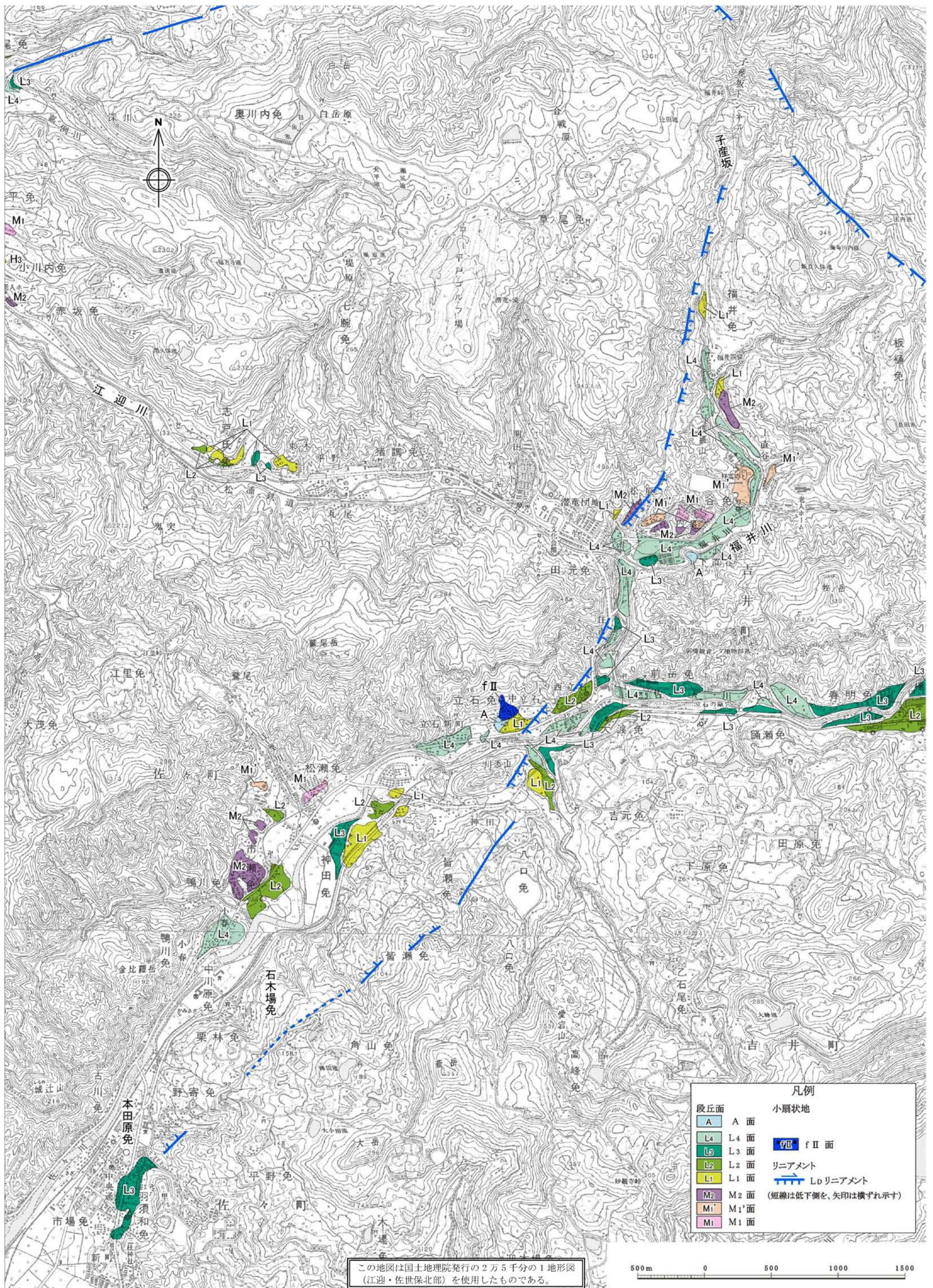
第1.2-88図 今福断層周辺の地質図



第1.2-89図 今福断層周辺の地質断面図



第1.2-90図 長崎県松浦市志佐町里免付近の地形断面図

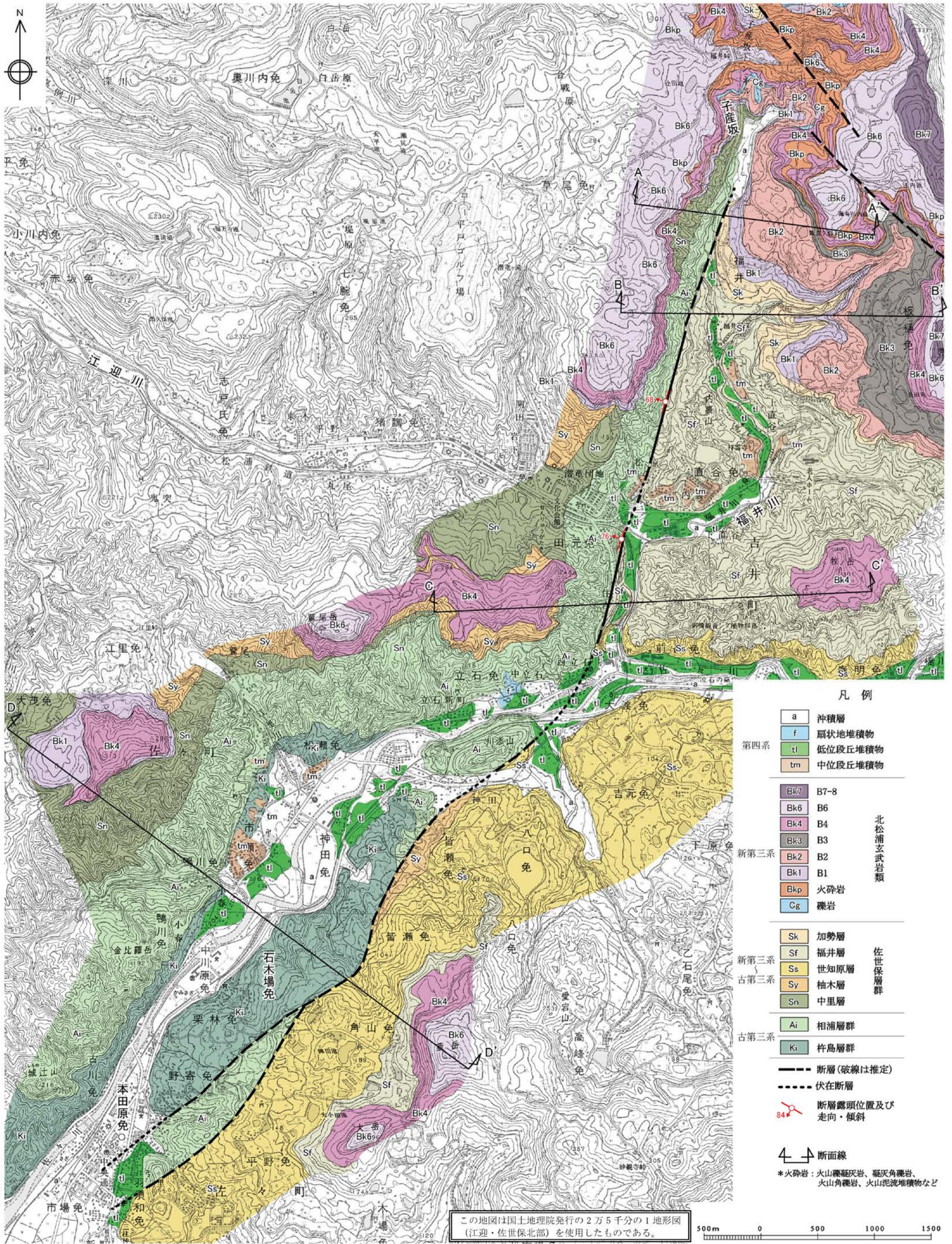


凡例	
段丘面	小扇状地
A	A 面
L4	L4 面
L3	L3 面
L2	L2 面
L1	L1 面
M2	M2 面
M1'	M1' 面
M1	M1 面
f II	f II 面
—	リニアメント
—	Ld リニアメント
(短線は低下側を、矢印は横ずれを示す)	

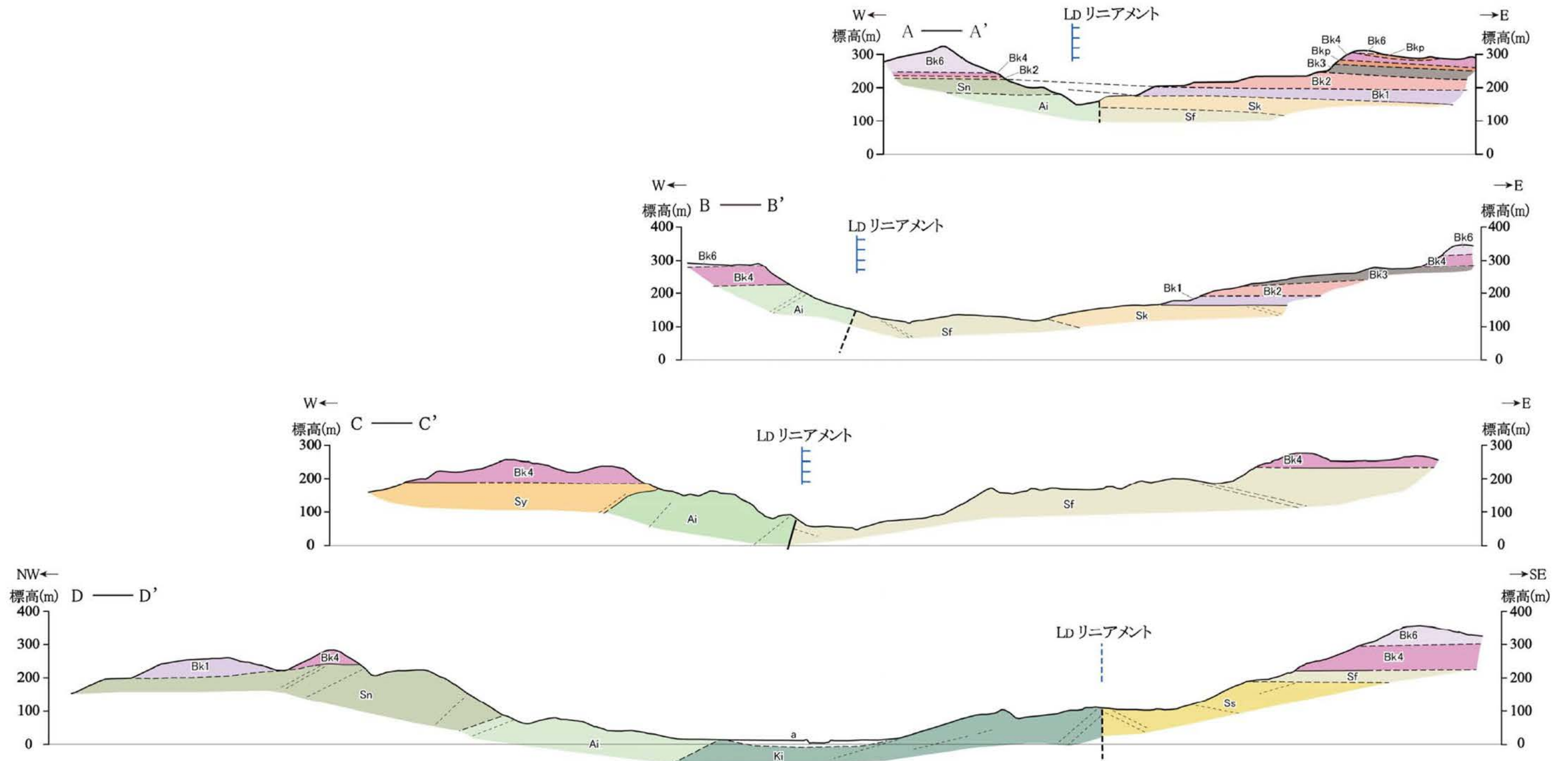
この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図(江迎・佐保北部)を使用したものである。

500m 0 500 1000 1500

第1.2-91図 佐々川断層周辺の空中写真判読図



第1.2-92図 佐々川断層周辺の地質図



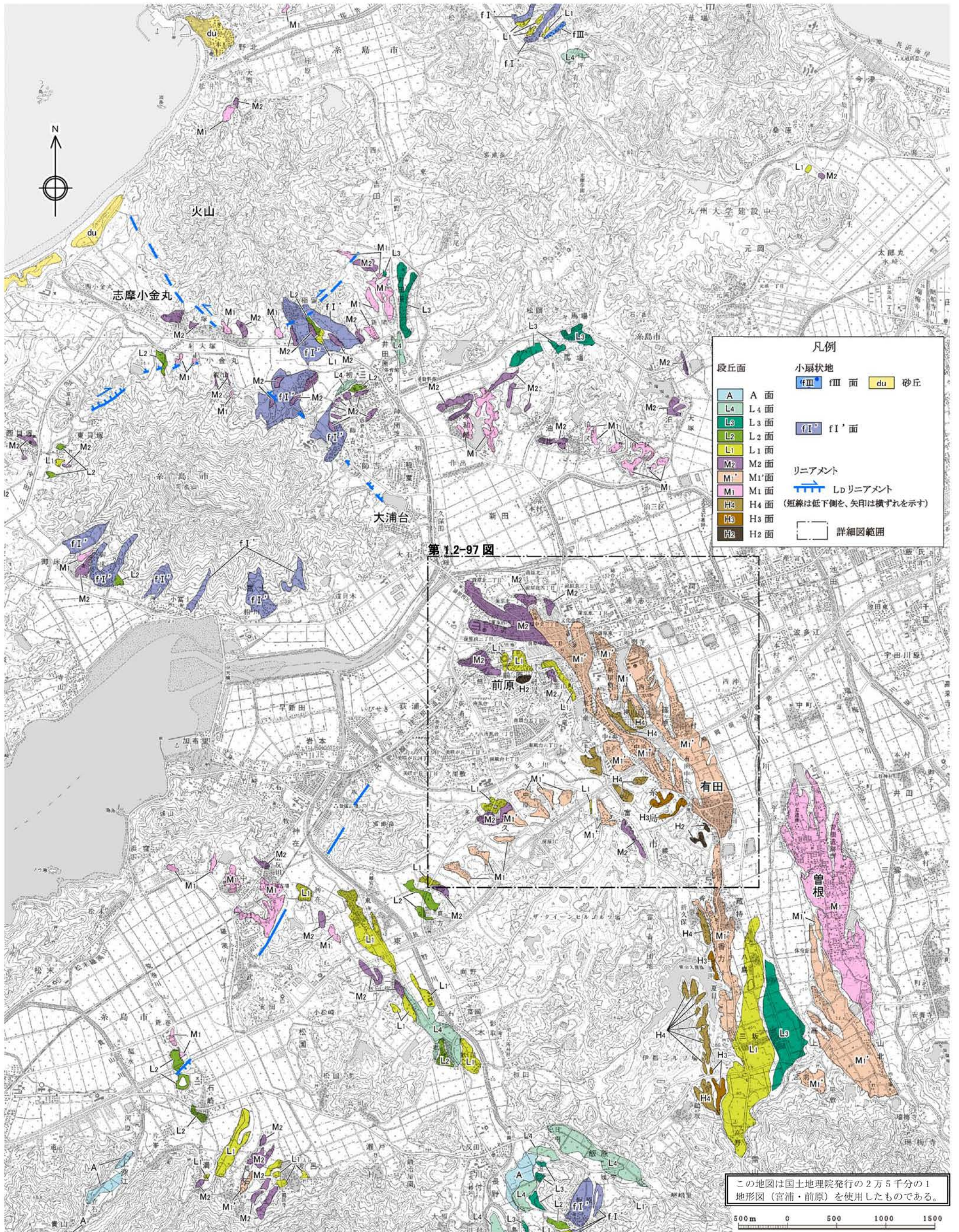
凡例

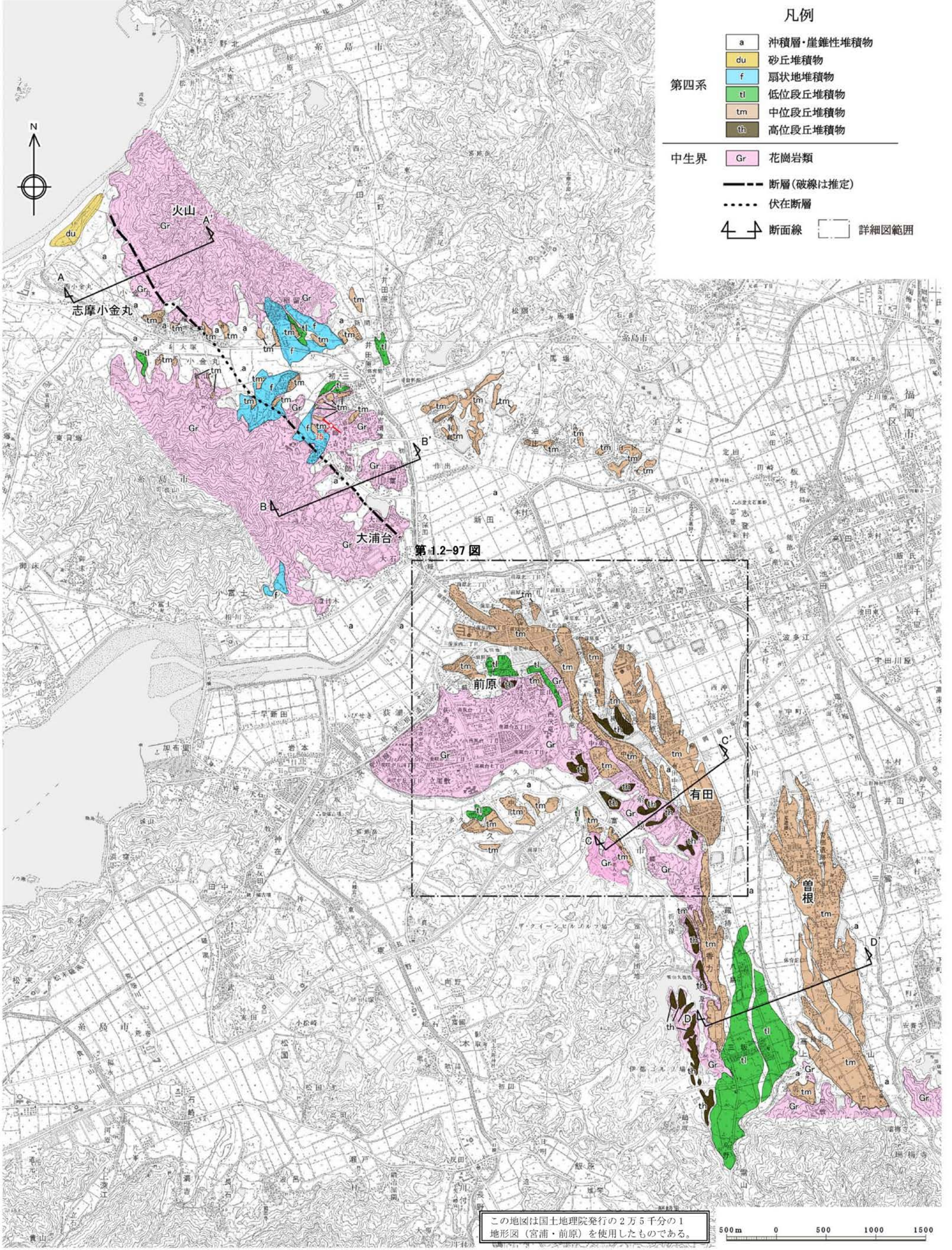
a	沖積層	第四系	
Bk6	B6	北松浦玄武岩類	新第三系
Bk4	B4		
Bk3	B3		
Bk2	B2		
Bk1	B1		
Bkp	火砕岩		
Sk	加勢層	佐世保層群	新第三系 古第三系
Sf	福井層		
Ss	世知原層		
Sy	柚木層	古第三系	
Sn	中里層		
Ai	相浦層群	古第三系	
Ki	杵島層群		

- - - 断層(破線は推定)
 - - - 地層・岩相の境界(破線は推定)
 - - - 層理面
 (注) 沖積層以外の第四系は図示していない。
 * 火砕岩: 火山礫凝灰岩、凝灰角礫岩、火山角礫岩、火山泥流堆積物など

0 100 200 300 400m
H:V=1:1

第1.2-93図 佐々川断層周辺の地質断面図



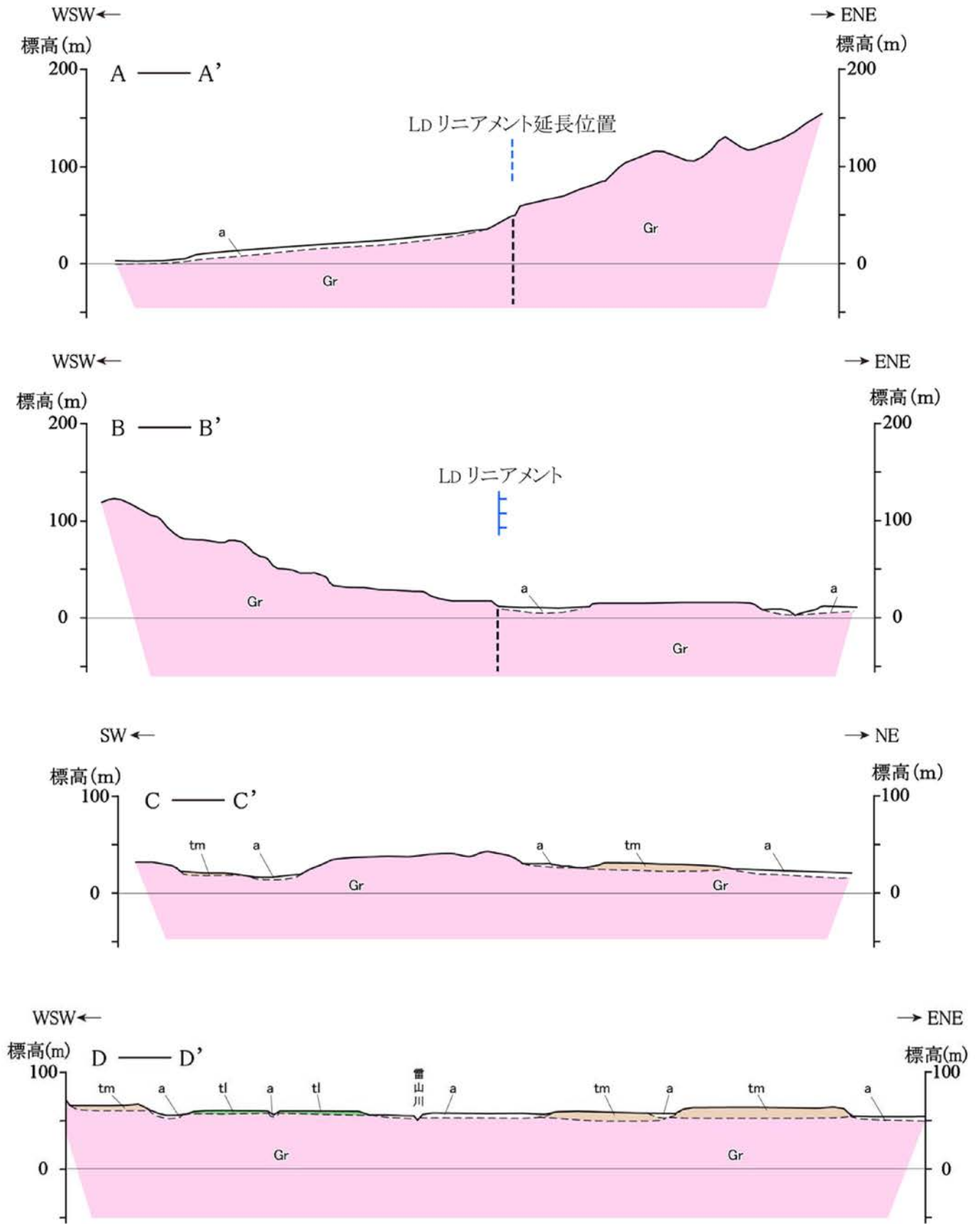


凡例

- | | | |
|-----|-------|------------|
| 第四系 | a | 沖積層・崖錐性堆積物 |
| | du | 砂丘堆積物 |
| | f | 扇状地堆積物 |
| | tl | 低位段丘堆積物 |
| | tm | 中位段丘堆積物 |
| | th | 高位段丘堆積物 |
| 中生界 | Gr | 花崗岩類 |
| | --- | 断層(破線は推定) |
| | | 伏在断層 |
| | ↔ | 断面線 |
| | □ | 詳細図範囲 |

第1.2-97図

第1.2-95図 前原断層周辺の地質図

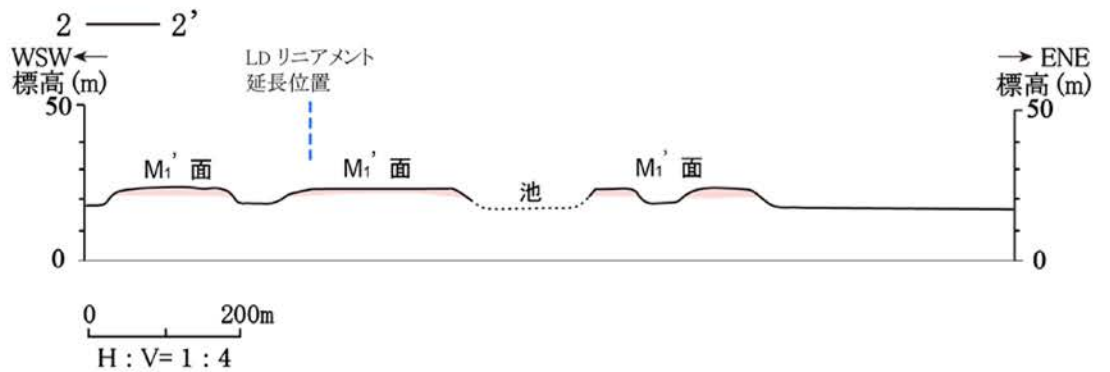
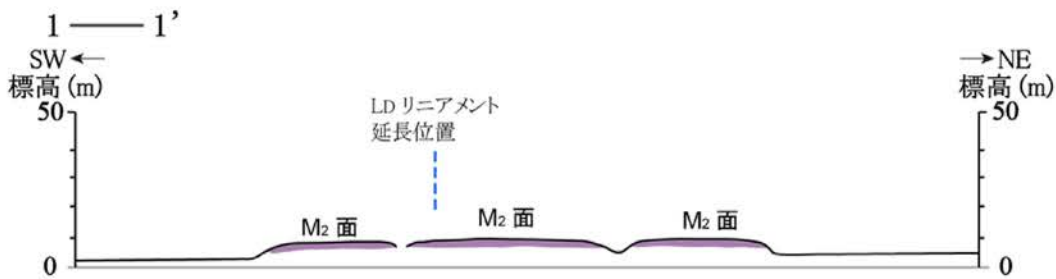
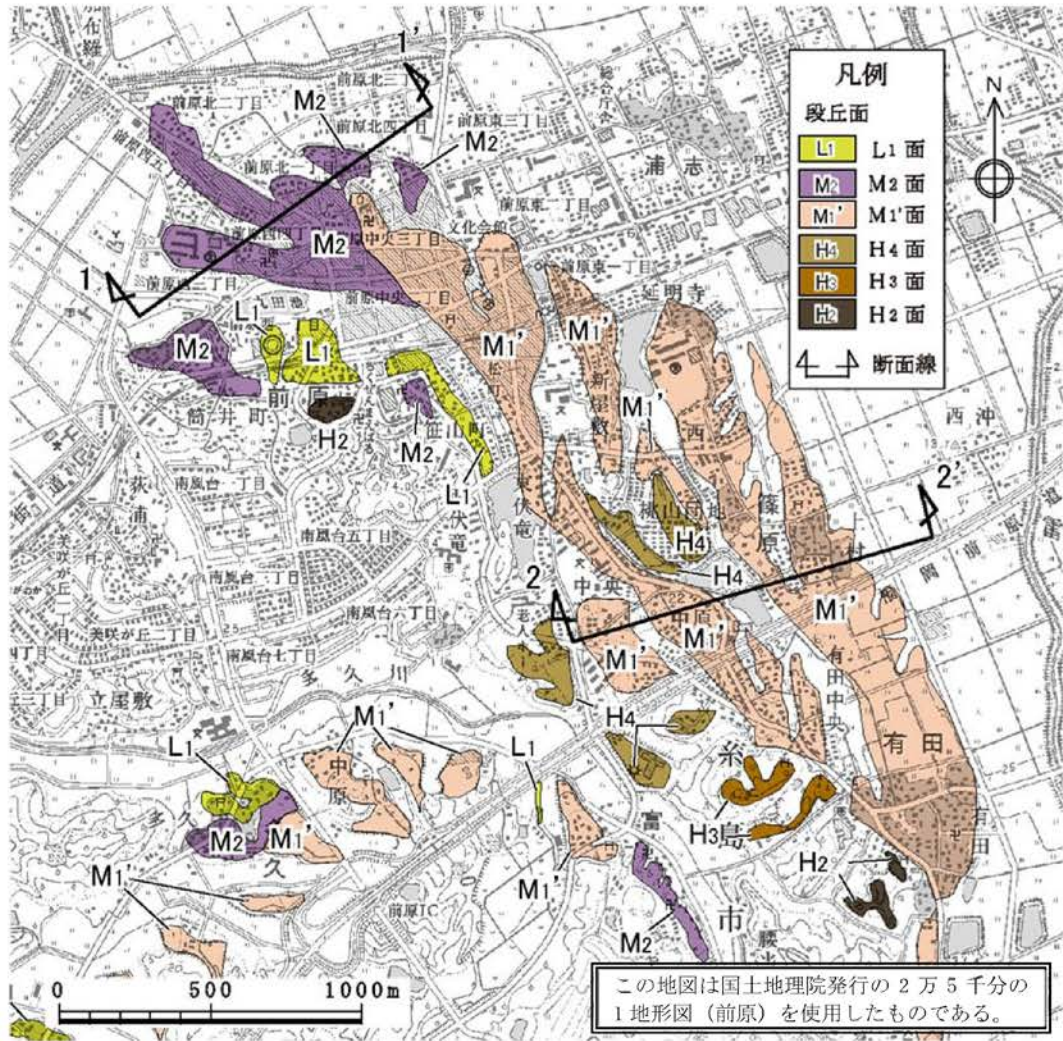


凡例

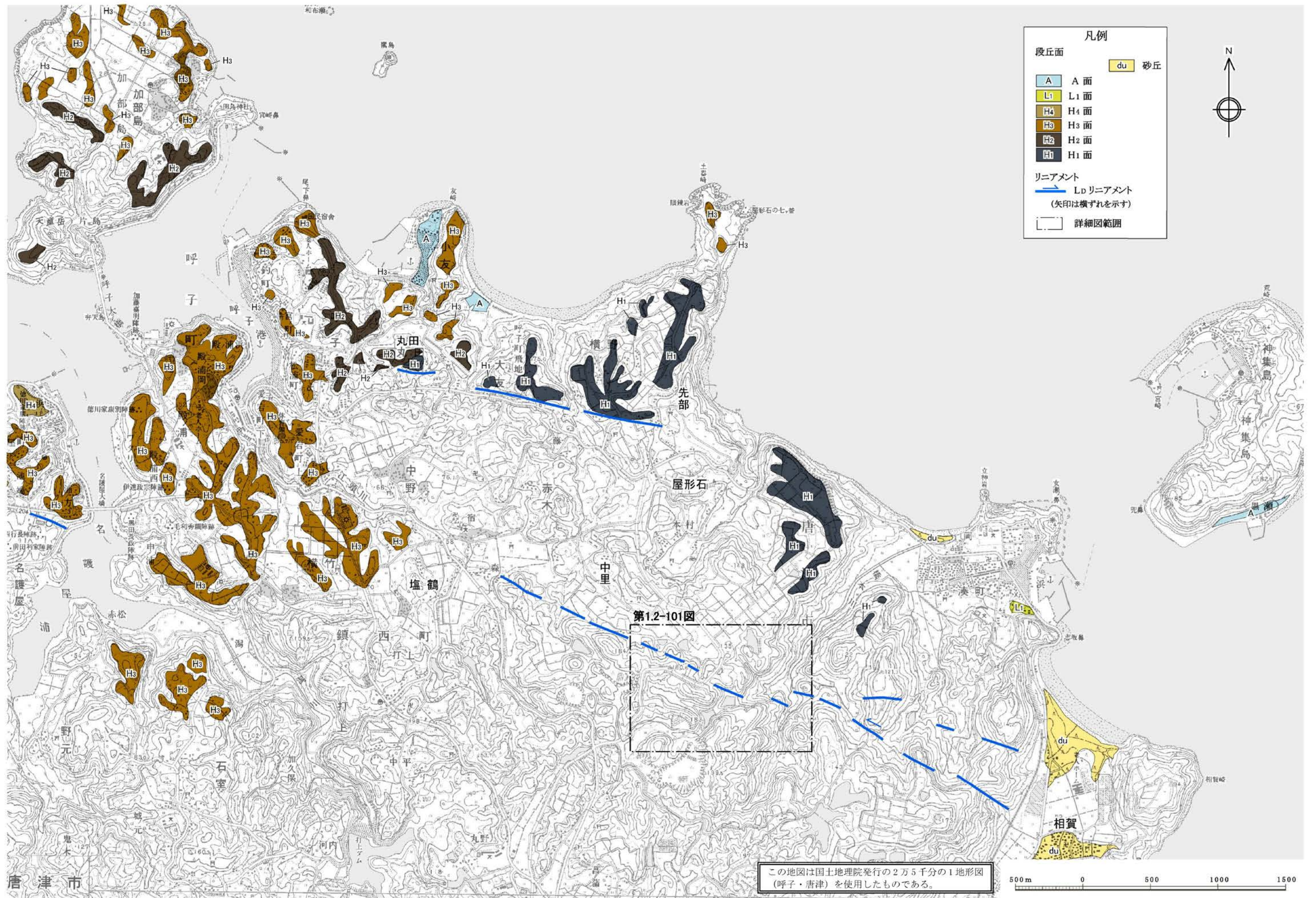
- | | | |
|--|-----|-----------------------|
| a 沖積層・崖錐性堆積物 | | — — — 断層(破線は推定) |
| tl 低位段丘堆積物 | 第四系 | — — — 地層・岩相の境界(破線は推定) |
| tm 中位段丘堆積物 | | |
| Gr 花崗岩類 | 中生界 | |

0 100 200 m
H:V=1:2

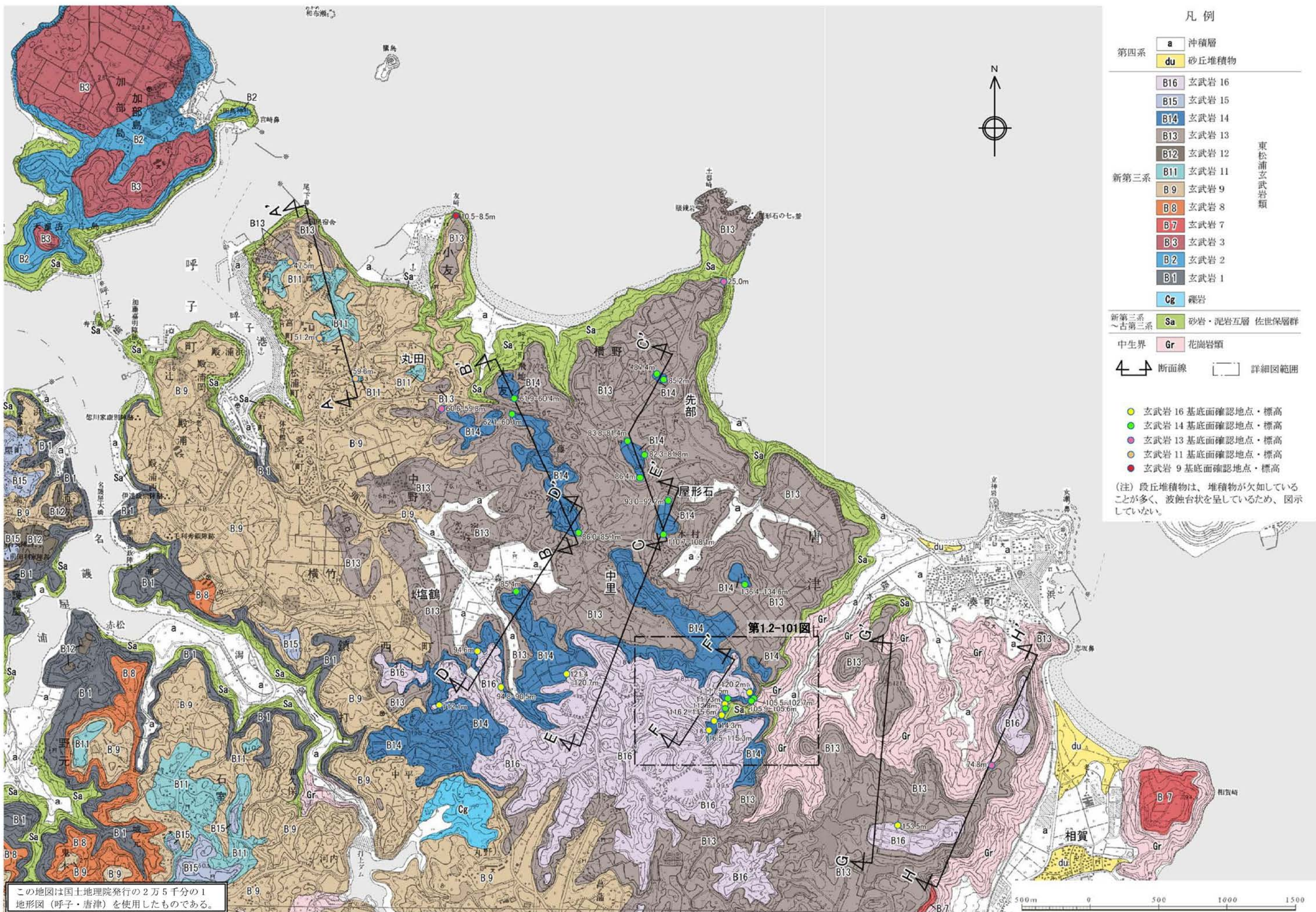
第1.2-96図 前原断層周辺の地質断面図



第1.2-97図 福岡県糸島市前原付近の地形断面図



第1.2-98図 呼子北リニアメント・呼子南リニアメント周辺の空中写真判読図



凡例

第四系	a	沖積層
	du	砂丘堆積物
新第三系	B16	玄武岩 16
	B15	玄武岩 15
	B14	玄武岩 14
	B13	玄武岩 13
	B12	玄武岩 12
	B11	玄武岩 11
	B9	玄武岩 9
	B8	玄武岩 8
	B7	玄武岩 7
	B3	玄武岩 3
新第三系 ~古第三系	B2	玄武岩 2
	B1	玄武岩 1
中生界	Cg	礫岩
	Sa	砂岩・泥岩互層 佐世保層群
	Gr	花崗岩類

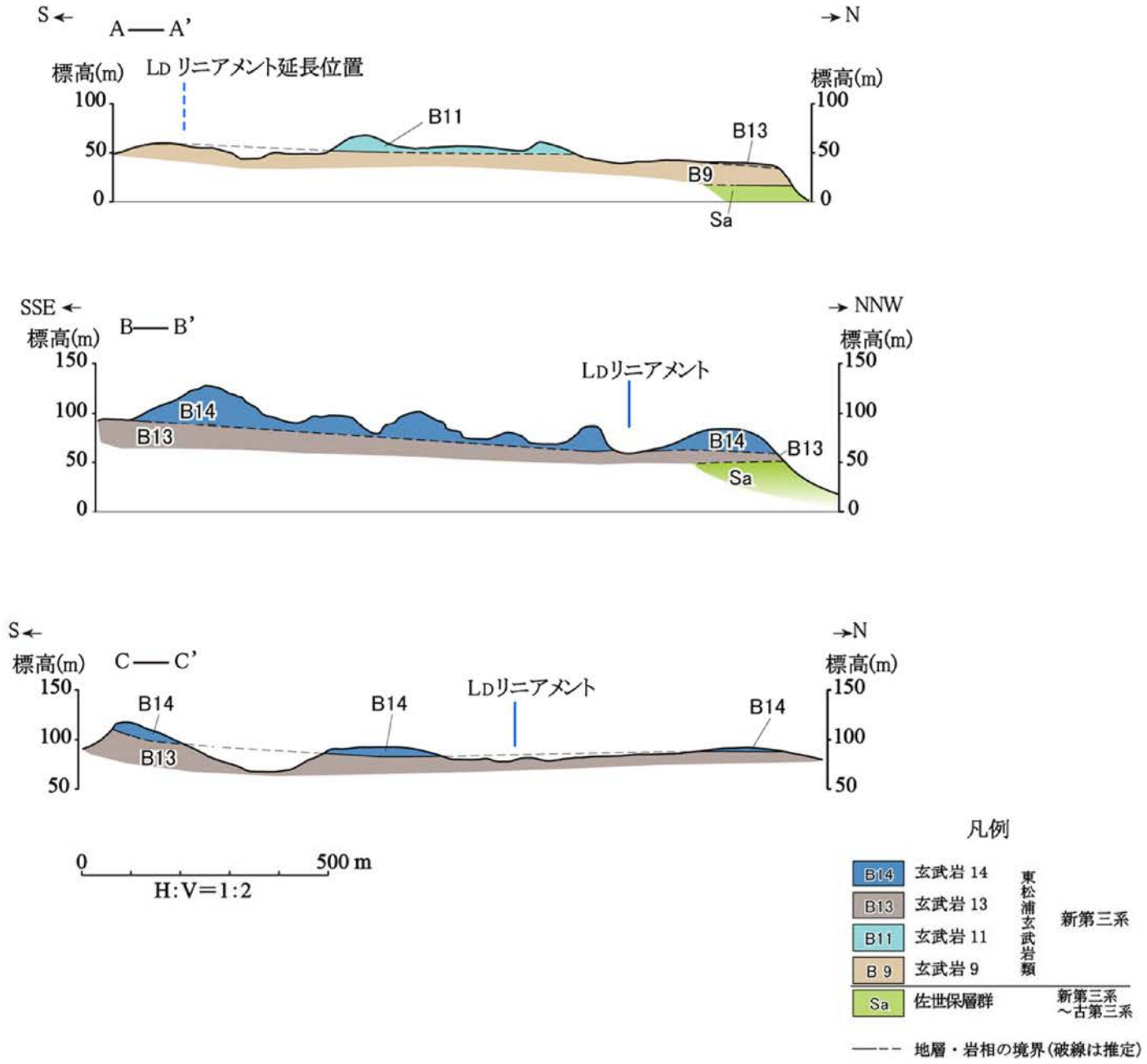
東松浦玄武岩類

断面線 詳細図範囲

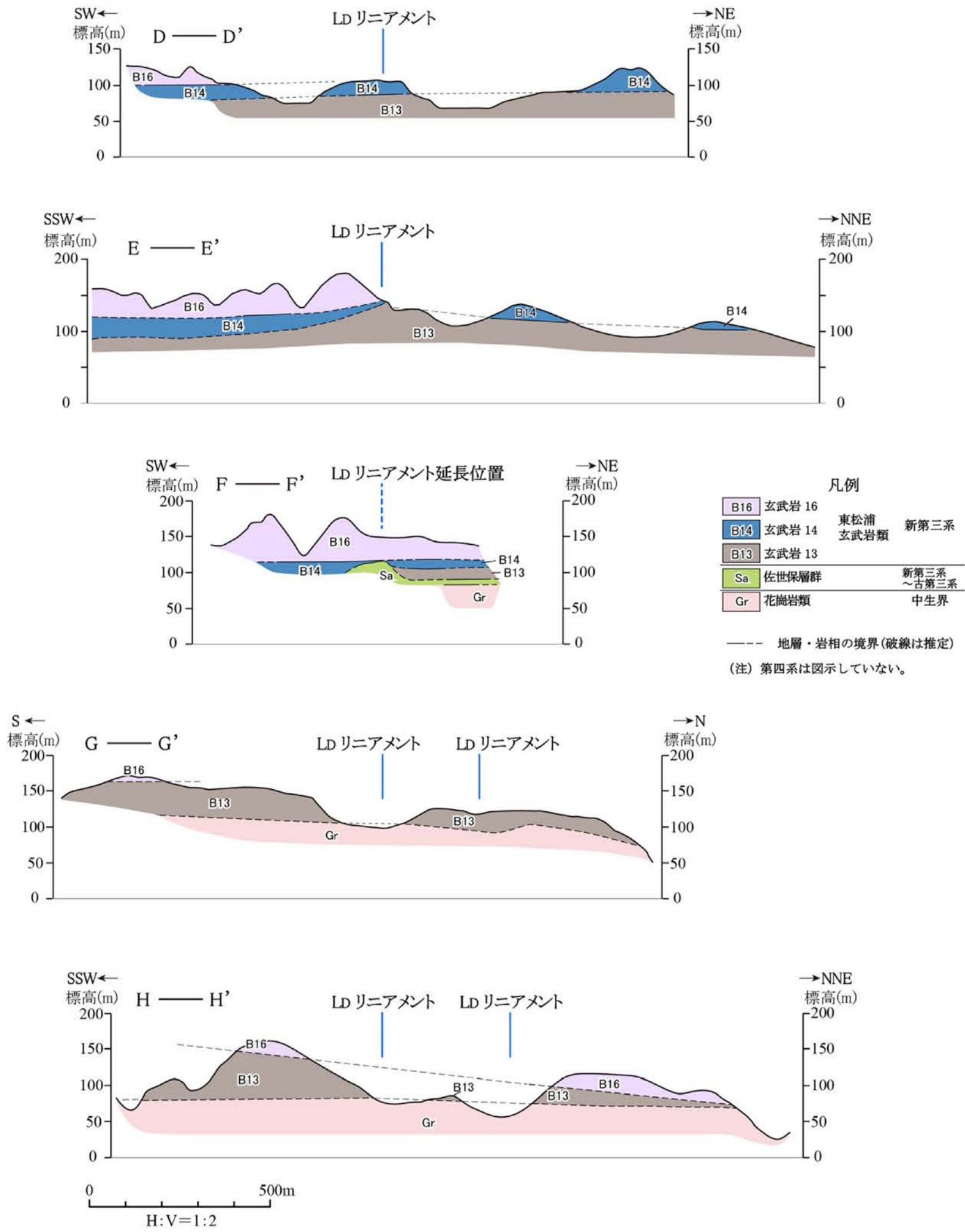
- 玄武岩 16 基底面確認地点・標高
- 玄武岩 14 基底面確認地点・標高
- 玄武岩 13 基底面確認地点・標高
- 玄武岩 11 基底面確認地点・標高
- 玄武岩 9 基底面確認地点・標高

(注) 段丘堆積物は、堆積物が欠如していることが多く、波蝕台状を呈しているため、図示していない。

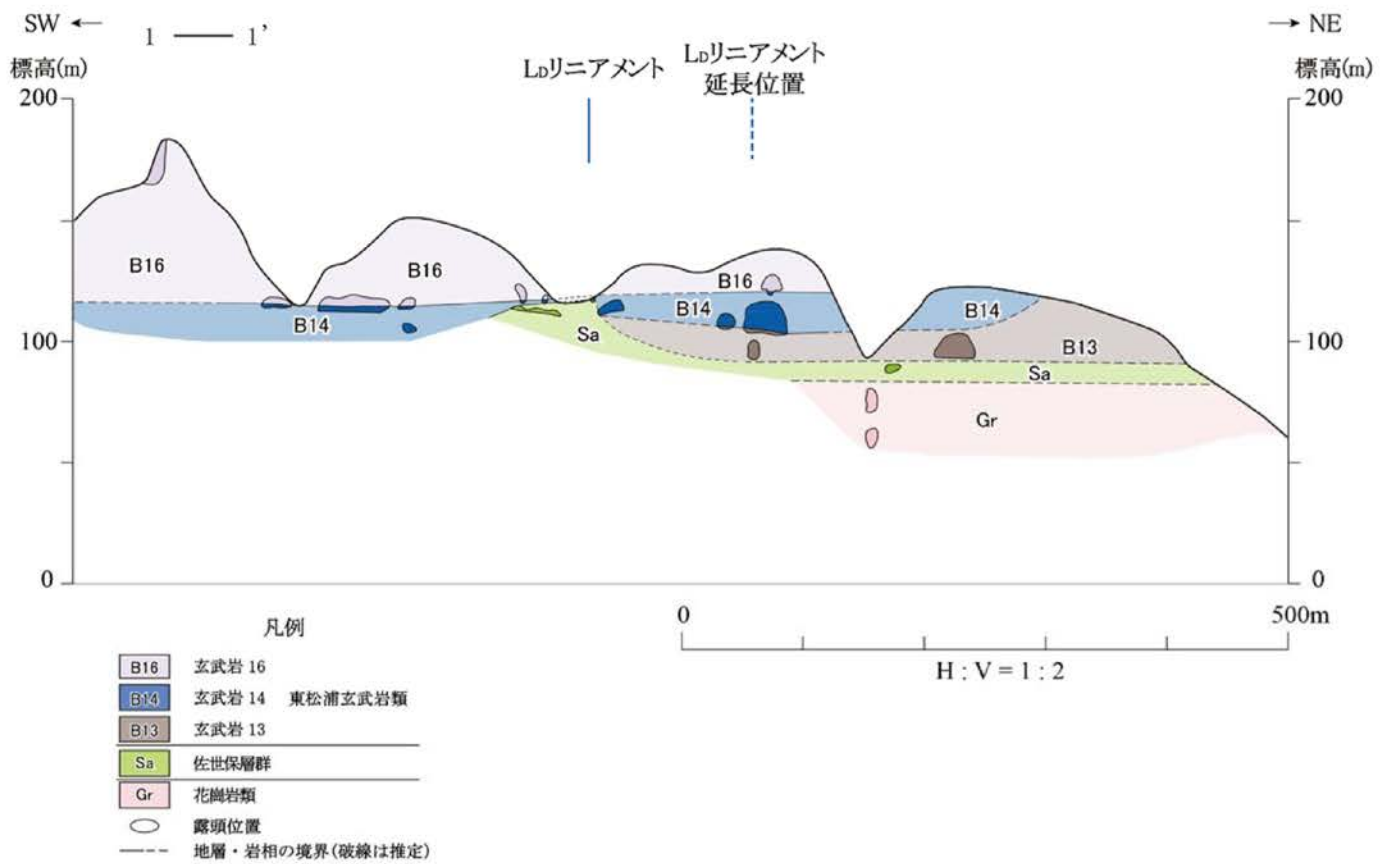
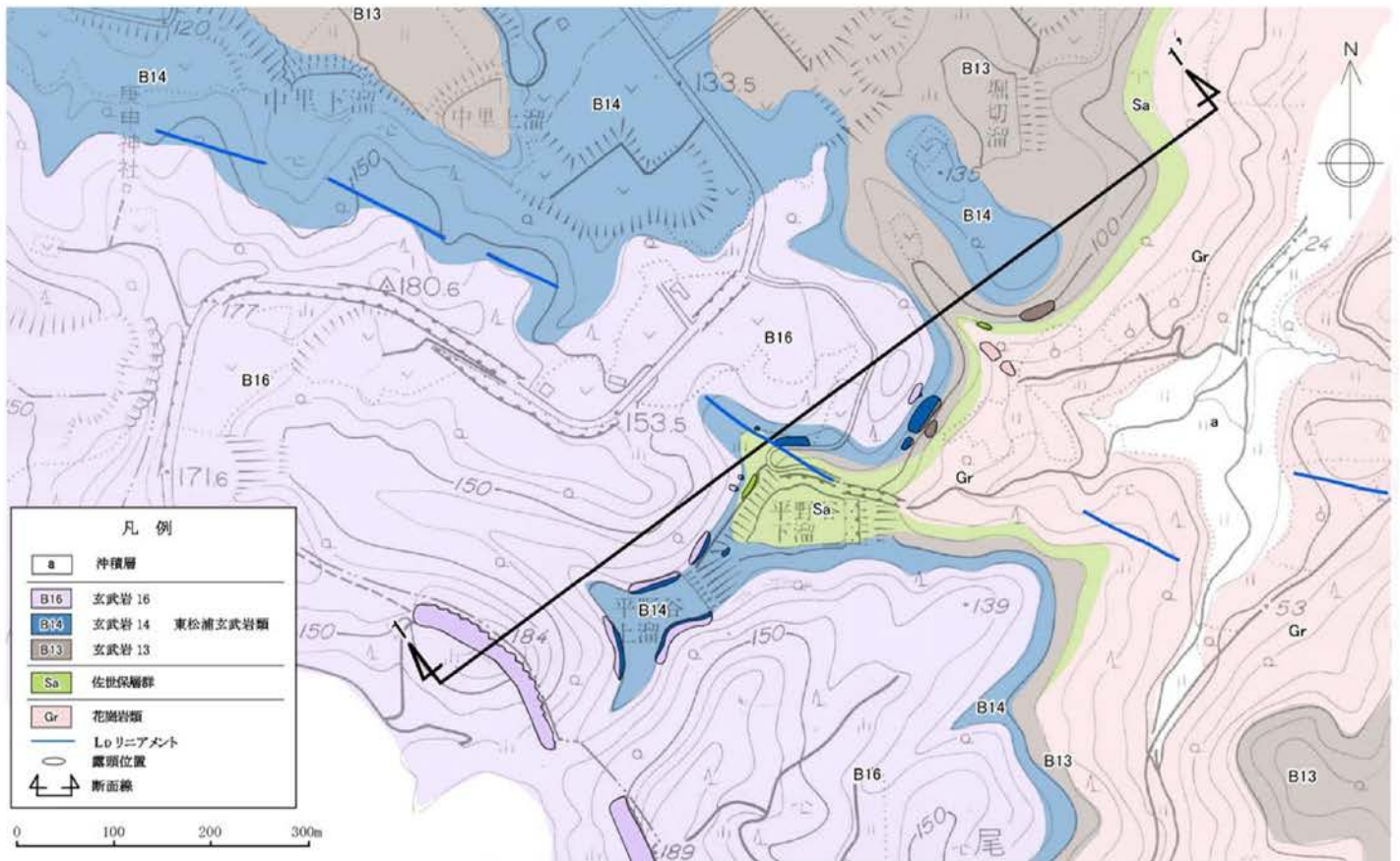
第1.2-99図 呼子北リニアメント・呼子南リニアメント周辺の地質図
1.2-494



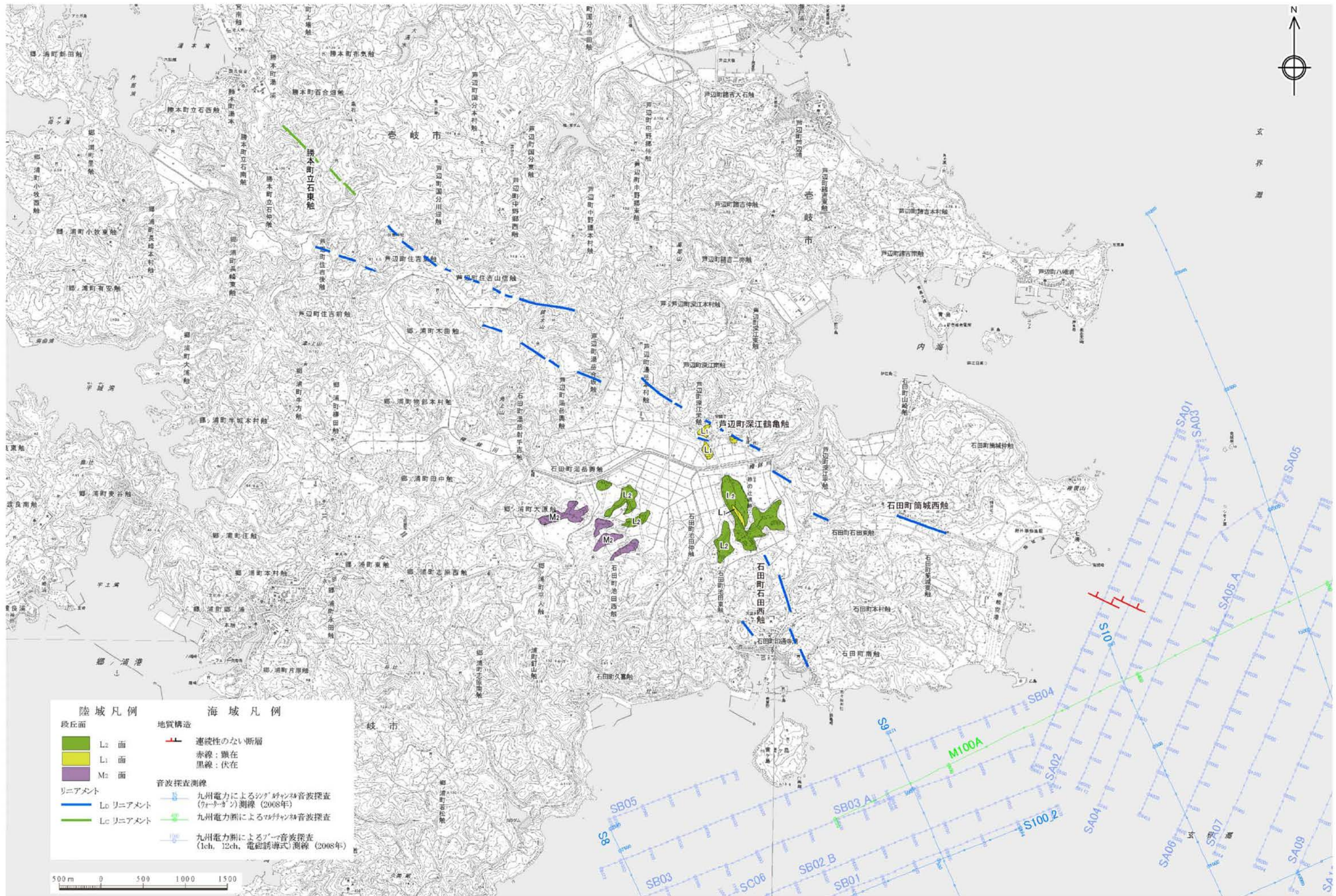
第1.2-100図(1) 呼子北リニアメント・呼子南リニアメント周辺の地質断面図(呼子北リニアメント)



第1.2-100図(2) 呼子北リニアメント・呼子南リニアメント周辺の地質断面図(呼子南リニアメント)

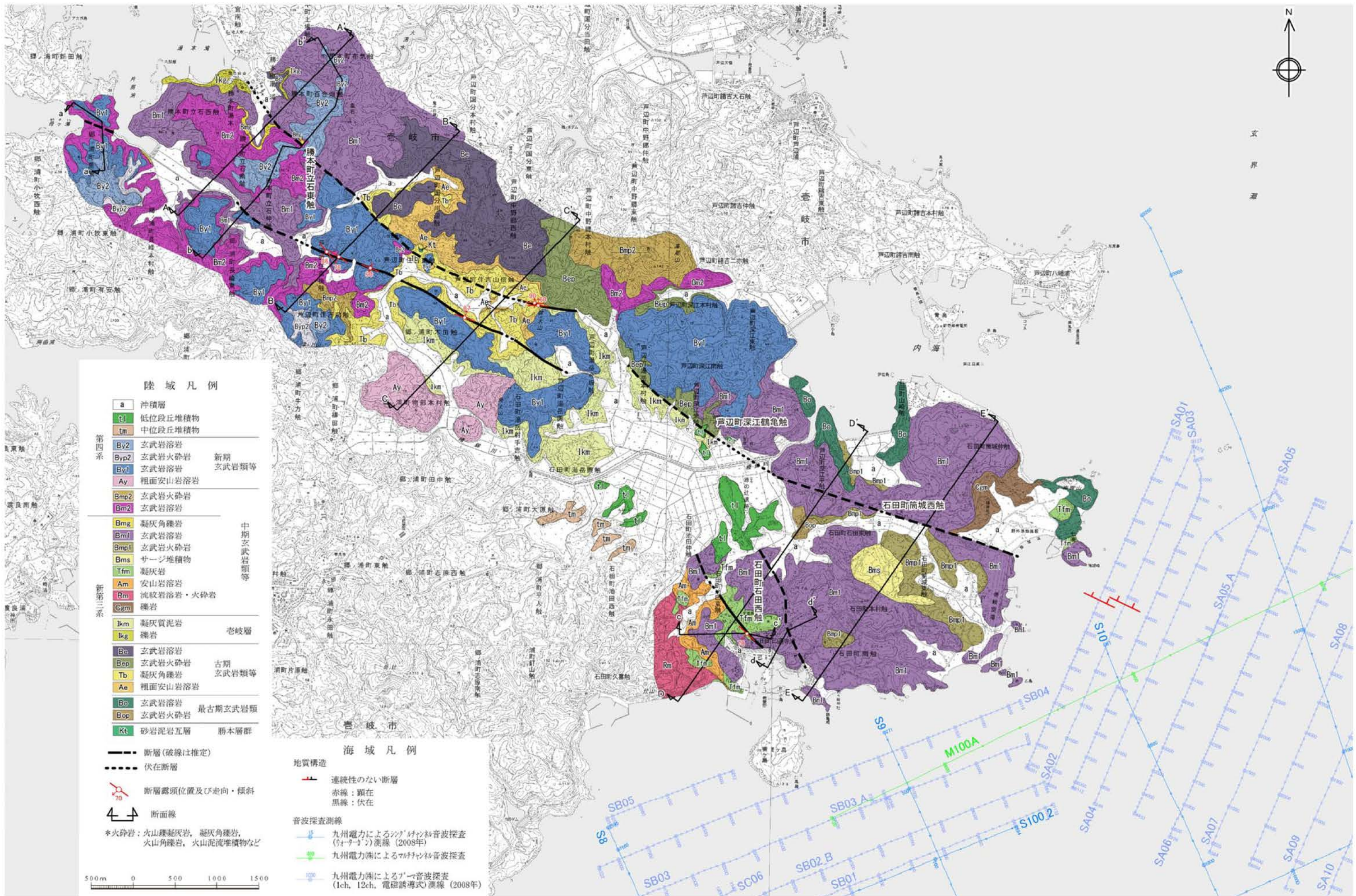


第1.2-101図 唐津市呼子町中里東付近のルートマップ・地質断面図



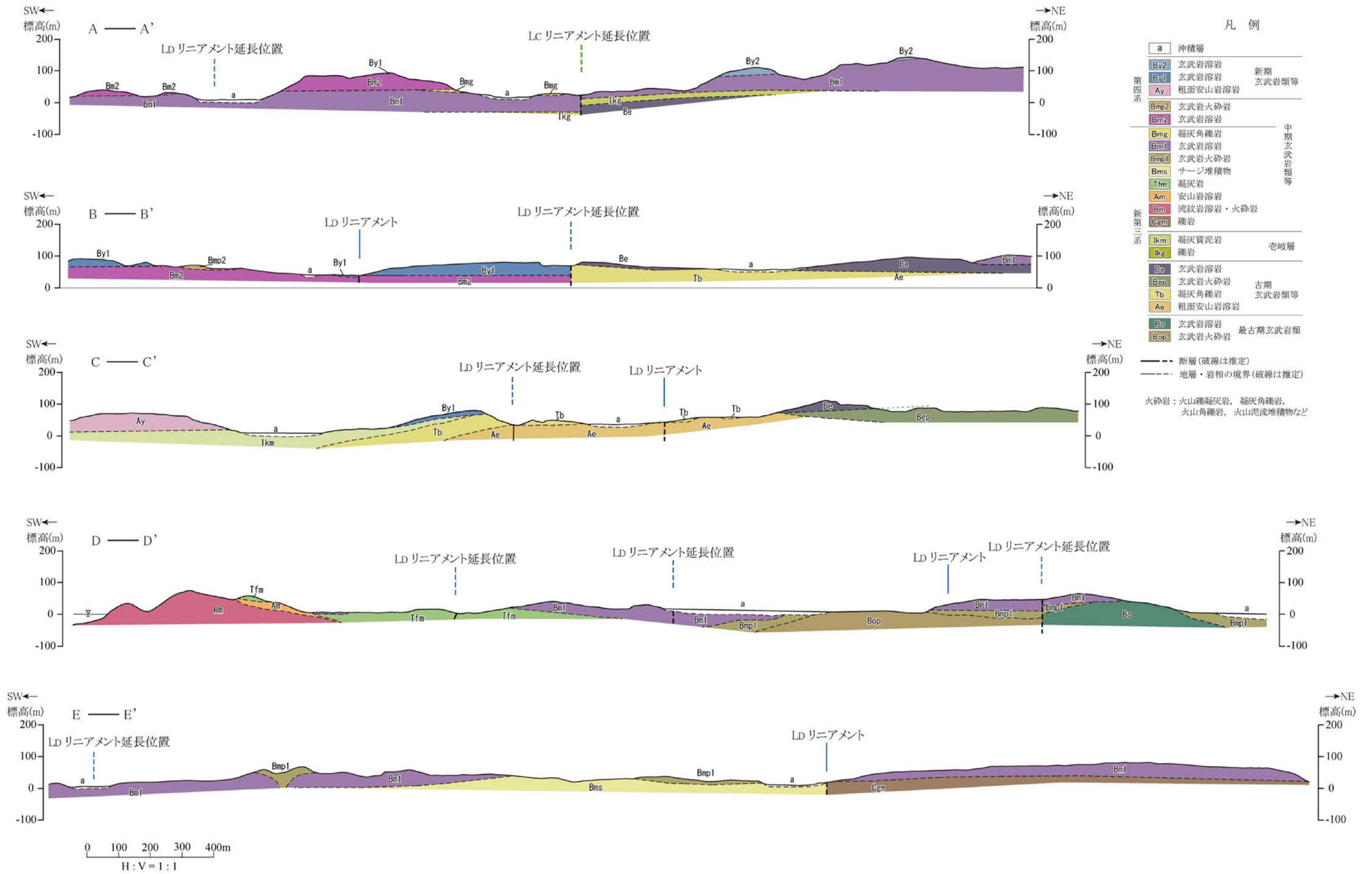
この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図(湯本・芦辺・郷ノ浦・印通寺)を使用したものである。

第1.2-102図 鉾ノ木山リニアメント周辺の空中写真判読図



この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図(湯本・芦辺・郷ノ浦・印通寺)を使用したものである。

第1.2-103図 鉾ノ木山リニアメント周辺の地質図
1.2-499

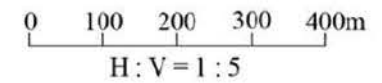
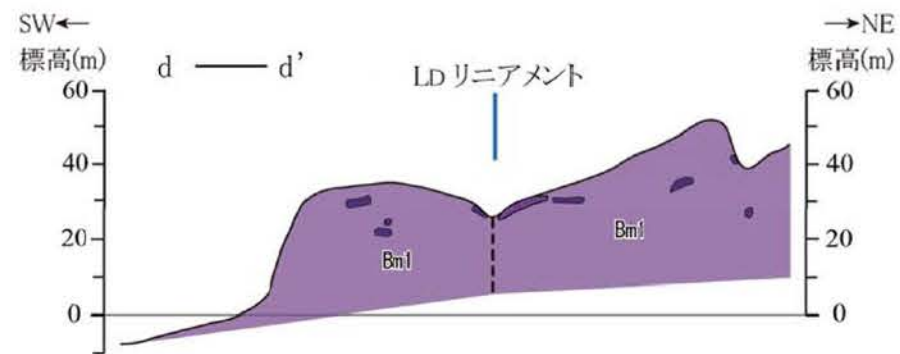
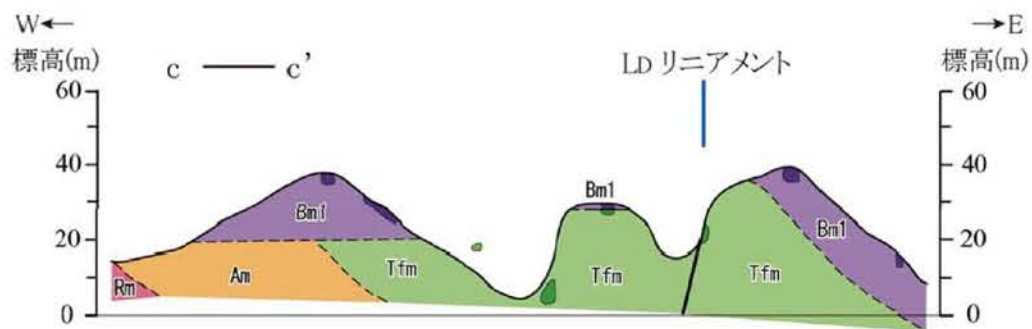
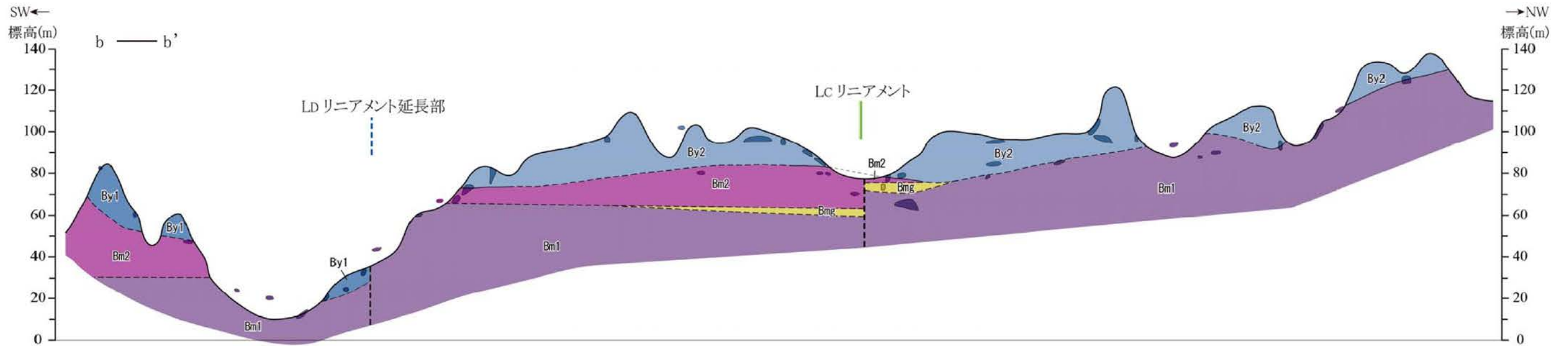
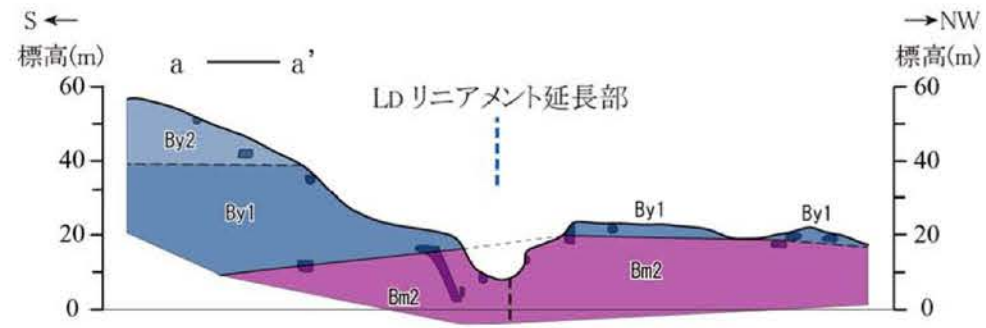


第1.2-104図(1) 鉾ノ木山リニアメント周辺の地質断面図(その1)

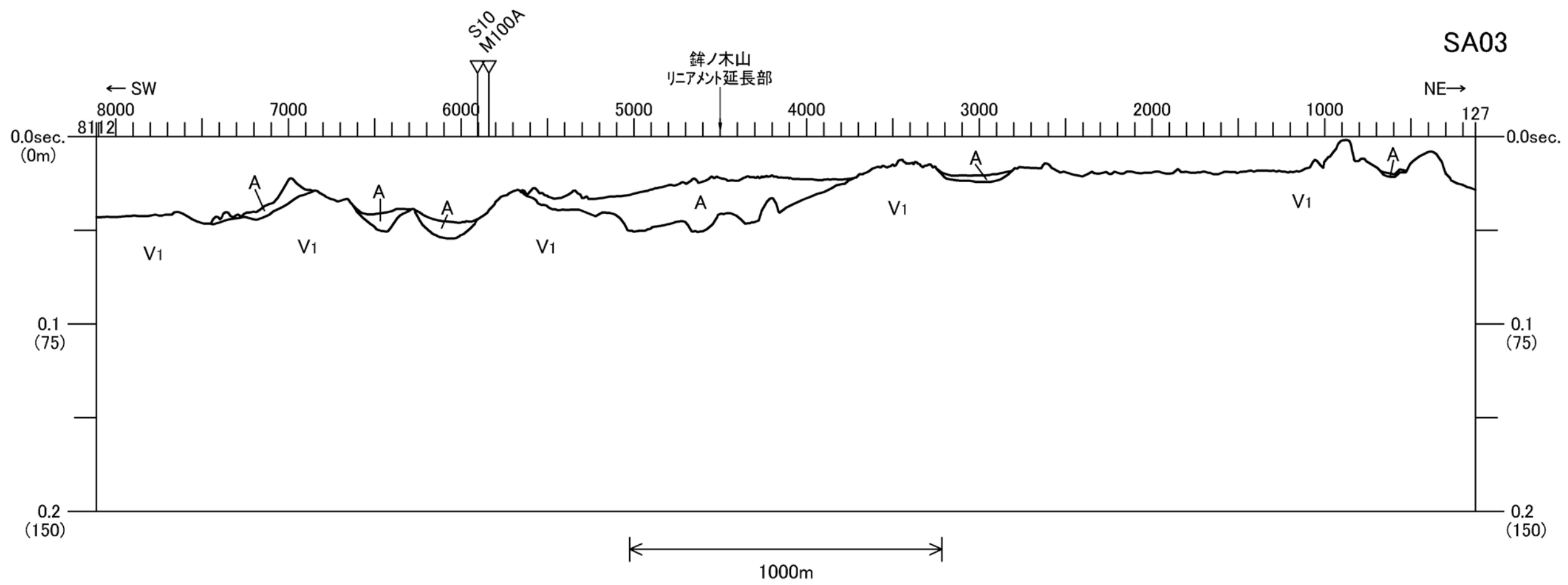
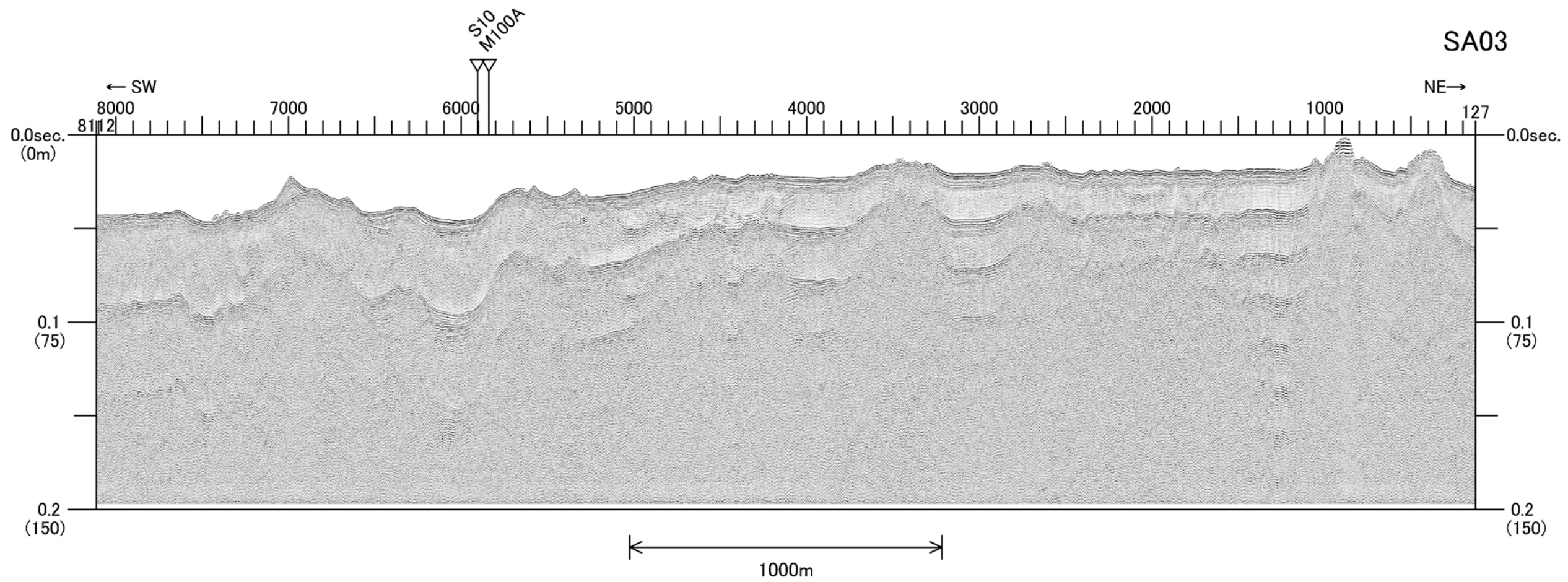
凡例

By2	玄武岩溶岩	新期
By1	玄武岩溶岩	玄武岩類等
Bm2	玄武岩溶岩	
Bmg	凝灰角礫岩	中期
Bm1	玄武岩溶岩	玄武岩類等
Tfm	凝灰岩	
Am	安山岩溶岩	
Rm	流紋岩溶岩・火砕岩	

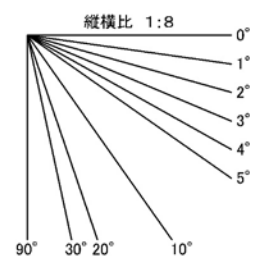
断層(破線は推定)
 地層・岩相の境界(破線は推定)
 露頭位置
 火砕岩: 火山礫凝灰岩, 凝灰角礫岩, 火山角礫岩, 火山泥流堆積物など



第1.2-104図(2) 鉾ノ木山リニアメント周辺の地質断面図(その2)



地層名	地質時代
A層	完新世
B ₃ 層	更新世後期～中期
B ₄ 層	更新世中期～前期
C ₁₋₂ 層	更新世前期～鮮新世
C ₁₋₂ 層	鮮新世～中新世
C ₃ 層	中新世～始新世
V ₁ 層	更新世～鮮新世
V ₂ 層	鮮新世～中新世
G層	中・古生代



断層
f
地層境界

第1.2-105図 鉾ノ木山リニアメント延長部の音波探査記録・海底地質断面図 (SA03測線)